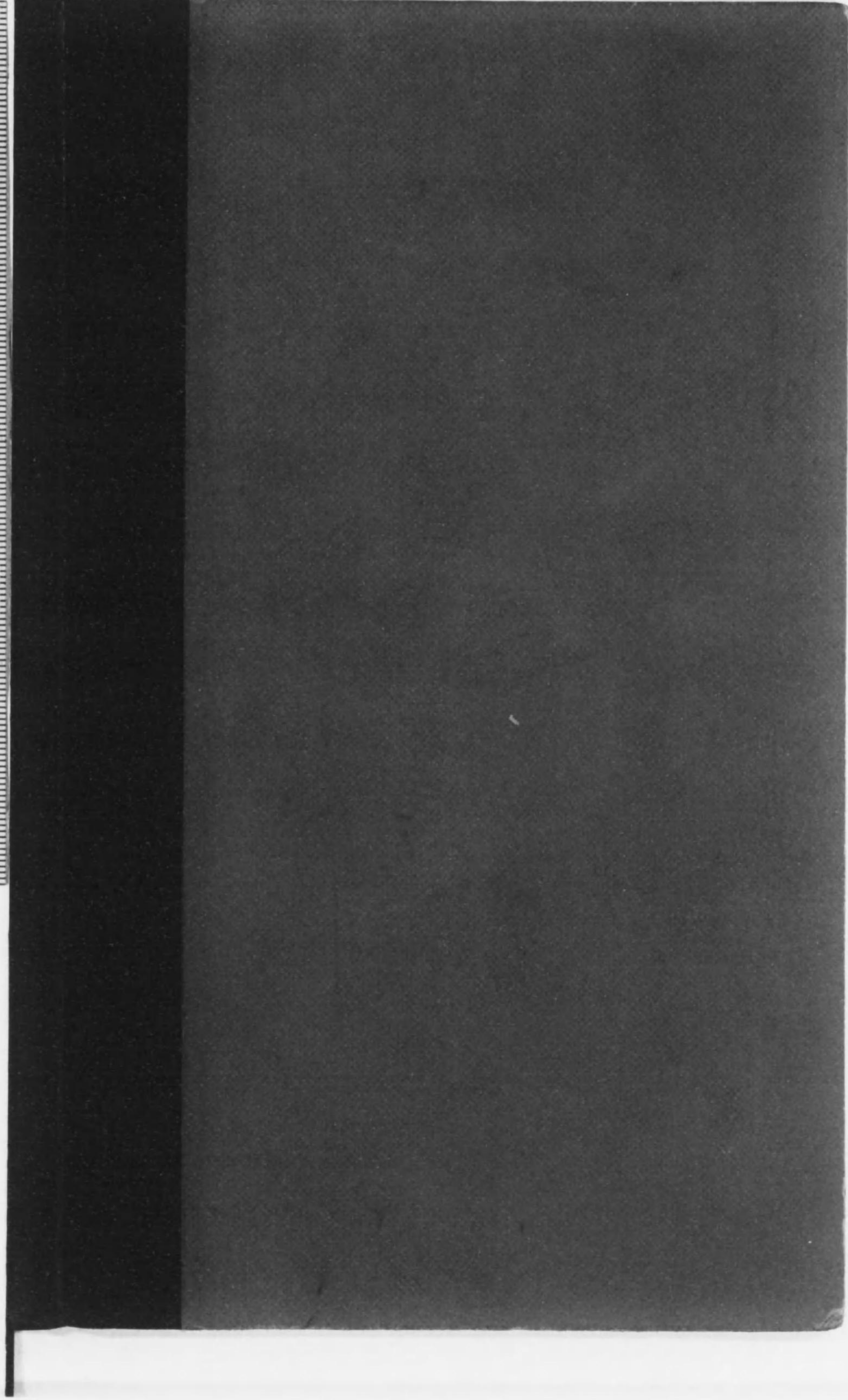
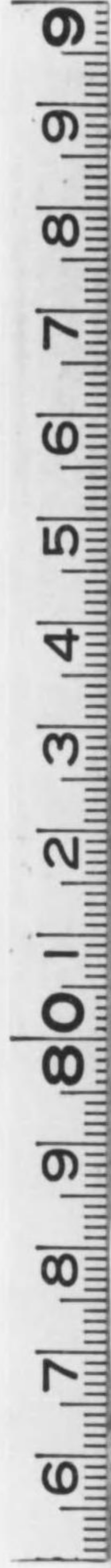


始



R 178.8

TE 37

R178.8  
TE 37

17-805  
天



天理圖書館叢書第一輯

天  
理  
教  
書  
目  
誌

天理教道友社發行



## 緒 言

由來天理教は「かなの教」として、主として「お話し」による布教方法を取り、且書物を學問と考へて之を遠ざける傾向にあつたため文書傳道の研究はあまり發達しても居らず、従つて文獻として見るべきものも多くはない。

然し乍ら、教祖様は親しく『みかぐらうた』『おふでさき』を筆録された如くに、後人の考へる如く、文書傳道を目して學問とされたものではない唯其公刊がおくれた事に就ては多少の論點はあるが、『おさしづ』にも『いかんといへば、はいと云へ。ならんと云へば、はいと云へ。どんな事も見てるほどに々々』と教へられてゐる如く、明治廿一年教會生活開始前後より久しきに亘つて、はいはいと逼り上つて來た事等を考へ合せば、自と公刊遲延の意味も會得し得る處である。又教團史四十餘年に於ても當初は罵詈攻撃書のみ多く、布教書又は教義書の少い時代より、現在の如く『おふでさき』『おさしづ』の公刊を見らるに至るまでには、教團の種々雑多の足跡が、あまり多くもない文獻の歴史によつて云ふことが出来るのである。

今回圖書館が、文書傳道の尖端を切つて、文書でのあらき棟梁として活躍せんとする時に、先づ過去の文獻を清算する意味に於て、天理教關係の書目誌を編纂して、天理圖書館叢書第一輯を發行するに到つた。その内容に就ては、完璧を期し難く、漏れた書物も數多いとは思ふが、之等を漸次補正して完成に導くは、天理圖書館の一使命であると信ずる。

天理圖書館落成の記念として此叢書第一輯を頒つに當り、編纂贊助者の勞を犒ひ、書目誌完成の日の一日も早く來らんことを希望する。

昭和五年十月十二日

中山正善

## 凡 例

本書目は次の記録四種を載せてゐる。

- 1、 歴 年 體 目 録
- 2、 辭 書 體 索 引
- 3、 教内雜誌歴年體目録
- 4、 件 名 表

### 1、 歴 年 體 目 録

本教内發行の著書を初版發行の年月日順に記載し之に番號、書名、(巻)著書名、書型、頁數、初版發行月日…最新版發行年月日と版數、發行地、發行所等を列記し其の内容解説と付解者の名を添へ、其の他不明或は不必要のものはこれを省略した。

番號 は逐次冊數を現はすと同時に辭書體索引との参照記號である。

書名 の中割註は括弧を付け字體と位置とを換へて表はし 單に定冠詞程の意味をもつ「天理教」の文字は適宜割註に準じて示すことがある。卷數、編數の必要なものは付記した。

著者名 は本名を原則としたが本名が不明なもの或は特に必要な場合には雅號を採つた、「著」の文字は省き「編」「述」「譯」等は之をあらはしてある。

書型 はほぼ洋裝、和裝、折、枚、横と 四六倍判、菊判、四六判、袖珍 とに分け兩者を組合せて示す。

頁數 は口繪、序文、本文、付録等原著書の區分に従つて項を分け之を『十』記號で全頁にまとめた、二卷以上の時は各卷の頁數を列記し「。」で割りを付けてある。

年月日 元號と年數は見出しにて示し初版は月、日を最新版は元號、年、月、日を記載した、明 は明治、大 は大正、昭 は昭和の略であつて、年、月、日、數は排列と字體の上で區別する。例へば大正十三年の次の書

天理教とは如何なる宗教か 堀越儀郎 洋四六 2+96頁 VII.8…大15.I(40版)  
地場思潮社…(44頁 606)

は同年七月八日に初版發行、大正十五年一月に第四十六版を出したことを示す。

初版發の年月日不明の場合は調査の範圍内で最も古い版のそれに據り又特殊の事情から察知し得たものもそれぞれ其の旨を示してある。

發行所(者) が著者と同一の場合は『同人』『同社』等で表はす。

### 2、 辭 書 體 (書名、著者名、件名) 索引。

著書一部毎に就て各々書名と著書名を採り更に件名を付し、全書目から得た此の三項全部を合した上 ABC 順に排列し各項に歴年體書目の圖書番號を付して種々の點から容易に迅速に檢索し得るやうにした。

書名 は本日録に準じて示され之に其の著者名と圖書番號とを加へる、若し同一書名がつやくやうな時には著者名の ABC 順によつて前後を定めた。

著者名 には凡て「\*」印が付してあり、その著者の著書は凡て一所に集まつてゐる書名の排列は ABC 順とし稀に同一書名のある場合はその發行年月順に従つて前後を定めた。

件名 について。集録した文献の各がもつ内容をしらべ相似た内容をもつ書を同一の件名のもとにあつめその書名をかゝり索引番號を付した排列は書名の ABC 順である。

解説者略字は、(f)深谷、(y)八尾、(t)武村、(u)上田、(i)井上、(k)栗田、(s)七里  
(本)本島圖書館、(發)發徳文庫、(三)三才文庫、(高)高安文庫。

### 3、 教内雜誌歴年體目録

教内の定期刊行物を其の創刊年月日順に列べ、發行所、創刊年、月、日、を示し更に 刊行の變遷を必要に應じて付記した。

### 4、 件 名 表

本教の文献もその内容に就て見るときおのづから幾つかの部門に分かれ又一の書をとつて見る時これをどれかの部門にぞくざせることができるこの部門に内容を示す一般的な題目を付して件名とする、此の等多くの件名を便宜上系統的にまとめた表を付しておいた、所要内容から任意の著書を檢索する便としたものである。元よりこの表と分類は未だ完全なものでなく漸時天理教著作書の發達に伴つて完成され行くものである。

歷年體目錄

天理教書目錄目次

緒言	一
凡例	二
歷年體目錄	一
辭書體索引	七
教內雜誌歷年體目錄	二九
件名表	三三



歷年體目錄

明治十八年

- 1 改正讞告 神道天理教會創立事務所  
(編) 洋.四六 6頁 VII 東京 同事務所

明治十九年

- 2 神道觀視 神道本局 (編) 和.菊 18頁  
I 東京 神道本局

明治二十一年

- 3 御かぐら歌 中山美伎 和.半紙判 22枚  
XLI...大5.XI ちば 天理教會本部

明治二十三年

- 4 眞理之裁判 兼子道仙 洋.四六 74頁  
XIII 兵庫 慈無量社  
天理教をすでに二〇年代に於て批評排撃せるもの  
三項よりなる

- 一、聽書 天理教々體に就て語らしめたる教理、教祖、歴史を評述し批評の基とする
- 二、「天理教會は眞理の大敵社會の害惡たる」ことを告白せしめる問答を収むる
- 三、裁判 本教が社會に害惡を流し、神聖傳三教を破壞せる事實をあひ七ヶ條に涉つて痛論し、眞正哲學、無神論及辯護人の論を參照して「眞理の裁判」としてゐる。(8)

明治二十六年

- 5 天論王辨妄 羽根田文明 洋.四六 66頁 VI.5. 京都 西村宏藏館
- 6 天理教信するに足らず 足立普明 洋.四六 28頁 VIII.5. 東京,如是社
- 7 辨斥天理教(實際討論) 三浦兼助 洋.四六 60頁 IX.5 名古屋 同人
- 8 説教道の話 (教神調談) 堀邊昌雄 和.四六 50頁 IX.27...明.18VIII (辰) ちば 木原保吉

明治二十七年

- 9 雅樂集風笠譜 (改訂) 東儀文禮 和.横 III.15...大.14.IX 東京 東儀樂器店
- 10 天理教樹下問答 筒川すえ子 和.四六 15頁 X.15 滋賀 益智新友社

著者が出て居て書下に応ふた際傍にて二人の著者が天理に就て問答せるを筆記して書いたもの御歌祖、神代等四十餘項目の間に對して簡單に答へてある。(1)

- 11 天理歌歌 辻藤次(著)・洋・袖珍 12頁 XI.1. 滋賀 益智新友社

明治二十八年

- 12 歌祖遺訓いろは文庫 筒川すゑ子 和・袖珍 11頁 VI.16. 滋賀 益智新友社  
神言中より一句づゝ選抄しいろは順にならべて注釈を施せるもの。(1)
- 13 訓蒙天理二夕話 筒川はる子 和・袖珍 24頁 VIII.7 滋賀 益智新友社  
天理歌の特色を略述し本教に關する研究を著せるものである。(y)
- 14 佛教最近の敵(一名天理教の害毒) 月輪望天 洋・四六 100頁 VIII.8...XI (2版) 日東館書林  
一佛教徒が本教に虚構的攻撃を試みたるもの。(1)
- 15 國民天理の光 辻藤次 洋・四六 32頁 IX.30 滋賀 益智新友社  
神道に關係する最多き書である。(y)
- 16 三條大教憲義解(尊神家必携) 石川歌道人 和・四六 21頁 X.4 ちば 高井書店  
敬神愛國の旨をたいすべきこと  
天理人道を明にすべきこと  
皇上を奉養し朝旨を遵守せしむべきこと。
- 17 天理人道 岩永菊治郎 和・袖珍 16頁 XI.25 京都 同者
- 18 訓蒙天理三夕話 筒川すゑ子 和・四六

23枚 XI 滋賀 益智新友社  
天理人道を鑑として色々な訓話が載せてある。(y)

- 19 大教宣布詔書義解全 的場金之助 和・四六 49頁 XII.14 ちば 今村松聲堂
- 20 天理のおしえ種 藤橋 伊藤喜代松 高須鹿蔵(共編) 洋・四六 15頁 XII. 三重 編者  
一粒の米も農夫耕手の辛苦願望の汗を以て之を作出せし事を知れば容易に之を食するに忍びざるべし、今天理の話を俗解し婦女兒童に知らしめんとす、世間此の書に依つて天理を知り善種を爲いて好果を獲る者多からん(序より)七五調の歌にて記されてある。(s)
- 21 天理大和歌の講義 筒川すゑ子 洋・四六 21頁 XII 滋賀 益智新友社  
漢詩にて歌祖御一代を讃せるもの之に論義を平易にはごこなす。(s)
- 22 神道天理教の光 神土鴨漕 和・袖珍 6+15頁 II.20 京都 京水書院  
天理教を極簡単に説明し萬人守るべき教であることを述べてある。(y)

明治二十九年

- 23 神道天理教哲學 神土鴨漕 洋・袖珍 11頁 II.20 京都 京水書院  
哲學の定義、神の存在、天地萬物の創造、天理教は哲學に合せり。  
神學と哲學、哲學と諸宗教の關係、諸宗教哲學的の等級、神道金言の八項を載す。(k)
- 24 みかぐら歌の話(天下一品) 筒川すゑ子(紅葉散士) 和・四六 30頁 II.22 滋賀 益智新友社
- 25 天理教開祖の傳記 丸橋吉三郎 洋・四六 10頁 III.2 奈良 同人

神職の家に生れたる著者が日頃研究する皇典舊籍等により本教の源流を探り以て本教が神道と相符合するや否やを買したるもの。一、教理の起因 二、一生の經歷 三、開祖の確信。(1)

- 26 神道歌祖軌範 柴崎翠山 和・四六 61頁 V.12 ちば 今村熊太郎  
天理教の教旨及目的、天理教と稱する所以、天理教の祭神及教祖、有神論、辨證すること勿れ、翻譯すること勿れ、帝王を尊敬すべし、國家を愛すべし、人倫を重べし、國法を遵守すべし、正義の首に神宿る恩を知らざる者は禽獸に劣る、陰徳を施すべし、八つの埃を去るべし の十四章に就て説明してある。(k)
- 27 天理教會秘密談 丸都虎作 洋・四六 30頁 V.15 東京 國母社  
推定的に散々本教を非難した本である。(1)
- 28 訓蒙天理四夕話 筒川すゑ子 和・四六 25枚 V.23 滋賀 益智新友社  
神道教祖に參考となるべき訓話或は教訓 雜定規定等が載せてある。(y)
- 29 教祖のをしへ(神道天理) 小笠原常樹 洋・四六 12頁 V.28 松坂 神田永吉  
七五調の新體詩であつて、八埃について説明してある。(三)
- 30 天理教會の害毒 南波天誼 洋・四六 98頁 VI.18 東京 陽濤館  
本教に對し事實無根の中傷を試みたるもの。(1)
- 31 天理教處分論 池田真吉 洋・菊 52頁 XI 東京 護法書院  
勝手より本教を攻撃し陥れんとするもの。(1)
- 32 天理公論第一編 從容堂主人 洋・袖珍 60頁 XI.20 奈良 尾坂喜久治  
本教に對する反對者の誤謬を詳し本教の眞意を説明せる書物である。(y)

明治三十年

- 33 天理いろは歌 木下松太郎 洋・四六

24頁 XI ちば 同者  
五七五七七調の新體詩であつて、天理教々理を容易なる歌で説いてある。(三)

- 34 神道天理教會各教會所在地明細簿 今村松聲堂(編) 洋・四六 101頁 XI 19(再版の年月日) ちば 中田書店

明治三十一年

- 35 心の行へ教草(尊神宗廟) 山下惠一 和・四六 98頁 II.15 ちば 木下松太郎  
眞實の敬神、正直至善、敬神愛國、天理人道と五倫五常、皇土の大恩と報恩の道、等の項目に就て種々の人物が理窟をこね廻すに對し教祖が一々詩々を説き聞かす風に當いたもの。(1)
- 36 神學遺話(敬神職必携勸善訓蒙) 山下惠一 和・四六 61頁 II ちば 今村熊太郎  
日本が所謂文明國としての地位に進みつゝある三十年代天理教がこの皇國の成立と歴史の意義とに最も合致した新興宗教であるといふ自覺を持ちながら其の教理の大綱を説けるもの、内容目次、天理教の教旨及び目的、天理教と稱する所以、天理教の祭神及教祖、有神論等 十二章。(1)
- 37 天理教會各教會所在地人名錄 今村熊太郎(編) 和・横 110頁 VII.20...明 35.IX.1(訂正四版) ちば 木下書店
- 38 神道天理教教祖話參考書 名波數衛 洋・四六 45頁 XI.25 ちば 木下松太郎  
十柱の神様の御守護、八埃の脱き分け 其他教話が載せられてある。(y)

明治三十二年

- 39 天理教の本領 山中重太郎 洋・袖珍



30頁 IX.1 大阪 山本文友堂

本教に対する攻撃が明治二三十年代に特に盛んであったが、此の間にあつて本教の本領を闡明し以て本教の卓越せる所以を説いたもの。(t)

40 天理教の本質 山中重太郎 洋袖珍

20頁 IX.1 大阪 山本文友堂

天理教は迷信に非ず、淫祠邪教に非ずといふ事を主として東西の先哲の言を引用し説明したものである。(k)

41 天理教能天の光 山中重太郎 洋四六

45頁 X.1 ちば 木下松太郎

一、天地の事、二、人の事、三、國の事、四、社會の事、五、眞善美の事、六、世界列國事情の事、七、大日本帝國状態の事、八、我國民行末の事、九、天理教の事、十、天理教々祖高德の事。

42 御神樂歌解辯 山中重太郎 洋四六

83頁 X.1 ちば 木下書店

御歌に一々簡単な解釋を施したものの。(t)

43 天理教會の内幕 橋本清 洋四六 1

十123頁 XI.13 奈良 警世社

教會本部に反感を語した著者が泥海古記をはじめ其の他の教義を否定し自らの意見を述べたもの。(y)

44 天理教道話 山中重太郎 洋四六

157頁 XII.1 ちば 木下書店

老へる父を養ふ母に不幸の罪のさしけ 記念として集めた教話集で、道理、教儀、天地と人、神と罪等十四章を収む。(c)

45 御神樂歌講義 和美漢半紙(寫本) 二

冊 104枚

明治三十三年

46 天理教御歌祖神一代記 山中重太郎

和四六 243頁 II.5 大阪 多田耕治郎 賀來申太郎

御誕生より御歸幽定の事跡を二十章に合せて説明

したものである。(k)

47 天理教根本實義 (破邪顯正) 山中重太郎

和四六 71枚 IX.30 ちば 木下眞道堂

明治三十二年に於て天理教が一般世人より迷信た邪教たとして 斥倒されてゐた時に 其の誤解なる事を證明し、天理教の根本實義は 斯く悟るべきことを指示したものである。(k)

48 天理教校規則 天理教校(單) 洋四六

ちば 同校

明治三十四年

49 天理教々務取締規則 和菊 12頁 VI.

12 (序文年月による)。

50 布教の柱石 (天理教問答) 武川福藏 洋

四六 44頁 VII.1 大阪 同者

天理教のアウトラインを 簡明なる問答式に書いたもの。(k)

51 教師必携天理教祝詞文集 武田交盛館

(編) 和菊 VIII.15 大阪 同館

52 天理教討論演説 (神道傳佛) … (一名布教

家の玉手箱 眞木天涯 洋四六 115頁

VIII.15 交盛館

本教の布教が愈々社會的にならうとする時 傳佛二教又は一般人の 攻撃に對して 教理の眞實を説かんとする意圖のものにかかれてある。(s)

53 神徳記 仲谷長一郎(編) 洋菊 119頁

X.15 奈良 木原文進堂

神、教祖、密教の教、信仰の要の四款により天理教々理の大要を示し 人類にその一部が 採擷され又、畫教 教理の基である、神徳の廣大なるを述ぶ。

(s)

54 天理教々育唱歌 山中竹史 洋袖珍

8頁 XI.15 ちば 増野正兵衛

55 天理教祝詞全集 松村吉太郎 増野正兵

衛(合編) 和菊 49枚 XII.7 ちば 同者

明治三十五年

56 天理教御開祖實之御話 木下松太郎

洋四六 72頁 III.1…明44.1(3版)

ちば 木下眞道堂

天理教の盛大になるに付て 一般世人が其の 文獻を敬するのに 未だ完全なるものが 出来てゐない筈にかんがみ 教祖の神聖りから 御苦勞の遺すからを書いたもの。(K)

57 教會所取繕修規 洋菊 (頁 VII.59

(序文の年月による)

58 御神樂歌釋義 名波教衛 和四六 97

頁 XI.23…明57 (再版) ちば 木下松太郎

59 五つの教最新道の語 東芳松 洋四六

60頁 XI.23 ちば 木下松太郎

主として五倫の道を説いたもの。(y)

明治三十六年

60 御道の御話 (布教者必携) 上巻 井上精

軒(編) 洋四六 70頁 1.30…明45.VI

ちば 木下書店

未信者への簡単な教話集である。(t)

61 宗教論 (一名天理教の研究) 中西牛郎 洋

菊 88頁 II.14…明42.1 (再版) ちば

木下眞道堂

天理教色々な宗教史的な 立場から見た所を 八章に亘りて説き 佛敎、基督敎、神道との關係を否定し 新世界宗教たる事を明にす。(s)

62 天龍講基道會々則 洋四六 148頁 V

63 天理教創世紀教理淵源神代古記 神代

古記出版部(編) 洋四六 40頁 VI.25

同部

著者の言に依れば本書は神様直屬の書を筆録せるもので人間の手を少しも加へてゐない云ふ、神代古記と稱せる原本の出所は不明であるが 本書は泥海古記に關するもので、文字通りに神言を直録したるものとは言へない。(y)

64 天理教御開祖御實傳 (附本席 飯塚伊藏先生

時傳) 晩翠生(編) 和菊 92頁 VII.

15…明44.V (訂正10版) 大阪 武田福藏

(後ちば、木下眞道堂)

御開祖出世の前後より御昇天に至る間の 御事蹟を修辭法に依て 書き表されたものである。本席時傳には主として御本席の人格を述べてある。(k)

65 天理教々典 中山新治郎(編) 和四六

倍 26枚 VII.18…明39.XII (4版) ち

ば 同者

教典給章を書き貫ぬ、一々に就いて各註釋を加へたものである。(k)

66 天理唱歌 中山新治郎(編) 和菊 12

枚 VIII.10 ちば 天理教會本部

67 天理唱歌 中山新治郎(編) 洋袖珍

21頁 VIII.10…大15.VI (12版)

68 天理教顯眞論 中西牛郎 和菊 78頁

XII.13 ちば 木下眞道堂

第一章に於て天理教と國家の關係に就て 第二章に於て天理教と文明との關係に就て論じ 耶佛二教と比較して本教の特色を明示してゐる。(y)

明治三十七年

69 天理教講習會學則一折 IV.10

70 戦時に於ける帝國臣民の心得書 中山

新治郎 洋菊 19頁 VIII 同者  
日露宣戦布告の詔勅の御趣旨を解説し之に應ずるべき國民の聖務を述べられたもの。(s)

- 71 天理教會各教會所在地人名錄 木下松太郎(編) 洋菊 228頁 XI.25 ちば 木下書店

明治三十八年

- 72 なぐさめぐさ 篠森乘人(編) 洋菊 40頁 VI.10 ちば 道友社  
天理教に関する説話、評話、小説、文苑等が載せてある。此の書名は日露戦争に従軍しつゝある軍人宛の慰問状が巻頭に掲げられてあるからである。(y)

- 73 天理歌々典 中山新治郎(編) 和菊 34頁 IX(改訂) ちば 同者

明治三十九年

- 74 神の御國歌(天理教御歌) 中山新次郎(編) 折 II(道の友誌上發表年月による) ちば 同者

- 75 朝夕参拜祝詞 折 III.1...昭3.II(7版) ちば 道友社

- 76 元奈良油勝改心の緒並に御依頼状 直轄天輪教會本部(編) 洋菊 10頁 VI

- 77 神道天理教會所在地人名錄 木下松太郎 洋菊 228頁 XI.25 ちば 木下書店

- 78 御神樂歌述義(全) 中山新治郎 洋菊 四六倍 174頁 XII.12 ちば 同者  
極めて詳細精密なる註譯が施してある。(t)

- 79 御道の御話(布教者手摺) 中巻 井上精軒 洋菊 74頁 X.5 ちば 木下松太郎  
未信者に話をする場合を留意して書いたもので中巻は天理といふもの 及大神様のお力に付て書いてある。(k)

明治四十年

- 80 天理教歌集 石井清 洋菊 60頁 V.5 東京 同人  
第一章神、第二章人、第三章信心、第四章御恩。(s)

- 81 天理教御本席飯降伊藏先生御傳歌 中尾長作 VI.15 櫻井 同人  
『五百萬のうよのそのしんと、目の如くに月の上に、父の如くに母の上に、あがめ ろうとむ御本席』これは御願の一句である。一生玉の言行を歌に編んだもの。(三)

明治四十一年

- 82 天理教歌典よみかた 中山新治郎 和菊 35頁 1.26 ちば 同者  
給章に振假名を附し且註釋を加へたるもの。(k)

- 83 余が見たる天理教(一名天理教大體觀) 宇田川文海 洋菊 99頁 II.25 ちば 木下松太郎  
天理教、天理大神、天理教祖、御神樂歌、天理教

教典の五章に分けて天理教の概觀を著者の親しい觀察の下に述べてある。(s)

- 84 布教の友 木下松太郎(編) 洋菊 98頁 II.27...大元X(五版) ちば 木下眞進堂  
心の立替外九項をお話風に判りやすく説明したものの。(兼)

- 85 天理教校學則 天理教校(編) 洋菊 3頁 II(道の友誌上に發表した年月による) ちば 同校

- 86 私立天理中學校學則 天理中學校(編) 洋菊 17頁 II-1

- 87 天理教教規及規定 天理教教會本部(編) 洋菊 XII.1...昭2.XI(改訂) ちば 同本部

- 88 天理教教典 中山新治郎 和菊 四六倍 14頁 XII.15 ちば 同者  
明42.VIIIに2版が同型にて出版され明44.VIII和菊版が出版され、昭5.V同型の17版が出版され又大4.IIIには洋菊の3版が出版され大15.VIIに同型の十六版が出版されてゐる。發行者は始め中山新治郎で次に山澤眞造現在は中山正善である。

明治四十二年

- 89 天理教側面觀 渡邊俊亭 洋菊 218頁 II.1 大阪 育文館

- 一布教者のお論しに由つて醫者が悲を投じたヒステリー性の疾患が全快したのを見て著者は天理教に關して非常に興味を感じた、本書は未信者なる著者がなした御教祖の御經歷 天理教の教義 教典みかたら歌等に関する研究を纏めたものである。(y)

- 90 天理教讃歌 出水彌太郎 洋菊 21頁 II.9 東京 タイムス社  
天理教を讃めたべた歌集、一國の基、二日の

元の地盤、三、心の珠玉、四、心の田地、五、ふしん、六、靈驗、七、三才兒の心、八、慈の蛇、九、ひのきしん、十、末廣の輪が集めてある。(t)

- 91 天理教 出水彌太郎 洋菊 四六倍 372頁 II.10 東京 丸利印刷合資會社  
天理教の如何なるものなるかを廣く世間に紹介せんが爲に種々の教義に就つて詳説したものであり尙附録として教祖時傳天理教典等を附加してゐる。(y)

- 92 天理教獨立史 森田五一 45頁 洋菊 六六45頁 II.10 ちば 木下眞進堂  
天理教發祥の概観、教祖の生誕、教祖の少女時代、教祖の家妻時代、神人交通の概観、教道弘布、時世の變遷、教祖の死去、天理教獨立認可、教義綱要の整理の十項目に分けて執筆したものである。(k)

- 93 御神樂歌 萩原勝次郎 洋菊 四六倍 30頁 II.12 東京 三縁社  
簡單なる註が附いてゐる。(k)

- 94 宗教早分り 尾水道人 洋菊 四六 16頁 II.12 ちば 木下書店  
佛、基、回の三教及び其の各分派をあげ其の缺點を列挙し之に對して本教を切實したものである。(s)

- 95 天理教の三大真理(一名天理教祖の人生觀) 宇田川文海 洋菊 131頁 II.15 ちば 木下眞進堂  
著者の講演にかゝる、夫經の和合、互ひ立て合ひ助け合ひ、ひのきしんの三篇を取らぬ。(t)

- 96 天理教獨立史(附天理教教祖の一代記) 宮崎三郎 洋菊 130頁 II.15 大阪 同志協會  
教祖の誕生より神感應の概略を記載したものの。(k)

- 97 實踐倫理綱要 道友社(編) 洋菊 65頁 VI.13...明42. IX.8 ちば 道友社

- 98 宗教法令摘要 道友社 洋菊 74頁 VIII.8 ちば 道友社  
(明44.VIII.5二版が、大1.X.20改訂三版大7.II.20改訂増補32頁の四版が出版され、大11.II.25共七版が大13.IX.(改訂増補四版148頁八版が、大14.II.22共九版が、大15.IX.15改訂増補同型171頁+29頁なる第十版が出版されてゐる)。

- (y)
- 99 祝詞作文便覧(全)道友社(編) 洋菊 548頁 VIII.18. 東京 皇典講究所出版部  
作法大意に次いで年中恒例官祭の祝詞、年中恒例公祭私祭の祝詞、宅神祭以下諸小祭及文武商工諸神祭祝詞、祭事中の諸行事祝詞等本教に必要な祝詞類大に涉つて 語例作例をあけてある。(y)
- 100 成申詔書衍義 道友社(編) 洋菊 26頁 IX.1 ちば 同社
- 101 御教祖御謚言 和、四六 182枚 X.  
御謚言第一編より第十七號迄を取めてある。(y)
- 102 天理教の特色 上下 2巻 關時發 洋菊 上 88頁 下 82頁 XII.5. ちば 木下眞進堂  
儒佛耶三教と比較対照し本教の違かに三教に優つて完全せる事を論じてゐる。家族的の教理、階級的の教理、溫和的の教理、階級的の教理の四章を取めてある。(y)
- 103 天理教々各教會所在地人名録 木下松太郎(編) 洋菊 26頁 XII.10 ちば 木下眞進堂
- 104 教育勅語衍義 道友社 洋菊 35頁 XII.15 ちば 道友社

明治四十三年

- 105 天理教勤め歌 勤善いろは歌(合本) 今田善逸 洋菊 10頁 1.3 ちば 木下眞進堂
- 106 祝祭日講話 道友社(編) 洋菊 77頁 1.25...大2.XII.1版 ちば 道友社  
年中恒例なる官の大祭 祝日の御由来を講話したものの 四方拜、元始祭、孝明天皇祭、新年祭、重幣、紀

- 元節、春季皇靈祭、神武天皇祭、大祓、神嘗祭、天長節、新嘗祭。(k)
- 107 ひのきしん唱歌(世界無比) 今田善逸 和、袖珍 16頁 II.26 ちば 木下眞進堂  
「ひのきしん」をたへた七五調の歌。(k)
- 108 教話の榮 出水彌太郎 洋、袖珍 200頁 VI.7 東京 神徳社  
本教布教師が 教壇に立つ時の參考に資する爲 編纂されたもので神明訓誨の理、神の慈悲、優しき教、日本の創め、忠君と愛國、親の任務、子の義務、夫婦の和合、献身的の生活、現世と極樂、神と疾病の類目について説いてある。(y)
- 109 十柱神及八埃 (内務省御用濟) 今田善逸 和、袖珍 16頁 VII.25 ちば 木下眞進堂  
十柱の神様の御守護及 八埃について 簡単に述べてある。(k)
- 110 病氣しらず 今田善逸 和、袖珍 15頁 IX.24 奈良 同者  
八つの埃を踏み込んだいろは歌。(k)
- 111 養徳院いろは歌(おみやげ本) 今田善逸 和、袖珍 16頁 IX.24 奈良 同者  
養徳院生徒の生活をいろは歌に詠んでもの。(k)
- 112 脚本天理教祖傳 武田鶴子 洋、袖珍 28頁 IX.25 大阪 同者  
序章 神心の乳(照之丞救済の場合)、第二節の上 毒計(オカノの野計の場面)、第二節の下 神隠り(市兵衛新巻の場面)、第三節の上 迫害(西園の反對の場面)、第三節の下 さん底生活(月下横縁の場面)、第四節 救済事業(壺子娘其の値の不思議な助けの場面)、結幕 歸魂の五聖體にした教祖の脚本である。(k)
- 113 教會名稱錄 道友社(編) 洋、袖珍 420+36+5頁 X.23 ちば 同社
- 114 天理教の最高眞理 關子軒 和、四六 91頁 XII.10 ちば 木下眞進堂  
教祖の天啓、宇宙觀、人生觀、未來觀及教理の總説の項目に分け 教祖のお言葉をもととして、東西の先哲の言を引用してこの各項目を説明するもの。

- (k)
  - 115 教祖様一代記いろは歌 今田善逸 和、袖珍 14頁 XII.20 ちば 同者  
御教祖の歴史をいろは歌に詠み込んだもの。(k)
  - 116 教祖一代記いろは順 今田善逸 洋、四六 14頁 XII.20 ちば 木下眞進堂  
御教祖の一代の御事蹟をいろは順によみ込んだもの。(k)
- 明治四十四年
- 117 天理教校別科第六期生住所人名録 教校 洋、四六 25頁 II. ちば 天理教校
  - 118 天理教祭儀式 道友社 洋、菊 62頁 III.15...大 11.11 (4版) ちば 同社  
禮典に関する書物である。
  - 119 神代史要(前訂) 道友社 洋、菊 48+6頁 III.26...大7.II. (5版) ちば 同社  
一、天地剖判 二、国土生成 三、諸神出生 四、諸國出入 五、三神分治 六、素戔嗚尊 七、物部志徳 八、国土經營 九、諸國議定 十、天孫降臨 十一、天孫依弘の十、章によつて神代史を説明したものの。(k)
  - 120 嗚呼教祖(天理教叢書第一) 宇田川文海 洋、菊 24頁+20頁 IV.25...大3.IV (3版) ちば 木下眞進堂  
氏が十ヶ年間にし 筆にしたものを訂正 増補して一編に纏めたもので二十餘篇の教祖の高徳を讃美した論説講演を載せてある。(y)
  - 121 祝詞集 大川眞澄 和、四六倍 114頁 IV.30 ちば 木下眞進堂
  - 122 天理教道しるべ 村田寅太郎 和、菊 165頁 IV- (序文の年月による) ...大2.X (2版) ちば 木下眞進堂  
上篇に於ては専ら 本教に對する世人の誤解(財産露瀆、醫藥全廢、學問不要等)を解かんとし下篇に於ては 神、供物、ひのきしん、病の元等本教の根

明治四十五年

- 本教理の期間につめてある。(k)
  - 123 人心洗濯水(最小輕便、參拜土産) 今田善逸 和、袖珍 18頁 VI.17 奈良 同者  
人間の罪に見えぬ心の埃 垢を洗ひ落すには 天理教といふ 御聖水を用ふればよいとの考へで 天理教を水に譬へていろは歌に作つた小冊子。(k)
  - 124 天理結講話(内務省御用濟) 今田善逸 和、袖珍 16頁 VI.17 ちば 木下眞進堂
  - 125 天理教教典(翻譯) 中山新治郎(編) 洋、菊 14頁 VIII.15
  - 126 History, Doctrine and practice of Tenrikyo 赤木徳之助 洋、四六 56頁 IX- 大阪 天理教船場大教會  
船場大教會が 英京倫敦布教を試みた時の 宣傳書内容(1)Founder(教祖)、(2)Church(教會)、(3)God(神)、(4)Man(人)、(5)Salvation(救済)、(6)Faith(信仰)、(7)Work(日の寄進)、(8)Ceremony(式典)。
  - 127 天理教別科第七期生住所人名録 天理教校 洋、四六 42頁 IX ちば 同校
  - 128 祝詞集附葬儀 大川眞澄 和、菊 52頁 X.10 ちば 木下眞進堂
- 明治四十五年
- 129 天理教々典演義(宣教參考) 關時發 武谷登信(共著) 洋、菊 551頁 1.30... 昭2.II. (12版) 大阪 田中俊賢(後ちば 木下眞進堂)  
教典十章の各章に亘つて、四書五經、國歌、詩歌聖記、及び英傑の事蹟及逸事を引用参照し、一般の人に理解し易きように努めてある。(k)
  - 130 天理教御教祖眞實傳 岑水 洋、菊 292頁 1.30...大2.I (2版) 大阪 田仲文庫堂  
教祖御出世より 天理教獨立迄に至る間の主に教祖

の御生涯中に起つた有名な事實を三十三章に亘つて書いたもの。(k)

- 131 天理教校別科第八期生任所人名録 天理教校(編) 洋四六 41頁 II. ちば 同校
- 132 毎日一度は讀むべし 今田善逸 和袖珍 19頁 V.13 ちば 木下眞進堂 讀んでも争ふ處世訓を集めたものである。(y)
- 133 天理教歌詞集 道友社編 洋菊 92+50頁 VI.5...昭5.III(改訂15版) ちば 同社
- 134 天理教々典釋義 道友社(編) 洋菊 270頁 VI.15...大.14.V(4版) ちば 同社
- 135 三教合同と天理教 道友社編 洋菊 59頁 VI.25...大.2.VIII(再版) ちば 同社 明治四十五年、神道、佛敎、基督教(神佛耶)三教代表者が内務省に召集された際の模様を前中に記し、後半には之に對する本教の態度を述べたものである。(f)
- 136 天理教祖、みかげの命、御蔭のあめ (謠曲) 今永英足 和菊 14枚+13枚+11枚 VIII.5 ちば 道友社
- 137 つちもち (文集) 奥谷文智 洋菊 248頁 VII.10 ちば 木下眞進堂 著者が明治四十年から同四十五年頃までに、ひのきしんの筆によりて成立せる文をまとめたもので論文、書畫、感想、小説等が種々集められてある。(y)
- 138 天理教の沿革 奥谷文智 稿本 45枚 元天理教發達小史と題し一、起源 二、發達 三、近況の三章に分ち、本教創立の經過を述べたもので初代管長公及び廣池博士の校閲及び未出がある。(費)

大正元年

- 139 ふしん 堺分教會事務所員(編) 洋四

六 14頁 IX-- 大阪 堺分教會 平野分教會長の本部製神樂舞臺に就ての悟りを述べたものである。(s)

- 140 天理教校別科第九期生任所人名録 天理教校(編) 洋四六 46頁 IX. ちば 同校
- 141 講師講實集(宣教員講習會) 道友社(編) 洋菊 240頁 X.5 ちば 同社 大正元年八月に開かれた宣教員講習會に於て講師の講演せられたものを記載してある。内容、建國の由來、明治天皇の御製、我國に於ける政治と宗教の關係、明治維新後我が國々運發展の大勢、天理教の沿革、御神樂歌、ひのきしん等に就いて述べられてある。(k)
- 142 天理教祖眞實傳(前編) 森露革 洋菊 1+201頁 X.5 大阪 柏原政治郎 御教祖が天理教を傳道し初められた當初の事を講談にしたもの。(k)
- 143 病のもととは心から 奥谷文智 洋袖珍 19頁 X.25...大.6.X(14版) 大阪 宗徳書院
- 144 天理教講師講演集 道友社(編) 洋菊 430頁 X.25 ちば 同社 大正元年八月天理教校に於て講習會を開催せられた際、講習生の提出したる講演草案より宣教上の參考となるべきものを撰集したものである。(f)
- 145 敬神章(通俗天理教典拾章の語第一) 奥谷文智 洋四六 38頁 X.25 ちば 木下松太郎 教典の最初に出て居る敬神の章に就いて極く解り易く講述されたものである。(y)
- 146 天理道しるべ 奥谷文智 洋四六 14頁 X.25...大.2.X(10版) 大阪 天理同志會
- 147 達及書式 天理教教廳(編) 和菊 66頁 X. ちば 同校 目次 一、達及論述、教規及規程、書式、天理教校學則
- 148 天理道しるべ 松浦幸藏 洋四六 19頁 XI.22 静岡 山名青年團

天理教を眞は幸福にして居る人のために、天理教の大體を一通り紹介せんとして編まれた書。(f)

大正二年

- 149 尊皇章(通俗天理教拾章の語) 奥谷文智 洋四六 27頁 1.25 ちば 木下眞進堂 天理教典の中にある尊皇章を説明したものである。(f)
- 150 天理教おかげ歌謡集(はやわかかり本) 八月一日宮三千年著 洋四六 202頁 1.25 ちば 木下眞進堂 深遠にして教理の根本となる御かげの歌を解り易く註解し早解りとしたものである。(f)
- 151 きづいきまゝ 能勢天祐 和四六 1.28...大.6.VI(7版) 大阪 宗徳書院
- 152 上原先生の人格と後進の覺悟 奥谷文智 洋四六 口讀1+14頁 1.30 ちば 天理教東大教會信徒詰所 上原先生六十年の生涯の大要を述べ次に役員教員、信徒の覺悟を促がされたもので一年祭の記念講話の筆記である。(費)
- 153 天理中學教育の主義 廣池千九郎 洋菊 47頁 III.10
- 154 余の天理教々育部に入りし理由 廣池千九郎 洋菊 19頁 III.10 ちば 同者 著者が天理教に入信し教育部に入られた理由を公にしたもの。(k)
- 155 天理教祖 同志會(編) 洋菊 13+28+222頁 V.15...大.4.X(訂正版) 大.9.VI(再訂8版)昭4.XII(25版) ちば 同會 家系譜、年譜がつけてあり、大正二年以來十數年間

あらゆる文獻史實に就て研究を重ね御教祖の眞のひながた、御教祖の御生涯を辿らんとする人の指針とし且本教公認の教祖傳たることを自任するにたるものである。(f)

- 156 達及則 天理教教廳(編) 洋菊 148頁 V. ちば 同社
- 157 天理教要義 同志會(編) 洋袖珍 3(頁 VI.10 同會 一、「天啓救済の教」の章に天理教の如何なる宗教であるかを。 二、「天理大神」の章に神様の御守護御恩恵を説明したものである。(y)
- 158 講演資料(第一) 宇田川文海 洋袖珍 15(頁 VII.15 ちば 同志會
- 159 私立養徳文庫要覽 大橋永三郎 洋四六 27頁 VIII.10 新潟 養徳文庫 本教に於ける圖書館施設中歴史的のものであり明治四十四年の設立にかゝり四十五年私立圖書館設置を公認、定題文庫を出し札幌に分館をおく、漸次設備を完成し地方文化に貢献しながら大正十年八月十四年記念式を挙げ昭和四年文部省より選奨金の下附を受く。(f)
- 160 教育勸語と天理教 道友社(編) 洋菊 4(頁 IX.20 ちば 同社 教育勸語を區別的に區分して解釋を施し、お道の教理の上から説明を加へたものである。(k)
- 161 天理教八塊の話 岡芳生 洋四六 70頁 IX中旬(序の年月による) ...大.6.VIII(4版) ちば木下眞進堂 内容 一、天理御教祖の人格 二、八塊のおなし 三、神の御恩 四、天の理 五、人のみち 六、人は神の分身 七、御神樂つとめ 八、人のつとめ 以上に就いて平易簡明に説いて居る。(f)
- 162 勿體ない 奥谷文智(編) 洋四六 11頁 X.20 ちば 同志會 明治十九年十二月御教祖様が櫻本の警察署へ御苦勞下された節ランプの火を消して返還にせがめられた時「勿體ないから」と仰せられたことを土曜として、總ての物が神様からの借物であるから、吾々は常に勿體ないといふ心をもつて無駄費ひをせぬようにすべきことを説いてある。(k)

- 163 天理教會名稱錄 (大正二年九月調査) 道友社 (編) 洋 袖珍 306+114頁 X.26 ちば 同社
- 164 婦人會の榮 (天理教) 婦人會本部 (編) 洋 菊 4+114頁 X.27 ちば 同本部  
第三回總會記念誌にして第一回、第二回 婦人會總會の記事を加へ一冊に纏めたもので、婦人會總會記念婦人會の誌第一號である。  
目次 一、天理教婦人會の成立 二、婦人會の擴張 三、養徳院の現状 四、第一第二回總會々務報告 五、婦人會本部の活動 六、第三回總會 七、婦人會々則 八、婦人會本部及各部委員 九、第三回 總會々務報告。講演としては 第三回の講演を骨子とし、第一、第二回總會に於ける講演を収めてある。(1)

大正三年

- 165 天理教信仰の眞義 廣池千九郎(述) 洋 菊 33頁 I.25 (序の年月による) ちば 周榮社  
單に宗教上の智識を興へんとするのではなく、直接に人の助かるやうな實際的教訓を示さんとの念願から書かれたもの上編には「天理教々理の大要を記し、下編には「或る人に興へた信仰を勧むる書」を載せて居る。(1)
- 166 因縁の理 同志會 (編) 洋 四六 16頁 I2 大阪 同會  
因縁の理を明かに因縁切換への道を説いたもの (y)
- 167 里の仙人 廣池千九郎 洋 菊 70頁 I.26...大10. II.25 大阪 石井宗次  
大正二年十月 山陽道各地教會聯合のものと開かれたる廣池博士の遺稿を記念するために編し、博士の天理教と國家及社會、山岡永好氏の教育と宗教、奥谷文智氏の疾病と其の救済、更に遺稿記を載せる。(8)
- 168 天理教の歴史・教義及其實際(譯文) 道

友社(編) 洋 四六 61頁 II.20 ちば 同社  
明治四十二年七月船場大教會より英國へ布教者を出したる時發行せる英文「天理教」を譯せるものにして、教祖、教會、神人、教訓、信仰、日の寄進、儀式に就いて述べられてある。(8)

- 169 私立天理教校別科第十二期生住所人名錄 天理教校 (編) 洋 四六 8+46頁 II.一 ちば 同校
- 170 信仰の花 廣岡富藏 洋 菊 5+236頁 IV.10 ちば 木下眞進堂  
教祖傳が前半を占め、後半には靈教の實例や、ひのきしん等が盛られてゐる、何れも萬人向きに極く易平に書いたもの。(1)
- 171 お道乃話(通俗) 井上轉軒 洋 四六 112頁 IV.10 ちば 木下書店  
平民に御教理を書いたもので 其の内容は一、存在の神様 二、病の元は心から也 三、神様と御一緒に 四、王政復古と天理教 附録として三大眞理の歌、神様を知るは理屈ではない、道の手引が含まれて居る。(y)
- 172 宣教講話の榮 (天理教書第二) 宇田川文海 洋 菊 240頁 IV.15 ちば 木下眞進堂  
本書は先づ白々樓主人(吉川萬次郎氏)の筆に成れる「あゝ吾が靈地の偉大なれや」を序とし、天理教の發端と御教祖に就いて述べ、天理教の特色に論及し、教徒の進むべき道を示して居る。(1)
- 173 天理教教祖實傳 村田勇 洋 菊 4+6+14+116頁 IV.18...大10. IX(3版)  
東京 天理教研究會(後ちば木下眞進堂)  
確實な史實を集めて、御教祖の御遺すからを、御少時及御結婚、主婦時代、神選、聖儀苦勞、布教時代、御歸濟の六章に分けて書いたもの。(k)
- 174 きりなしふしん (新築落成祭典記念) 宇田川文海 洋 菊 41+16頁 IV.20 ちば 木下眞進堂  
めづらしいふしん(物質的建設)である御本館の建築が出来たのを期として ふしきのふしん(精神的創造)に向つて猛進すべきを論じて居る。附録として白々樓主人の教會論が載せられてある。(y)

- 175 日々のたから 同志會 (編) 洋 綴 31頁 IV.21...大12.IV.5 (2版) 大阪 宗徳書院  
一日一音づゝみかぐら歌のも言葉を綴録した柱語である。(y)
- 176 天理教地場案内 道友社 (編) 洋 四六 12+118+1頁 IV.25 ちば 同社
- 177 神の御恩 木下眞進堂 (編) 洋 四六 15頁 V.2 (受付月日) ちば 同堂  
御教祖の御生涯の事蹟に依りて 神恩の廣大なる所以を説いてある。(8)
- 178 御普請の由来 奥谷文智 洋 四六 22頁 V.5 ちば 同志會  
御本館神壇の觀音講の沿革を略述し、新しく出来た御神壇建築を御教理の上から説いたものである。(y)
- 179 天理教教育主義 天理中學校 (編) 洋 菊 71頁 VI.一 ちば 同校  
大正の始め中學校の校長に就職した 法學博士 廣池千九郎氏が天理教々理に即した 教育方針及 職員生徒の心得等に 關する同博士の主義を 明かにしたもので「天理中學校教育の主義」を更に増補したものである。(1)
- 180 嘆病 大浦幸秋 洋 四六 33頁 VII ちば 天理教講究會  
人間が苦しいと感ずるものはひろく病でありこの病は皆埃の心使ひから起つてゐる事をのべられてある、天理教はこの廣義の病を救ふものである。(y)
- 181 天理教英語大講演會 武田彌富久 洋 菊 1+4(頁 VIII.2...VIII.4 (2版) 大阪 同者  
イギリスの教育家で基督教々師であつた イ、パーマー氏が天理教徒となり、本館に參詣し 英國布教師の免狀を得た嬉しさに 大阪に於て 英語で講演したものと 男子教師デビスレ氏の講演をを記したものである。(k)
- 182 時局講話資料 道友社 (編) 洋 菊 92頁 IX.25 ちば 同社  
一、宣教講習の講義 二、文部大臣報告の敷衍 三、

管長論議の敷衍の三篇に就いて説かれてある。(k)

- 183 日獨戦争と天理教徒の覺悟 奥谷文智 洋 四六 3(頁 X.20 ちば 木下眞進堂
- 184 教會名稱錄 道友社 (編) 洋 袖珍 3 24+111頁 X.26 ちば 同社
- 185 十九世紀に於ける最も偉大なる婦人の事業 廣池千九郎(述) 洋 菊 136頁 X.26...大9.(4版) ちば 道友社  
著者の學業と信仰に基き、御教祖の宗教的 事業を文化史的に説いたものである。(8)
- 186 天理教婦人會の榮、(第二) 婦人會本部 (編) 洋 菊 4頁+133頁 X.27 ちば 同本部  
本書所載の演は主として 第四回總會の爲に 各支部より提出したる草稿中より 拔萃し尚ほ二、三篇は他より補充し 會長講話の參考に資するを目的とせり。目次(提要) 一、天理教婦人會の組織 二、養徳院の現状 三、婦人巡回講演 四、日獨戦争と婦人會の活動 五、總會記事 六、天理教婦人會規則 七、天理教婦人會本部 及支部委員部役員 八 大正二年度會務報告。(1)
- 187 教徒として見たる天理教 (現代百科文庫、宗教叢書三十八篇) 廣池千九郎 洋 袖珍 114頁 XI.8...大5. I (1版) 東京 日月社  
一、天理教に對する非難 二、天理教の特質 三、教祖の人格 四、天啓の二面 五、天啓の内容 六、天啓の性質 七、天理教の神觀 八、天理教の神と神道の神 九、天理教の人生觀 十、天理教と將來の社會 十一、天理教の 現況-教祖の跡 に項目を分けて書いたもの。(k)
- 188 天理教發端 奥谷文智 洋 四六 11頁 XII.25...大4.III ちば 同者  
新興宗教としての本教が外部より 受けた 形造的 非難攻撃の主なるもの 即ち財産齟齬、醫藥の排斥、共產主義について 其の誤れる所以を明にせる 小冊子である。(1)
- 189 たんのうの理 同志會 (編)。

190 天理教信託治療論 奥谷文智 洋菊

大正四年

191 胸の道 増野道興 洋四六 287頁 I. 20 ちば 同志會

單に事物の表面を見ることに陥らず、その内面に沈潜せんを努力した著者の作品集、論説、感想、通信講演、小説及び脚本を含んで居る。(1)

192 神のめぐみ (肺病患者の福音) 一條源治郎 洋四六 25頁 I.23 ちば 同志會

人間のあらゆる不幸を嘗めた著者は肺病のお助けを頂いてから眞の人生の意義を悟るようになったことを告白して居る。(1)

193 噫天理教 上田千尋 洋袖珍 120頁 東京 甲寅社

天理教の論争を概括してその反省と改善を促さんとするもの 第一章、天理教とは何ぞや、第二章、天理教の歴史、第三章、天理教の解剖、第四章、天理教の財政、第五章、根本的改革案。(8)

194 教理のあらまし 同志會(編) 洋四六 10頁 IV. 20 ちば 同志會

お切ひがけ用の小冊子で内容は教理一般に亘つて居る。(y)

195 ほこりばらい (一名八塊罪除) 宇田川 文海 洋四六 39頁 IV.23 大阪 能勢健治

八塊罪除の面白き書讀によつて平易に説いたものである。(三)

196 故管長様の御遺事 同志會(編) 洋四六 45頁 IV.20 ちば 同志會

噫斯朝、管長様の御遺事、慈悲寛大の徳に富まる、敬神尊皇の御心が深い、賢慮にして勤精、熱誠篤行と御忠刺、記憶のお強いお方、和歌に御遺徳、偉大な人格の諸項目に分けて事實に照して書いたもの。(k)

197 英和天理教カテキズム 唯根泰次郎

洋袖珍 22頁 IV.21 大阪 船場大教會 内容 教内で日常用ふる単語、天理教の約説、教理、信仰治療、聖書讀に關する英文、邦文の會話を収録して居る。(k)

198 中川よし子 (横紀布教團) 奥谷文智 洋菊 3-4-151頁 IV.25 大阪 宗徳書院 神戸 弘徳書院

初代天理教東本分教會長 中川よし子 女史の生ひ立ちを述べ、次に神様の御守護を頂いて布教を開始し、赤子を養ふて上京し、種々苦勞を蒙りつつ、御教祖の足跡を踏み 人助けのため お道に専念し遂に東本分教會を設立して 今日の盛況を招來した道すがらを記して居る。(t)

199 天理教祖中山美枝子の歌 佐藤幹樹 洋四六小 47頁 IV.25 ちば 木下眞進堂

教祖の御一生を歌に讀んだもの。(1)

200 たてあひ助け合 同志會(編) 洋四六 45頁 IV...大9.1.23(改)...昭2.V1

(20版) ちば 同志會

201 布教手引因縁の研究 山脇成幸 洋菊 102頁 V.1...大.15.1 (17版) 大阪 同志會

大.8.X(11版) 洋四六 200頁 新研究と改め(ちば 木下眞進堂發行) 大.10.1(増補改訂 15版 洋四六 200頁)最新研究と改む。(1)

202 ひのきしん 同志會(編) 洋袖珍 20頁 IV...大.15.X(2版) ちば 同志會

一、御神樂歌 二、心一つが我の理 三、ひのきしんの意義 四、ひのきしんの實行 に就いて書かれた小冊子。(y)

203 たてあひ助け合 同志會(編) 洋四六 15頁 IV - 大阪 同志會

204 天理教祖團 奥谷文智 洋袖珍 55頁 VI.25 東京 日月社

御教祖の御生涯の角目に立つて項目を設け御教祖の御事蹟を述べ 附録として、御神樂歌論、天理教研究書解説が附せられて居る。(k)

205 天理教新創世説解説並に批判 大平 真平 洋袖珍 164頁 VII.26...大.5.1

(4版) 東京 新宗教社 神が人間を創造せられるまでの動機、産海古記の實際活動、其の場合の道具形態、十柱の神達は今迄に各種の人格者又は神格者となつて現れて居る事、十柱の神様の御守護、各神神話との比較及天理教創世説と科學との關係等に就いて述べて居る。

206 講話の概要 廣池千九郎 和菊 108頁 VIII (序の年月による)

本書は大正四年八月一日より八月三日に至る三日間立美分教會に於ける廣池氏の講話の概略を筆記した謄寫版印刷のものである、その内容は皇室中心主義、實業主義、平和主義を高揚し、天理教はこれ等の理想を達せしめる最も根本的の信仰であると説いて居る。(三)

207 世界最後の天啓教 (天理教祖三十年祭記念傳説) 奥谷文智 洋四六上頁 X.30 ちば 同人

御教祖三十年祭記念傳説のため書かれたもので最後の教、天啓の教、教理の概略、甘露瓶の出現、日本人の覺悟の五章より成つて居る。(y)

208 大典の根本義並講話資料 道友社(編) 洋菊 27頁 XI.1 ちば 同志會

209 世界最後の宗教 天理教々々研究会(編) 洋袖珍 71頁 XI.10...大.10 XI (2版) ちば 木下眞進堂

天理教教理の動機、三大因縁、因縁、八塊、たんのふ、ひのきしん、教祖の人格、教祖の人生觀、に就いて説明し、茲りにキリストとを比較して居る。(k)

210 天理教祖の哲學 岩井尊人 洋菊 308-115頁 XI.23...大.4. XII (再版) 東京 一成社

一名「みかぐら新研究」と題し、天理教の教祖こそ二十世紀より先りいでたる大哲學なりとの信念に立脚して、御神樂歌を哲學的に考察したものである。(1)

211 天理教々々理より見たる人生の意義及價值 大平真平 洋菊 208頁 XII.8 ちば 同人

天理教々々理の上から人生の意義及び價值を論じて居る。先づ「人生と宗教との關係」に筆をはじめ「甘露瓶の建設」にて大論文を結んで居る。

212 近世思想近世文明の由來と將來 廣池千九郎 洋菊 149頁 XII.15...大.5.III (再版) ちば 同人

世界文明の起原、人類文化の發達より説き起し近世文明をよび 思想の性質を究め、我日本固有の國體の基礎を明にしながら、こゝに發揮せる天理教信仰道徳の近世思想の文明に對する 意義と地位を明にしたものである。(1)

213 神道の實 (心の改良、病の根絶) 小倉曉風 洋四六 2-11-312頁 XII.15...昭.5 IV(24版) 東京 永島爲次郎

(後、ちば木下眞進堂に變更) 色々病氣について、醫學上の疾病觀を、之に對する教理上のお論しを記したものである。(1)

214 御地場 同志會(編) 洋菊

大正五年

215 天理教世界革命之聲 大平降平 洋菊 162頁 I.1 ちば 同人

216 病の元の新研究 (布教資料科考の社) 山脇成幸 洋四六 156頁 I.1...大.15.IV (14版)...大(15版) ちば 木下眞進堂(初め東京紫鳳書店)

醫學上より見たる病の元、心理學者の見たる病の元、教祖の見たる病の元、病として見るべからざる病、病の現れ方、病の元の實驗、せうすれば病の根を切る事ができるか等の各項について説いて居る。(1)

- 217 信仰の告白 田村彌三郎 洋四六  
20頁 I.10 新潟 同人  
氏の入信の動機より宣教師長となるまでの経路を  
のべ且氏が天理教を如何に見てゐるかを述べてあ  
る。(k)
- 218 山名大教會初代会長夫婦自傳 諸井國  
三郎 洋四六 12+203+36+12+26  
+21頁 I.10 袋井 山名大教會  
山名大教會長 諸井國三郎氏の生立より七十七歳頃  
迄の経過を書いたもの 及國三郎氏夫人の略傳が載  
せられてゐる。(k)
- 219 評註御筆先 大平隆平 洋袖珍 260頁  
I.15 東京 新宗教社  
公刊するに到つた理由を緒言にのべ、十七箇のおふ  
でさきを載せ要所に註釋を加へてゐる、尙ほ附録  
として甘露經圖解、甘露經三下り、御神樂歌がつい  
てある。(y)
- 220 御神樂歌の眞髓 新世紀(編) 洋菊1  
+188頁 I.23 大阪 同社  
天理教が如何なる宗教價値を有するか、教祖は如  
何なる人格の持主か、神とはいかなるものか、如何  
にして認めるか、天啓は如何なる方法にて如何な  
る場合にあらはるかといふことを述べ、次に本  
教寶典をかき下らうたの製作年月日から其の價値に  
論及されてゐる。(k)
- 221 不思議な助け 能勢健治(編) 折 1.23  
大阪 宗徳書院  
我信氣儘に人妻が本手入れを頂いてはんそうに貞  
淑な婦人となつた實話、此の不思議な助けの實例  
を引き續入りで説明を加へてゐる。(t)
- 222 天理教講演文集 奥谷文智 洋菊 248頁  
I.25 ちば 木下眞進堂  
世人誤つて天理教を新奇怪俗の宗教と做すもの  
もある、これ眞の味をよへ咀嚼せぬが故である、  
若しその眞味を味はんか眞實の神、根本の神に隨喜  
唱仰せざるを得ない、斯く信じてその眞味を味は  
すべく、論文、書簡、感想、小説等各方面より教理を  
説いたものである。(t)
- 223 御教祖年譜(年表對照) 天理教同志會  
編輯部(編) 洋四六 28頁 I.25 ち  
ば 同志會 大阪 開文館

寛政十年御出生より明治二十年御昇天に亘り教祖  
の御事蹟を主として時代概要を附したるもの。  
(k)

- 224 座談録 増野道興 洋四六 60頁 I.25  
…大9.VIII 5 ちば 同志會  
氏が友人と談を交へて、親しく話し合つたこゝろに  
感じた事を書き集めたもの。(k)
- 225 天理教の教義及び理想 天理教教理研  
究會 洋袖珍 203頁 I.27…大10.  
VII ちば 木下眞進堂  
立教の精神、立教の三大因縁を説き本教々義の要  
所並に本教の理想に論及してゐる。(y)
- 226 神徳大觀 赤木惣太郎 上下 洋菊  
1+450頁 476頁 II.5…大5.IV  
(2版) 兵庫 出雲誠々館  
靈教談を蒐集したものである。(y)
- 227 天理教信仰の本旨 廣池千九郎 洋菊  
45頁 III.15 ちば 廣池千九郎  
教祖三十年祭に試みた 著者の講話で、天理教信仰  
の目的は人心救済にありと斷じ、教祖の御事業、  
眞信仰と眞信仰との別、本教と他の宗教との相違點  
を述べ最後に本教徒はたんのうの心で精一杯つこ  
め 神様の御教訓を守り 一心同體の働きをなさね  
はならぬと結んでゐる。(t)
- 228 至誠懺悔録 奥谷文智 洋四六 27頁  
IV.5 ちば 木下眞進堂  
著者が三十年祭の大節の後に 一身上の大節に通過  
し心の眞底から懺悔したものを 上梓したもので懺  
悔事件、社會問題、信仰に入る、布教者より記者、  
小冊子三十萬部賣出博士の訓誡、理想世界に就いて  
の七項からなつてゐる。(k)
- 229 病の元は心から 室佐市 洋四六 13頁  
IV.5 ちば 木下眞進堂  
病は心のもち方如何により 起つて来るものである  
事を述べ更に日々世を渡る上に於て 常識的な心の  
持ち方を述べたもの。(k)
- 230 御道根本御神樂歌の眞意 小倉曉風  
洋袖珍 145頁 IV.25…大14.IX.  
(4版) ちば 木下眞進堂  
一々の御歌について註釋せるもの。(t)

- 231 天理教祖傳講話 奥谷文智 洋四六  
256頁 IV.26…大13.X.(4版) ちば 木  
下眞進堂  
著者は此の書の出る以前に「天理教祖」「天理教祖  
觀」を出版してゐるが、新しく得た材料を加へ前書  
よりも一層平易に信仰的に書き改められたものが  
本書である。(y)
- 232 第二天理教世界革命の聲 大平隆平 洋  
菊 3+24頁 IV.27 東京 新宗教社  
天理教革命の聲の續編とも見るべきもので天理教  
に對する不平を述べてある。(y)
- 233 甘露臺(御道小説) 霞堤道人 和四六  
2+300頁 VI.20 大阪 養六堂  
一家の反對の中を切りぬけて遂に一家を人信せし  
めるに至つた話。(k)
- 234 おさしづ(自明治四十年三月十三日同年六月九  
日) 天理教同志會(編) 和菊 22頁  
VII.13…大14.II(3版) ちば 同會
- 235 御指圖 松村吉太郎 洋菊 421頁  
VIII-  
明治二十年より明治三十九年に亘り松村一族並に  
高安大教會及部下教會等の身上、事情等の何れに  
際し、下されたる本席の御言葉を年代順に集觀し  
たるものなり。(本)
- 236 (天理教)婦人會の彙(第三) 婦人會本  
部(編) 洋菊 2頁+121頁 X.25 ち  
ば 同本部  
目次(紀要) 一、天理教婦人會の組織 二、婦人  
會の事業 三、婦人會總會の概況 四、天理教婦人會  
の規則 五、婦人會本部及各支部委員部役員 六、第  
四回總會々報告。  
其の他各課の講演十五題を載せてある。(i)
- 237 天理教會名簿録(大5VIII訓)(教會系  
統別教務支應別) 道友社(編) 洋袖珍  
282+105頁 X.26 ちば 同社
- 238 天理教信仰要義 奥谷文智 洋菊  
108頁 X.26 東京 大野書店  
本書は天理教信仰の要義を何人にも手取り早く解  
らせる爲めに極めて平易なる解説を與へたもので  
ある、一、神 二、人 三、信心 四、報恩の四章に分

れてゐる。(k)

- 239 松村氏事件第一審裁判覺書 岩井尊人  
洋菊 281頁 X.-  
松村吉太郎氏が入信以來本教の爲めに盡された 経  
歴より小川事件に就ての感想を述べられたのを 著  
者が編輯したものである。(y)
- 240 謝恩録 増野道興(編) 洋四六 248頁  
XII.15  
大正五年新時代に應じて教祖立教の精神を布くた  
め各地に派遣された 講師講演の録るべき七朝頌を  
説かれたるもので、現代文明の性質と宗教信仰の  
必要を明にしてある。(s)
- 241 巡回講師講演資料 通友社(編) 洋菊  
128頁 XII.28 ちば 同社  
大正五年新時代に應じて教祖立教の精神を布くた  
め各地に派遣された 講師講演の録るべき七朝頌を  
説かれたるもので、現代文明の性質と宗教信仰の  
必要を明にしてある。(s)

大正六年

- 242 誠一の道 木下眞進堂(編) 洋四六  
14頁 I.20 ちば 同書店  
「まことよりつよいかたないがよいものはないまこ  
と一つが天の理天のりなればすごとくけさるすく  
まかやす」の神言を敷衍せる書。(s)
- 243 にまいかけ(布教手引) 木下眞進堂  
洋四六 12頁 I.20 ちば 同書店
- 244 天理一席話 木下眞進堂(編) 洋四六  
20頁 I.20 ちば 同書店  
前篇 神様が世界及び人類を御創造された事に  
就て。  
後篇、天理教徒は敬神、孝王、愛國の道を全うし納  
税、教育、兵役の三人義務を完全に果たすべき事に就  
て。(t)
- 245 十柱神の御守護 木下眞進堂(編) 洋  
四六 15頁 I.20 ちば 同書店  
一、貨幣借物の理と八境 二、天理の教と内容を  
してゐる。(t)
- 246 一手ひとつ 天理教同志會(編) 洋袖

- 珍 20頁 1.23 ちば 同會
- 247 しんじつ 同志會(編) 洋・袖珍 19頁 1.23 ちば 同志會  
誠實の心は神様の御心であり、神様に受取つて頂けるのは「まこと」より外にないことを述べてゐる。(y)
- 248 天理教道しるべ 同志會(編) 洋・袖珍 24頁 1.23…大14.IV (50版) ちば 同會  
天理教とはなん なるものであるかと云ふことを分り易く簡単に記した宣傳用小冊子である。(y)
- 249 おさしづ (自明治十九年十二月 至明治廿一年十二月) 天理教同志會 和・菊 101頁 1.25 ちば 同會
- 250 おさづけの理 天理教同志會(編) 洋・四六 71頁 IV.1…大15.1 (11版) ちば 同會  
おさづけを頂く際 お返しになるお書き下しのお言葉に就いて詳しく解説されたものである。(y)
- 251 天理教信者之巻 (是丈は心得ておく可し) 天理教同志會(編) 洋・四六 62頁 IV.1…大15.1 (11版) ちば 同會  
信者たる者の目・心得てなければならぬことどもを書いたもので、目次は  
一、朝夕神拜詞 二、参拜の心得 三、病氣や事情の時のさとり方 四、にはひがけの仕方 五、おさづけを頂いてゐる人の心得 六、教會への勤め方 七、初試練の心得等である。(j)
- 252 天理教布教師の巻 (是むけは心懸をくべし) 同志會(編) 洋・四六 70頁 IV.1…大14.IV. ちば 同會出版部  
目次 一、布教の心得 二、三條の教意 三、お話版次の順序心得 四、おさしづについての心得 五、お話についての心得 六、心得置くべき 規定及び法合 七、心得おくべき願書手続。(k)
- 253 天理教々話集 同志會(編) 洋・四六 12(頁 IV.1…大15.1(11版) ちば 同會
- 254 達及則 天理教道女社編輯部(編) 洋・四六 211頁 IV.一 ちば 同社

- 一、達及び論議 二、教規及規程 三、書式 四、學則章程及會則。(y)
- 255 廣池博士の著書によつて天理教に入信せる者の欺かざる告白 富岡秀耀(編) 洋・四六 11頁 V.12.一。  
從來天理教に對し強い懷疑の眼を向けてゐた著者が廣池博士の講演及び著書によつて 頓悟する所あつて、その關係を博士の許に書き置つた告白の手紙が之である。(i)
- 256 かりもの 天理教同志會(編) 洋・袖珍 21頁 V…昭 2.III(7版) ちば 同會  
人間の身體は神から借りたものなること、そして如何にして報恩すべきかを教へてゐる。(i)
- 257 みちしるべ 内海弘藏 洋・四六 210頁 VI.10 興同の日本社  
多くの講話をあつめたもので、著者は「はしがき」に「いづれも天理教々典の 諸章の教旨にもとづいたものであるが、事の神様に關する、宗教的問題にはなるべくふれないやうに注意した、それはその上に素人である 自分の分限を越えまいといふ用意からである」と述べてゐる。(y)
- 258 天理教信者會員芳名錄 日本海員救濟會三島駐在幹事部(編) 洋・四六 24頁 VII.一 ちば 同會
- 259 天理教々義要領 洋・四六 25頁 VIII. (洋の年月による)
- 260 心の道 (神様のお言葉) 天來美人(編) 洋・四六 2+3+124頁 X.15…大15. III (5版) ちば 木下眞進堂  
おさしづとこくひんの一部の要所々々を抄録したものである。(k)
- 261 續講演資料 宇田川文海 洋・四六 104頁 X.15. 大阪 宗徳書院  
講演するものは如何なる資格を有すべきか、教師の使命は如何、如何なる修業が必要か、如何なる態度で講演すべきかに就いて 凡例二つを収めてゐる。(k)
- 262 お話の葉 (天理教婦人會第六回總會記念) 婦人會本部(編) 洋・四六 131+2頁 X.10 ちば 同會本部

- 第二編 教祖、第一次天啓、第二次天啓の教、第三次教祖の人格、第四次天啓の傳道を骨子として、約七十の題目を含む。(r)
- 理、甘露瓶、女と同情、婦人の自愛、等の教話を収め尙付録として天理教婦人會紀要が付してある。(k)
- 263 婦人の友 天理教同志會(編) 洋・袖珍 X.23 (再版の年月に據る) ちば 同會
- 264 天理教祝詞作文彙 (上) 今永英足 和・菊 206頁…364頁 X.25…昭 2.1(7版)
- 265 天理教おかげ話 天路道人(編) 洋・四六 89頁 X.26 大阪 宗徳書院
- 266 天理教聖典 高橋友太郎(編) 洋・袖珍 20(頁 XI.一 (再版) 天理教寶典編纂會
- 267 天理教祝詞作文彙 (下) 今永英足 和・菊 72頁 XII.23 大阪 宗徳書院  
上巻と共に合本されたものが大 11.VI.20に4版大 13.XII.25に6版昭和 2.1.5に7版として出て居る。(y)

大正七年

- 268 たすけ一條 同志會 洋・袖珍 22.0頁 1.15(版の年月による) ちば 同會  
「人をたすけて我が身助かる」信仰を述べたもの。(y)
- 269 にほひがけ 同志會(編) 洋・袖珍 27頁 1.25(版の年月による) ちば 同會  
借物の理と心一つが我の理との關係を述べ、我身か助かる道並におおげさせて頂く道を説いて居る。(y)
- 270 御筆先分類研究 上巻 同志會 洋・袖珍 191頁 1.25 ちば 同會  
御筆先を年代順によらずに、編者が選次を設けて分類し集録せるものである。  
第一編、神一條、第一次神の存在、第二次神の性質、第三次神の働用

- 五十年の道すがら、天理、慈悲、かりもの、よく心のをしい、因縁に就いて、すなは、さんけ、研き合ひの道、ひのきしん、眞のつとめ、親心、孝心の道、末代の
- 271 おさしづ (自明治廿二年一月至元年九月) 天理教同志會(編) 和・菊 145頁 1.25 ちば 同會
- 272 天理教校別科第二十期生住所人名錄 天理教校(編) 洋・四六 41頁 II.一 ちば 同校
- 273 筋ある頃 増野道興 洋・四六 204頁 III.5 大阪 向上社  
初代管長公の御訓諭、松村政正の入監、教祖三十年年祭、鐘を撞して現れたる節の中を著者が動搖した信仰を持ち乍ら無事に通過した當時の論説、教理の研究等を収めてゐる。(費)
- 274 松村政正 講話集 (道友叢書 第一編) 道友社(編) 洋・袖珍 207頁 IV.30…大 7.1X (2版) ちば 同社  
一、獨立の經過 二、木部青年の意義及自愛 三、結所の根本義と事務員の精神 四、道一條と教會の指針 五、婦人會の聖徳と婦人會の雛形 六、獄中の生活、心情の告白といふ題名の下になされた氏の講演を集めたものである。(k)
- 275 更生 水口青年會(編) 洋・四六 114頁 V.1 同會  
青年會分會の會員に 頒つて發行されたもので小野清彦、武谷兼信潮兵等が執筆して居る。(y)
- 276 大熊こま子刀自略傳 (天理教京城支會開祖) 高垣光藏(編著) 洋・袖珍 3+14 6頁 V.10 京城 同人  
生家と教育、主婦としての刀自、刀自の信仰生活海外布教、信徒の教育、刀自と大久保、理事、刀自と親教會、教會設置、歸出の九項目により、刀自の生涯をしのび且刀自の入信を明にしたものである。(k)
- 277 信順の道 小野清彦 洋・袖珍 187頁 VII.5 ちば 道友社  
道の友紙上に發表された文を十數篇(無條件の信順、お地蔵の形義、戦後の日本と天理教等)を再録したものである。(i)
- 278 神一條 (道友叢書 第三編) 岩井啓人



- 洋、袖珍 136頁 XIII.15 ちば 道友社  
 護國の天理、古神道の誕生、神と自己と信仰、民本の道徳、十月二十六日、一息宛のひのきしん、雛形甘藷菓の各項目について論じてある。
- 279 天啓の聲 増野道興 洋、袖珍 158頁 IX.5...大12.IV(8版)  
 神様のお言葉を詳しく論じたもので、内容は天啓の聲(上、中、下)と心光録とに分れてある。(y)
- 280 追悼 (諸井國三郎先生傳) 永井藤平 和、菊 249頁 IX.22 静岡 教報社  
 初代山名大教會長 諸井國三郎氏の追悼講演會の記事及び氏を慕ひてゐる諸氏の筆になつたものを集めたもので、四十七名の追悼談がのせてある。(k)
- 281 天理教校別科第廿一期生任所人名録 天理教校(編) 洋、四六 44+10頁 IX. ちば 同校
- 282 白々權論文集 吉川萬次郎 洋、袖珍 154頁 X.10 ちば 道友社  
 本教が従来筆墨の教に非ずして道の友に掲載されたものも等閑に付すことが多いが、その損失を防ぐために最も得意とされた文章を數篇再録集編したもので、一、靈地の事 二、ひのきしん 三、教會生活 四、教會論 五、婦人會の事 六、教祖の遺蹟 七、威化院 八、婦人の敬崇。(k)
- 283 會報 (天理教青年會第一號) 天理教青年會 洋、四六 64+24頁 X.15 ちば 同會  
 一、青年會創立にいたる経緯 二、青年會の制度、規定に關する記事 三、松村顯圓の講話。(y)
- 284 教會名録 道友社(編) 洋、袖珍 31+31頁 X.26 ちば 同社
- 285 道すがら (松村榮次郎大人三十年祭記念) 西岡善造(編) 洋、四六 44頁 X. 大阪 同人  
 松村吉太郎氏の父君 榮次郎氏の三十年 祭記念に出版されたもので、松村家の略歴、人信の経路等が記述されてある。
- 286 富豪、資本家會社商店の經營者、重役、高級職員各位、並に官憲に稟告 廣池千九郎 洋、菊 1(頁 XI.23 東京 著者  
 著者が高唱せる道徳科學を天理教々義と其體験と

によりて説明し 勞働問題の解決法を説いたもの。(兼)

大正八年

- 287 別席の理 同志會(編) 洋、四六 58頁 I.25 ちば 同會  
 觀望の理、別席の理、神様の御守護、八つの塊、末代の理等を判り易く説明す。(兼)
- 288 おみき婆さんの芦簾しらべ (天理教の科原と戀の甘藷菓) 山田豊彦 洋、四六 213頁 II.14...III(3版) 東京 竹生英堂  
 門外漢の立場から、教義、みかぐら歌を研究して天理教を切支丹の末流なりと論じて居る。(y)
- 289 道一筋 廣池長吉 洋、袖珍 150頁 II. 20 ちば 道友社  
 一、神の本體 二、借物の理 三、因縁の理 四、借物 五、足跡の理 六、疾病根治法 七、本道と世界並八、日常訓の八項目に分けて教理を説いたもの。(k)
- 290 おさしづ 芦津大教會(編) 洋、菊 48頁 II.一 大阪 同大教會  
 聖寫などに依つて誤り傳へられ又年月と共に數違するを憂へ、芦津大教會並に 都區教會の御伺ひした「おさしづ」を翻譯し、同大教會教祖垂蹟新景の記念に出版されしもの。(s)
- 291 天理教篤志會員芳名録 (第五回) 日本海員救濟會三島駐在幹事部(編) 洋、四六 8頁 II.一 ちば 同幹事部
- 292 晴天の心 (道友叢書第八編) 上原義彦 洋、袖珍 151頁 III.30 ちば 道友社  
 道の友誌上に發表せる數篇(晴天の心 陽氣なつさめ、教祖の御理觀、胸から胸へ等)を採録せるもの。(l)
- 293 廣池博士教理講習會筆記 山本千代藏(編) 洋、袖珍 IV.1 神戸 著者  
 兵神大教會 青年會主催の講習會に於て、天啓に就

- て、神様、借物貨物の教理、因縁の理、八塊、日の寄進、たんのふ、読 等を著者の體験と氏一流の見解とによりて述べたもの。尙神戸商業會議所に於て講演したる勞働問題を附録す。(兼)
- 294 天理教にほひかけの文 廣池千九郎 洋、袖珍 35頁 IV.5 神戸 心の友新聞社  
 病氣のため別府温泉に静養せる 同郷の人に宛て、著者の體験を説き、天理教の信仰をすすめたものである。(兼)
- 295 道の神話 (教理叢書第一編) 同志會(編) 洋、四六 110頁 IV.23 ちば 同會  
 神様のおめぐみと御教祖様の御慈悲、御教祖様の道すがらをはじめとして 御教理一般に亘つて説いてある。(y)
- 296 氣隨氣儘 能勢健治 折 IV.25 大阪 宗徳書院  
 氣隨氣儘な女が本道の話を聞いて 忠實な主婦に改まつたといふ體入りの小説である。(y)
- 297 末代の理 長谷川理一 洋、袖珍 148頁 IV.25...12.IX (6版) ちば 道友社  
 末代の理、かりもの、布教の煩悶と感謝、余の信念等著者の深刻なる布教體験の記念品である。(s)
- 298 理の道 武谷兼信 洋、袖珍 152頁 IV.25...12.VI (6版) ちば 道友社  
 一、理の道 二、因縁の理 三、借物の理に就て、四、一列兄弟 五、理の世界 六、相ある信仰 七、報恩の道に就て 八、類型の實 九、教理の實踐と體得 十、天理教と徳育問題の十項を収めたる教話集である。(i)
- 299 (天理教)婦人會の榮 (第四) 婦人會本部(編) 洋、菊 122頁 IV.26 ちば 同本部  
 目次 一、天理教婦人會の組織 二、婦人會の經過 三、婦人會の事業 四、天理女學校の經營 五、天理教婦人會の規則 六、婦人會本部及各支部委員役員婦人講演として一筋の道、道と世界、等十七題の講演を載せてある。(i)
- 300 達及則 天教理々 洋、四六 157頁 IV.一 ちば 道友社
- 301 古記話研究 (天理教創世説) 木下松太郎 洋、四六 156頁 V.20...昭2.XI (8版)

ちば 木下眞通堂

- 一、神の人間創造の動機 二、人間創造世界創造の道具體型 三、人間創造 四、東西南北の名の起原 五、人間といふ名の起原 六、お地場の起原 七、人類の出生 八、人類の生長と神の守護 九、教祖の著書を通じて見たる天理教立教の由来と人間創造の起原 十、各國の神話の一般と天理教の新創世説 十一、科學と天理教の創世説 十二、人類學より見たる 本派人類の 根源地と天理教の地場、といふ十二項目をあひ天理教創世説を説明し、それが科學と宗教との矛盾葛藤を圓滿に解決したものを説いてある。(k)
- 302 天理教の信仰 (詳譯) 教道會(編) 洋、菊 2(頁 V.25...15.IV 京城 同會  
 本道のお話「天理教の信仰」を朝鮮語に翻譯したものである。(y)
- 303 助一條 宇田川文海 洋、袖珍 134頁 VI.15 ちば 道友社  
 一、たすけ一條 二、ほこり 三、道徳の更新 四、主婦としての天理教徒 五、世界戦後の日本と天理教 六、世界一列 七、さびらひらいて以上の項目に就て解り易くお話風に書いてある。(i)
- 304 教祖を慕ひて (道友叢書 第十一編) 奥谷文智 洋、袖珍 143頁 VI.30 ちば 道友社  
 御教祖の御事歴に就て 感得したる 信仰を披瀝してある。目次 一、教祖を慕ひて 二、五重相傳前後の教祖 三、神田大師に詣て 四、教祖天啓の状態に就て 五、布教準備時代の教祖 六、教祖御昇天の意旨 七、天理教々師の資格 八、教理上より見たる家康 九、胎産の神祕 十、御本座最後の天啓。(k)
- 305 民力派と天理教 道友社(編) 洋、菊 36頁 VII.20 ちば 同社  
 大正八年五月時の内務大臣は 戦後民力の振興と國民の思想問題とに關し 各宗派首長を招待して 懇談するところがあつた、本書は同大臣の懇談に對する本教の主旨並に 時局應敵の方針を 明示したものである。(y)
- 306 理は神 堀越儀郎 洋、袖珍 139頁 VII.20 ちば 道友社

- 曾て道の女誌上に發表せるもの教論(因縁、無常、自由用、順序、案じ心等)を編録したもの。(t)
- 307 天理教と現代思想 道友社(編) 洋・菊 74頁 VII.20 ちば 同社  
大正八年五月、内務大臣が各宗派管長を招待して大戦後の前途策として思想指導に關する懇談をした時の主旨に基き本教が日本の思想界並にその前途に就て如何な見方をしてゐるかを述べたものである。(k)
- 308 きしん學會紀要第二號 きしん學會 洋・四六 32頁 VIII.7 東京 同會  
きしん學會等学生の感想文集である(三)
- 309 教義大要(第一回講習會講義録) 天理教青年會(編) 洋・四六 53頁 VIII.10 ちば 同會  
神、教祖、地母、帶物、八坂、因縁、神樂、舞、主教甘藷園の十項目に分けて教義の大要を講義せるもの(t)
- 310 教規講義(第一回講習會講義録) 天理教青年會(編) 洋・四六 51頁 VIII.10 ちば 同會  
諸井登五郎氏の述べられたもの 前篇 総論 一、緒言 二、宗教道徳と法律との關係 三、國家と宗教 四、宗教内部の組織 五、我國に於ける宗教組織概論、天理教々現論。(f)
- 311 神言講義(第一回講習會講義録) 天理教青年會(編) 洋・袖珍 84頁 VIII.10... 大13.IV(1版) ちば 同會  
大正八年の夏第一回講習會に就て、増野道興氏のなされた講義を出版されたもので、内容は、教祖の理、順序の理、兄弟の理、試合の理、用木の理、思案の理、無理の理、八坂の理、足跡の理、満足の理、晴天の理、微笑の理等である。(y)
- 312 教會發達史(第一回講習會講義録) 青年會(編) 洋・四六 76-74頁 VIII.15... 大10.II(2版) ちば 同會  
教會發達史の目的、勸導所の建築、神氣管測の布教許可、官廳の取締、參拜所公認の計畫、教會本部設立、教祖十年祭と一つの節、内部の整頓、獨立の經過、獨立後の教勢、教會分布の状況に就て述べてある。(k)

- 313 宗教心理學概論(第一回講習會講義録) 青年會(編) 洋・四六 38頁 VIII.15... X(2版) ちば 同會  
青年會の講習會に於て 櫻庭望郎の講述したもの 西洋古代中世近世を通じて一般心理學が如何に發達し來つたかを述べたに上り、吾々の宗教心理學には殆んど觸れてゐない。(t)
- 314 近代思潮及批判(第一回講習會講義録) 青年會(編) 洋・四六 31頁 VIII.25 ちば 同會  
青年會の講習會に就て 澤谷徳郎氏の講述せるもの、先づ思想の概念より説き起して近代思潮の特色明をかにし、次で其主義諸派思想を論評し、本教徒の之に對する態度を以て結んでゐる。(t)
- 315 宗教學概論(第一回講習會講義録) 青年會(編) 洋・四六 35頁 VIII.25 ちば 同會  
青年會の講習會に就て 中山爲信氏の講述せるもの 先づ用意周到に講義の目的及び態度を明かにし、次で宗教學の概念を述べ、最後に宗教の本質を明瞭せるもの。(t)
- 316 教祖の豫言と國際關係(第一回講習會講義録) 青年會(編) 洋・四六 45頁 VII.1.26 ちば 同會  
講義者 井井人氏 一、國際關係考究の必要 二、世界大戰の原因 三、世界大戰後の脚想、の三大項目に分けて説明し、最後に教理上の批判を加へてゐる。(k)
- 317 天理教校別科第二十三期生住所人名錄 天理教校 洋・四六 4頁 IX. ちば 同校
- 318 天理教の教理と實際 富森芳太郎 洋・四六 98頁 X.15 ちば、木下眞進堂  
著者が所々の天理教講習會に臨み 傍聴筆記したる材料に自己の信仰を加へて記述した教義に關する書物である。(y)
- 319 本部員講話集(上) 道友社(編) 洋・四六 143頁 X.20 ちば 道友社  
目次 立教大旨(松村吉太郎)、ための教(宮森與三郎)、安心の道(喜多治郎吉)、神恩報謝(土

- 佐卯之助)、心の動め(増井りん)、眞の信仰(春野直市)、助け一條(清水由松)、助けの道(鶴田利吉)、立替の教(井筒五三郎)、天然の道(岡井政治郎)。(t)
- 320 ひながたの道 同志會(編) 洋・袖珍 19頁 X.25... 昭2.III(2版) ちば 同會
- 321 國民思想と天理教 道友社(編) 和・菊 1+25頁 X.25 ちば 同社  
一、天理教の成立及教理 二、立國の大義を明瞭し國體の精華を發揮して健全な國家觀念を養成すること 三、自治の觀念を陶冶して公共心を培養し相互諍和して彼此共済の實を事しんご期する事 四、勤儉力行の美風を作興し 國家生産の資金を増殖して富力の強大を圖ること 五、因縁の教理と 歐米近代思想の五章に分る。(k)
- 322 天理教青年會講演集(第一編) 青年會(編) 洋・四六 152頁 X.26 ちば 同會  
甘露齋建設、國民の信念を樹立せよ、時局問題と本教の使命、天理教と社會問題、教理より見たる現代思潮、勞働問題と應酬の同化か、不潔の勞作、根に培へ、眞の自由、の十篇を収めてゐる。(k)
- 323 天理教青年會會報(第一) 青年會(編) 洋・四六 1+64+24頁 X. ちば 同會  
目次 一、創立より第一回總會迄經過 二、本部に關する事項 三、分支部に關する事項 四、規程及役員氏名 五、統計表 六、松村顯周の講話、青年會講話、戰後の大勢と本教の活動。(y)

大正九年

- 324 たてあひ助け合 同志會(編) 洋・四六 45頁 I.23... 昭9.VI(20版) ちば 同會  
目次 一、神のからたを借りて萬物生存 二、たすけあひの真理 三、たすけあひの事實 四、眞の道 五、たすけあひの效果 註... 4. IV 發行の「たてあひ助けあひ」と全體内容を異にしてゐる。(y)

- 325 天理教祖豫言集 木下松太郎(編) 洋・袖珍 205+35頁 I.25 ちば 木下眞進堂  
お聖巻を一號より十七號まで收め、附録として 甘露齋圖解、甘露齋三下り、御神樂歌が附けられてゐる。(k)
- 326 道草 増野道興 洋・袖珍 178頁 I.25... 大11.IX(2版) ちば 木下眞進堂  
教祖の豫言と日本の將來、現言録、金光教本部を訪ふ、黒住教本部を訪ふ、等について著者の日頃の所信と所感とを述べたもの。(t)
- 327 天理教祝詞作文採用卷葬祭一式職業別 今永英足 和・菊 207頁 I.26... 昭2.II(3版) ちば 木下眞進堂
- 328 天理教校別科第二十四期生住所人名錄 天理教校(編) 洋・四六 38+5頁 II. 一 ちば 同校
- 329 天理教々義要領 道友社(編) 洋・菊 39頁 III.18... 昭3.IX(5版) ちば 同社  
本教教義の要領を祖傳的に且つ簡明に記述したもので教校別科の教科書用として編纂せられたものである。(y)
- 330 道すがら 郡山大教會史料編纂部(編) 洋・四六 11+26+1+59頁 IV.20 奈良 同大教會  
郡山大教會史である。(t)
- 331 (天理教)婦人會の環(婦人會第八回總會記念) 婦人會本部(編) 洋・菊 2頁+96頁 IV.25 ちば 同本部  
目次 一、婦人會創立の神意 二、婦人會の經過と共事業 三、天理女學校の計劃とその發展 四、天理女學校教育の要旨 五、天理教婦人會規則 六、婦人會本部及各支部委員部役員 七、天理教婦人會 大正八年度會計報告 八、天理教婦人會 大正八年度統計表。(y)
- 332 ひのきしん 同志會(編) 洋・袖珍 20頁 IV.25... 大15.X(2版) ちば 同會
- 333 本部員講話集(中) 道友社(編) 洋・四六 148頁 IV.25... 12.IV(2版) ちば

- 同社  
日次、月日の心 (梅谷四郎兵衛) 因縁の理 (高井新吉) 神思無慮 (松本宗太郎) 感謝生活 (柳井安松) 一つの理 (増野道興) 終始本末 (坂倉三郎) 元々の理 (山中隆七) ひながた (辻忠作)。(1)
- 334 因縁の理 同志會 (編) 洋・袖珍 24頁 IV.25...昭2.III(2版) ちば 同會  
「なるまいと思ふてもなつてくる」因縁の理を串刺しに説いてある。(8)
- 335 講演と教話の資料 同志會 (編) 洋・袖珍 159頁 IV.25...大14.X(2版) ちば 同會  
日次 一、講演と教話 二、その作り方 三、はなしの仕方 四、信心の調査 五、作例。但し二版にあつては作例が初版よりも増加してある。(k)
- 336 道の跡 増野道興 洋・袖珍 116頁 IV.25...14.I(5版) ちば 木下眞進堂  
著者のたどり来た道の跡を著者自ら物語つたもの、内容は、教校の改新、神前奉仕、神恩の發現、埃の教理、御授けの事、故管長公追想記等。(1)
- 337 道行く心 増野道興 洋・袖珍 147頁 IV.25...14.I(5版) ちば 道友社  
至心録、御本齋話、平野先生遺話、正月の頃、大祭の夜、等について所感及所信を發表せるもの。(1)
- 338 おさしづ (自明治十九年十二月至二十一年十一月) 同志會 (編) 和・菊 131頁 IV.25 ちば 同會
- 339 おさしづ (自明治二十二年九月至同年十二月) 同志會 (編) 洋・袖珍 79頁 IV.25...大14.V(2版) ちば 同會
- 340 天理都々逸歌 今田善逸 洋・四六小 14頁 IV.25 ちば 木下眞進堂
- 341 病の元は心から 同志會 (編) 洋・袖珍 23頁 IV.25...大15.X(2版) ちば 同志會  
先づ人間の身體が神よりの借物である事を述べ身體を貸して下さつてゐる神は人間を子供の如く可愛ひがてられる、然し人間は自身勝手な我儘な道を行くから神は人間に病を與へ、其の行を反

- 省させられる一切の病氣災難の元は心使ひから来るものだと述べてある。(1)
- 342 八つのほこり 同志會 (編) 洋・袖珍 26頁 IV.25...14.X(12版の年月による) ちば 同志會
- 343 みかぐら歌性解 奥谷文智 洋・四六 114頁 IV.一 (12版の年月による)...大15.X(12版) ちば 木下眞進堂  
御歌に一々説明註釋を施したものを。(1)
- 344 天理教職員録 (大正九年五月調査) 道友社 (編) 洋・袖珍 26頁 V.一 ちば 道友社
- 345 日本建國史綱 大宮兵馬 洋・菊 26頁 VI.5...昭5.III(12版) ちば 道友社  
日本建國の概要を天地開闢、修理開成、三神分治、偉業立統、皇位確立、天運恢弘の六章に分けて説いてある。(8)
- 346 廣池博士の天理教講演筆記 (第一協會に於ける) 廣池千九郎 洋・菊 58頁 VII.一 ちば 同者  
一般社會の人に天理教の大體を示すためになされた講演筆記、附、助け一極の御話の概要。(本)
- 347 文化主義批判 (第二回講習會講義録) 青年會 (編) 洋・四六 44頁 VIII.24 ちば 同會  
別巻藤原氏の講演にかゝり、ギリシヤ時代、十八世紀の歴史的文化運動より説き起し、當時問題たりし文化主義運動を分析し批評して天理教の新しい時代に處すべき所を示す。(8)
- 348 布教論 (第二回講習會講義録) 青年會 (編) 洋・四六 59頁 VIII.24 ちば 同會  
時代と天理教と云ふ事をめざして行はれた第二回青年會の講義録の一講義として小野増彦氏が試みたもの、人生と宗教、新文化と天理教、地獄中心の教、の三項に依つて新しい布教の指針を説けるもの。(8)
- 349 労働問題十講 (第二回講習會講義録) 青年會 (編) 洋・四六 65頁 VIII.24 ちば 同會  
講師は深谷徳郎氏。人性と労働との関係より説き

- 起し、労働の意義及種類より資本と企業にまで論及し、茲よりして英米に於ける労働運動の實状を述べ、最後に日本に於ては同運動は須らく精神化し宗教化するべしと懇叫してゐる。(1)
- 350 宗教法規概論 附財團法人に就て (第二回講習會講義録) 青年會 (編) 洋・四六 66頁 VIII.24...12.III  
日次 一、緒論 二、教諭論 三、法規上より見たる教會 四、教會と信徒との關係 五、信徒總代と其權限 六、教會と稅務關係 七、財團法人に就て。(1)
- 351 きしん學舎紀要第三號 きしん學舎 洋・四六 58頁 XI.7 東京 同會  
きしん學舎寄宿生の感想文集である。(三)
- 352 天理教校別科第二十五期生住所人名録 教校 (編) 洋・四六 72-9頁 IX.一 ちば 同校
- 353 天理教校宣教實習 題目天理教校 (編) 洋・四六 20頁 IX.一 ちば 同校  
天理教校別科生徒が宣教管轄科に於いて教義上の講話を練習せんとして、其の話を撰び考案を定めんとする時の一助とする目的を以て、教義各章の大意及び意中の主要なる語句を以て講話の題目として掲げ、その題目と意味の關連する御神樂歌、御筆先其の御神言の語句を記して講話作製を便にする。(本)
- 354 教會名稱錄 道友社 (編) 洋・袖珍 242-74頁 X.16 ちば 同社
- 355 天理童話 小西秀吉・小西利臣 (共著) 洋・四六 5+213頁 X.17 東京 都コドモ會  
天理教を理を小さい子供にでも理解出来るやうに面白い童話にしたもの。  
日次 一、八色の馬 二、慈の龍玉 三、打出の小槌 四、高麗の日出夫 五、神の心 六、死んだ人が生きて来た 七、新聞賣の少年。(1)
- 356 天理教青年會會報 (第二號) 青年會 (編) 洋・四六 1+49+40頁 X.25 ちば 同會  
日次 一、顧問講話-純眞の活動 (松村吉太郎) 二、理事講話 當面の事業 (増野道興) 今週の青

- 年會 (高多秀太郎) 三、本部に關する事項 四、分支會に關する事項 五、統計表  
附録日次。現代社會と天理教、天理教より見たる労働問題、本教の將來と海外布教、理がたより、救済の力、道、天理教徒の覺悟、信念の高調。(v)
- 357 神様の御話 同志會 (編) 洋・四六 85頁 X.25 ちば 同會  
神様の取次ぎ話として講話された本部員の御話を集めたもの。(y)
- 358 御筆先分類研究 (二卷上下) 同志會 (編) 洋・袖珍 6+192+140頁 X.25 ちば 同會  
おふで書きを年類によらず、編者が假に部門を設けて分類し系統的にお歌を排列したものである。(y)
- 359 お道の理 武谷兼信 洋・袖珍 152頁 X.25...大11.X(2版) ちば 木下眞進堂  
道の友誼上に發表せる教話及び感想 (神恩徳の教祖、教祖三十年祭の感想、御神樂動に就て、青年と布教、婦人の本務、陽氣々らし、立て合ひ助け合ひ順序の理) 等十二編を収めてある。  
「道の道」の姉妹篇。(1)
- 360 お助けの手引 教理研究會 (編) 洋・四六 37頁 X.25...大14.XI(9版) ちば 木下眞進堂  
日次 一、信心 二、貨物借物 三、身の内御守護 四、やまび 五、八の埃 六、さんけ(y)
- 361 たんのふ 同志會 (編) 洋・袖珍 19頁 X.25...昭4.IV(2版) ちば 同會  
たんのふは眞の誠であり 前生因縁切りの理なることを述べてゐる(1)
- 362 またいつ歸る 山口宣光 遺著 山口安澤 (編述) 洋・四六 口繪 15+188頁 XI.12 東京 平屋勘次  
愛兒宣光君の遺稿を主に 著者の感想が添へられてゐる。(8)
- 363 しきりのみち 上原義彦 洋・袖珍 158頁 XII.15 東京 東大教會  
著者生活の轉換期に於る 眞摯な信仰文字を顯したものの、自我と改道、女性文化の躍き、合掌と檀越福

路の歩み等八篇。(8)

大正十年

- 364 御本席行憲 (心の友パンフレット第一編) 心之友新聞社 (編) 洋四六 4+72頁 1.23...大12.XII(20版) 神戸 心乃友新聞社 御本席の人情より勤王の雄略を説き 苦勞の道すがらを述べ本席となつて、おさづけを渡し、おさしづを出される模様を細かに書き現されたもの。 目次 一、おさづけ 二、おしん 三、おていれ 四、おさしづ 五、おさしづ 六、おさしづ 七、おさしづ 八、おさしづ 九、おさしづ 十、おさしづ 十一、おさしづ。(1)
- 365 お道の始め (香志郎著作第一編) 榎井孝四郎 洋袖珍 15頁 1.23 ちば 木下松太郎 著者の處女創作六篇 (お道の信仰 雨乞ひ勤め大石の相き顔、女の心、鳥の巣、時子の信仰) を集めたもの。(1)
- 366 道一條 増野道興 洋袖珍 140頁 1.25...大11.IX(5版) ちば 道友社 神の世界に到達せんとして 教祖の道を歩み行く 此の時折の筆になつたもので 獨立、信する生活地味と眞實、一筋の道、谷底の道、別話、雑談、晩年の一日、琴心録、等の章を載せたもの。(1)
- 367 道すがら 天理教中和教會 (編) 洋四六 4+90+40頁 1.25 奈良 同教會 中和教會々長が入信してより 今迄の歴史を来た 経路を記した中和教會の教會發展史である。(1)
- 368 どん底まで 渡邊綱 洋四六 79頁 1.30...大14.IV(5版) ちば 木下眞進堂 どん底に落ち切らなければ 眞の神を見る事が出来ないといふ處より 説き起し、教祖の生涯のどん底生活を記し、種々どん底に落ち切つた實例を以て執筆する。 目次 どん底に見ゆる神、生さんと

する要求、どん底まで、信我教祖、神の力、祈にふれて、泥海の中から。(k)

- 369 病の元とはこり (病の因と埃) 同志會 (編) 洋四六 50頁 11.25...大11.III ちば 同會 病の元は心にある、日々の心遣ひの「はこり」の思案が元となつて病になることを説いてある。(y)
- 370 天理教校別科第廿六期生住所人名録 天理教校 (編) 洋四六 68+9頁 11.25...大11.III(11版) ちば 道友社 校別科科教科書用として神、教祖、地場、甘藷餅、借物、八埃、因縁、眞實、神樂舞、善教の十項目に就てお言葉を書き記して 教理的の説明をされたもの。(k)
- 371 教の臺 増野道興 洋四六 3頁 11.25...大11.VIII(11版) ちば 道友社 校別科科教科書用として神、教祖、地場、甘藷餅、借物、八埃、因縁、眞實、神樂舞、善教の十項目に就てお言葉を記して 教理的の説明をされたもの。(k)
- 372 天理教のすゝめ 一條秀美 洋袖珍 22頁 11.25...大11.IV 東京 ひのきしん會 天理教傳道用の小冊子であつて、精神 (こゝろ) 定めのお歌が附録についてある。(三)
- 373 天理教青年會高安分會第二回總會紀念 天理教青年會高安分會 (編) 洋菊 78頁+14頁 11.25...大11.IV 大阪 同分會 教祖四十年祭を前にして、高安大教會の布教方針を提唱したもの。(k)
- 374 因縁唱歌 (宣傳唱歌天理教) 北野元治郎 洋四六 2頁 11.25...大11.III(5版) ちば 木下松太郎
- 375 理想と世界へ 渡邊綱 洋四六 78頁 11.25...大11.IX(5版) ちば 木下眞進堂 本教の理の概要を誰にでも分り易いやうに、且つ面白く色々な方面から説いたもの。 目次 一、理想の世界 二、分り切つた事が分らん 三、眞の思を説くものはあれど、神の思を説くものはない 四、忘れられた改造 五、何が一番難しになるか 六、因縁は恐ろしいもの 七、如何にせば罪障も不自由も出来ぬ様にならぬか 八、現代人は餘りに不足が多い 九、神様のお仕事をお手傳ひ申す事のみ意欲あり 十、泥海たる思想界の爲に一宮 十一、理想の世界運きに非ず 十二、贈答。(1)
- 376 心のひらき 天理教婦人會北支部 (編) 洋四六 28頁 11.25...大11.IV 大阪 同支部

- 此のひらがたを通りませう、御教祖を信じて、御道と産屋、しんじつ、助け一統、親心、等の教話を編めたものである。(x)
- 377 本部員講話集 (下) 道友社 (編) 洋四六 14頁 11.25...大11.III(5版) ちば 同社 本部の先生が其の信仰の眞實を語り、信仰の要諦、教會の發達、教義の根本がどこまでも深い體験に即して明にせられてある。 目次 天啓 (飯野政基) 眞理の道 (朝林篤七) 元々の理 (辻山松) 一列兄弟 (上田民藏) 元の神 (山田太右衛門) 心の立持 (増野正兵衛) 眞の助け (櫻井伊三郎) 足踏の理 (深谷源治郎) 眞實の言葉。(8)
- 378 天理教婦人會の渠 (婦人會第九會總會) 婦人會本部 (編) 洋菊 11頁 11.25 ちば 同本部 目次 一、婦人會の成立と其の意義 二、婦人會の事業經過 三、天理女學校の夏校 四、天理女學校の教育要旨 五、天理女學校の教育の方針 六、天理教婦人會の現理 七、婦人會本部及各支部役員部役員 八、天理教婦人會大正九年支部計報告 九、天理教婦人會大正九年支部統計表 婦人講話として、婦人のつとめ、精神一つの理等十七題を載せてある。(i)
- 379 布教とおたすけ 同志會 (編) 洋四六 6頁 11.25 ちば 同志會 内容 一、地場中心の教 二、おたすけと布教 三、眞實の布教 四、選れる布教 五、現在及び將來の布教 六、公衆傳道 七、布教と教育宣傳。(1)
- 380 八埃の新研究 同志會 (編) 洋四六 6頁 11.25...昭2.1(11版) ちば 同志會 「はこり」を中心にして本教の罪障論がはしがきに書かれ以下八つのものに就て 綜合的に説明することをめざし平易に記されてある。(f)
- 381 美枝子教祖の片影 奥谷文智 洋四六 38頁 11.25...大10.V(8版) 東京 きしん學會 一、世界改造の先驅者 二、人としての教祖 三、神としての教祖 四、世界最大の夫人格者の四章に分ちて 著者が教祖に對して感銘深く述べたる處を採にしたものである。(k)

- 382 神言解釋 (卷二) 同志會 (編) 洋四六 90頁 11.25 ちば 同志會
- 383 信物の理の研究 同志會 (編) 洋四六 89頁 11.25...昭2.VI(20版) ちば 同志會 信物についてのお言葉と本歌がかかひられ、ついで 一、神の世界 二、身上信物 三、一切亦信物 四、成道の生活 五、信物の身上に疾病 六、救済 七、信物の死。の七章を通じ信物の教理を顯して信仰の眞實を説いたもの。(c)
- 384 天理教信仰の階梯 (改訂増補 一名初階受學者の心書 附著稿の言葉 御神樂) 太田敏義 洋袖珍 3頁 11.25 大阪 天誠會 お神樂歌及び十柱の神様の御守譯を説き 加ふるに明治天皇の御製が参照してある。
- 385 たすけたさにこの神話 村瀬道三 洋四六 4頁 11.25 (写本案内文に據る) 大阪 同人 御教祖四十年祭を前にして 教信徒が此の大節に處するの要諦を必要とする時、著者も祖思の萬分の一にも照し且つ切ひがけの一端にもと著はせるもの。 目次 信心、信物信物、身の内御守護、やまひ、八つの埃、さんば、因縁切らしていただける御話。(c)
- 386 達及則 道友社 (編) 洋四六 185頁 V.1 ちば 同社 目次 達、論達、教規及規定、書式、學制、會制、章程 (y)
- 387 神言解釋 (卷一) 同志會 (編) 洋四六 43頁 VI.15 ちば 同會
- 388 因縁切りの道 木下眞進堂 洋四六 15頁 VII.15 ちば 同書店 因果應報、病の原因、及び其の切斷に就ての教理を述べたものである。(f)
- 389 天理教教理問答 木下眞進堂 (編) 洋四六 23頁 VII.20 ちば 同書店 浄土宗の寺院の住職と對して同書の體裁で天理教に入信し布教に奔走して居る者との教理に関する問答である。(y)
- 390 坊さんと天理さんとの内証話 (比較宗教) 廣岡富藏 洋袖珍 348頁 VII.

- 25...IX(2版) 東京 文陽堂
- 佛教大學出の僧侶と、大患平癒で人信した天理教師との話が對話の形式で書かれてある。内容  
一、現代思想と社會問題 二、生活問題と布教傳道 三、寺院と教會教師と僧侶 四、兩教の見たる婦人問題 五、大本教の批判と天啓者の價値 六、世男改道と宗教 七、比較宗教と天理教の天啓 八、釋迦とキキ子 九、神學と經文。(t)
- 391 教祖四十年祭記念高安大教會布教方針 松村義孝 洋.菊 48頁 VII.25 高安大教會  
教祖時代の精神を復治せよ。教祖四十年祭高安大教會布教方針 一、教祖は専務に布教に従事すること 二、お助け人数は必ずお助けに出づる事 三、別前人を多く運はしむる事 四、教祖生を多く募集する事 五、信徒は深く神恩を知り、借物の理を悟り助け一統の精神を造る事 六、教會をしてお助けの専門道場たらしむる事 七、布教者の遠旅中困難者を見分けて救助すること 八、布教者の實況を見分けた上 其布教費を補助する事 九、布教資金を募集する事。(k)
- 392 おさしづ 増野道興(編) 洋.四六 40頁 VII.15 ちば 同者  
増野家に關係あるおさしづ 明治十八(二十九年)を編輯したもの。(y)
- 393 訓話集 松村吉太郎 洋.四六 117頁 II.V.23 ちば 道友社  
教祖四十年祭を前に控へ、大正八九年頃に兵が處々に於て所信を披瀝したものを一纏めにしたもので一、今世の本教 二、戦後の大勢と本教の活動 三、支那の意識と教徒の自覺 四、茨木父子の愛職願末 五、天理教青年會訓話 六、天理教青年會に與ふ 七、純真の活動 八、時代思潮と敎家の自覺 九、日本橋分會訓話 十、天理中學校入學式訓話 十一、天理女學校教育方針 十二、天理女學校入學式訓話 十三、地女節訓話。(k)
- 394 南海大教會の由來 天理教南海大教會役員(編) 洋.四六 167頁 IX.5 和歌山 同教會
- 395 天理教校別科第二十七期生徒任所人名錄 天理教校(編) 洋.四六 79頁十1

- 3頁 IX.一 ちば 同校
- 396 天理教地場案内 道友社(編) 洋.四六 7+106頁 X.7 ちば 道友社  
地場の意義及地場に就ての沿革、並に教學施設及教團關係の施設の説明。(k)
- 397 一日一訓(御聖言) 廣岡富藏 洋.袖珍 95頁 X.15...大13.X(2版)  
ちば 木下眞進堂  
御聖言、御聖先、會指圖、制限等の中より三百六十五の御言を抜出し之を一年三百六十五日に一日一訓づ、別したる小冊子。
- 398 生涯の理 田舎道人(編) 洋.四六 123頁 X.15...15.X(2版) ちば 木下眞進堂  
先聖諸先生の別席に於けるお話を廣く且永遠に傳へる爲に集められたものである。目次 一、おたすけ(増井りん女史) 二、ほこり(土佐卯之助氏) 三、たんのう(深谷源治郎氏) 四、かりもの(飯倉三三氏) 五、いんねん(高井福吉氏) 六、心さため(山澤爲藏氏) 七、道すがら(御本冊)(y)
- 399 人生の改造 天理教教理研究會(編) 洋.四六 311頁 X.20...大14.VII(2版) ちば 木下眞進堂  
天理教教理に基き人生を解釋し 其の教理が如何に有意義なるかを説きたるものにして、甘藷の建設を以て人生が改造されたるとの結論に至る。(k)
- 400 読みやすい教祖專 廣岡富藏 洋.袖珍 128+14+42頁 X.20...大14.IX(2版)  
ちば 木下眞進堂  
御教祖の御道すがらを老人にも子供にも分り易いように著はされた書物である。目次 一、教祖の御幼時 二、教祖の御世帯 三、教祖の御慈悲 四、教祖の御神恩 五、教祖の御苦勞 六、教祖の御宣教 七、御昇天と現勢、附録として天理教年譜あり。(y)
- 401 病理研究(病のさとし) 山脇成幸 洋.四六 175頁 X.22...昭.3.IV.(12版)  
ちば 木下眞進堂  
種々の病氣に就てこれは何の理、これは何の理と一

- 々其のよつて来るまごころの理を説かれたもの。(k)
- 402 教祖類型の理 武谷兼信 洋.四六 26頁 X.24 ちば 天理教青年會北分會  
北大教會主席、擔任教祖講習會に於てなされた講義を編輯したもの、目次 一、天理教成立の要件 二、御教祖の御聖歷 三、今日の時勢 四、類型の道 五、結論。(y)
- 403 宿教祖四十年祭 天理教教會本部(編) 洋.菊 31頁 X.25 ちば 道友社  
祭典の準備、祭典の意義、教祖の遺蹟、四十年の切、教徒の覺悟に就て述べられてある。(k)
- 404 天理教教義及信仰 同志會 洋.四六 152頁 X.29 ちば 同志會  
本教々義の大要を平易に説明したものである。(y)
- 405 教校生活 同志會(編) 洋.袖珍 108頁 X.25 ちば 同志會  
教校、其の課程、生活を教校卒業生の寄稿によつて概観に示したるもの、増野校長の心齋教育其他。(y)
- 406 道の神話 同志會(編) 洋.四六 110頁 X.25 ちば 同志會  
目次 一、神のめぐみ 二、道すがら 三、一ことばなし 四、キキ子 五、日々の自由用 六、たんのうと向上生活 七、心の修業 八、さんねん 九、因縁 十、就眞實。(t)
- 507 たんのふと医縁 同志會(編) 洋.四六 54頁 X.25...昭4.I(2版) ちば 同志會  
たんのふに就て分り易く書かれた教話である。(k)
- 408 悪医縁を切つて頂くには(三才宣傳小集) 増野石次郎 洋.四六 52頁 X.26...大11.IV(25版) ちば 三才社
- 409 天理教青年會會報(第三號) 天理教青年會(編) 洋.四六 64頁 X.26 ちば 同會
- 410 第三回講習會講義錄 天理青年會(編) 洋.四六 20(頁 X.26 ちば 同會  
目次天理教の社會的地位(深谷徳郎)、教會の意義祖縁及活動(小野晴彦)、一家庭と信念の訓誡(諸井慶五郎)、海外布教に就て(増野石次郎)の四篇が載つてある。(k)
- 411 教團の力(第三回總會記念) 天理教青年

- 會本部(編) 洋.四六 51頁 X.26  
ちば 同本部  
青年會第三回講習會の本部の先生の講話を纏めたものである。目次 四十年祭と青年會、汗と血と涙の價、人生の誤解、罪本反始 兒童教育の必要、信仰に就て。(k)
- 412 教會名稱錄 道友社(編) 洋.横 139+44+14頁 X.26 ちば 同社
- 413 天理教と大本教 一條秀美 洋.四六 70頁 X.26...大10.X(4頁) 東京 ひのきしん會  
一、天理教の沿革 二、大本教の沿革 三、天理教祖と大本教祖 四、兩教の神觀 五、天理教の地場中心主義と大本教の種部神觀、六、結語等六部を以て天理教と大本教とを比較對照したもの。(k)
- 414 天理教祖中山美伎子 波達霞亭 洋.袖珍 2+25頁 X.5 東京 霞亭會出版部  
教祖の結縁より説き初め御昇天に至る間の御事跡を記したもので 教祖の年譜の心掛け及神恩以後の世人救済及、内弟子指導の態度が詳しく述べてある。(k)
- 415 天理教々理講習會筆記 岡山教務支廳(編) 洋.四六 47頁 XII.6 岡山 同廳  
岡山教務支廳に於て大正十年十二月十六日に行はれた講習會の講演を筆記したもの 講師は武谷小野晴氏。(k)
- 416 教祖四十年祭 増野道興 洋.四六 30頁  
御教祖四十年祭を逢ふるには如何なる心定をなすべきかを説いたもので、地場の意義並びに御教祖五十年間の道すがらに就いて説明してある。(y)

大正十一年

- 417 お地場とはどう云ふところ(天理教宣傳小集第二編) 深谷徳郎 洋.四六 31頁

- 1.10...X(27版) ちば 三才社  
大昔のお地場、今世のお地場、昔来のお地場、お地場に歸つたならば、の四節に依り、お地場の由来意義を説明した小冊子である。(k)
- 418 **こゝろの跡** (香忠郎著作集第二編) 榊井孝四郎 洋袖珍 117頁 1.10 ちば 木下眞進堂  
しんげんの生活、青年の私の生きる爲に、宗教と音楽に就て、愛に生きよ、恵まれし日、蘇れゆく頃、等凡て著者が過去の経路を書いたもの。(k)
- 419 **改訂天理教祝詞集** 天理教々理研究会 (編) 洋四六 217頁 1.20 ちば 木下眞進堂
- 420 **教祖類型の道** 天理教同志會 (編) 洋四六 71頁 1.23 ちば 同志會  
御教祖がお通りになつた御苦勞の道すがら ひながたの道を述べたものである。(y)
- 421 **科言解釋** (巻三) 天理教同志會 (編) 洋四六 47頁 1.23 ちば 同志會
- 422 **おはなしの友** (上) (増補改訂) 眞章五 洋四六 59頁 1.24...大12.X(7版) ちば 三志滿教友會  
おこまは、教理のさとりと都語的にさとり、それぞれ教話を附して、おはなしの友さなるよう編まれてゐる、不足に強あり、足跡に徳あり、不足といふがんねんの根があるで、身の内と世界と同一理なぞ。(i)
- 423 **おはなしの友** 木下松太郎 (編) 洋四六 1+160頁 1.24...昭 5.11(7版) ちば 木下眞進堂  
御教祖が御座の著に、替へてお話し下された事、及び十柱の神様の御守護、又八つの埃、其他 お言葉引用し、新書體的に理の明説を加へたものである。(k)
- 424 **長谷川理一遺稿** 長谷川繁造 (編) 洋四六 1+26頁 1.25 ちば 木下眞進堂  
寸威 照想 教話 書簡を一纏めにした故人の尊いかたみである。(k)
- 425 **本部員別席講話理の御話** 同志會 (編)

- 洋四六 165頁 1.25 ちば 同志會  
本部員諸氏が別席で説かれたものを一纏めにしたもの。(i)
- 426 **天理教講義録第一號** 奥谷文智 洋菊 1.26 東京 きしん學會  
目次 天理教祖傳講話、日本國民思想、天理教々義綱要、御神樂歌講義、宗教心理學、天理教發達史、人格主義學講義、遺傳と人生、天理教々典義解、御本席の天啓に就て、等の各項に亘り讀み易く親切に述べてある。(i)
- 427 **天理教と日本の前途** 奥谷文智 洋四六 31頁 1.26...II(7版) 神戸 心の新聞社  
國運の消長と信念との關係、日本固有の神國思想と生々主義、傳統的精神の死滅期來る、天理教々祖の日本觀、大和の國と地場の神祕、平和の先驅者としての日本、地場に國際都市の建てよ、の各項目につき説明してある。(k)
- 428 **別科第二十八期學生名簿** 天理教校 (編) 洋横 55+17頁 11— ちば 同校
- 429 **天理教講義録第二號** 奥谷文智 洋菊 11.15 東京 きしん學會  
目次 日本國民思想、天理教祖傳講話、宗教心理學、天理教々典義解、御神樂歌講義、人格主義學講義、遺傳と人生、天理教發達史、天理教信仰治療の原理、天理教祭儀作法、教祖四十年祭を期して世界恒久平和運動を起せ、等の内容を有す。(i)
- 430 **夫婦揃うてひのきしん** (天理教宣傳小集第三編) 諸井慶五郎 洋四六 31頁 11.20 ちば 三才社  
夫婦揃ひてひのきしんのお歌を土蔵としてひのきしんに付て述べてあり、ひのきしんは労働か、ひのきしんの心、夫婦のはたらき、いざさらは の四節に分けてある。(k)
- 431 **神意と四十年祭** 同志會 洋四六 61頁 11.25 ちば 同志會  
目次 四十年祭の提唱、年祭の意義、年祭と節、四十年祭の準備、四十年祭と旬、四十年祭と教信徒の覺悟、以上六篇よりなり 教祖に一大奮起を促して

- る。(i)
- 432 **初席心得** (十柱の神様の御守護及び八埃の理) 木下眞進堂 (編) 洋四六 14頁 11.2 ちば 同眞進堂  
十柱の神様の御守護並に八埃の 説き方を示したものの。(i)
- 433 **教師、未信徒の睦つき話** (疑問解決) 高岡青原 洋袖珍 221頁 IV.1...大.15. IX(7版) ちば 木下松太郎  
目次 眞嗣の信心はさうしたらいいか、世の元人間の元はどうして知れるか、話を聞いて身助かるのは何故か、助けて貰ふのに金を出すのは何故か、文明の今日手踊りする のは何故か、以上の項目に就て、天中出の 天理教々論と小學校教師の未信徒との對話の形で書かれてゐる。(i)
- 434 **天理教講義録第三號** 奥谷文智 洋菊 IX.10 東京 きしん學會  
日本國民思想、宗教心理學、天理教々典義解、御神樂歌講義、人格主義學講義、遺傳と人生、天理教發達史、ブレノロヂ講話、天理教々義綱要、宗教法令、現代思想問題と天理教、天理教の傳才吉川學士の人格に就て。(i)
- 435 **うめの友** (改訂増補) 眞章五 洋菊 2+10+11頁 IV.24...大.15.1(7版) ちば 森長書店  
身體各部の例をさとしたものである。(初め五—三郎著といふものなりしが、後眞章五著に改る)
- 436 **天理教婦人會の榮** (婦人會第十回記念會金) 婦人會本部 (編) 洋菊 10(頁) IV.25 ちば 同本部  
目次 一、婦人會とその使命 二、婦人會事業の概要 三、四十年祭の提唱 四、時しめんのつとめと婦人會 五、天理教婦人會規則 六、婦人會本部及各支部委員部役員 七、大正十年度會計報告 八、大正十年度末統計表、講演として、自由用一つの理、道と心 第十六題を載せてある。(i)
- 437 **婦人會の榮** (空) 天理教婦人會中和支部 洋四六 3(頁) IV.25 奈良 同支部  
發刊に際しての事、御教祖四十年祭と婦人會の使

- 命、會報。(k)
- 438 **地場の眞義、四十年祭と其の活動、教恩と報謝** 天理教教會本部 洋菊 74頁 IV.25 ちば 道友社  
教祖四十年祭前、全國の會長、所長を地場に召集して、本部より眞直徑、理を渡された時の御話である。内容は、地場の意義—山澤爲造氏、四十年祭とその活動—松村吉太郎、教恩と報謝、板會岡三郎。(i)
- 439 **肺病の信仰的療法** 佐藤乙二郎 洋袖珍 61頁 IV.25 ちば 田邊要藏  
信仰に依つて肺病が助かる道を主として説いたものである。(y)
- 440 **お道とお空** 廣岡富藏 洋四六 5(頁) IV.25 ちば 木下松太郎  
お産に関する御教理 並にお産前産後の心得を述べたもの。(y)
- 441 **理のさと** 上原義彦 洋四六 31頁 IV.26 東京 天理教よのなか社  
四五頁宛の思ひ教話集、目次 理のさと、後まお存員ふ、一節道、心の領り、悟屋敷、理のさんけ、ひそかに運ぶ理、心の聲、信心の光。(i)
- 442 **天理教講義録第四號** 奥谷文智 洋菊 VII.1 東京 きしん學會  
日本國民思想、宗教心理學、天理教々典義解、御神樂歌講義、人格主義學講義、遺傳と人生、天理教發達史、ブレノロヂ講話、現代思想問題と天理教、天理教祭儀作法、天理教信仰治療の原理、宗教法令、天理教々義綱要、兒童の教化に就て。(i)
- 443 **天理教講義録第五號** 奥谷文智 洋菊 V.18 東京 きしん學會  
日本國民思想、宗教心理學、天理教々典義解、御神樂歌講義、人格主義學講義、遺傳と人生、天理教發達史、天理教々義綱要、天理教信仰治療の原理、天理教の滿州布教に就て。(i)
- 444 **天理教と基督教の打明話** (比較宗教) 廣岡富藏 洋四六 379頁 VI.1 東京 文陽堂書店  
天理教々教誨(天理教校出身の講導にして近々宣教所長にならんとする人)と基督教家(教世軍仕官學校出身の少將にして某隊付の人)との對話を假想して對話式に天理教徒 基督教徒との思想を比

- 較し且天理教理を繰り込んである。而して天啓で始つた教でなくては今後はたまたま結んである。(k)
- 445 **天理教教祖の面影** 奥谷文智 洋四六 60頁 VI.15 東京 きしん學舎  
世界改造の先驅者、人としての教祖、神としての教祖、世界最大の人格者の四節を以て教祖を紹介した書である。(k)
- 446 **天理教講義録第六號** 奥谷文智 洋菊 VII.15 東京 きしん學舎  
刻限の解釋、御神樂歌講義、天理教々體綱要、お筆先の研究、現代思想問題と天理教、フレロヂー講話、天理教祭儀作法、宗教法合、天理教信仰治癒の原理、お地場に於ける現在の奇蹟。
- 447 **助の臺**(おこまは分領) 天理教同志會 (編) 洋袖珍 174頁 VII.20...昭4.IV (2版) ちば 同志會  
神宮分類集として上梓したもので 一、神(親) 二、教祖 三、人間(子供) 四、借物 五、因縁 六、足跡 七、埃 八、助け一條 九、誠實(天の理) 十、道一條 十一、病 十二、懺悔 十三、心の塵 十四、創世記 十五、世界 十六、地場元 十七、甘露瓶 十八、兄弟の理 十九、つくし 二十、勤めといふ二十項目に分類されてある。(k)
- 448 **天理教會名稱録附職員録**(大11.五月調査) 道友社(編) 洋横 149+45+14頁 VIII.1.一 ちば 同社
- 449 **黎名の歌** 米澤梅吉 洋四六 344頁 VII.9...VII.15(2版) 東京 眞進會  
會て其の字面觀人生觀より一理の精神療法を説いてゐた處其の本教々理を知るに及び眞進會の主義が盡く教理中に最も理想的に包含されてゐる事を悟つて著したのが此の書である。(t)
- 450 **天理教講義録第七號** 奥谷文智 洋菊 VIII.15 東京 きしん學舎  
フレロヂー講話、遺傳と人生、刻限の解釋、天理教信仰治癒の原理、天理教發達史、宗教心理學御神樂歌講義、お筆先の研究、天理教々體綱要、壽命樂としての天理教信仰。(i)
- 451 **これからの天理教** 並河與三郎 洋四六 66頁 VIII.20 神戸 心の友新聞社

- 地場、因縁、世界助けの教、拘原、因縁の三大要素、相互扶助、我國民と天理教、大天理教宣傳の刻限、婦人會の主義、婦人と社會救済、一筋の道、理の働き、天理教と労働問題、労働問題の根本解決、法愛國の真意義、これからの天理教といふ數多の項目の下に教氏が學理的に説いた教話である。(k)
- 452 **こゝろの礎**(天理教祖苦勞の歌) 太田敏義 洋四六 20頁 VIII.26...大12.X (2版) ちば 天誠會書院  
天理教祖聖八道の唱歌 歌神愛國聖潔運の唱歌 民力語衷心のいましめ、足跡歌調歌、天理教宣傳の歌、信仰神話語り掛けの歌が載せてある。(y)
- 453 **達及則** 天理教教壇(編) 洋四六 185頁 VIII.一 ちば 道友社
- 454 **明るい道** 増野道興 洋袖珍 128頁 IX.5...大12.IV(3版) ちば 道友社  
信仰上の出来事を藝術的に取り扱ひて 天理教藝術の第一歩の踏み出したもの(序より) 目次 しきり、いてん、しらせ、みちびき、いけん、ふしん、でなはし。(k)
- 455 **よなほり**(敬禮集第一編) 増野道興 洋袖珍 124頁 IX.5...大12.IV(3版) ちば 道友社  
講義會、講演會等に於て試みた教話、教祖四十年祭、授訓の考察、地場の意義、迎ける若者ものを採録したものである。(t)
- 456 **教會史略** 増野道興 洋四六 41頁 IX.20...大12.IX(4版) ちば 道友社  
元治元年勸業所が建設されてから大正十四年御教祖四十年祭が提唱される頃迄の教會發達の経路を簡明に記したものである。(y)
- 457 **天理教祭儀式講義** 道友社(編) 洋四六 91頁 IX.20...大15.VIII(8版) ちば 道友社
- 458 **天の理けふのをしへこゝろのかどみ** 太田敏義 横 35頁 IX.28 ちば 天誠社  
保護を中央に右側に御製を左側に御筆先を一日一頁づつ綴じた柱書である。(y)
- 459 **天理教々典講演** 天理教教壇(編) 洋四六 310頁 IX.28 ちば 同會  
教壇集の解釋を講演したものを一書に纏めたものである。(k)
- 460 **通俗教典講話** 天理教教壇(編) 洋四六 310頁 IX.28 ちば 同會  
教壇集を解り易く解した。(k)
- 461 **別科第二十九期學生名簿** 天理教校(編) 洋横 89+29頁 IX.一 ちば 同校
- 462 **天理教講義録第八號** 奥谷文智(編) 洋菊 一 IX.一 東京 きしん學舎  
目次 宗教法合附天理教々規々程(諸丹慶五郎) 御神樂歌講義(武谷兼信) 日本國民思想(並河隆吉) 刻限の解釋(飯澤政基) 人格主義學術講話(加藤唯孝) 天理教發達史(小野清彦) 天理教々體綱要(中産七) 天理教祭儀作法(柴井安松) 現代思想問題と天理教(土佐敏一) アインシュタインの相對性原理と天理教祖の助け合ひの教理(清水年夫)。(本)
- 463 **神言葉**(註解分類) 廣池長吉 洋袖珍 4+250頁 X.5...昭4.IX(4版) ちば 木下眞進堂  
御筆先、御指圖、及道の友等より折にふれて抄録した御言一千餘を神、教祖、教會、借物、埃、等四十一項目に分類し所々簡明なる註釋を添せるもの、平常聞きなれない貴い御言が數多收めてある。(t)
- 464 **病の理上** 道友社(編) 洋四六 115頁 X.10...大13.XI(7版) ちば 道友社  
聲、聖唱、聖唱、聖唱、聖唱、皮膚病、精神病、の八病に付て、其の種類及其の病理を説いてある。(k)
- 465 **神にもたれて**(にほいかげ書第一編) 遠田亮 洋袖珍 43頁 X.15...大11.XI(12版) 東京 よのなか社  
目次 助けたい信仰、苦勞結構、借り物、八つの埃、聖唱、甘露瓶。(y)
- 466 **神のおもわく** 天理教同志會(編) 洋四六 20頁 X.15 ちば 同會  
神様は人間の無氣弱しをお望みになり人間子供の出世をお待ちかねであるがこの神様の思惑に添ふ爲には三才心になることの必要を説いてある。(y)

- 467 **教祖とその教理** 同志會(編) 洋四六 4+221頁 X.15 ちば 同志會  
泥の海、くちがりの道、茨ぐらふ、原ひらいて、の四篇に分領して理の深い先草諸氏の口から洩れた逸話又は人口に膾炙されてゐる逸事を集録しキリスト福音の逸事も参照して加へてある。(k)
- 468 **天理教青年會高安分會婦人會高安支部聯合會記念録** 高安大教會(編) 洋菊 1+104頁 X.15 大阪 同大教會
- 469 **理せめの世界**(天理教宣傳小集第四編) 芦田義宣 洋四六 31頁 X.18 ちば 三才社  
断片ではあるが誰にでも分り易いやうに書かれた教話集である。(y)
- 470 **御筆先譯文**(教理のはやわかり) 自第一號自第十七號 同志會(編) 洋袖珍 218頁 X.20 ちば 田邊要蔵
- 471 **布教の研究**(教祖教壇を携) 山脇明堂 洋四六 4+268頁 X.25...大14.IV(2版) ちば 木下眞進堂  
布教者としての因縁の自覺と布教の精神と更に布教より教會の設置に至る間に於て奮然持たねばならぬ精神並に神様の思召に説き及んでゐる。(k)
- 472 **講壇より**(第壹) 増野道興 洋袖珍 125頁 X.15 ちば 道友社  
教壇の教壇に於ける氏の講義を筆記したもので教理の各方面に亘り断片的に極く平易に然も味ひ深き教話である。(k)
- 473 **講壇より**(第貳) 増野道興 洋袖珍 124頁 X.25...大13.V(7版) ちば 道友社
- 474 **講壇より**(第參) 増野道興 洋袖珍 125頁 X.25...大13.XI(4版) ちば 道友社
- 475 **會報、第四號、神錄教壇の力**(天理教青年會第四回總會記念) 天理教青年會(編) 洋四六 1+50+8頁 X.27 ちば 同青年會  
目次 總説、本部に関する事項、本部直屬分會に

- 關する事項、部屬分支會に關する事項、會員統計表、第三回決算報告、附録教團の力第二、目次、信仰の力、眞實一性、永遠の追求、黎明への一步、眞の幸福より眞の幸福へ、恩恵、先づ人格者であつて下さい、はりきつた心、神の道の人、あらし神樂とは何か、神意と日本の文化的生命、類型的道と足踏、安心と報謝。(y)
- 476 天理教全書 民族宗教研究會(編) 洋四六 1+148頁 X.28...大14.VII (2版) 東京 春秋社  
第一篇 教祖の生涯(所謂教祖傳) 第二篇 教團提要(教團要項) 第三篇 神樂歌解釋。(t)
- 477 助け一條の眞話(全) 廣池千九郎 和四六倍 1+158頁 X.—  
天理教々々就て特に目之寄進、たんのふ、助け合ひ、借物、等に關し説明を施しそして其等が現代社會に如何に必要であるかを起し、若々の如何に生くべきかを示してゐる。要するに本書は天理教々々義其義に眞り説明してゐる。(i)
- 478 命のいづみ 岡田碩象 横 3頁 X. 11...大.12IV.26 (訂正三版) 東京 岡田碩象  
各項に標題の形式で教理をわかりやすい様に説き、その左に御神言を翻した柱書である。(y)
- 479 宗教法令摘要講義 馬淵麻藏 洋.菊 74頁 XI.20 ちば 木下眞進堂  
氏の教校に於ける講義案で宗教法令摘要を簡明にしたものである。(k)
- 480 利にちかよれ 同志會(編) 洋四六 C(頁 VII) ちば 同會  
神に近よる即ち神人合一に至る信仰の道程を處々神言を引用して説いてゐる。(k)
- 481 しんじつ之道 (にほひがけ叢書第二編) 上原義彦 洋.袖珍 40頁 XII.15...大 12.I(2版) 東京 天理教よのなか社  
目次 理の道を行く、こゝろの姿、たんのふは眞の誠、麗るゝこゝろ、理はめぐる、日々の理眞の幸福に就て、新人生の建設、信仰の力、しんじつ之道の十章に亘る教説集である。(i)

- 482 よのなか童話集(第一編) 天理教よのなか社兒童教養部(編) 洋四六 94+12頁 XII.15...大12.I(2版) 東京 同出版部  
馬鹿の王様、白鳥の夢、竜の智慧、蛙のいたづら、善作寺屋、なせ鬼に尾が無いか、喜びの舞の七輪を収めてゐる。(k)
- 483 病の理(中) 道友社 洋四六 105頁 XII.23...大13.X(30版) ちば 同社  
喉、聲、痰、鼻病、毛病、赤痢、脚氣病、子宮病の八病の理及其の教理に就いて説いてゐる。(k)
- 484 病より健康へ(心の友パンフレット第二編) 廣池長吉 洋四六 60頁 XII.23 神戸 心の友新聞社  
疾病の根本原因、及其の治癒法を科學的に説明し「病の原は心から」と仰せられた本言葉を總括的に立證するために著された書物である。(y)
- 485 綱指圖(數島大教會) 數島大教會(編) 洋四六 39(頁 XII.24 奈良 同大教會
- 486 うめの友(改訂増補) 頁章五 洋.菊 67頁 XII.16 ちば 森長書店  
身替各部の病の理をさとしたもの。(i)
- 487 平達の腸チブスと天理教 國井泉(編) 洋四六 3+頁 XII.31 京城 同者  
朝鮮の平壤に腸チブスが流行した時、京城天理教青年會救護團が大活躍した、其の模様並に神様の不思議な御守護等を記されてゐる。(y)
- 488 天理教講義録 第九號 奥谷文智(編) 洋.菊 XII.— 東京 きしん學會  
目次 人心觀波の秘訣フレンジー講話(石藤子) 人格主義維新講話(加藤唯堂) 宗教心理學(牧野榮一) 天理教教典通解(山中彦七) 天理教祖傳講話(松本宗太郎) 御神樂歌講義(武谷兼信) 天理教々々義(奥谷文智) 御筆先の研究(深谷徳郎) 天理教と親鸞上人(奥谷文智)。(木)
- 489 甲府分教會沿革史 三枝榮太郎 洋.菊 甲府 同分教會

大正十二年

- 490 地場一つの理 武谷兼信 洋.袖珍 74頁 1.20...大.15.III(6版) ちば 同志會  
神人を結び付けるのは理である。その天理を本説き下された御教祖様の御風脈の大様を述べ借物貨物の理 眞のひのきしん理の道 類型的道に就いて講説されたもの。(f)
- 491 おかぐらの理(天理教宣傳小集第五編) 堀越儀郎 洋四六 31頁 1.21 ちば 三才社  
おかぐらの起源及び變遷 理の研究 心學學的考察の三項に分けて説いてゐる。(y)
- 492 病理及其教理の研究 同志會(編) 洋.袖珍 259頁 1.13...昭.2.1(2版) ちば 同會  
病名をいろいろに別にあつめ各々に病理と教理とを對照して付してゐる。(s)
- 493 たてかへ 武谷兼信 洋.袖珍 1+8頁 1.23...大.14.III(2版) ちば 木下眞進堂  
先づ立教の三大因縁の一たるお地場の理、觀心としての神意等 而してそれに対する著者の信仰を説き、最後の「吾が足跡」に於て、著者の信仰が妻や子供のお手入れにより深められたことを述べて居る。(i)
- 494 どうすればお助けをいたゞけるか 同志會(編) 洋四六 18頁 1.25... (3版) ちば 同會  
助けて頂きたい、何故助からぬか、助けて頂くには、助かる理は本眞の道 の五項目に分けて説明されてゐる。(k)
- 495 元一つの理 同志會(編) 洋四六 25頁 1.25 ちば 同會  
人間創造の地及御教祖降座の處、おたすけをはじめ凡てのお許しを授けらるゝ所、勤め場所、教會本部があり將來には甘露齋の建設さるゝ地、これらによつて元一つの意義が説かれてゐる。(f)

- 496 リをふく 増野道興 洋.袖珍 8頁 1.25...大.13.III(5版) ちば 道友社  
氏が兵部部屬分教會の講習會に於て説いた講演の筆記である。(t)
- 497 教祖の御苦勞(道友叢話第一編) 今村英太郎 洋四六 32頁 1.26...昭.2.VIII (13版) ちば 道友社  
如何なる方面より廣ふも苦勞の御一生であつた御教祖の足跡を偲び四十年祭を述べようとする教徒の反省を促せるもの。(s)
- 498 助け一條の此の所(教校みやげ) 天理教校六踏會(編) 洋四六 1+88頁 1.26 ちば 同會  
教校別冊の内容を未知の人達に知らせるために編纂せられたものである。(y)
- 499 天理教講演歌話組織法試案 今永英足 洋.袖珍 241頁 1.29...大.14.IX(4版) ちば 木下眞進堂  
天理教の本語は如何なる熟語を用ひ如何なる組立て方をするか述べられてゐる。(k)
- 500 神のはたらき(道友叢話第二編) 春野貞藏 洋四六 27頁 II.28...大.13.IV (20版) ちば 道友社  
子供可愛の一途から良きにつけ悪きにつけてすべてのものの上に偉大なるお働きを下さる神様の御守護を頂くにはどうあれよいかを説いてゐる。(y)
- 501 別科第三十期學生名簿 天理教校(編) 洋横 95+16頁 II.— ちば 同校
- 502 宗教法規概要 道友社(編) 洋四六 67頁 III.1...昭.5.II(2版) ちば 同社  
信教の自由、宗教に關する官制、教規及管長、教師懲罰規定、教會、墓地、教會所に關する地方會が編録されてゐる。(k)
- 503 神教祖のおすがた(天理教宣傳小集第六編) 掛井孝四郎 洋四六 30頁 III.21 ちば 三才社  
内容は 一、御教祖の風姿 二、御教祖の服装 三、御教祖の訓示 四、御教祖存命當時の廿六日 五、



- 御教祖の遺話。(1)
- 504 こゝろのつゑ 頁一三郎 和 菊 44頁  
III.56 ちば 教友會  
身のうちかしのかりもの、理を説明し、十柱の神様の御守護が懇切に説き分けされてある。(y)
- 505 天理教講義録第十號 奥谷文智 (編)  
洋 菊 III-1 東京 きしん學社  
目次 日本國民思想 (遠藤隆吉)、天理教々々通解 (山内中七)、人心觀感の秘訣フレノロジー講話石 (龍子)、宗教心理學 (牧野榮一)、御神樂講義 (武谷兼信)、天理教信仰治癒の原理 (奥谷文智)、天理教教祖史 (小野靖彦)、天理教祖傳講話 (村本宗太郎)、因縁の新研究 (張越儀郎)、宣傳行脚者の眼に映じたる海外布教特支聖布教に就て (高増一)。
- 506 めづらし助け (道友話第三編) 田代澤治 洋 四六 30頁 III(1)版...大.12. IV(1)版 ちば 道友社  
宗教信仰に天理教に重要な教訓、「不思議、不思議の中」からあらはれる神のたすけを神と人との根本義にたしかへつて述べられる。(s)
- 507 おのれをすて (淺草分教會創立二十五周年記念) 淺草分教會 (編) 洋 四六 7+32+24 IV.3 東京 同分教會  
上原義彦、椿卯之助、宮内會長の文、並びに教員の横書讀及部内教會の教勢統計教會名簿録を載す。(兼)
- 508 東京教務支應管内教會名簿録 (大1 2.III.2) 上のなか社 (編) 洋 横 36頁 IV.4 東京 同社
- 509 きしへの理 きりなし會 (編) 洋 袖 珍 41頁 IV.4(10版) 東京 同社  
神恩 (渡邊繁雄) 因縁 (中村徳太郎) 報恩 (柳井徳次郎) の教話を収録したもの。
- 510 道の光 天理教校同窓會 (編) 洋 四六 6+155頁 IV.10 ちば 同會  
天理教教校同窓會創設三周年を記念する爲に出版されたもので、講話、教話、感想、畫像等の數々を収録してある。(y)
- 511 世之立替と教祖の出現、因縁の轉換と

教恩の報謝、教會の意義と教師の自覺

- 教會本部 (編) 洋 菊 18頁 IV.10  
ちば 道友社  
御教祖四十年祭を前にして各地方に於て擔任教師講話會を開催せられたる各の講話を集めたものである。(y)
- 512 しんじつ 同志會 (編) 洋 袖 珍 19頁 IV.15 ちば 同會
- 513 教祖出現の眞義 同志會 (編) 洋 四六 48頁 IV.20 ちば 同會  
本教が世界最 初の教として世界に現はれたことは實に世界の歴史の上に内的に大なる變遷を來たし宇宙の最高權 威たる唯一神が直接人間に根本原理を説いて、神の意圖たる新しき世界の改造に對して第一歩を下すべくこの本道が創設せられたことを力説してある。(i)
- 514 道の女 (道友話第四編) 林甚太郎 洋 四六 30頁 IV.21...大.13X.25版 ちば 道友社  
信仰の上には男女の區別なく、御教祖様が女性であつたことから、本道の女性の進むべき道を説いた教話である。(y)
- 515 道の理 (下) 道友社 (編) 洋 四六 113頁 (0) IV.23...大.14XII(4版) ちば 同社  
内容 一書の内容、引付の例、おこり、リュマチ、宣扶斯、高直、刺刺、喘息の八病に付て、其の種類及其の病理を説いたもの。(k)
- 516 おさづけの眞意及其由來 同志會 (編) 洋 四六 141頁 IV.13 ちば 同會  
人間救済の聖い理はおさづけにある、これを一片の儀式に解する傾向あるを憂ひ、おさづけの神意種類をあげ、神諭を平明に述べ、四十年祭を期して道一線に向ふ人々の指針にしようとする。(s)
- 517 因縁とはどういふことか (心の友ペンフレット第三編) 小野靖彦 洋 四六 24頁 IV.24 神戸 心乃友新聞社  
宇宙の因果關係を説明し、それに対する著者の信仰を著述したもの。(i)
- 518 天理教婦人會の榮 (婦人會第十一回總會記念) 婦人會本部 (編) 洋 菊 4+133

- (0) IV.25 ちば 同本部  
目次 一、新時代と天理教 二、年祭は近づけり 三、婦人會員の進むべき道 四、女學校の現況並に將來 五、天理教婦人會規則 六、婦人會本部及各支部委員部役員 七、大正十一年度會計報告 八、大正十一年度本統計表、講演として、理を語れ、根の理、等十七題を載せてある。(i)
- 519 婦人會之榮(二) 婦人會中和支部 (編) 洋 四六 56頁 IV.25 奈良 同支部  
講話を集めたもので、務、おや様のまにまに婦人の務及會報、が載せられてある。(k)
- 520 苦しみから楽しみへ (現代布教叢書第一編) 天理教々々理研究會 (編) 洋 四六 49頁 IV.25...大.14.IV(3版) ちば 木下眞道堂  
さうすれば苦みの世界から幸福なる楽しみの世界へ至ることが出来るかを述べて居る。(k)
- 521 道の中の道 深谷徳郎 洋 袖 珍 119頁 IV.26...大.14.IV(3版) ちば 道友社  
教話を集めたもので、道の中の道の外に、一筋の道、大きい心大きい理、苦勞を喜び、愛のこゝろが載せられてある。(y)
- 522 天理教々々理通解 廣池長吉 洋 四六 175頁 V.10...大.14.IV(2版) ちば 木下眞道堂  
教理全體の内容に涉つて詳述する、神、天啓以下因縁、日之寄進などの根本的なものより、ざんげ、感謝、生活、人生の目的と甘露の建設にいたる二十四章に亘つてある。(s)
- 523 たてかへの理 (新教理第一編) 同志會 (編) 洋 四六 21頁 V.25 ちば 同會  
御教祖四十年祭を期して萬事たてかへるべきであるとの考へから、「よなほり」に就いて述べてある。(i)
- 524 たんのうは眞の誠 (道友話第五編) 永井順一郎 洋 四六 30頁 V.28...昭.4. VI(2版) ちば 道友社  
理めめの世界、いんねんの理、たんのうは眞の誠の三項目に分けて書かれた教話である。(k)

- 525 天理教講義録第十一號 奥谷文智 (編) 洋 菊 V-1 東京 きしん學會  
目次 因縁の新研究 (張越儀郎) 宗教法令附天理教規々々 (諸井慶五郎) 宗教學 (中山爲彦) 天理教教祖通解 (山中彦七) 天理教教祖史 (小野靖彦) 天理教祖傳講話 (村本宗太郎) 天理教祭儀式作法 (柳井安松) 刻限解袖 (魚柳政吉) 天理教宣傳講話の解釋 (奥谷文智) (木)
- 526 天譴 向所忠夫 (編) 和 菊 37頁 VI.1 香川 修徳會  
天理教本島支教會修徳會同人の教話集、眞に教祖を見出せ、利床を以ての感想、判理研究等十三項を収めてある。(s)
- 527 眞の信仰 修徳會 (編) 騰寫版 菊 14頁 VI.6 香川 修徳會
- 528 神の心は親心 (道友話第六編) 上原義彦 洋 四六 30頁 VI.18 ちば 道友社
- 529 教祖四十年祭奉仕と活動 教會本部 (編) 洋 四六 247頁 VI.27 ちば 道友社  
御教祖四十年祭を前に掲へ、大正十一年及び大正十二年本部に於て講話會を開かれた時の各講話の講話を編めて一書にしたもの、その内容を示せば、一、教祖四十年祭 二、地場の眞議 三、四十年祭と其の活動 四、教恩の報謝 五、世の立替と教祖の出現 六、因縁の轉換と教恩の報謝 七、教會の意義と教師の自覺。(k)
- 530 眞の寶 (上巻) 安江明 (編) 和 四六 109頁 VII.1 ちば 同編者  
宇宙現象をはじめ古來の習慣、男女關係、草木、人體、作物等に就き教理と符合する點を説明したものの。(k)
- 531 眞の寶 (下巻) 安江明 (編) 和 四六 105頁 VII.1 ちば 同編者  
諸種の例につきその判理を説いたもの、凡そ280節。
- 532 講壇より (第四) 増野道興 洋 袖 珍 159頁 VII.10...大.13XI(3版) ちば 道友社

- 氏が教校に於てなした講話を筆記したもので、教理の各方面に亘り断片的に極く簡単に然も味ひ深い教話である。(k)
- 533 神の言葉 (上) 増野道興 洋袖珍 156頁 VII.6 ちば 道友社  
おとしづの中から採集せられた神言葉。(k)
- 534 心ひとつの魂 (道友叢話第七編) 滑川義彦 洋四六 32頁 VII.6...大14. XI (2版) ちば 道友社  
自身から求めて作った因縁は空間(即ち理)と時間(即ち句)とを避けて現はれて来る、この因縁のために人間は苦しまなければならぬ、然し心一つの理によつて因縁を断絶し、永遠に救はれることを説かれてある。(y)
- 535 御教祖とその門人山中忠七翁 (高弟別傳第一編) 山中忠正(編) 洋袖珍 1+10 9頁 VII.6 ちば 三才社  
山中忠七翁の人格、教祖と門弟山中忠七翁、教祖と山中家にからまる遺話の三項に亘つて書かれたもの。(k)
- 536 日本建國の精神 山口宏澤 洋四六 271頁 VIII.20 東京 神道學會  
神代史の價值、神話的傳記の解釋、神典と日本國家及國民の使命、神典と天啓、元始及び萬歳、聖現と神、神意と天業及國體、國民道徳の源流等に就て書かれたもの。(k)
- 537 神の言葉 (下巻) 増野道興 洋袖珍 156頁 VIII.6 ちば 道友社  
おとしづの中から採集せられた神言葉。(k)
- 538 陽氣ぐらし (道友叢話第八編) 松井忠義 洋四六 35頁 VIII.29...昭3X(3版) ちば 道友社  
神のぞみ、陽氣らしい底の勇氣、溢れるといふこと、はたらくこと、親の爲に他人様の爲に、陽氣ぐらし、ころほぬきき 等の小項目に切つて陽氣ぐらしの教話を載せてある。(k)
- 539 教祖聖傳 増野道興 洋四六 55頁 IX.15...昭2.X(6版)  
一、幼時 二、主婦 三、神憑 四、苦悶 五、谷次 六、布教 七、道客 八、教基 九、千步 十、歸南

- の十章に分ちて御教祖の御生涯を明かに記された教校別科の教科書である。(j)
- 540 雅樂譜 (聖蹟、御草履、御大鼓、御鼓) 修徳會 (編) 和横 22+22+19頁 IX— 香川 本島 同會
- 541 別科三十一期學生名簿 天理教校(編) 洋横 1:9+13頁 IX— ちば 同校
- 542 別科三十一期在學中の心得 天理教校(編) 洋袖珍 24頁 IX— ちば 同校
- 543 組各係心得 天理教校(編) 洋袖珍 10頁 IX— ちば 同校
- 544 天理教地場案内 板倉植三郎著 洋四六 9+68+5頁 X.8 ちば 道友社
- 545 そろはんふせて (道友叢話 第九編) 岡島善次 洋四六 30頁 X.15...大11.XI (2版) ちば 道友社  
如何なる場合と雖も結果を考へない没我の信仰を説かれたもので、其の内容は人間の智慧小供の成人、さんげの曙光、いんねんの自覺、信仰の味ひながたの道、布教、そろはんふせて、の八項に分たれてある。(y)
- 546 増野正兵衛傳 増野道興 洋四六 12 9頁 X.17 ちば 同者  
生ひ立ちより書き起し、入信、東京本部談、教會整理、獨立等に活躍され、普請掛の大任を果されたこと等を述べ、終りに遺話を載せてある。(u)
- 547 十柱神と御守護 同志會(編) 洋四六 63頁 X.20...昭3X(1版) ちば 同志會
- 548 世界の母 (天理教祖中山みき子御一代の明歌) 太田敏義 洋四六 53頁 X.20 ちば 天誠會書院
- 549 大震災體驗談 第一冊 よのなか社 (編) 洋四六 24頁 X.22 東京 東京教務支應救護團  
目次 逃げ逃ふて荷物自動車に、死んだ妻が歸る、焦熱地獄の被災家跡、二重轡で再會、修羅場を脱出して、うれしさのあまりに、向岸の樓閣を辿り、死骸に圍まれて、思ひ出のまゝ、全軍の行進、大震災

- 聖教に就て。(k)
- 550 宣教資料 同志會(編) 洋袖珍 147頁 X.23 ちば 同會  
神言四十三句を撰び一々官例を擧げて解釋し、讀者の感興を惹き、神言を實行せしめんとの見地より編輯したものである。(k)
- 551 教團の力 (第五回總會記念) 青年會本部 (編) 洋四六 168頁 X.25 ちば 同本部  
目次 永遠の生命(中山真信) 活きた教訓(宮多秀太郎) 青年の宗教心(齋藤儀郎) 思想上より見たる本教の現在及將來(小野靖彦) 四十年祭と青年の活動(増野石次郎) 身心相圖(中藤幸太郎)。  
552 天理教青年會會報 (第五編) 青年會本部 (編) 洋四六倍 18頁 X.26 ちば 同本部  
目次 総説、第五回總會前記、第四回總會、東都震災に於ける本會の活動、講演會の記、直屬支會に關する事項、都屬支會に關する記事。  
553 天理教雅樂譜 道友社(編) 和横 26 +17+18+18頁 X.26...昭5.IV(5版) ちば 同社  
554 おはなしの題 北野元治郎 洋四六 27頁 X.26 ちば 木下眞進堂  
心定め、心次第の徳、はたす事、心の切替、等教話の題と簡単な梗概を附したものを二八をに入れてある。(8)  
555 御神樂歌之理晰 北野元治郎 洋四六 39頁 X.26 ちば 木下眞進堂  
御歌一々に就いて簡単な説明を附したものを。(1)  
556 神ののぞみ (道友叢話第十編) 小野靖彦 洋四六 27頁 X.26 ちば 道友社  
557 辻忠作先生 (高弟別傳 第二編) 辻豊彦 (編) 洋袖珍 82頁 X.26 ちば 三才社  
御教祖の門人としての辻忠作先生がお道の爲に苦勞された事に就いて書かれてある。(1)  
558 御話題 木下眞進堂(編) 洋四六 27 頁 X.26 ちば 同編者  
559 人を助けたのなら (道友叢話第十一編) 深

- 谷徳郎 洋四六 31頁 XI.26...大14. XI(3版) ちば 道友社
- 560 心のたから 仙田久サ助 洋四六 42 頁 XII.15 徳島 同人  
十柱の神様の御守護並びに八坂の説き分けをしてある。(y)
- 561 民風作興の詔書衍義 天理教々廳(編) 洋四六 44頁 XII.17 ちば 道友社  
大正十二年十一月に下された民風作興詔書の御趣意を廣く徹底せしむる爲め、御記念の存するところを拜察して、其の一斑を衍義講議されたもの。(y)
- 562 天理王神様之祈辭 脇野廣吉(編) 洋四六 10頁 XII.20 三重 同編者  
十柱神の神様の御守護及び八つの坂の説き分けをした小子、巻尾に天理教宣傳歌が附されてある。(1)
- 563 因縁の立替 高井義一 洋四六 31頁 XII.25 東京 よのなか社  
お手引き、因縁の現れ、からまる事情、眞のさんげ仇の因縁、つけかけた道、さわり、いけん、りつぶく、神の慈悲、等を教むる教話である。(j)
- 564 天理教祖ひながたの教 中世古陸夫 洋四六 114頁 XII.28...昭2I(2版) ちば 木下眞進堂  
御教祖の生ひ立ち、主婦の生活、慈悲善行、御神憑御懸儀の道、御歸魂と願序を道うて御教の御足跡を記したものを。(k)
- 565 小春様を偲びて (道友叢話第十二編) 小西利臣 洋四六 28頁 XII.30 ちば 道友社

大正十三年

- 566 平野権蔵 (前編) (高弟別傳第三編) 榊井孝四郎(編) 洋四六 85頁 I.1 ちば 三才社

- 一、入信前の性格と生活 二、神様の御手引 三、布教時代 四、天龍講時代
- 567 平野幽蔵(後編)(高弟列傳第四編) 榊井孝四郎(編) 洋.四六 85頁 11…大14VIII(10版) ちば 三才社  
五、地場における先生(御教祖と先生、御本席と先生、放管長公と先生)六、教會長としての先生、七、出直し、附録、先生の逸話。
- 568 講壇より(第五) 増野道興 洋.袖珍 18頁 15…大13.XI(8版) ちば 道友社  
氏の教壇に於ける講義を筆記したもので、教理の各方面に亘り断片的に極く平易に、而も味ひ深き話話である。(k)
- 569 初試験の神話と別業の理 同志會(編) 洋.四六 58頁 1.20 ちば 同志會
- 570 身上かりもの 同志會(編) 洋.四六 21頁 1.20…昭2.III(8版) ちば 同會(後木下眞道堂發行)
- 571 聖本席 同志會(編) 洋.四六 16+114頁 1.20 ちば 同會  
御本席一代記、巻頭に飯沼家系圖と御本席年譜とが添へてある。(k)
- 572 病床のなぐさめ 山脇成幸 洋.四六 10頁 1.25…大14.XI(20版)  
病床に苦しむ人の前で教済の念願を持つお助け人がお取次するやうに談話體に書かれ、神、八坂、因縁道の成立や意義、又神話言語等が交へられてゐる。病の教、心立替、世なほり、これが神の思召なることに勇んで神に送付きながら自ら教済をうくることをすすめる。(h)
- 573 鴻田忠三郎先生傳(高弟列傳第五編) 辻豊彦 洋.四六 1+88頁 1.25. ちば 三才社  
一、入信前の先生と其の性格 二、入信の動機と新潟布教時代 三、天龍教々會本部設置運動 四、御本席に仕へて、の四項に就て先生の御事歴が記してある。
- 574 天理教教話集 同志會(編) 洋.四六 126頁 1.25 ちば 同會  
目次 ま真劍の道、理のはたらき、盡しはこびの理仕切の道。(s)

- 575 實證信仰のたまもの 山脇成幸 洋.四六 15頁 1.25 ちば 同者  
因縁の理、病の元の理を研究し、之を斷疑して教はれたる事實を挙げ、以て神の思召と靈教とを例證せんと試みたもの、而も單に病氣のみに止らず、進んで火葬、水葬、風葬等の天變地異の御守護までも論じてゐる。(t)
- 576 本席の道すがら(道友叢話第十三編) 増野石次郎 洋.四六 30頁 1.28 ちば 道友社  
内容、教祖の八信道、山坂路、茨ぐらふ路、崖路、劍の中、の各項を逐ふて聖本席の御生涯を述べてある。(k)
- 577 民風作興に関する詔書の精神一斑 天理教々廳(編) 洋.四六 4頁 1.28 ちば 道友社  
大正十二年十一月十日に下し賜はつた御詔勅の御趣意に就て講述されたものである。(y)
- 578 神秘と眞理(一) 増野道興 洋.袖珍 100頁 1.28…大14IV.(17版) ちば 青年會  
講所での講習會や學校に於て試みた講演の筆記、神秘と眞理が前半を占め、後半には教會と家庭、お道と世の中、教校卒業の前景が収められてゐる。(t)
- 579 天理教職員録(大正13.1調査) 道友社(編) 洋.横 21頁 11.18 ちば 同社
- 580 おさしづ(自明治十九年十二月至明治二十一年十一月) 同志會(編) 洋.横 131頁 11.30 ちば 同會
- 581 別科第三十二期學生名簿 天理教校(編) 洋.横 9頁+32頁 11.一 ちば 同校
- 582 達及則 天理教教々廳(編) 洋.四六 190頁 11.一 ちば 道友社
- 583 本教の現勢と内容の充實 助け一帳と理の體驗 教師の使命と感激の生活 天理教々會本部(編) 洋.菊 141頁 111.13…IV(2版) ちば 道友社

- 四十年祭を前に 教徒一列一體の活動を促すため 御本席に於て行はれた講習會の記録である。(r)
- 584 御神樂勤めの手ほどき(おたすけの巻) 井上華山 洋.菊 230頁 111.20 ちば 木下眞道堂  
立教當時御神樂勤めにより如何なる難病も直ちに平癒し珍らしい御助けが無数に上つた所から書名にある様な聖記が附されたのである、其のお神樂の手振りや足型を圖解しつゝ、説明せんと試みたものである。(k)
- 585 敷島大教會發達史概要 森井熊吉 洋.四六 86頁 111.25 奈真 しきしま社  
敷島大教會發達の概要を説いたもので心勇結社の時代より、城島分教會設置、教會新築並に 郡内教會設置、教祖殿新築、城島分教會移轉、本教獨立並に大教會に改稱、本部御神樂建築、信徒財所の建築を経て現在の大教會の狀態を述べ 教祖四十年祭準備に對する方針に結ばれてゐる。(k)
- 586 理を辿りて(道友叢話第十編) 平野規知 雄 洋.四六 31頁 111.26 ちば 道友社  
社會現等の不安動搖は要するに無信仰にあり神を信じて理を辿るべきことを力説せるもの。(t)
- 587 決意の話 大東支教會(編) 洋.四六 22頁 111.一 同教會  
大震災の直後さんけ話を書いたもの。(k)
- 588 泥海古記講話 同志會(編) 洋.四六 66頁 111.20 ちば 同會  
泥海古記が外部から無情の文句と見られ 密義の如く考へられて 初信者にすゝんで傳へられず 信徒も之に對する深い憤りをもたぬ爲に 忽にせられがちの教義の根本を明にせんが爲に解説せるもの。(s)
- 589 たのしみの道 武谷兼信(述) 洋.袖珍 86頁 111.20…大14XI(3版) ちば 同志會  
貨物借物の理に筆を始め、因縁の理及、因縁の切斷を明瞭に説明し、全體を通じて神恩の深きを教へ吾々神の子供として 神に報ゆるには如何にすべきかを示してゐる。(i)
- 590 世界の母(橘波筑前臣邸第五章第十八節 第十九節) 太田敏義 洋.四六 10頁 111.20 ちば 天誠會書院  
天理教祖の決死、夫の逝去、教祖赤裳の御苦勞、の場面を筑前臣邸に仕組んだもの。(k)
- 591 世界の母(橘波筑前臣邸第五章) 太田敏義 洋.四六 15頁 111.24 ちば 天誠會書院  
教祖を夫普兵衛氏實刀を被て御兼言の條。(k)
- 592 婦人會の礎(參) 天理教婦人會中和支部(編) 洋.四 60頁 111.25 奈真 同志會  
四十年祭を前に抱へての我等の精神の持方に就て述べたもので四十年祭と會員の自覺、四十年祭と教師の自覺、四十年祭と理の體驗、等の項目に就て書かれてある。(k)
- 593 (天理教)婦人會の礎(婦人會第十二回總回同志) 婦人會本部(編) 洋.菊 1頁+15頁+90頁 111.25 ちば 同本部  
目次 一、天理教婦人會々則 二、婦人會本部及各支那委員部役員 三、大正十二年度會計報告 四、大正十二年度未統計表 感想として、理の現はれ、婦人の使命五題 及講演として、道の婦人句に對して備十五題を載せてある。(i)
- 594 天理教祝詞集解義附枕詞集 藤原美彦 洋.袖珍 150頁 111.25 ちば 木下眞道堂  
祝詞の語源、意義、種類等祝詞の概要より用語、語音をのべ 祝詞用語の意味を附書の如く排列して解いてある。(s)
- 595 神の道具 増野道興 洋.四六 20頁 111.26 ちば 道友社  
本教の成り立ちから考へて我々は神様の道具として働かして頂く様 心掛けねばならぬことを説いてある。(k)
- 596 梅谷四郎兵衛(高弟列傳第六編) 春野貞造(編) 洋.四六 112頁 111.26 ちば 地場思潮社  
梅谷先生の生立ちより入信の動機、そして中年より晩年に亘る先生の苦心と努力、終に教會の設置など著者の難業に任せて、其の當時の先生の情を解り易く書いてゐる。(i)

- 597 天理教會名稱録附職員録 道友社(編) 洋菊 176+53+21頁 IV.28 ちば 同社
- 598 天理教講義録第十二號 奥谷文智(編) 洋菊 VI-1 東京 きしん學會  
目次 天理教祭儀作法(岸井安松) 天理教祖傳講話(岸本太恵) 宗教心理學(牧野榮一) 因縁の新研究(船越儀郎) 宗教學(中山篤信) 天理教々典通解(中山篤七) 天理教教史(小野靖彦) 人心製戒の経典(小野靖彦) 天理教(石龍子)。(k)
- 599 天理教詞全集(河野泰典) 小野靖彦和 四六 9頁 V.1 ちば 田邊要造
- 600 生きる 天理教婦人會東支部淺草委員部(編) 洋四六 1+35頁 V.18 東京 同部  
天理教婦人會東支部淺草委員部の發會式記念記事である。(i)
- 601 天理教四十年祭奉仕と活動 天理教會本部 洋四六 34頁 VI.25 大14.VI (2版) ちば 同本部  
御教祖四十年祭を前にして本部に於て大正一一年十二年、十三年に亘つて講習會を開かれた時の各講師の講演を纏めて上梓したものである。 目次 一、教祖四十年祭 二、地場の意識 三、四十年祭と其の活動 四、教祖と報謝 五、世の立役と教祖の出現 六、因縁の轉換と教祖の報謝 七、教會の意識と教師の自覺 八、本教の現勢と内容の充實 九、助け一統と理の體量 十、教師の使命と感敬の生活。(k)
- 602 天理教理生會講習會講義録 天理教理生會(編) 洋四六 16頁 VI.25 前橋 同會  
目次 國民精神作興に就て(新田壽知事小原新三) 先づ日常生活を改善せよ(橋本壽知事山脇春樹) 信仰の要諦(深谷徳郎) 國民精神作興の御詔書と天理教(小野靖彦) 天理教々典と信仰(春野喜市)。(i)
- 603 神言の節々 田淵麻蔵 洋四六 7+25頁 VI.25 ちば 木下眞進堂  
御指圖中より抜粋して年代順に配列せるもの。(k)
- 604 御神樂歌詳解 藤原春雄 洋四六 168頁 VI.26+大14.II(2版) 神戸 心

- の友社  
お歌一々に就て先づ語義を説き次に其の解説を施してある。(i)
- 605 人生の理想 小林久治 洋四六 370頁 VII.1 尼崎 正鶴社  
人類の起源から説き起し、人類の理想に論及して居る。本書は一般的書物であつて各宗派に就て略説してある、中に天理教、天理教の歌(みかぐら歌序歌)の二項目を載せてあるのみである。(i)
- 606 天理教とは如何なる宗教か 坂越儀郎 洋四六 2+69頁 VII.8+大15.I (46版) ちば 地場思潮社  
神、教祖、教訓、教義、教團及び歴史等凡てに及ぶ本教の正しい理解圖をなして九章を含む。(k)
- 607 道の花(道友講話第十六編) 武谷兼信 洋四六 31頁 VII.20 ちば 道友社  
神様の御守護を事實に置し又神言を引用して述べられた教話である。(k)
- 608 見ぬき見とほし(道友講話第十七編) 篠森匡造 洋四六 32頁 VII.25 ちば 道友社  
人が何事いふよりも神が見てゐる氣をしづめ御教祖の遺言には如何なる報應も表はれてゐる。教祖御遺言に日々を樂しんで運れと結んでゐる。(u)
- 609 理の勧め 増野道興 洋袖珍 87頁 VIII.20+大14.IV(2版) ちば 道友社  
天神大教會の講習會に於ける講話をきき、信仰の意義信仰と教會の二問題に就て述べてゐる。(k)
- 610 心の仕込(道友講話第十八編) 高井義一 洋四六 31頁 VIII.25+昭5.II ちば 道友社  
日常如何なる心法をすればよいか就て分り易く述べたもの。(k)
- 611 御筆先(附甘露三下り、甘露圖解、みかぐら歌天理教々典) 木下松太郎(編) 洋袖珍 528頁 VIII.25+昭2.IX(2版) ちば 木下眞進堂  
みよでさき十七號のお歌に其の順番に従つて書

- をつけてある、附録として、甘露三下り、甘露圖解、みかぐら歌、三統之教憲、朝夕神拜歌詞、天理教々典、御神樂之御詔が載せられてゐる。(y)
- 612 教育勅語 戊申詔書之教 福井淳(編) 洋四六 25頁 IX.18(2版の年月日による) ちば 木下眞進堂
- 613 八塊の研究 谷口政秀 洋四六 2+25頁 IX.23 ちば 地場思潮社  
塊の本質、八つの塊の各々に就て、掃除、死についての考察等に涉り信仰をききまして之を心理的、宗教的に解明してゐる。(y)
- 614 財團法人天理教河原町大教會維持財團河原町大教會(編) 洋四六 18頁 IX.26(序の年月日による) 京都 同教會
- 615 別科三十三期學生名簿 天理教校 洋横 137+6頁 IX-1 ちば 同校
- 616 獨立の教理的考察 増野道興 洋袖珍 133頁 XI-1 ちば 道友社  
青年會第三回講習會の時に講義する筈であつた原稿を發表したものでお指圖を研究するには良き参考書である、目次 獨立の動機、獨立の理由、第一回講習第二回講習、第三回講習、第四回講習、獨立認可、教理的考察、獨立に對する神意、神樂歌解釋に對する神意、十教區に對する神意、教典に關する神意、反對に對する神意、學校に對する神意、結論。(k)
- 617 第一線に立ちて 柏木康治 洋袖珍 154頁 X.10+大14.II (3版) 京城 よろづ代社  
布教するには先づ如何にするかといへば信じられぬはならぬ、次に其の病人の塊がどこから生ずるかも知らぬはならぬ、次にどうしたら助ける事が出来るかといふ事を知らぬはならぬ、以上の各項が説明されてゐる。(k)
- 618 三つの心 山澤爲次 洋四六 38頁 X.15 ちば 天理中學校卒業生第八會  
此の小品を恩師田中先生に捧げます。(著者の言葉) 目次として、あこがれる心、省みる心、助ける心、の三篇を収め社會の一員としての著者の信仰生活に於ける感銘をキリスト教典等より文句を引例し打ちつけて解り易く書いてある。(i)
- 619 教はれの道 田淵麻蔵 洋四六 41頁

- X.15 ちば 天理中學校卒業生第八會  
教はれの道、道の肥、一年一年の理、理を見る力、神の愛、といふ題で一々神言を参照して撰述した教話である。(k)
- 620 刻限の解釋(第一編)(御本座最後の天啓) 飯降政甚 洋四六 61頁 X.20 大阪 相愛社  
元一つの理、悲喜交々至る、してもかゝるせいでもかゝる、人間より神へ、天啓の神徳、端坐歸齋の六項目に依つて御教祖、本座の天啓の狀態及歸齋の狀態を説明し、本座、御歸齋直前に出た刻限四つを引用して説明したものである。(k)
- 621 教典要義 増野道興 洋四六 150頁 X.20 ちば 道友社  
教典を氏獲得の信仰を以て解釋したもので、教典に於ける諸語を發表したものである。(f)
- 622 至心錄 松村吉太郎 洋四六 181頁 X.17 ちば 道友社  
四十年祭提唱以來氏が機會ある毎に各所に於て講話したのを集めて一書としたものでこの一書によつて氏が如何なる決心と如何なる活動をなされてゐるかといふ事が明に分る。(k)
- 623 甲賀の葉(甲賀大教會略史) 天理教青年會甲賀分會 洋四六 162頁 X.22 滋賀 同分會  
山田大右門氏入信以後最冠の状況に至るまでの甲賀大教會會史である。附録として 甲賀大教會職員録、教會名稱録等がおさめてある。(三)
- 624 御教祖時代の教理の臺本 同志會(編) 洋四六 74頁 X.23 ちば 同會  
教理が初め信者に説かれたといふ教理と天啓現象との關係の圖解及神の御古記、神心天啓の由來、人體産下しの譯、人體産込七代、人體開闢七代、顯密世界八方守護並十柱の神、甘露地場の譯、神樂動め手踊りの譯、安産許の譯、農事助けの譯、赤衣の譯に就て簡単な説明を加へられたもの。(k)
- 625 神様への手引(布教書第一巻) 小倉曉風 洋四六 28頁 X.25 大阪 相愛社  
天理教の創設、神様の御守護、借物貸物、八塊等を

- 簡単に述べて布教者の手引としたもの。(y)
- 626 天理教祭典儀式作法 小倉曉風 洋四六 61頁 X.25 大阪 相愛社
- 627 教團の力 (第六回總會記念) 天理教青年會本部 (編) 洋四六 187頁 X.26 ちば 同本部  
目次 教團と信仰 (平野見知雄) 化學の原理と宗教的真理 (辻豊彦) 因縁と社會生活 (藤井忠彦) 信仰の藝術的表現 (坂井孝四郎) 宗教と社會事業 (山澤爲次)。(y)
- 628 お道専用書翰文集 廣岡富藏 洋袖珍 30頁 X.26 ちば 木下眞進堂  
慶賀文、慰安文、慰問文、招待文、報知文、誘引文、教誨文、問合文、依頼文、啓用文の十節を設けてお道の書翰文の凡例を示したもの。(k)
- 629 天理教青年會會報 (第六編) 天理教青年會 洋四六倍 2頁 X.26 ちば 同會本部  
目次 管長公を會長に迎へて、第六回總會前記、第五回總會、講演會の記、國民精神作興大講演會、第六回定期講習會、直屬分支會に關する事項、都區分支會に關する事項等。(y)
- 630 Tenrikyo 増野道興 (譯) 小泉卓藏 (譯) 洋四六 176頁 X.1 ちば 道友社  
本教の理を比較的詳細に外國語に翻譯した恐らく最初の書物。内容は (1) Basis of Doctrine (根本教義、神、教祖、地場、甘露齋、八境、神樂勸等) (2) Short History of church (教會略史) (3) Biography of Foundress (教祖傳) (4) Dancing Psalms (御神樂歌) — (尙於揚大教會赤木氏の History, Doctrine, and Practice of Tenrikyoを参照)。(t)
- 631 發會式彙報 天理教婦人會高知支部 (編) 洋四六 1+121頁 XI.0 高知 同支部  
天理教婦人會高知支部の發會式に發行された冊子で、島村教正の訓話をはじめ、婦人講演等が載せられてある。(y)

- 632 天啓 同志會 (編) 和四六 158頁 XII.1...大14.V.(5版) ちば 同會  
本書は明治二十一年一月より明治四十年六月に至る二十年の刻限、身上、事情の本指圖の發揮である。(y)
- 633 刻限の中より 名京社 (編) 洋四六 29頁 XII.2 ちば 同社  
目次 御教祖昇天の前徳に於ける御指圖、二、御教祖一年祭に於けるお指圖、三、御教祖十年祭直徳に於ける大節に對する御指圖、四、御教祖二十年祭に就ての御指圖、五、明治四十年に於ける普請の事に對する御指圖、六、天理教會設置の神意、七、本部移轉の神意、八、青年會に就ての御指圖、九、婦人會に就ての御指圖、十、日本古記。(y)
- 634 幼かりしときの御教祖 中西晋次郎 (編) 洋四六 1+66頁 XII.3 ちば ちば子供會  
子供にも解るやう平易に面白く書いてある。(k)
- 635 御筆先辭傳草案 (一號...九號) (十號 十七號) 山口宏澤 洋菊 380頁 515頁 一。

大正十四年

- 636 病のおさしづ 同志會 (編) 和四六 138頁 120 ちば 同會  
本書の目的は病に關する神意を人々に體得せしめんとするにある。人間身上事情に關する御指圖集である。(t)
- 637 御指圖私解 増野道興 洋袖珍 132頁 123 ちば 道友社  
青年會の第二期講習會に於てお指圖を解釋された稿本を出版されたものである。(y)
- 638 教團の日 増野道興 洋袖珍 161頁 124 ちば 道友社

- 教祖建替後、當時校長の校長であつた著者が此の教團に於て教団生に向つて試みた御指圖や御筆先の演義『御教團の日』といふ後編がある。(t)
- 639 おさしづ 北大教會 (編) 和菊 257頁 1.24 (序) 大阪 同大教會  
北大教會及び部下全般に涉つて御本願から預かれた御言葉を記したものである。(y)
- 640 教會名稱簿附職員錄 道友社 (編) 洋、横 200+52+17頁 1.25 ちば 道友社
- 641 御教祖時代の病のさとし 田淵博 洋四六 6+56頁 1.25...昭4.1(3版) ちば 同志會  
圖解六様により各場面の故障は何の理なるかを記し、又病名をいろいろ別に配列して各病について、その理を説いたもの。(k)
- 642 教理の泉 (理の語源考第一編) 岡島善次 洋四六 55頁 1.26 ちば 理之世界  
神意にあらはれた理の話が本地場、甘露齋、おかげの三つについて述べられてゐる。(t)
- 643 道の要 武谷兼信 洋袖珍 124頁 1.26... VIII(14版) ちば 地場思潮社  
無数の教理中で特に大切なものとして『元一つの理』と『夫婦の理』を取出して譯述したもの。(t)
- 644 身上 情諭しの仕方 廣岡富藏 洋四六 204頁 1.27...15.X(5版) ちば 木下眞進堂  
一、お助けはさうして貰けるか 二、お助けは論じ慣りから 三、神様は人間をどう思召でせうか 四、神様は身上事情をどう思召でせうか 五、神様は思召をどう現されるか 六、悟るのはさうしたらよいか 七、眞のさとしはさうしたらよいか 八、論じた理はさうして解らせるか 九、論じ方の實例、の九頁に分けて各その解決を試みた書である。(k)
- 645 天理教祖の御一代 (通俗聖語講義第一卷) 有富春六 洋四六 149頁 II.22 京都 天理教技講宣傳會  
一、御誕生、佛法御信心 二、お繰り入 三、御性行四、米置人。(y)

- 646 あしあと 名京大教會 洋四六 73頁 II.9 ちば 名京社  
一、山名大教會の創立より分割まで 二、名京大教會の建設に付て 三、年番表 四、統計表。(t)
- 647 別科第三十四期學生名簿 教校 (編) 洋横 194+95頁 II.1 ちば 教校
- 648 暹及則 教團 (編) 洋四六 200頁 II. ちば 道友社
- 649 初試験の梁 天龍社 (編) 洋袖珍 一 III.5 大和 天龍社  
十柱神様の御守護並に八境の説明がしてある。(t)
- 650 初試験の梁 しきしま社 (編) 洋袖珍 11頁 III.10 大和 しきしま社
- 651 宇宙間の大眞理 大倉大八 和四六 163頁 III.10...昭3.IV(3版) ちば 木下眞進堂  
世界のありとあらゆる現象に對する著者の理の悟りを述べてある。人間の身體と世界の理と同一、身の自由用、五臟の理等。(y)
- 652 天理教祖の御一代 (通俗聖語講義第二卷) 有富春六 洋四六 144頁 III.14 京都 天理教技講宣傳會  
五、身がはり 六、道のお汗 七、神意。(y)
- 653 初試験 朝鮮布教管理所 (編) 洋四六 14頁 III.18 京城 同管理所  
十柱神様に八境の説明が日本語と朝鮮語の二様にかいてある。(t)
- 654 天理教教話集 同志會 (編) 洋四六 126頁 IV.1 ちば 同會  
目次 一、異刹の道 二、然り行く理 三、元一つの理 四、理のほたらき 五、意義ある奉仕 六、満足の心、七、その節 八、論し運びの理 九、互ひ奉心の理、十、御聖の道 十一、仕切りの道 十二、彼此救済、の十二篇が載せてある。(k)
- 655 天理教祖の御一代 (通俗聖語講義第三卷) 有富春六 洋四六 118頁 IV.5 京都 天理教技講宣傳會  
八、最初の神命 九、家こぼち 十里中流 十一、句かけの首途。(y)

- 656 病の垣の研究とその論し(上巻) 永江 潤鶴木京(共著) 洋四六 235頁 IV, 22 ちば 理之世界社  
人間の病の原因は何か、それは各自の思しき心使ひであると共に神の知らせであることを教へてゐる本編は特に進化形質に就て深き理を説いてゐる。(1)
- 657 甘露の降る日 東條楠一 洋四六 27 頁 IV, 23 ちば 道友社  
本教の理想である甘露の事について説明したものの。(k)
- 658 本教と子供(みちのこも附録) 松本秀樹(編) 洋四六 25頁 IV, 25, 大阪 道乃子供社  
本教子供の修養の爲に書かれたる教化童話集である。(i)
- 659 讀教館の日 増野道興 洋袖珍 135 頁 IV, 15 ちば 道友社  
教義館の、常時教館の校長であつた著者が、此の教館に於て教館生に向つて試みた御指圖や御筆先の講義『教館の日』といふ前編がある。(1)
- 650 末代治る理(湖東叢書第一編) 武谷兼信 洋四六 64頁 IV, 26...昭2.H(4版) 八 日市町 道潮社  
道の友等に一旦發表せるもの六篇(末代治る理、ひながた、理詰めの世界、澄みしわかりし、本教の成立と神の理に就て、眞因を悟得せよ)を収録したものの。(1)
- 651 天理教婦人會の葉(婦人會第十三回總會記念) 婦人會本部(編) 洋菊 4頁+121頁 IV, 27 ちば 同本部  
目次 一、天理教婦人會現則 二、婦人會本部及各支都委員役員 三、大正十三年末決算報告 四、大正十三年度末統計表  
講演として、今後の婦人、本教婦人の自覺と活動、其の他十五題の講演を記載してゐる。(1)
- 662 東京教務支應管内天理教會名稱簿(大十四IV調査) 東京教務支應(編) 洋横 61頁 IV, 一 東京 同教館
- 663 日本は頭の國となる(第二編) 永關嘉四

- 郎 洋四六 24頁 V, 15 山梨 北丘 摩支會  
日本は將來世界各國の頭となるといふことを神言を集めて説明したものである。(1)
- 654 大和民族の將來(湖東社宣傳小集第一集) 吉田一雄 洋四六 24頁 V, 21 大阪 誠泉社  
大和民族の世界に優れたることを、大和民族の發生日本の國際的立場、大和民族の發展の三項に分けて説き、我民族の將來に對する天理教の意義を明かにしたものの。(f)
- 665 天理教教義要領(録譯) 城岡幸吉(譯) 洋四六 28頁 VI, 1 京城 教義講習會出版部  
道友社出版の教義要領を朝鮮語に譯したものである。(k)
- 666 御神樂歌手振り稽古の道づれ 杉本萬次 洋四六 76頁 VI, 15 兵庫 同人  
兩手兩足の動かし方を説明したもの、但し編解は全然ない。(1)
- 667 はたらく 清水寅俊 洋四六 4頁 VI, 20 東京 河北支教會婦人青年會東京支部  
思想的にも經濟的にも行詰らうとし内憂外患交々至る今日の社會を教ふべき道を説き、御教祖の御精神を述べてゐる。(y)
- 668 甘露臺と因縁の理 堀越義郎 洋四六 111頁 VI, 26 ちば 地場思潮社  
地場思潮社に於いて、數名の著者が因縁並に甘露臺に就て座談的に研究したのを筆記發表したものの。(y)
- 669 讀讀法 今永英足 洋菊 53頁 VII, 8 ちば 木下眞進堂  
朝夕神拜詞、春季大祭歌詞、葬祭詞、道書祝詞、葬場祭詞、註辭、勸語、三條教室、天理教々典、祝文、弔詞、は如何に讀むべきかに付て返べてゐる。(k)
- 670 別席初試験助一條の話 名京大教會

- (編) 洋袖珍 14頁 VII, 10(7版の年月による) ちば 同大教會  
十柱の神様の御守護と八つの塊のきき分けを讀寫劇にした小冊子。(1)
- 671 天理教祖の眞一代(通俗短評談話第四、五、六、七、八巻) 有富春六 洋四六 VII, 10 京都 結講宣傳會  
第四巻の發行年月日はVII, 20となつてゐるが、五、六、七、八巻が何れもVII, 10に出版されてゐるので順序を合す爲に四巻もVII, 10の項へ入れたわけである。(1)
- 目次。第四巻(15頁) 十二、お勤所十三、山坂みち 十四、角仁坊の追寄。第五巻(10頁) 十五、はりま龜 十六、いばらの道。第六巻(74頁) 十七、小宗子去十八、おひ越。第七巻(10頁) 十九、天理の雨二十、火の中。第八巻(8頁) 二十一、つるぎの中二十二、御昇天。(1)
- 672 道の光(録譯) 澤田善次郎(著) 城岡幸吉(譯) 洋袖珍 2(頁 VII, 20...X(2版) ちば 道友社(後、京城教義講習所)
- 673 天理教早わかり 富森芳太郎 洋四六 9(頁 VII, 20 ちば 木下眞進堂  
『たかやま』に編譯を傳へるためにまとめられたもの、讀所に行はれた教館に自己の所見を更に加へて天理教要綱の形にまとめられてゐる。(s)
- 674 天理教の梗概 澤田善次郎(編) 洋四六 59頁 VII, 20 京城 天理教々義講習所  
目次。一、天理教の教義 二、天理王命 三、天理教祖 四、教理の大要 五、教會の公認と一派獨立 六、神樂の建築 七、御地場の設置 八、教學の施設 九、養徳堂 十、天理教婦人會 十一、天理教青年會 十二、朝鮮における天理教の現在。(y)
- 675 親様の守護と病の理のときわけ 萬世社(編) 洋四六 58頁 VIII, 1... 昭, 5IV(7版) ちば 同社(後木下眞進堂)  
十柱の神様の御守護をのべて、その各神様の御心に叶はぬ時即ち御守護を頂かないときはどういふ病にかゝるかを書いたものの。(k)

- 676 天輪王傳(由來神古事記) 深尾數馬 和、菊 97頁 VIII, 5 大阪 南湖社  
泥海古記に據り本教の創世紀及びそれより生れたる多くの傳承を述べてゐる。(f)
- 677 天理教概論 廣池長吉 洋四六 36頁 VIII, 15 ちば 木下眞進堂  
知識階級の人々に本教のにはびがけをなさんとして書かれたもので総論、教祖の人格、天理教の神觀及宇市觀、人生觀、疾病觀をのべ、結論に本教の理想を掲げてゐる。(f)
- 678 人間苦より人間樂へ 柏木庫治 洋袖珍 105頁 VIII, 0...XI(5版) 京城 京城支教會内よろづよ社  
此の世を苦の世界だと見てゐる人がある、苦の世界ならさつさと死んで了へば良いが、いざ死なうとなれば 伸々さうはいけぬ、さうはいけぬ所に又捨て難い戀しさがある、吾々は此の捨て難い戀しさをしつかり握り、苦の世界を樂の世界に轉換し人生の平和を圖らねばならぬ。内容は、男の身分と女の身分、よりよき人間の二項目。(1)
- 679 四百四病の理 田橋博(編) 和四六 68頁 IX, 25 ちば 萬世社  
十柱の神の理を始め各病の理に至る二十五の理を解き、各病についてはいろいろ類に配列して一々其の理を示してゐる。(k)
- 680 養徳文庫一覽(第十三年編、自大十三年四月至大十四年三月) 養徳文庫(編) 折 IX, 一 新潟 同文庫
- 681 別科第三十五期學生名簿 教校(編) 洋横 158+2+74頁 IX ちば 教校
- 682 さめよ同胞 山脇成幸 洋四六 64頁 X, 1 ちば 木下眞進堂  
先づ人生の意義目的は何かとの疑問を掲げ、此の疑問を解く爲に造物主としての神様の人間創造と神様の制定された因縁因果の法則を論じ、此の理を悟つて人生の痛苦を脱すべきを説いてゐる、引例頗る豊富で文章また極めて平易。(1)
- 683 からだの組立(第一編) 永關嘉四郎 洋袖珍 38頁 X, 10 山梨 著者
- 684 道のいしづへ 頁章五 洋四六 164

- 十2頁 X.23 ちば 著者  
病、埃、心の理についてのお言葉をはじめ、御教祖のおさとしとさん伊の理をそへ、病の理を主として解いてある。(r)
- 685 新らしい教理 同志會(編) 洋四六 109頁 X.25 ちば 同會  
時代の進歩を顧みず固り古例の教を貫つてゐる天理教徒の爲に舊來とは異つた教理の啓り方を書き記したものの。(k)
- 686 教會名稱錄 道友社(編) 洋横 X.25 ちば 同社
- 687 御筆先分類註解 廣池長吉 洋四六 277-285頁 X.25 ちば 木下眞進堂  
布教上修業上最も大切な御歌を著者が考へるものを擇り出して之を五十一部門に分類し一々その大意を註釋した書物である。(y)
- 688 羅進の時 増野道興 洋四六 294頁 X.25 ちば 道友社  
訓期的四十年祭を記念せんがために氏が道の友誌上に發表した論文を集めたものである。目次 最後の點晴、普選に對する本教の態度、本教の文書傳道海外布教機構、本教最近の新施設、本教傳換期の招來、神祇の實現、管長の就職、職制の制定と實施、本教の建築と施設、教義及史料の集成、外語選科の開始。(k)
- 689 教團の力(第七回總會記念) 青年會本部(編) 洋四六 284頁 X.26 ちば 同本部  
目次 朝鮮布教の功績(澤田善次郎)、露西亞と宗教(宮野要) 比律賓の印象(諸井慶五郎) 支那の國民性と宗教(井上翠) 宗教生活の本質(中山爲信) 普選と本教(増野道興) 外國語學校に就て(深谷徳郎) 天理教々應印刷所に就て(辻豊彦) 天理圖書館の計畫に就て(山澤爲次) 冒學校に就て(小林宇三郎)。
- 690 みかぐら手さばき 岡林猪三治 洋四六 202頁 X.26...昭3.X(2版) ちば 木下眞進堂  
所々難解な箇所には手足のさばき方を圖解してある。(t)
- 691 天理教青年會會報(第七編) 青年會(編) 洋四六倍 24頁 X.27 - ちば 同會

- 目次 一、遠大なる教策の展開 二、第七回總會前記三、天理外國語學校の設立 四、印刷所の建設 五、第六回總會及新會長奉戴式 六、第七回夏期講習會七、講演會の記 八、分支會事項。(y)
- 692 新らしい信仰實話神のあらはれ 田中三十郎 洋四六 32頁 X.30 大阪 教友社書店  
太吉といふ孝子の傳奇小説である。(e)
- 693 名古屋教務支廳管内教會名稱錄 名古屋教務支廳(編) 洋横 39-112頁 X-1 名古屋 同支廳
- 694 御神樂真髓 安江明(編) 洋四六 122頁 XI.10...昭3.IV(1版) ちば 天祐社  
みかぐら歌の各首の御歌について解釋をなしたものの。(y)
- 695 泥海古記 安江明(編) 和四六 113頁 XI.10...昭3.IV(2版) ちば 天祐社  
主として泥海古記の御話を根據したもので、巻尾に日本古記(形の形式で書かれた古記)を附してある。(y)
- 696 新しい文化と眞實のたすけ 小野靖彦 洋四六 42頁 XI.15 ちば 萬世社  
世界を改造し人心を救済して新しい文化を樹立する爲には眞實のたすけに力めなければならぬ事を説いてある。(y)
- 697 御神樂歌真意(一名末代の寶) 安江明 和菊 113頁 XI.15 ちば 大日本眞勇會
- 698 御筆とめ(一名泥海古記) 全 安江明 和菊 91頁 XI.15 ちば 大日本眞勇會  
泥海古記の他甘藷蜜の由来などの古記を種々集めて印刷したものである。(奥谷)
- 699 御教祖四十年祭參圖禮贈送のしるべ 高知大教會(編) 洋四六 9-46+5頁 XI-1 高知 同大教會
- 700 國を教ふ道 石塚正治 洋四六 4-154頁 XII.1 東京 道文社  
日本が思想問題に悩んでゐる所から筆を起し、國體を教ふべき道に論及してゐる。神道によりて教ふべきを説き、天理教の如何なる宗教であるかを述べてある。(y)

- 701 道の芽生 石塚正治 洋袖珍 257頁 XII.1...15.VII(2版) 東京 道文社  
大學卒業後、新聞記者、實業家、政治家の生活を順次送つて人生の大字を過した著者が、豁然悟る所あり、心腹一掃して天理教信徒となり、布教に従事するに至つた、その記念として書かれたのが此の作品である。(t)
- 702 信仰と生活 林清次 洋袖珍 162頁 XII.5 京城 よろづよ社  
目次 一、自我を捨て 二、眞實に生る備み 三、病める人へ 四、輝く世界へ 五、感謝生活 六、人生の價値、慈を忘れて 神様に或は人のために奉仕する者の喜びと幸福を説いたもの。(y)
- 703 新撰天理教講演錄(醫學博士から見た天理教) 香尾正樹 洋四六 140頁 XII.15...昭2.II(18版) ちば 杉本哲次(大島分教會)  
九死に一生を得た醫學博士である 著者が心腹一掃して心眼を開き本教教理の各方面に就つて優れたところを紹介したもの。目次 一、新宗教としての天理教 二、病の元は心から 三、信仰治癒の要諦 四、教祖のお意は地場に在り 五、天の將軍と地の將軍 六、醫學上より見たる神祇靈症の因縁關係に就て 七、聖の美稱は心から 八、新宗教に生きよ。(k)
- 704 神言遺箋第一輯 山口宏澤 洋四六 96頁 XII.20 東京 神道學會  
御筆先一號より十七號までの御歌の逐一に就て極めて詳細精密に註釋説明を試みた大書全十二巻。(t)
- 705 未信者に興ふる書(天理教四十年祭記念傳道) 廣岡富藏 洋四六 91頁 XII.25 ちば 木下眞進堂  
書名通り入門書であつて、本教と民族、本教と自由平等、本教と勞働、本教と家庭、本教と社會國家、本教と學問及道徳等の項目に分つて平易に教理の概要を説いたもの。(t)
- 706 内より外へ 廣岡富藏 洋袖珍 44頁 XII.25 ちば 木下眞進堂  
教祖四十年祭を一種機として、お道もあらゆる方面によはりますのであらうが、先づその轉換の方

- 向は『内より外へ』であらうとの考から、天理教の由來、教理の一斑、信仰と實生活、理想の世界の四項目に分けて説いた教話である。(t)
  - 707 奈良教務支廳沿革 奈良教務支廳(編) 洋四六 20-33頁 奈良 同廳
- 大正十五年
- 708 たんのう(天理教四十年祭記念) 清水寅俊 洋四六 15-94頁 L.1 東京 天理教河北支教會婦人會青年會東京支部  
至誠 報國の精神をもつて國體の精華を發揚すべく、模範的の學校教育施設、公明正大なる政治、産業權利の増進法、模範新聞等に就いて論じ、終りに天理教祖聖訓(御かぐら歌二下り目)の解釋並びに「天理教祖の御苦勞の一掃を思ひて」(清水常子述)を載せてある。(y)
  - 709 教義と信仰 小野靖彦 洋四六 164頁 I.8...昭3.X(2版) ちば 道友社  
天理教々義の大要を誰にでも分り易いように説き示されたもの。(y)
  - 710 初席の礎 道の子供社(編) 折 L.X ちば 同社  
十柱神の御守護並びに八庚の説明。(j)
  - 711 ひながたの道 今西國三郎 洋四六 110頁 L.10 奈良 天龍社  
御教祖の御生涯を神恩まで、谷迄まで、御昇天までの三期に分ちて述べられたもの。(i)
  - 712 教理の真髓 同志會(編) 洋四六 29頁 L.10 ちば 同會  
神様の御守護、貨物信物、ほこり、因縁とたんのふの四項目に就いて、極く分り易く書いたもの。(k)
  - 713 教話集(天龍堂書庫一編) 天龍社(編) 洋四六 95頁 L.10 奈良 同社  
郡山大教會の天龍社にて發行された教話集にして

- 因縁を切る道、本教出現の理と因縁の立替、神の恩恵、眞の助け、親の理、等を編纂してある。(1)
- 714 御筆先圖解 上下 杉本哲次(編) 洋四六 210頁 L10 ちば 萬世社  
おふでさきの中から百首のお歌を撰んで、そのお歌に就いて説明の代りに一つ一つ通常の繪が載せられてある。(y)
- 715 御地場之現況 同志會(編) 洋四六 26頁 L10 ちば 同社  
お地場の理、甘露齋、の教義的なものについて、お地場の賑ひや、教學、社會施設、婦人會青年會の活動の状況を報告したものである。(r)
- 716 おみちの童話 松本秀樹 洋四六 43頁 L10 ちば 道乃子供社  
まりの教訓、溢柿のたんのう、朝起、正直、働き、お山の嶺、お母さんの腫、といったような子供に喜ばれる話を集めたもの。(y)
- 717 おやさま 同志會(編) 洋四六 24頁 L10 ちば 同會  
御教祖の御道すがらを簡明に記された傳記である。(y)
- 718 神祕實錄 同志會(編) 洋四六 109頁 L10 ちば 同會  
臨春閣、眞蹟、神符、子宮術、聖術など最も神祕と稱せられるもの、不思議な靈教に就いてその精神上の道筋を主とした事實録の蒐集。(s)
- 719 谷底(おみち童話集第一編) 中澤華人 洋四六 67頁 L10 ちば 道乃子供社  
平易な文章で書かれた子供の爲めの讀物である。(i)
- 720 麗ひらいて 今村英太郎 洋四六 180頁 L10...大.16.H(2版) ちば 道友社  
四十年祭記念出版で 麗ひらいて、四十年祭前後と教祖の豫言、教祖と當時の社會意識、男松と女松詩人として見た教祖、新機運と教祖及青年、社會奉仕とひのきしん、教祖御遺言の八題目に就いて書かれてある。(k)
- 721 八つのほこり(漫畫繪本) 松本秀樹 洋四六 8頁 L10 ちば 道乃子供社  
高いた種は皆んな生えるといふ 教理を子供の爲に漫畫で説明したものである。(i)
- 722 眞に助かる道 安江明 洋四六 86頁 L14 ちば 大日本眞勇會  
自己の多た道すがらを經し、本教を理を轉じて編まれたもの、眞に助かる道は本教を信ずる外に途なきことを力説してある。(1)
- 723 天理教未信の方へ 中世古陸夫 洋四六 70頁 L15 ちば 木下眞進堂  
未信者に本教を紹介する深切なる入門書である。(s)
- 724 おびや許の理 廣岡富藏 洋四六 64頁 L15 ちば 木下眞進堂  
同著者の『お道とお産』の改題である。(y)
- 725 御筆先と其研究 山本榮太郎(編) 洋四六 209頁 L15 ちば 報恩社  
おふでさき十七號のお歌を載せ、平假名のお歌に漢字をふつてある。次に教祖長たりし増野道興氏の漢語を土語とした御筆先の研究(十講)が載せられてある。(y)
- 726 小寒子様の眞苦勞と布教師の心得 奥谷文智 洋四六 25頁 L20 ちば 萬世社  
目次。一、小寒子様の御苦勞 二、布教師の心得
- 727 お話の種 杉本哲次(編) 洋四六 41頁 L20 ちば 萬世社  
御教祖の高弟の逸話を集めたもの。其の内容は御本願とおさきさん、平野先生、津井先生、増野先生、辻先生。(s)
- 728 天理教祖と親鸞上人 奥谷文智 洋四六 19頁 L20 ちば 萬世社  
御教祖と親鸞上人とを比較して何れが偉大なるかを論じてある。内容 一、親鸞の流行 二、村上博士の比較論 三、親鸞の略歴 四、何れが偉大であるか 五、主要教理の比較。
- 729 みかぐら御手摺圖解 嘉教明光 洋四六 66頁 L21...昭.4.I(改訂四版) 神輿 同著者
- 730 天理教罪惡史 田中豊洲 洋四六 31+262頁 L25 大阪 宗道書院  
著者が天理教を好まざるためか、荒唐無稽の妄説を以て御教祖を誹り、本教を攻撃してある。(k)

- 731 天理教寶典 富岡秀輝 洋四六 1頁 1+29頁 I— 大阪 一條會  
天理教寶典、みかぐら歌、御筆先、天理教祝詞集、教育勸告、戊申御書、國民精神作興に關する詔書、授訓のおさしづ、三條之教諭、信徒參拜心得、舞曲、神の御國を合編したるもの。(本)
- 732 天理教創生記眞蹟 神崎東藏、高橋蘭花 共著(既刊子書) 洋四六 155頁 I— 大阪 同者  
先づ泥海古記の解題法を説明し次に在來の宇市論との比較をなし、本教の創生記が荒唐無稽のものでなく、よくそれ等最新科學の辨を鮮明せることを立證し、最後に在來の進化論は本教の創生記の脚註に過ぎないことを述べて居る。(高安)
- 733 一條心 教會本部(編) 洋四六 14+27+27+32+32+31+31+32+29頁 II. 14 ちば 道友社  
御教祖四十年祭後、管長様から内容の充實を計るように入道第五號が出された、これに就いての本部講師のお話を一編にしたもの、内容 海の教方へ、神ののぞみ、神のはたらき、見ぬき見よはし、神のころは親心、理を辿りて、人を助けたいなら、心の仕込、神の道具、の九項目に就いて書かれてある。(k)
- 734 神言通義(第二輯) 山口宏澤 洋四六 98頁 II.28 東京 神道學會
- 735 別科第三十六期學生名簿 天理教校(編) 洋四六 77+35頁 II— ちば 同校
- 736 東京教務支廳管内教會名稱錄 東京教務支廳(編) 洋四六 118頁 II— 東京 同支廳
- 737 神言通義(第三輯) 山口宏澤 洋四六 98頁 III.17 東京 神道學會
- 738 八境(録) 城岡幸吾、姜喬譯 和.菊 85頁 III— 京城 教義講習所
- 739 敷島大教會名稱錄職員錄 しきしま社(編) 洋四六 71頁 IV.10 奈良 同社
- 740 甲賀大教會名稱錄 甲賀社(編) 洋四六 59+18+10+11頁 IV.20 ちば 同社
- 741 御助けの手引 木下眞進堂(編) 洋四六 37頁 IV.20...昭.2.V(2版) ちば 同書店  
身上のお助けを頂く爲に、貸物借物の理、身の内の御守護、八境、さん伊等に就いての切り掛けのお話である。(y)
- 742 おさしづ 天理教中河大教會(編) 洋四六 169頁 IV.21(序の年月による) 大阪 同大教會  
中河大教會及び部下教會の事情同上同様に對し、下されたる御本願様の御言葉を時年代順に編纂したものである。(y)
- 743 神言通義(第四輯) 山口宏澤 洋四六 98頁 IV.23 東京 神道學會
- 744 管内名稱錄 天理教福島教務支廳(編) 洋四六 31頁 IV.25 福島 同支廳
- 745 天理教婦人會の礎(第十四回總會記念) 婦人會本部(編) 洋四六 1+95頁 IV.27 ちば 同本部  
目次 告辭、顧問先生の講話、天理幼童園及託児所の保育状況會則、婦人講演、神と人、これからの道、立教百年祭への心、朝鮮布教に就て、助け一條は道の標、因縁と奉仕の位、樂しき道、神様に凭れるには、一代の理と二代の理、これからの道の女として、根に肥、これからのつとめ、御道の發展と婦人の立場、油断せず一生懸命、成すまゝに。
- 746 四十年祭時報(大正十五年一月十五日二十日二十五日執行) 道友社(編) 洋四六 7+64+3頁 IV— ちば 同社
- 747 天理教泥海古記釋義 關時發 洋四六 1+276頁 V.5 東京 泥海古記釋義刊行會  
神話、天文、進化論、地理、宗教、あらゆる諸科學の上に立つことを説き泥海古記を主として其の含む教理の基礎的のものをあきまきところなく十七篇に涉つて詳述してある。(s)
- 748 管内教會名稱錄(大15.V現在) 天理教岡山教務支廳(編) 洋四六 2+70頁 V.20 岡山 同支廳
- 749 天理教大正十六年御家覽 天理教寶歴館(編) 洋四六 18頁 V.21 ちば



- 同館  
普通の習に天理教本都年中行事表、日々力。(神  
言を集めたもの) 初試稿等が附加されてある。(y)
- 750 神言通義 (第五輯) 山口宏澤 洋四六  
94頁 V.23 東京 神道學會
- 751 鮮譯天理教の信仰 城岡幸吾 洋袖珍  
30頁 V.23 ちば 道友社
- 752 本席の生涯と信仰 岡島善次 洋四六  
2+74頁 V.25 ちば 同志會  
御本席が初めて教祖を知つてから御座敷に伏せ込  
み、其の後の生活を経て臨終に及ぶ迄の遺言がら  
を記載し本席の信仰心について例を擧げて説述し  
たもの。(k)
- 753 思ひの儘 岡田隆章 洋四六 63頁  
VI.15 静岡 同者  
此の世の中は皆神様のお造り下されたものであり  
、身體は神からの禮物であつて心一つが我もので  
あること、因縁は我々の運命を支配するに拘らず  
自己の運命を自ら開拓する事が出来る、此の三項  
について思ふ儘を述べてある。(e)
- 754 神言通義 (第六輯) 山口宏澤 洋四六  
96頁 VI.27 東京 神道學會
- 755 神言通義 (第七輯) 山口宏澤 洋四六  
98頁 VII.20 東京 教道學會
- 756 道の杖 (教話叢書第一編) 天理教青年會東  
分會出版部 (編) 洋四六 34同 VII.21  
ちば 同出版部  
前本宗太郎氏の講演を筆記録したものの。(k)
- 757 神言通義 (第八輯) 山口宏澤 洋四六  
94頁 VIII.8 東京 神道學會
- 758 神言通義 (第九輯) 山口宏澤 洋四六  
98頁 IX.15 東京 神道學會
- 759 別科第三十七期學生名簿 天理教校  
(編) 洋横 215頁+97頁 IX. ちば  
同校
- 760 神佛力くらべ 廣岡富藏 洋四六 1頁  
+222頁 X.5 ちば 木下眞通堂  
論者評論といふ解註がある先づ上古、中世、近世を  
通じての神佛學史より説き起し、神佛の正體を

- あはき 花形の神佛を列挙し 結論として最後の勝利  
者は天理教ならざるべからざる 所以を著者味豊か  
に述べてある。(t)
- 761 神言通義 (第十輯) 山口宏澤 洋四六  
101頁 X.12 東京 神道學會
- 762 天の理 安本房造 和四六 2+516頁  
X.20…昭4.XII(3版) 鳥取 同者  
(後ちば木下眞通堂)  
神様の御守護、八坂の説き分け、病のさとし、等に  
就て説いたもの。(y)
- 763 十柱神と御守護 同志會 (編) 洋四六  
63頁 ちば 同志會
- 764 一問一答天理教の實際 同志會 (編)  
洋四六 66頁 ちば 同會  
一、天理教の起源 二、天理教祖 三、天理王命 四、か  
りもの 五、ほこり 六、いんねん 七、教音 八、信心  
の中要 九、天理教の現況、以上の項目に就き問答  
體にて平易に述べてある。(y)
- 765 天理教々會名稱簿別職員簿 道友社  
洋横 315+68+14+20+15頁 X.25  
ちば 道友社
- 766 自然の眞理と身の内のおさとし 神崎  
靈光 洋菊 125頁 X.25 ちば 木下  
眞通堂  
歴史的國家的 祭神及び佛敎の種々なる佛と我天理  
王命の關係を説き引いて其の守護を明にして因縁  
貨物價物の理又靈肉の關係に及ぶ。(e)
- 767 お道五分間教話集 廣岡富藏 天理教  
々理研究會 (編) 洋四六 78頁 X.25  
ちば 木下眞通堂  
信仰のすゝむにつれて、それをお話しによつてつ  
たへたくなる、其の上達の手はじめとして短い教  
話をあつめたものである。(e)
- 768 教團の力 (第八回總會記念) 天理教青年會  
本部 (編) 洋四六 20+199頁 X.26  
ちば 同本部  
目次、賀原の言(中山正善) 朝鮮支旅行記(高橋  
道夫) 朝鮮音見(七佐敏一) 朝鮮と支那(辻電彦)  
管長公を遊へて(澤田善次郎) 願望(中山爲信)

- 滿鮮支那片(深谷徳郎) 或想の二三(平野規知  
輝) 眞柱を遊へて(村田慶藏)。(y)
- 769 天理教青年會會報 (第八輯) 天理教青年  
會 洋四六倍 16頁 X.27 ちば 同本部  
目次 眞摯な態度を決めよ、第八回總會前記、天理  
外國語學校の模様、印刷所落成、第七回總會、講演  
會の記、本部事項、分支會事項。(y)
- 770 東大教會名稱簿 東分會 (編) 洋袖  
珍 214頁 X.28 ちば 同會
- 771 天理教地場案内 道友社 洋四六 2  
+50+11頁 X.28 ちば 同社
- 772 神言通義 (第十一輯) 山口宏澤 洋四  
六 100頁 XI.18 東京 神道學會
- 773 天理教の研究 (發端) 中西牛郎 洋四六  
28頁 XI.20 大阪 天理教調査部  
發端のみ書かれたもので宗教成立の條件に就て述  
べてある。(k)
- 774 管内名稱簿 天理教奈良教務支廳 (編)  
洋四六 104頁 XI. 奈良 同支廳
- 775 觀里へ詣て (第二回觀參記念) 天理教  
麴町分會 (編) 洋四六 2+56頁 XII.7  
東京 同教會  
第二回觀參の時の講話、教話及び或想等を記念出  
版せるもの。(t)
- 776 神言通義 (第十二輯) 山口宏澤 洋四  
六 111頁 XII.12 東京 神道學會

昭和二年

- 777 (鮮譯)天理教祖 城岡幸吉 姜壽(共譯)  
和菊 188頁 I.15 京城天理教朝鮮布  
教管理所
- 778 敷島大教會の建築 敷島大教會 (編)  
洋菊 43+7頁 1.20 大和 同大教會

- 神殿その他の設計 圖並びに大教會の建築に就て昔  
請の意義及教信徒の覺悟に就て評述す。(興)
- 779 香茶の夜 増野道興 (監修) 洋袖珍  
131頁 1.25 ちば 同者  
著者の日常生活に於て得た或想の別篇集である。  
(i)
- 780 節に働く心 (湖東叢書第二輯) 武谷兼信  
洋袖珍 93頁 1.25 ちば 湖東社  
國家の大節と我道の大節との立て合ひの時機に際  
し、教信徒の參考に資するに爲に編められた教話  
集であつて 一、節に働く心 二、管長公の御就職に  
際して 三、四十年祭を遊へて五十年祭を思ふ 四、  
旬に應じての意義ある活動 五、眞實 六、心の通  
七、年祭後の節に就て(上下)の八章をあけたも  
の。(k)
- 781 天理教年譜表 増野石次郎 (編) 洋菊  
1+3頁 1.25. ちば 地場思潮社
- 782 眞實の信仰 増野鼓雪 洋四六 322  
頁 1.25…昭3.III.(3版) ちば 同者  
著者が教校に在職中、神言を土塵として講義した  
原稿を發表せるもの。「一つの理」「一つの道」「一  
つの心」の三篇を収めてある。
- 783 ひまはり 丹野新太郎 洋四六 50頁  
1.26 宮城 丹野彦藏  
丹野新太郎君は十六才にして出直した、そして同  
君の父の愛により遺稿が「ひまはり」と題して出  
版された、十六才の少年の文には思へない程の美  
しき作品である。(t)
- 784 眞筆先 安江明 (編) 洋四六 156頁  
1.26…昭3.(3版) ちば 天祐社
- 785 天理教前橋教務支廳管内教會名稱簿  
天理教前橋教務支廳 洋袖珍 1+119  
頁 1— 群馬 同支廳
- 786 御神樂御手撮型 小田彦太郎 和菊  
II.10…昭5.1(10版) ちば 小田雜貨店
- 787 理の泉 (汎天理教叢書第一編) 天理教和歌  
山思潮社(編) 洋四六  
II.25 和歌山 同社  
目次 お道の大要、お道の危所、お道の信仰は、觀望  
とは、地ざりかんじん、日々を理を聞き分け、誠一つ

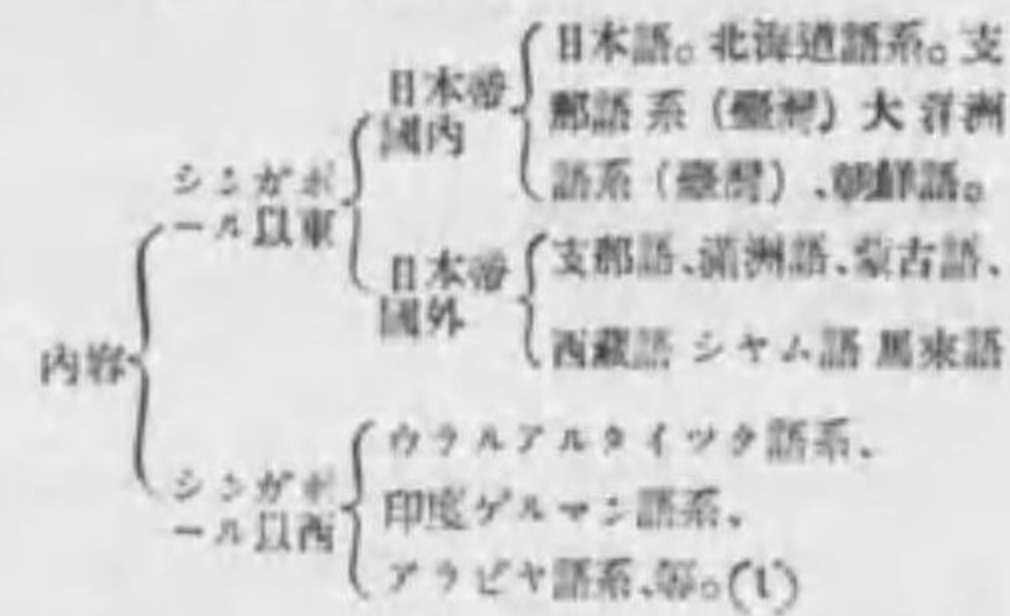
- は天の理、の題の下に先聖諸氏の執筆されたもの。
- 788 學生名簿 (別冊第三十八期) 天理教校 (編) 洋横 8613頁 II— ちば 同校
- 789 神言選集筆先 上巻 山口宏澤 洋 四六 48頁 III— 東京 神道學會  
天理人達より説き起して國體の宗源に遡らんとし天理神記なる筆先の大體をまき天理人達と我國體との融合を明にす、一編より五編までを上巻とす。(f)
- 790 神言選集筆先 下巻 山口宏澤 洋 四六 69頁 III— 東京 神道學會  
六編より十二編迄を下巻とす。
- 791 泣いて果たすか 有富春六 洋、四六 110頁 III.16 東京 天理教法講映畫 宣傳會  
文部省推薦の宗教教育の脚本である。尖塔塔塔塔を覗ひ人を覗ふ一人、自暴自棄して死をのみ待ち望む一人をば、天理教布教師の命懸けての真心からなる果たすに於て、その不供養天の敵をも赦して遂に信仰に導いたといふ話。(t)
- 792 お話の礎 神崎光藏 (道光) 洋四六 61頁 IV.1 ちば 地場思潮社  
修徳と徳、上の徳と神の徳、誰の心となる天理教、二人の心をさめよ、第二十一篇の教話集。(f)
- 793 天理讀本 天理教赤心社 (編) 洋四六 61頁 IV.9 同社  
目次 天理教は何故現れたか、天理教の神様、教祖とはどう云ふ方か、神様と人間との關係、人間の苦しみと神の守護、其の幸福は何處に求めたかよいか、等出来るだけ簡単に然も如何なる人にも判るやうに書かれたものである。
- 794 天理教高安大教會史 (初代會長 松村教正六十年史時) 若田義宣 上下二巻 洋 菊 10+784頁 IV.24 大阪 高安大教會
- 795 一條の信仰 増野道興 (執筆) 洋四六 211頁 IV.25...X(2版) ちば  
氏が教校にて神言の講義と同時に筆先を抄録して講義したのが本書である、目次として、一、教の道二、心の道の二篇を収む。(i)

- 796 天理教婦人會の礎 (第十五回總會記念) 婦人會本部 (編) 洋 菊 3+12+1+60+30頁 IV.27 ちば 婦人會本部  
細目 告辭 (婦人會創立の神意と成立) 顧問先生の講話、會則、想苑、會報。
- 797 静かな心 増野道興 洋 袖珍 132頁 IV.25 ちば 同者  
静かな心に映つて来る 隨想録をまきめて一書にされたものである、純想録、青年と信仰、宣傳と實行無差別、漫言、小志子に關して、兩本願寺を見て、古川さん、故人の印象、眞實の小品、落想等を収めてある。(i)
- 798 天理教名古屋教務支廳管内教會名簿録 (昭和二年四月末調査) 名古屋 教務支廳 (編) 洋横 44頁 V.— 名古屋 同所 (調査發行) 北海道 同支廳
- 799 おさしづ全集 (明治三十八、三十九、四十年) 天理教同志會 (編) 和、四六 236頁 VI.29 ちば 同志會
- 800 聖地の曙 (別冊第三十八期卒業記念) 齋藤修 洋 菊 6頁 VII.3 ちば 同者  
専大教會信徒の別冊第三十八期生が在學の感想と卒業後の決意について述べたものを編んだもの。(f)
- 801 過ぎし日 増野道興 洋 袖珍 139頁 VII.10 ちば 著者  
著者が曾て發表した 隨想録を纏めたもの、道友時言、隨言録、教校雜話、講義追想、故人を憶びて、私言一第、等の項目に分れてある。(t)
- 802 筆先私想 増野道興 洋 袖珍 123頁 VII.20 ちば 著者  
教祖の御心を會得し、そのお言葉を理解することに依て自己を眞實化する事をす、め、お筆先の歴史的な意義を述べ、五十餘年の御筆先に就て私想の形で著者の悟りを書いたもの。(f)
- 803 かりもの (道友雜誌第二十期) 白鳥謙一 洋、四六 29頁 VII.20(1.2版) ちば 道友社  
ミラツと、天理王命、さんけ、かりもの、ひながたなどについて述べた教話。(f)
- 804 おさしづ全集 (明治三十三年) 同志會

- (編) 和、四六 253頁 VII.29 ちば 同會
- 805 さとり (魂をふく書第二編) 理生會 (編) 洋、四六 70頁 VIII.5 群馬 前橋教務支廳  
(徳田利吉) さとり、(村田慶藏) 年祭禮の自覺と其の活動、(小野靖彦) 宗教界の現勢と教會發達史、理生會に於ける講習會の講義を収録す。(f)
- 806 うめのみ 百章五 洋 菊 70頁 VIII.20 ちば 森長商店  
日常の處世訓話を書いたもの。(k)
- 807 北海道教務支廳管内教會名簿録 北海道教務支廳 (編) 洋横 32頁 VIII (調査發行) 北海道 同支廳
- 808 おさしづ全集 (明治三十二年) 同志會 (編) 和、四六 272頁 VIII.31 ちば 同會
- 809 靈乃禮 (天理教教義、靈光書第一巻) 神崎廣藏 (道光) 洋四六 10+12+213頁 IX.10...昭3 IX(2版) 奈良 道報社  
一 明治天皇御製、二 天理教御神樂歌、三 神と佛との解説、四 天理王命の攝理と御理の論、五 天理教の根本教義、即ち初試験の御話、六 附録として全世界宗教一覽あり。(j)
- 810 人生に於ける宗教の位置 (講習會書第一編) 姉崎正治 洋、四六 6頁 IX.25 ちば 道友社  
未來に對する希望と生命のひろがりをも求むる人間の立場より宗教が人間生活の中にもつ意味を平易に述べてある。(f)
- 811 學生名簿 (別冊第三十九期) 天理教校 (編) 洋横 55+24頁 IX ちば 同校
- 812 おさしづ全集 (明治二十四、二十五年) 同志會 (編) 和、四六 263頁 X.10 ちば 同會
- 813 體験の力 天理教青年會東分會 洋、四六 30頁 X.15 ちば 同分會  
[道の技(第四編) 村田慶藏氏の教話を清水常清氏が筆記したものである。「苦勞は天の報」といふ神言を引き、體験の力の偉大なることを説いてあ

- る。(三)
- 814 ある對話 増野道興 洋、四六 238頁 X.20 ちば 著者  
信仰生活上より見た人生諸問題を極く軽い氣持で對話風に書いてある。(i)
- 815 この道 (天理教祖の言葉) 世界文庫刊行會 (編) 洋四六 15頁 X.20 東京 同會  
御神言の一部分等に一般の人々にも安易なる處世訓を主として集め、それを分類上梓したもの。(k)
- 816 鼓響講演集 増野道興 洋、四六 187頁 X.20 ちば 著者  
目次 教會と社會、教理と實際、普運と本教、本教と雜誌、信仰の意義、眞實の生活、國家の興隆、本教の大要、教勢の推移、人生と宗教、日本と本教。(j)
- 817 北大教會講習會講演録 北大教會 (編) 洋 菊 (2頁) X.24 大阪 同大教會  
村田大教會長の開講の挨拶について、松村吉太郎、増野道興、中山篤信諸氏の教話を内容としてある。(f)
- 818 國民教育の新見 (講習會書第二編) 谷本富 洋、四六 99頁 X.25 ちば 道友社  
宗教と國民教育を人類學、社會學、精神科學の三方面より見て其の意義を高唱するもの。(j)
- 819 憲政の常道 (講習會書第三編) 高石眞五郎 洋四六 56頁 X.25 ちば 道友社  
憲政の常道とは如何なるものであるかを述べ、此の政界に於て憲政の常道の使分けをしてゐる根柢に立入つて、如何なるものが憲政の常道であるかといふ事について意見を述べたこと考へる。……著者のこゝは。(f)
- 820 日本の國民に關する考案 日本の國體に關する觀念 (講習會書第四編) 永井亨 洋、四六 7(頁) X.25 ちば 道友社
- 821 日本の財政と經濟 (講習會書第五編) 下村安 洋、四六 44頁 X.25 ちば 道友社

822 アジャに於る重なる言語 (講義會叢書第六編) 中目覺・松本重彦 洋・四六 58頁 X.25 ちば 道友社



823 米國文化の基礎。米國に於ける宗教の社會化的傾向 (講義會叢書第七編) 鶴見祐輔 洋・四六 86頁 X.27 ちば 道友社

824 本部員講習録 (講義會叢書第八編) 教總 (編) 洋・四六 1+35+32+39+20頁 X.25...昭3.V(2取) ちば 道友社  
教理と實地(増野道興)、本教の使命(中山正善)、教化と教育(深谷徳郎)、私の見たる政治家の宗教観(諸井俊五郎)。

825 激闘の力 (第九回總會) 青年會本部 (編) 洋・四六 331頁 X.26 ちば 同本部  
所信を貫徹せよ(中山正善)、再び神堂中心に就て(松村吉太郎)、古き道すお(高井善吉)、青年の教養(坂倉健三郎)、道すお(宮本三郎)、心に就て(上田民藏)、地場意識と神徳(飯野政基)、信念の向上(増野喜市)、價値ある信仰(鶴田利吉)、在滿十五年間に於ける海外布教の私見(村田慶藏)、信仰と救ひに就いて(上原義彦)、教家と無産階級(小野増彦)、現代思潮の傾向(堀越徳郎)。(1)

826 おさしづ一 (明治二十年) 教義及史料集成部 (編) 洋・菊 6+60頁 X.26 ちば 中山正善

827 青年會會報 (第九編) 青年會本部 (編) 洋・四六倍 1(頁) X.27 ちば 同本部  
目次 一、此の轉機何を見むべきか 二、青年會地方大會記 三、御返答記 四、朝鮮出所所聞記 五、其の後の外國語學校 六、第八回總會 七、第九回講習會 八、支會設置 九、分會長の變更 十、役員の任

命 十一、第九回決算報告 十二 會員統計表 十三 青年會規程。(1)

828 奈良系様にいたゞかれたるおさしづ解釋 同志會 (編) 和・四六 282頁 X.28 ちば 同會

目次 一、奈良系様の主眼點解釋を執筆するに當りて 二、奈良系様の生立ち 三、事情定め 四、地場への伏込み 五、百日の御指圖と奈良系様 六、お長け變更問題 七、天啓繼續の有無に就て。(k)

829 おさしづ全集 (明治三十四、三十五、三十六、三十七年) 同志會 (編) 和・四六 295頁 X.30 ちば 同會

830 福岡管内名稱録 福岡教務支廳 (編) 洋・袖珍 80頁 X (調査發行) 福岡 同支廳

831 同窓會會報 (第一號) 牧野榮一 洋・四六 42頁 X.13 京城 天理教教義講習所 同窓會

832 五十年後の天理教 木下松太郎 洋・四六 90頁 X.127 ちば 木下眞通堂

833 おさしづ二 (明治二十一年) 教義及史料集成部 (編) 洋・菊 18+180頁 X.27 ちば 中山正善

834 鮮滿支案見 中山正善 洋・四六 24+232頁 X.129 ちば 著者  
管長様が朝鮮、滿洲、北支那方面を御視察された時の紀行文で、極めて有益な且つ興味深い材料が豊富に盛り込まれてゐる。(1)

835 おさしづ全集 (明治十九、二十二年) 同志會 和・四六 266頁 X.130 ちば 同會

836 理の眞髓 乾華 (編) 洋・四六 90頁 X.130 北海道教友會小樽支部  
北海道教務支廳の記念 祭並に教友會發會式を終へてから、兩親分教會及び小樽支教會に於て本部員坂倉、上田、鶴田三氏の試みた講話を筆記せるもの。(1)

837 打ちあけた心 岡島善次 (編) 洋・四六 109頁 X.130 ちば 眞生寮出版部

著者が日々の信仰生活に於て得た感想をすなはに表はしてゐる。(1)

838 おさしづ全集 (明治二十五、二十六年) 同志會 (編) 和・四六 308頁 X.125 ちば 同會

839 鮮譯初試験 藤宮版 菊 2(頁)

昭和三年

840 天理教會名稱録附天理教職員録(昭和2訓) 道友社 (編) 洋・横 324+92+14+20+16頁 1.23. ちば 道友社

841 神靈への歩み (松村教正講話集) 高安大教會 (編) 洋・四六 180頁 1.24 大阪 同大教會

松村教正が一切の公職を辭して、御本部の神殿に於てお助けに専念せらるゝに至つた心路過程の全編を収められたものである。

842 教祖御歸齋前後のおさしづ解釋 天理教おさしづ解釋刊行會 (編) 洋・四六 96頁 1.25 ちば 同刊行會  
御教祖御歸齋直前のおさしづと同直後のおさしづとを収録したもので先づ本文をかゝり、そのおさしづの出された當時の事情を述べ、解釋が加へられてゐる。(1)

843 神前お助けとおさづけの理 天理教同志會 (編) 洋・四六 82頁 1.25 ちば 同會

844 若かりし日 増野道興 洋・四六 180頁 1.25 ちば 同者  
氏が十七、八才より二十一、二十頃迄に書かれたものを一書に纏められたもの。

845 おさしづ三 (明治二十二年) 天理教々義及史料集成部 (編) 洋・菊 27+296頁 1.26 ちば 中山正善

846 道は續く (随人叢書第二) 島岡善次 洋・四六 116頁 1.30...昭4.IV(1版) ちば 眞生寮出版部

教話、隨筆を集めて一書とされたのであつて、まことの道は永遠に續くと云ふ氣持から『道は續く』とされたのである。

847 おさしづ全集 (明治二十七、二十八年) 天理教同志會 (編) 和・四六 307頁 II.1 ちば 同會

848 別科第四十期學生名簿 天理教校 (編) 洋・横 80+40頁 II.1 ちば 同校

849 おさしづ全集 (明治二十九、三十年) 天理教同志會 (編) 和・四六 204頁 III.4 ちば 同會

850 東瀛支教會史 (創立三十年記念) 福井駿郎 洋・四六 200頁 III.19 岐阜 天理教東瀛支教會

851 兵神大教會由來 兵神大教會史料編纂部 (編) 洋・四六 30頁 III.22 神戸 同大教會

852 おさしづ (上下二冊) 兵神教會史料編纂部 (編) 洋・四六倍 5+458+4 37頁 III.23 ちば 同史料編纂部  
目次 第一編 湯水家及大教會事情御指圖、第一集關係本部事情御指圖、第二集湯水家御指圖、第三集 大教會事情御指圖 第二編 直屬大教會役員其他御指圖、第一集 増野家御指圖、第二集 富田家御指圖、第三集 直屬大教會役員其他御指圖 第三編 部屬教會事情御指圖、第一集 第十八集 第四編 部屬教會事情御指圖、第一集 第二十二集。

853 天理外國語學校第一回海外旅行記 天理外國語學校 (編) 洋・四六 4+181頁 III.25 ちば 同校

昭和二年七月 外語各語部(北京、墨西哥、廣東、馬來)の職員生徒の旅行記、スタートメントを附し、其使命を高唱したるもの。

854 天理外國語學校一覽附天理女子學院 (昭和二年度) 天理外國語學校 (編) 洋・

- 四六 2+77+17+2頁 III.25 ちば 同校
- 855 **おさしづ** 四 (明治二十三年) 天理教教義及史料集成部(編) 洋菊 31+336頁 III.26 ちば 中山正善
- 856 **おさしづ全集** (明三十一年) 天理教同志會(編) 和四六 296頁 IV.1 ちば 同會
- 857 **教祖とその高弟逸話集** 赤心社(編) 洋四六 78頁 IV.9-昭3.VII(2版) 大阪 赤心社  
 教祖を中心として 初代管長様や、本館様其他高弟の方々の逸話を蒐々上梓せるものである。(k)
- 858 **聲明書** 天理教々義(編) 洋菊 10頁 IV.18 ちば 道友社  
 天理教に關する 極端なる荒唐無稽の異説を流布宣傳し、不穩なる妄動に出た 大西愛治郎一派の『天理研究會』事件に對する聲明書である。(y)
- 859 **眞の寶** (上巻) 安江明(編) 和四六 248頁 IV.20 (2版の年月日による) ちば 天新社  
 宇宙現象、人體、八塊、古來の習慣及十干、十二支五倫五徳、男女關係、動物、草木、作物等に就て天理教の教理と符合する點を書いたもの。(k)
- 860 **眞の寶** (下巻) 安江明(編) 和四六 237頁 IV.20 (改版の年月日による) ちば 天新社  
 論理の拘氣に付て、一々拘理を説明したもの、凡そ四百二十三節に分つ。
- 861 **御筆先** (郡山大教會) 郡山大教會(編) 和四六倍  
 第一巻 (362+63頁) 第二巻 (34+43頁) 第三巻 (54+43頁) 第四巻 (52+42頁) 第五巻 (49+35頁) 第六巻 (31+40頁) 第七巻 (15+26頁) 第七巻の終りに本筆先と泥海古記が収めてある。(i)  
 IV.23 奈良 同大教會
- 862 **百日のおさしづ解釋第一巻** (奈良長様の

- 巻) 百日のおさしづ解釋刊行會(編) 洋四六 68頁 IV.25 同刊行會  
 主として、百日のおさしづとは如何なるものかに付て書かれてある。凡例、百日のおさしづの名稱に付て、百日のおさしづを出された 當時の御本席、百日のおさしづの概要、俄かの制限、人間業で出来るか。(k)
- 863 **教祖傳講話** 武谷兼信 洋四六 103頁 IV.25 ちば 地場思湖社  
 目次、一、序論 二、神恩以前の御教祖 三、神恩四、精神の御苦勞 五、物質的御苦勞 六、帯屋お助け 七、御教祖自身の布教 八、勤めの場所の建築と教基の確立 九、本教に對する 世界の壓迫干渉 十、御歸國 十一、十二、結論。御教祖九十ヶ年の御歴史中より 現在の吾人にとつて、極めて密接なる關係を有する部分を抄出し、其要點に就いて、講述されたものである。
- 864 **芽生** 増野道興 洋四六 320頁 IV.25 ちば 道友社  
 著者の若き日の文集。
- 865 **教祖の理想** 増野道興 洋菊 38頁 IV.26 ちば 道友社  
 一列教訓、おはま甘藷糖、借物を中心とする教理の概要、教祖の日本觀、の四節に類ち所謂教祖の理想を神言に照して説いたもの。(k)
- 866 **天理教大觀** 同志會(編) 洋四六 43頁 IV.26 ちば 同會  
 天理教の大體を極めて簡単に説明せんとしてある。内容 一、天理教の發祥 二、天理王命 三、天理教祖 四、教理の概要 五、御地場の様態
- 867 **おふてさき** (第一、二號) 天理教教義及史料集成部(編) 洋菊 1+10+22+14頁 IV.26 ちば 中山正善
- 868 **天理教婦人會の榮** (第十六回總會記念) 婦人會本部(編) 洋菊 66+40頁 IV.27 ちば 同本部  
 目次、一、告辭 二、婦人會々則、理想として八題、會報をも収めてある。(j)
- 869 **嗚呼大熊こま子刀自** (海外布教の先驅者) 高垣晴光 洋四六 3+253頁 IV.30

- 東京 永樂堂書店  
 京城支教會の 開祖たる刀自の 誕生より生育、入信の過程、布教、海外へ進出の動機、及び其の後の刀自の苦勞の跡を想ひ、尙其の歸國後の 教會の發展を記してある。(k)
- 870 **管内名稱錄** (昭3.IV現在) 岡山・山口・鳥取・廣島・島根教務支廳(編) 洋菊 19+23+20+10+11頁 IV 岡山教務支廳
- 871 **天理御筆先に關する意見** 木村菊太郎 洋菊 17頁 V.8 京都 同者  
 一、天理研究會報連事洋の主旨 二、本筆先の正體 三、本筆先は果して叛逆思想なるか 四、天理教は何故に危險思想なるか 五、天理教を公認して今日に至らしめたるは政府當局の責任にあらずに就いて論じ、天理教の根柢を説く。(s)
- 872 **おさしづ全集** (明治二十三年) 同志會(編) 和四六 267頁 V.15 ちば 同會
- 873 **おふてさき** (自第三號、至第五號) 天理教々義及史料集成部(編) 洋菊 口拾1+40+36+24頁 V.26 ちば 中山正善
- 874 **おさしづ五** (明治廿四年自一月至六月) 天理教々義及史料集成部(編) 洋菊 19+200頁 V.26 ちば 中山正善
- 875 **融和問題と天理教** 吉田一雄 和菊 78頁 VI.20 奈良 成泉社  
 所謂少數部落民に對する 差別的待遇問題を 社會的に、歴史的に、文化的に宗教的に 批判し、天理教の教義及信仰の上から融和問題の促進を力説して居る。(y)
- 876 **おふてさき** (自第六號、至第九號) 天理教々義及史料集成部(編) 洋菊 1+36+30+24+18頁 VI.26 ちば 中山正善
- 877 **おさしづ六** (明治廿四年自七月至十二月) 天理教々義及史料集成部(編) 洋菊 41+392頁 VI.26 ちば 中山正善
- 878 **觀覽聖人袖下之文** 安江明(編) 和四六 7+145頁 VII.10 ちば 天新社  
 觀覽聖人が 佛敎の真理を 類に書き残した文にして

- 天理教の因縁、泥海古記、に類した點多く本教の因縁、泥海古記を研究せんとする者の 一參考となるものである。(i)
- 879 **徹底解剖國賊天理教** 米村嘉一郎 洋四六 285頁 VII.20 東京 赤化防止團出版部  
 天理教は邪教なり、國體を破壞せんとする 逆法團なりとの謬見に立脚し、本筆先を曲解して、天理教は果して宗教か、外十七章に分ち妄談曲筆せるもの。附録に教祖本館事件、井出國子事件、天理研究會事件を載す。(s)
- 880 **百日のおさしづ解釋 第二巻** (三軒三棟の巻) 天理教おさしづ解釋刊行會 洋四六 95頁 VII.25 ちば 同刊行會  
 三軒三棟に關する 神言全部に 解釋を施したものの。内容 曲解された三軒三棟 原案の内容に就て三軒三棟並べてある。内々の事情といふ 世界の類に改めよ。(k)
- 881 **おふてさき** (自第十號至第十三號) 天理教々義及史料集成部(編) 洋菊 1+28+22+50+36頁 VII.26 ちば 中山正善
- 882 **おさしづ七** (明治廿五年自一月至六月) 天理教々義及史料集成部(編) 洋菊 27+224頁 VII.26 ちば 中山正善
- 883 **おさしづ八** (明治廿五年自七月至十二月) 天理教々義及史料集成部(編) 洋菊 9+212頁 VII.26 ちば 中山正善
- 884 **武藏野便り** 三橋會吉 洋四六 42頁 VII.30 東京 同者  
 著者三橋氏は司法省 囑託少年保護司である。大正十五年十月六附函が 司法大臣の認可を受け、少年保護團體として 少年保護事業を經營するにつき主任として赴任し、昭和三年四月に至るまで約一年半の間に得たる 感想を通信文の形に編みて、東京教務支廳機關誌『教の友』に連載したものである。教内の人々に少年保護事業を知らしめ、傍らわが信仰を語る試みであつたと著者は云つてゐる。(三)
- 885 **信仰の喜悅** 増野道興 洋四六 276頁

- VIII.10 ちば 同者  
『道の女』『新興宗教』の雑誌に載せた巻頭言、信仰談話、書斎の灯、風情の歌等を集めたもの。(j)
- 886 おふてさき (自第十四號至十七號) 天理教々義及史料集成部 (編) 洋.菊 1+25+25+22+21頁 VIII.26 ちば 中山正善
- 887 おさしづ九 (明治廿六年自一月至六月) 天理教々義及史料集成部 (編) 洋.菊 40+304頁 VIII.26 ちば 中山正善
- 888 未信の友へ 増野道興 洋.四六 124頁 IX.15 ちば 同者  
學業を卒へて同もない著者の友人宛に書いた手紙が動機となつて、手紙の形式で未信者に教理を説いたもの。(f)
- 889 増野鼓雪全集 3 増野道興 洋.四六 1+345頁 IV.20 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 節ある項、道一統
- 890 別科第四十一期一覽表 天理教校(編) IX.--
- 891 學生名◎ (別科第四十一期) 天理教校(編) 洋.菊 131+58頁 IX ちば 同校
- 892 第拾七期卒業生名簿 天理教々義講習所 (編) 洋.四六 16頁 IX 京城 同講習所
- 893 天理教北海道教勢一覽表(昭和3. IX現在) 北海道教務支廳 (編) IX
- 894 増野鼓雪全集 2 増野道興 洋.四六 1+411頁 XI ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 胸の道、天啓の聲
- 895 天理教北海道樺太地方大會號 (御大典紀念) 藤田好助 洋.菊 78頁 X.10 北海道 一統社  
告示符身様、教徒の使命 村田慶藏、教祖の日本觀 小野晴彦、婦人の行く可き道 梶井きよ、婦人の使命 島村ひさ、その他大會に関する記事を編纂してある。(s)

- 896 天理教初階 橋本正治 (編) 川島謙一 (譯) 洋.四六 8頁 X.18 奉天 滿洲一如會  
朝夕拜神詞、朝夕勤行詞、天理王命とは何ぞ、十柱の御様の御守護、八つの埃を支那語で書いたもの。(k)
- 897 露文天理教 橋本正治 洋.四六 1+3+15頁 X.18 奉天 滿洲傳道廳
- 898 百日のおさしづ解釋 第三卷 (句ひ掛けの巻) 天理教おさしづ解釋刊行會 洋.四六 67頁 X.20 ちば 同刊行會  
奈良宗様の家書讀、本部御覽書讀 句ひ掛けの件を主として、學校の件及本部會計の件を附して説明したもので 至る處に金言名句が充實してある (著者の言より) 凡例 奈良宗様の家書讀、大きな話やで、句ひの事や、早いがよい。(k)
- 899 身上たすけ 岩井尊人 洋.四六 80頁 X.23 ちば 道友社  
身上たすけの論しを根本的に合理的に試みんとせるもの。單なる利名よりして爲されたる論しに極力反對してある。(t)
- 900 天理教研究會罪惡史 喜多富松 洋.四六 3+10(頁) X.24 奈良 關西毎日新聞社  
天理研究會 大西兼次郎の不正事件の真相を明にし天理教と全く別個のものたることを論じて居る。(i)
- 901 増野鼓雪全集 4 増野道興 洋.四六 1+361頁 X.25 ちば 鼓雪會  
細目 道行く心、道草、道の跡
- 902 みかぐらお手撮足型 今井政太郎 洋.四六倍 91頁 X.25 奈良 今井天誠堂
- 903 みかぐら歌解義 武谷兼信 洋.四六 146頁 X.25 ちば 道友社  
先づ一々の御歌を懇切丁寧に説明し、更に前後相圖釋せしめて其の大意を明かにした書。(t)
- 904 教團の力 (第十回總會記念) 附 會報 第十五 青年會本部 (編) 洋.四六 8

- 十340頁 X.26 ちば 同本部  
目次 (教團の力) 吉が教徒の使命 村田慶藏、若日本への道 山本利正、昭和維新と天理教の使命 深谷徳郎、國體の宣揚と天理教 上原清彦、正しき姿を露露せよ 藤井慶五郎、笑はれし宗教は何を爲すか 梶本増治郎、我等のたすけ 山中忠藏、教祖の理を想へ 島村國太郎、亞米利加傳道に對する所感 藤井忠彦、おふてさきの宣言に就て 藤田儀郎、目次 (會報) 青年會規程、昭和二年及三年地方大會、第九回講習會、講習會の本部の記事 等。(y)
- 905 おさしづ十 (明治廿六年自七月至十二月) 天理教々義及史料集成部 (編) 洋.菊 3 1+208頁 X.26 ちば 中山正善
- 906 泥海古記 附註釋 岩井尊人 洋.菊 54頁 XI.5 ちば 道友社  
御本部の正書を照して、重複、脱筆、前後してあるところを整理し、併せて文體を部誌體に統一し、これを本文として上欄に掲げ、下欄にその註釋を附してある。(t)
- 907 増野鼓雪全集 11 増野道興 洋.四六 1+316頁 XII.10 ちば 鼓雪會  
細目 御出陣私記、華先私記、神言講義、聖蹟記、理を語る時
- 908 おふてさき索引 天理教々義及史料集成部 (編) 洋.菊 1+252頁 XII.26 ちば 中山正善  
『おふてさき』を深く研究する人の手びきとなり、又お歌の一部だけ知つてゐて全體をはつきり思ひ出せない時に其一部分の御言葉から全體のお歌を拜讀するのに便なるやう編纂したものである。(凡例より) 目次 凡例、上之句の部、下之句の部、史實の部、神名の部、人名の部、數字の部、註釋の部、用語の部
- 909 おさしづ十一 (明治廿七年自一月至六月) 天理教々義及史料集成部 (編) 洋.菊 3 3+215頁 XII.26 ちば 中山正善
- 910 別處之深神様の御守護 道友社 (編) 洋.四六 12頁 XII.-- ちば 同社
- 911 願訴 中島忠太郎 四六 1:頁  
御筆先の解釋につき興感を経たもの。(兼)

- 912 おふてさき 天理教教義及史料集成部 (編) 和 四六倍 341頁
- 913 日本を思ふ 洋.抽珍 16頁  
大阪地方大會の 聯合員に配布した 小冊子であつて心の立替による世の立替、おのの理、御教祖の日本觀等に就いて 御教理を説いたものである。(y)

昭和四年

- 914 神聖への歩み 松村吉太郎 洋.四六 173頁 LI ちば 道友社  
著者が一切の公職を辭して最近遂に本部御禮に於いてお助けに専念せらるに至つたことは本教徒の大なる慰勞であつたがその心氣過程の全概をこゝに收め得ることが出来たのは本書の誇りである。(序より)
- 915 黎明の聖女 三浦照造 洋.四六 500頁 LI.15 東京 平凡社  
聖女とは御教祖のこと。御地場に着在してゐた數日間著者の感得した所を創作の形にて發表せるもの。教外著の作品たる點に興味がある。(t)
- 916 増野鼓雪全集 13 増野道興 (編) 洋.四六 1+23頁 120 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
目次 明るい道、よなほり、過ぎし日
- 917 百日のおさしづ解釋第四卷 (本部御覽書讀の巻) 天理教おさしづ解釋刊行會 洋.四六 125 ちば 同刊行會  
本部御覽書讀に関する天啓の一部である、本教の信仰の根本道場たる神殿の建築の事とて重大なるものである。  
凡例、本部御覽書讀の経路、侍いこみ云ひかけるシキリの道、會議とけにやならん。
- 918 天理教會名稱簿用天理教職員錄 天理教道友社(編) 洋.横 1+2+96+14+10

- 十-16頁 126 ちば 同社
- 919 おさしづ十二 (明治二十七年自七月至十二月) 天理教々義及史料集成部 (編) 洋-菊 35頁十-202頁 125 ちば 中山正善
- 920 増野鼓雪全集 6 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+314頁 128 ちば 増道鼓雪全集刊行會  
細目 講壇より 一、講壇より 二、講壇より 三、神の道具
- 921 増野鼓雪全集 7 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+364頁 118 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 講壇より 四、講壇より 五、神祕と神理
- 922 天理教愛知岐阜静岡岡山梨教務支廳管内教會名稱録 (昭和、II.VI.調) 洋-横 48頁 11.17 同支廳
- 923 夏期講習會録 (昭和三年度) 天理教道友社 (編) 洋-四六 1+229頁 11.26 ちば 同社  
目次 宗教と教育、勤王を國家觀念に就て、東印度諸島に於ける民族と宗教、法律文化の展望、日本吉野丹文化史の五編を圖めたもの。(k)
- 924 おさしづ十三 (明治二十八年一月至六月) 天理教教義及史料集成部 (編) 洋-菊 37頁十-228頁 11.25 ちば 中山正善
- 925 増野鼓雪全集 17 増野鼓雪 洋-四六 1+370頁 11.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 或野話、理の動
- 926 學生名簿 (別冊第四十二期) 天理教校 (編) 横 30+81頁 11-1
- 927 おふてさき講義 天理教教義及史料集成部 (編) 洋-菊 1+202頁 11.5 ちば 道友社  
昭和三年十月に開かれたおふてさき講習會の講義を圖めたものである。但し本歌全部の講義でなく要義概要に於けるものである。(y)
- 928 お道一口教話集 天理教教理研究會 (編) 洋-四六 8頁 11.15 ちば 木

- 下眞進堂
- 929 天理外國語學校一覽附天理女子學院一覽 (昭和三年度) 天理外國語學校 (編) 洋-四六 2+81+21+2頁 11.15 ちば 同校
- 930 おふてさき 天理教教義及史料集成部 (編) 洋-四六 222頁 11.26...昭5.11 (2版) ちば 同集成部  
「おふてさき」の本文のみを複製されたもので、之は飲料書用として編せられたもので註解がない。(y)
- 931 おさしづ十四 (明治二十八年自七月至十二月) 天理教教義及史料集成部 (編) 洋-菊 50+284頁 11.26 ちば 中山正善
- 932 新日本主義 (神道社會主義) 寺井一男 洋-四六 75頁 11.27 名古屋 名京社  
目次 一、國運を憂ふ 二、大和民族天賦の使命に醒めよ 三、文化史の回顧と現下の世相 四、社會問題と宗教 五、新日本主義、附録として天理教の日本觀を收む、今や世界各國は精神的方向轉換をしながらの時代であるから平和な天國を地上に建設せよと題してある。(j)
- 933 増野鼓雪全集 1 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+382頁 11.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 存在。
- 934 増野鼓雪全集 5 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+351頁 11.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 一の筆、教祖講話、信仰思想。
- 935 増野鼓雪全集 10 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+372頁 11.28 ちば 増道鼓雪全集刊行會  
細目 教室の日、講義館の日、りをふく。
- 936 増野鼓雪全集 16 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+350頁 11.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 鼓雪教話集
- 937 管内教會名稱録 (昭和、三月調査) 天理教

- 群馬・栃木・長野・新潟教務支廳 (編) 洋-袖珍 152頁 11 同教務支廳
- 938 教會名稱録 (天理教大阪教務支廳管内) 天理教大阪教務支廳 (編) 洋-横 11+35+11頁 11.1 同教務支廳
- 939 廻町中教會名稱録 (昭和四年二月現在) 廻町中教會 (編) 洋-袖 120頁 11.15 東京 同中教會
- 940 醫者の手あまり 道友社 (編) 洋-四六 255頁 11.25...昭5.11(2版) ちば 同社  
松村吉太郎氏信仰の動機より数々の不思議な助けにより確信なる信仰を得たこと、そして氏が神の慈悲により多くの醫者の手あまり病人を助けた實話が多く書かれてある。(i)
- 941 若き求道者のさゝやき 岡島善次 (著人) 洋-四六 74頁 11.25 ちば 眞生寮出版部
- 942 教祖のおさとし 同志會 (編) 洋-四六 76頁 11.25 ちば 同會  
本書は御教祖が御弟子の方々へ直々に御さしなされた御教理を集めたものである。
- 943 天理教婦人會の榮 (第十七回總會記念) 婦人會本部 (編) 洋-菊 10+66+36頁 11.27 ちば 同本部  
第十七回總會は丁度本回二十週年に當る。  
目次 一、おさしづ 二、若き 三、創立二十週年を迎へて 四、婦人會會則、懇話として、婦人會設立の由來と希望、光輝ある歴史を圖みて、等十二題そして婦人會會報をも収めてある。(i)
- 944 増野鼓雪全集 14 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+355頁 11.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
目次 來信の友へ、若かりし日。
- 945 増野鼓雪全集 18 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+361頁 11.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
目次 信仰の喜び、書齋の灯、巻紙言、風鳴の眼、香茶の夜。

- 946 増野鼓雪全集 19 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+377頁 11.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 獨立の教理的考察、鼓雪講話集
- 947 増野鼓雪全集 20 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+340頁 11.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 眞實の信仰。
- 948 信仰なき人生は空虚なり 仲島吉 洋-袖珍 57頁 11.1 仲島吉  
著者が神様より與へられた魂の喜びを筆にされたものである。  
目次 信仰なき人生は空虚なり、信仰に入る道、神への導きの三大項目に分け更に各小項目に亙つて學術的證明を加へたもの。(k)
- 949 天理教綱要 (昭和四年版) 道友社 (編) 洋-四六 2+441頁 11.1 ちば 同社  
本教の發祥、發達の經過、教義の概要、現勢力の一般及施設の概要を觀るに便なるやう一書に纏めて編纂された案内書。本書一巻を讀むれば本教全般について大體會得する事が出来る。一、天理教とはどんな信仰か 二、天理教の教理 三、天理教基本教義 四、天理教基本教理 五、天理教發達史 六、天理教勢 七、天理教々勢執行の組織と團體 八、天理教内の事業。(t)
- 950 おさしづ十五 (明治二十九年一月至六月) 天理教教義及史料集成部 (編) 洋-菊 44+280頁 11.26 ちば 中山正善
- 951 おさしづ十六 (明治二十九年七月至十二月) 天理教々義及史料集成部 (編) 洋-菊 71+155頁 11.25 ちば 中山正善
- 952 増野鼓雪全集 8 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+330頁 11.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 奉仕と活動 (前編)。
- 953 増野鼓雪全集 9 増野道興 (鼓雪) 洋-四六 1+361頁 11.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會

- 細目 奉仕と活動 (後篇) 歌典要義道の技新。
- 954 増野鼓雪全集 12 増野道興 (鼓雪) 洋四六 1+379頁 V.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 神道の時、静かな心
- 955 増野鼓雪全集 15 増野道興 (鼓雪) 洋四六 1+380頁 V.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 歌の靈、歌祖時傳、歌會時史、一條の信仰、心の道、理の光
- 956 御かぐら歌鳴物譜上 (本等琵琶尺書) 天理教教會本部雅樂部 (編) 和菊 20頁 VI.26 ちば 同雅樂部
- 957 増野鼓雪全集 21 増野道興 (鼓雪) 洋四六 1+377頁 VI.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 歌義研究、御指圖講義、結語考察、神道の光
- 958 増野鼓雪全集 22 増野道興 (鼓雪) 洋四六 1+400頁 VI.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 小童子時傳、信仰の妙味、御指圖録、短評演説、
- 959 増野鼓雪全集別冊 今村英太郎 洋四六 1+36+27頁 VI.28 ちば 増野鼓雪全集刊行會  
細目 前篇 傳記、中篇 逸話及歌談、後篇 逸話の夕、附録、年譜、著作年表、索引、
- 960 お地場へ 佐津川道一 洋四六 156頁 VII.15 東京 本深支教會  
京都市本深支教會お地場園参の記念出版、参拜員の成語集である。(三)
- 961 百日のおさしづ解題第五巻 (繪圖面引かけの巻) 天理教おさしづ解題刊行會 洋四六 92頁 VII.25 ちば 同會  
現在の本部神樂建築に關して其の實際行動としてせうせこうせまお出し下されたおさしづの解題である。實際方法論に附て、至れり處せりのおさしづが下されてある。凡例順序の達しつかり、永い年限の中、三年五年の中、遠い處でうであらう、お

つみり大字、これで樂々出来る、隔から隔迄に分類されてある。

- 962 前會長職追憶錄 天理教此花分教會役員 (編) 洋四六 2+275頁 VII.25 大阪 同分教會役員  
前此花分教會長田進雄之助氏の追憶録である。(k)
- 963 御かぐら歌鳴物譜下 (打物及管、太鼓、拍子木、笛) 天理教教會本部雅樂部 (編) 和菊 23頁 VII.26 ちば 同雅樂部
- 964 おさしづ十七 (明治三十年自一月至六月) 天理教教義及史料集成部 (編) 洋菊 31+193頁 VII.26 ちば 中正善  
前此花分教會長田進雄之助氏の追憶録である。(k)
- 965 おさしづ十八 (明治三十年自七月至十二月) 天理教教義及史料集成部 (編) 洋菊 60+197頁 VII.26 ちば 中正善
- 966 教義講習會録 (第二回) 洋四六倍大 10+15+14+12+16+17+17+16+17+22+24+19+18+14+13+19+19+18+23+16+17+13+16+20頁 VII.一 天理教教義及史料集成部  
管長様明講の御挨拶、各御本部員が明治二十年より二十八年までのおさしづに就て講述されてある。(圖書版刷の稿本である)。
- 967 天理教祖傳 (淨瑠璃) 思想善導梅花魁 藤井天海 洋四六 2+30頁 VIII.15 京都 藤井天海堂  
中山善兵衛の説、松山要統家の説の二説に分れてゐる。(k)
- 968 御大典と天理教 道友社 洋菊 129頁 VIII.25 ちば 同社編輯部  
一、總編 二、大禮前儀 三、即位の禮 四、大嘗祭五、大禮後儀 六、御大典に對する我が徒の覺悟 七、附録。(i)
- 969 おさしづ十九 (明治三十一年自一月至六月) 天理教教義及史料集成部 (編) 洋菊 29+274頁 VIII.26 ちば 中正善
- 970 大江分教會初代會長譽傳 大江分教會史料集成部 洋四六 53頁 IX.1 大阪 同集成部

- 中西金次郎大人の生ひ立ちより 歸國までの時傳、明治十九年三十七才の時泉 田氏より種河のお助けを受けられはじめて神様の有難さを知り、一人でも多くの人を助けさして頂かうと御苦勞の中を精進せられた結果、明治廿六年大江支教會創立となり、大正九年七十一才にて歸國になる迄の傳記である。(三)
- 971 懐れの世界へ 藤江律太郎 (編) 洋四六 31頁 IX.15 大垣 大垣分教會  
天理教の教旨と理想の實現 (大正新聞記事抜取) 入信の動機と將來の私 (徳川喜好) 雄勢より人格へ (徳川喜好) 神意と海外布教 (道の友雅誌抜取) の四文を集めたもの。(i)
- 972 天理教傳道者に関する調査 (稿本) 中正善 洋菊 162頁+34枚 IX.20 ちば 中正善  
本教傳道者に關して 一、入信前の生活 二、入信の動機傳道及開始迄の生活 三、傳道の動機とその年齢傳道地の選定 四、傳道過程と社會の態度 五、傳道費用 七、性及び年齢 八、時代的考察 九、地理的考察 十、概評、等各方面より調査された貴重な文獻で、各所の統計表も附されてある。(t)
- 973 おさしづ二十 (明治三十一年自七月至十二月) 天理教教義及史料集成部 (編) 洋菊 58+241頁 IX.26 ちば 中正善
- 974 學生名簿 (別冊第四十二期) 天理教校 (編) 洋横 64+28頁 IX.一 ちば 同校
- 975 このみちならては 岩井孝一郎 洋四六 71頁 IX.5 ちば 道友社  
この道ならては見ることも聞く事も出来ない感動させられる實例を澤山舉げて、面白く書かれてゐる。(k)
- 976 祝詞作文案 (改訂) 天理教道友社 (編) 洋菊 64頁 X.10 ちば 同社
- 977 奇蹟的征病法 河原寛 洋四六 294頁 X.20 東京 資文堂書店  
奇しき靈教に浴した著者の體驗に基いて宗教的奇蹟、病理に關する研究並に靈教等を集めてこれを一言にまとめたものである。(t)
- 978 神の名代上 (道友談話集) 道友社 (編)

- 洋四六 181頁 X.26 ちば 同社  
道の歌話なるものは神様の御心をお取り次ぎ申すものでなければならぬとの意味に於て神様の名代として馳かしからぬ深い理のこもつた歌話のみを十五篇纏めて上篇とす。内容 まこみ一つ (中正善)、おさしづの意義 (中正善)、婦人會設立の由來と希望 (中山正善)、 つこめ一條と助け一條 (松村吉太郎)、遺すから (山澤篤造)、いんねんを果す道 (宮森與三郎)、仕事に精進せよ (春野喜市)、氣長い心深い思案 (喜多秀太郎)、助かるも助けるも一つの理 (山本利正)、信心の高調と理の働き (上原義彦)、つくしはこび (梅谷忠雄)、教師としての第一歩 (中野赤太郎)、死んでも死なね心 (平野義太郎)、おふでさきから受ける強い力 (櫻越、眞のなさけ (武谷重信)。(t)
- 979 教團の力 (第十回總會記念) 天理教青年會本部 (編) 洋四六 1+130頁 X.26 ちば 同會本部  
告諭 告諭についての演説、理の働 (山本利正)、陽氣 つこめ (深谷徳郎)、明るい生活 (村田慶藏)、なるほど心 (上原義彦)、助け一條とひのきしん (松村義孝)、嵐波の生活 (平野規知雄) たんのう (藤崎一春)、勸一條 (佐治正嗣)、理の添ふた働き (櫻越徳郎)、信仰三昧 (山中忠正)、會報。
- 980 みちの日記 (立教九十三年) 道友社 (編) 洋四六 416+32+30頁 X.26 ちば 同社
- 981 神の名代下 (道友談話集) 道友社 (編) 洋四六 81頁 XI.26 ちば 同社  
眞の歌話なるものは神様の御心をお取り次ぎ申すものでなければならぬとの意味に於て神様の名代として馳かしからぬ深い理のこもつた歌話のみを十五篇纏めて下篇としたもの。  
内容 つこめ一條について (中正善)、おふでさきの刊行を終へて (中正善)、神意を悟つて精進せよ (飯倉三郎)、講社のこころも (高井敏吉)、色々の出来事 (増井りん)、御言葉に附て (飯野政長)、充實生活と天理教 (中山篤信)、おはれの御用に努力せよ (松本宗太郎)、おやごころ (村田慶藏)、新時代の教會 (深谷徳郎)、求道の重心 (藤井慶五郎)、屋敷の土を掘りまわして (増野石次郎)、教はれたもの、つこめ (東條

- 歡堂)、身に事柄あれはこそ(岩井孝一郎)。(t)
- 982 おさしづ二十一(明治三十二年一月至六月) 天理教教義及史料集成部(編) 洋菊 28+23頁 XI.26 ちば 中山正善
- 983 たすけの臺 柳井徳治郎 洋菊 152頁 XI.—  
著者が永年の體驗に依て悟得せられたる 御教理を口述された講演集である。(y)
- 984 国民一致の精神教化總動員に就て 堀越儀郎・深谷徳郎 洋菊 49頁 XII.7 岡山 天理教中國聯合會  
天理教中國聯合會主席になる時局講演會に於て兩氏がなした講演の逐記を録したものである。
- 985 勇んで働け 道友社(編) 洋菊 46頁 XII.10 ちば 同社  
思想國民生活の混亂した時代に 教徒の處するところを示す。(s)
- 986 神の實現としての天理教 中西牛郎 洋菊 489頁 XII.25 東京 平凡社  
教原、教祖、教義、教團、教史の各章について結論(新に響く天啓の聲)が附せられてある。(s)
- 987 おさしづ二十二(明治三十二年七月至十二月) 天理教教義及史料集成部(編) 洋菊 62+295頁 XII.26 ちば 中山正善
- 988 北海道教務支應管内名稱錄(昭和四年十二月調査) 天理教北海道教務支應(編) 洋菊 1+88頁 同支應
- 989 天理教教勢統計表 天理教々々(編) 表1 XII.31 ちば 同編  
教會表、教師表、教師退還表、學事表、天理教傳説表、天理話兒表、天理教婦人會表、天理教青年會表、天理教圖書簡表を含む。(y)

昭和五年

- 990 晴天の心 (理をふく叢書第三編) 天理教

- 二月マデ) 天理教教義及史料集成部(編) 洋菊 86+35頁 II.26 ちば 中山正善
- 998 別科第四十四期一覽表(昭和五年二月廿八日) 天理教校(編) 折 II.28 ちば 同校
- 999 別科第四十四期會員名簿 天理教よのもと會(編) 洋菊 63+27頁 II.— ちば 同會
- 1000 心光(創刊號) 高橋親(編) 洋菊 1+97頁 ちば 天理外語心光會  
巻頭に中山校長の、心光に題す、を掲げ、心光に就ての感想、思出を語らんか、中國學生に接して、友よりの書、誤謬、A三つの指露ミ一つの豆團圓の旅、神を尋ねて、孝子の願見養考を尋ねて、高橋の別筆、等を掲載しある。因に本書は天理外語心光會の會報に該当するものである。(i)
- 1001 おさしづ二十五(明治三十四年一月ヨリ六月マデ) 天理教々々義及史料集成部(編) 洋菊 43+314頁 III.26 ちば 中山正善
- 1002 總會のしきり(昭和五年四月九日第一回總會記念) 橋本正治 洋菊 1+77頁 IV.9 奉天 天理教婦人會本部滿洲出張所  
首めに御母教様、管長様のお言葉がのせられ、ついで婦人會の設立と希望先驅ある歴史を顧みてしゆんのつとめ、眞の結構等が収められ會則、日誌を加へてある。(s)
- 1003 しびぐさ 天理教婦人會河原町支部(編) 洋菊 1+134頁 IV.23 京都 同支部  
河原町大教會長夫人深谷梅及女史の追悼録。(k)
- 1004 天理中學校三十年史 小松原義則・竹村菊太郎(編) 洋菊 15+341+13頁 IV.25 ちば 同校  
天理中學校三十周年祝賀式の記念出版。前中には三十年に亘る沿革史を第一期建校時代、第二期整備時代、第三期發達時代の三期に分けて詳述し、

- 後半には各期卒業生の思ひ出の記を數多く収録してある。(t)
- 1005 おさしづ二十六(明治三十四年七月ヨリ十二月マデ) 天理教々々義及史料集成部(編) 洋菊 84+26頁 IV.26 ちば 中山正善
- 1006 天理教婦人會の榮(婦人會第十八回總會記念) 婦人會本部(編) 洋菊 5+105+47頁 IV.27 ちば 同本部  
目次 一、おさしづ二、告辭三、婦人會々々則 四、めいめいのつとめ 五、天理教傳説院の變遷について 六、よき記念として 七、天理教傳説院に對する 感想九 八、事業報告 九、海外巡教感想 想苑として 女のつとめ 他四題 聖學談 婦人會々々報 等も収められてある。(i)
- 1007 無頼漢より教會長へ 柏木庫治 洋菊 46頁 V.10 東京 教の友  
宣教師の事實の如く取り扱ひてたんのふの教理を繰り込んだ小説 目次 道を開く迄、教會の人となる、靈坊の濡衣に泣く、哀れ親子三人は教會を追放さる、日本晴の日は来る、足跡の間 といふ項目に分けて書かれてある。(k)
- 1008 よろこび 天理教新潟分教會(編) 洋菊 46頁 V.15 新潟 同教會  
新潟分教會發達史である。(k)
- 1009 おさしづ二十七(明治三十五年) 天理教々々義史料集成部(編) 洋菊 5+1+31頁 V.26 ちば 中山正善
- 1010 おきみさんの存在 柏木庫治 洋菊 66頁 VII.10 東京 教乃友社  
或る單節布教者の思出話で、その中に 教理を多分に繰り込ませて 好い成績を興へる面白い 體物である。(y)
- 1011 よのもと(創刊號) 赤木徳三郎・小東正雄(編) 洋菊 2+228頁 VII.10 ちば よのもと會  
天理教校よのもと會の機關雜誌『よのもと』の創刊號である、會長である管長様の 講話をはじめとし



て幾多の講話、教話が載せられてある。會の意義及内容を知り、會の活動を窺ふにふさはしい會誌である。(y)

- 1012 清水與之助傳(一) 天理教兵神大教會史料編纂部(編) 洋.菊 4+46+6頁 VII.23 兵庫 同部

兵神大教會初代会長の傳記の一部であり、第一章人となり 一、天崎時代 二、京都時代 三、大阪時代 四、神戸時代 が収められている。(z)

- 1013 神の理想たる人間完成の道(同志會叢書第一編) 柏木庫治(述) 洋.四六 4+48頁 IX.23 名古屋 天理教甲賀大教會名古屋同志會

名古屋同志會の講習會に於ける講演をまとめたものであり、人間完成の道を附録の三圖に就きながら教への根本を説き、更に體論談を加へてある。(z)

- 1014 天理教傳道者に関する調査 中山正善 洋.菊 24+340頁+36枚 XI ちば 道友社

巻頭編博士の序文は、今尚發生期の生長を遂げつゝある天理教 其の他の宗教運動の姿を宗教史上の諸例を通して觀察し 或は非宗教的な十九世紀機械文明に直面して動いた宗教に 日本に於ける新宗教運動の文化史的な性格によつてこれを解釋し 其の布教傳道の状態を研究することには學問的興味があるばかりでなく、本書が研究者にとつては觀察立論の資料ともなり 教會の實際問題としては 信仰生命の伸張に就いて多くの反省と展望への指針をあたへるものであると述べて刊行の餘さされる。

自序。宗教文化の構成に當つては種々の姿をまつて傳道布教が重要な役割をなすことを歴史上に追想し、文化變遷の間に興亡した宗教信仰の意義を求め時傳道の事實が信仰者長のマターとなることを述べて研究の基調としながら、過去に於て天理教の社會的實際傳道と信仰教理が生きた統一を歴史の中に實現して現在に及んだ勢を辿り、轉じて今後將來に向つて進む本教のorientationは先づこの書に見出すことができると述べられてゐる。

本書は昭和四年の稿本で未完であつた第八、第九、

第十、第十一の四章を完結し付表、別表も補正され、新たに、傳道線路圖、人口に對する教師の密度、教師數に對する回答者數の比、の三附圖が加へられて新裝版と共に、完成を告げてゐる。(z)

- 1015 天理教傳道者に関する調査 中山正善 洋.四六 24+340頁 別冊附録36枚 X.5 (2版)

内容は、初版と全く同一であるが、普及版として裝幀を變へ四人判にし附録を別冊にしてある。(z)

- 1016 教之臺(天理教々義) (點字) 増野道興 洋.四六倍 46頁 X.一 奈良 奈良盲學校藏版

本教經營にかゝる奈良盲學校生徒の教課書用として點字に替されたものである。(z)

- 1017 天理外國語學校一覽附天理女子學院一覽(昭和五年度) 天理外國語學校(編) 洋.四六 2+3+97+21頁 ちば 同校

#### 發行年月日末詳の分(昭5.VIII.28現在)

- 1018 チビ金の改悟(天理教新編談) 奥谷文智 和.菊 58頁

明治三十年頃實際にあつた改過道善美談でフィルム『懺悔の光』の原本である。(三)

- 1019 地場の意義 増野道興 洋.四六 25頁 増野道興全集第八巻におさむ、『地場と因縁』『現代人の地場』『地場の將來』に就いて説いてある。(三)

- 1020 神樂執行規則 和.菊 12頁

- 1021 教育勅語戊申詔書衍義 道友社(編) 洋.菊 37頁 大3.IV.(X.8再刷により明とる) ちば 同社

- 1022 天理教教典衍義 洋.菊 31頁

- 1023 祝詞作文教案 道友社(編) 洋.菊

64頁 ちば 同者

- 1024 祝詞用語作成集成 洋.菊 216頁 ちば 木下眞進堂

- 1025 御筆先抄録 洋.四六 18頁

- 1026 御差圖摘要 洋.四六 22頁

- 1027 教の力(天理教劇) 中澤隼人 和.菊 81頁

改題『谷底』を参照。(1)

- 1028 祭神古典微證(天理教) 研究會(編) 洋.菊 2+14頁

- 1029 神道天理教會規則及規程 道神天理教會本部(編) 和.菊 41頁

- 1030 神道天理教會規約 神道天理教會本部(編) 和.菊 1頁

- 1031 神言 洋.四六 17頁

- 1032 神教開傳施書 安原潤京 洋.四六 6頁  
十柱の神様の御守護及び八坂をさきわけされてある。(1)

- 1033 宗教法案 洋.菊 37頁

教派、派宗派、教團、寺院、教會等に關する法規を載せてある。(1)

- 1034 助かる道 國豐宣教所(編) 洋.袖珍 14頁 大阪 同宣教所

- 1035 遠及則 天理教會本部(編) 洋.四六 185頁 ちば 同本部

- 1036 天理教教祖の豫言と日本の將來 増野道興 洋.四六 34頁

お筆先、お言葉に表はれたる教祖の豫言によつて、世界に於ける日本の地位を説明すると同時にこれを歴史的事實に徴して日本の將來を豫言し、こゝに發揮せる本教を弘通して先づ日本を治めることはこれやがて世界治める眞實の道なる本教の使命を果す所なることを明かにし、この聖業を助成せしむべき本教教徒に要すべき自覺を説く。(本)

- 1037 天理の大神の御守護と八つのほこり 旭繁道(編) 八折



## 辭書體索引

## A

- 嗚呼教祖 宇田川文海…………… 120  
 嗚呼大熊こま子刀自 (海外布教の  
 先驅者) 高垣曙光…………… 869  
 嗚天理教 上田千尋…………… 193  
 \* 足立普明 天理教信ずるに足らず…………… 6  
 アジアに於ける重なる言語 (講習  
 會叢書第六輯) 中目覺、松本重彦… 822  
 \* 赤木惣太郎 神徳大觀(上下)…………… 226  
 \* 赤木徳之助 History Doctrines  
 and practice of Tenrikyo…………… 126  
 \* 赤木徳三郎、小東正雄(編) よの  
 もと(創刊號)…………… 1011  
 明るい道 増野道興…………… 454  
 憶れの世界へ 藤江鉾太郎(編)…………… 971  
 悪因縁を切つて頂くには 増野石  
 次郎…………… 408  
 \* 姉崎正治 人生に於ける宗教の位  
 置(講 會叢書第一輯)…………… 810  
 \* 荒巻繁太郎 神道説教大意……………  
 \* 有富春六  
 (宗教映畫)泣いて果すか…………… 791  
 天理教祖の御一代(通俗琵琶講談)  
 (第一卷)…………… 645  
 (第二卷)…………… 652  
 (第三卷)…………… 655  
 (第四卷)…………… 671  
 (第五卷)…………… 671  
 (第六卷)…………… 671  
 (第七卷)…………… 671  
 (第八卷)…………… 671  
 或る對話 増野道興…………… 814  
 \* 旭繁道(編) 天理の大神の御守護  
 と八つのほこり…………… 1037  
 \* 浅草分教會(編) おのれをすて、  
 (浅草分教會 教堂再建二十五週  
 年記念)…………… 507  
 あしあと 名京大教會(編)…………… 646  
 \* 芦田義宣 理せめの世界 (天理教  
 宣傳小集第四編)…………… 469  
 \* 芦田義宣 (天理教)高安大教會史  
 (初代會長松村教正六十年史料)… 794  
 \* 芦津大教會(編) おさしづ (芦津大  
 教會)…………… 290  
 新しい文化と眞實のたすけ 小  
 野靖彦…………… 696  
 新らし教理 同志會(編)…………… 685  
 神のあらはれ(新しい信仰實話)  
 田中三十郎…………… 692  
 東大教會名稱錄 東分會(編)…………… 770  
 \* 東分會(編) 東大教會名稱錄…………… 770  
 \* 東芳松 五つの教最新道の話…………… 59

## B

- 番茶の夜 増野道興…………… 779  
 \* 晩翠生(編) (天理教)御教祖御實  
 傳、附本席飯降伊藏先生…………… 64  
 \* 波埃道人 \* 廣岡高藏を見よ…………… (82頁)  
 米國文化の基礎、米國に於ける宗  
 教の社會化的傾向 (講習會叢書

第七輯) 鶴見祐輔…………… 823

別科第六期生住所人名録(天理教校) 天理教校(編)…………… 117

別科第七期生住所人名録…………… 126

第八期…………… 131

第九期…………… 140

第十二期…………… 169

第二十期…………… 272

第二十一期…………… 281

第二十三期…………… 317

第二十四期…………… 328

第二十五期…………… 352

第二十六期…………… 370

第二十七期…………… 395

第二十八期…………… 428

第二十九期…………… 461

第三十期…………… 501

第三十一期…………… 541

第三十二期…………… 581

第三十三期…………… 615

第三十四期…………… 647

第三十五期…………… 681

第三十六期…………… 735

第三十七期…………… 759

第三十八期…………… 788

第三十九期…………… 811

第四十期…………… 848

第四十一期…………… 891

第四十二期…………… 926

第四十三期…………… 974

第四十四期…………… 天理教校よのもと會(編)…………… 999

別科第三十一期在學中の心得 天理教校(編)…………… 542

別科第四十一期一覽表…………… 890

別科第四十四期一覽表…………… 998

辯斥天理教(實際討論) 三浦兼助…………… 7

別 席

別席初試験助け一條の話…………… 670

別席の理…………… 281

初席心得(十柱神様の御守護八埃の理)…………… 432

初席の菜…………… 710

初試験…………… 653

初試験の御話と別席の理…………… 569

初試験の菜…………… 649,650

鮮譯初試験…………… 340

別席初試験助け一條の話 名京大教會(編)…………… 670

別席の理 同志會…………… 281

琵琶講談 文學を見よ…………… (72頁)

坊さんと天理さんとの内証話(比較宗教) 廣岡富蔵…………… 390

戊申詔書衍義 道友社…………… 1021

舞 樂 天理教舞曲神の御國歌… 74

佛教最近の敵一名天理教之書毒 月輪望天…………… 14

文 學

無頼漢より教會長へ…………… 1007

(御道小説)甘露臺…………… 333

(御道歌物語)心の錦…………… 992

道の芽生…………… 701

泣いて果すか(宗教映畫)…………… 791

中山美伎子(天理教祖)…………… 414

おきみさんの存在…………… 1010

おみち童話…………… 716

お道の始め…………… 365

教の力(天理教劇)…………… 1027

黎明の聖女…………… 915

世界の母(橋流筑前琵琶、第五章)…………… 590,591

(天理の教)種蒔鏡…………… 26

谷底…………… 719

天理教都々逸(内務所御届濟)…………… 340

天理童話…………… 355

(思想善導梅花魁)天理教祖傳(淨瑠璃)…………… 967

天理教祖の御一代(通俗琵琶講談)

(第一卷)…………… 645

(第二卷)…………… 652

(第三卷)…………… 655

(第四卷)…………… 671

(第五卷)…………… 671

(第六卷)…………… 671

(第七卷)…………… 671

(第八卷)…………… 671

天理教祖みかけの命、御蔭のあめ(話曲)…………… 136

天理大和歌の講義…………… 21

よのなか童話集(第一編)…………… 482

文化主義批判(第二回講習會講義録) 青年會(編)…………… 347

文 集

(立教九十三年)おみちの日記…………… 980

お道専用書翰文集…………… 628

無頼漢より教會長へ 柏木庫治…………… 1007

病氣しらず 今田善逸…………… 110

病理研究(病のさとし) 山脇成幸… 401

病理及其教理の研究 同志會(編)… 492

病床のなぐさめ 山脇成幸…………… 572

C

チビ金の改悟(天理教新講談) 奥谷文智…………… 1018

\* 直轄天輪教會本部(編) (元奈瓦油脚事) 改心の緒井に御依願狀… 76

朝夕神拜祝詞…………… 75

\* 朝鮮布教管理所(天理教)(編) 初試験…………… 653

朝鮮教義講習所

同窓會々報(第一號)…………… 832

(天理教々義講習所)第十七期卒業生名簿…………… 892

天理教講習會學則…………… 69

\* 晁水道人 宗教早分り…………… 94

中 學 校

私立天理中學校學則…………… 86

天理中學校三十年史…………… 1004

天理中學教育の主義…………… 153

天理教々育主義…………… 197

\* 中河大教會(編) おさしづ…………… 742

\* 中和大教會(天理教)(編) 道すがら 367

D

第一回海外堂(天理教外國語學校)行記 天理外國語學校(編)…………… 853

第一線に立ちて 柏木庫治…………… 617

大教宣布詔書義解 的場金之助…………… 19

第二天理教界革命之聲 大平隆平… 232

大震災靈驗談(第一輯) よのなか社(編)…………… 549

\* 大東支教會(編) 決意の話…………… 587

\* 出水彌太郎

教理の菜…………… 108

天理教…………… 91

天理教讃歌…………… 90

傳 記

嗚呼大熊こまこ刀自(海外布教

の先驅者) ..... 869  
 無頼漢より教會長へ ..... 1007  
 御本席行傳 ..... 364  
 (天理教)御本席飯降伊藏先生略  
 傳歌 ..... 81  
 長谷川理一遺稿 ..... 424  
 平野樹藏前篇(高弟列傳第三篇) ..... 566  
 平野樹藏後篇(高弟列傳第四篇) ..... 567  
 本席行傳 .....  
 本席のみちすがら(道女叢話第  
 十三篇) ..... 576  
 本席の生涯と信仰 ..... 752  
 (元奈良油藤事)改心の緒並に御  
 依頼狀 ..... 76  
 教祖と其の高弟逸話集 ..... 857  
 鴻田忠三郎 .....  
 鴻田忠三郎先生傳(高弟叢書第  
 五篇) ..... 573  
 故管長様の御逸事 ..... 196  
 小寒様の御苦勞と布教師の心得 ..... 726  
 小寒様を偲びて(道女叢話第十  
 二輯) ..... 565  
 (御)教祖と其の門人山中忠七翁  
 (高弟列傳第一篇) ..... 535  
 増野正兵衛傳 ..... 546  
 またいつ歸る ..... 362  
 松村氏事件第一審裁判覺書 ..... 239  
 道すがら(松村吉次郎大人三十  
 年祭記念) ..... 285  
 中川よし子(模範布教師) ..... 198  
 (高弟逸話)お話の種 ..... 727  
 (天理教京城支教會開祖)大熊と  
 ま子刀自略傳 ..... 276  
 聖本席 ..... 571  
 清水與之助傳(一) ..... 1012  
 至心錄 ..... 622  
 追悼 ..... 280

辻忠作先生(高弟列傳第二編) ..... 557  
 上原先生の人格と後進の覺悟 ..... 152  
 梅谷四郎兵衛 ..... 596  
 山名大教會長夫婦自傳 ..... 218  
 前會長嚴道想錄 ..... 962  
 部々逸歌(天理) 今田善逸 ..... 340  
 獨立の教理的考察 増野道興 ..... 616  
 どん底まで 渡邊彌 ..... 368  
 泥海古記、附註解 岩井尊人 ..... 908  
 泥海古記  
 泥海古記(岩井尊人) ..... 908  
 泥海古記全(安江明) ..... 695  
 泥海古記講話(同志會) ..... 588  
 泥海古記釋義全(關時發) ..... 747  
 (天理教創世記)古記話研究 ..... 301  
 御筆とめ全(一名泥海古記) ..... 698  
 天理新創世説の解説並に批判 ..... 205  
 天理教創世紀教理淵源神代古記 ..... 63  
 天理教創世紀眞髓 ..... 732  
 泥海古記全 安江明 ..... 695  
 泥海古記講話 同志會 ..... 588  
 天理教泥海古記釋義全 關時發 ..... 747  
 \*同志會(編)  
 新しい教理 ..... 685  
 別席の理 ..... 287  
 病理及其教理の研究 ..... 492  
 泥海古記講話 ..... 588  
 どうすればお助けをいたゞける  
 か ..... 494  
 婦人會の友 ..... 263  
 (天理教)布教者の巻(是丈は心  
 得おくべし) ..... 252  
 布教とおたすけ ..... 379  
 (年表對照)御教祖年譜 ..... 223  
 八埃の新研究 ..... 380  
 初試験の御話と別席の理 ..... 569  
 ひながたの道(離型の道) ..... 320

ひのきしん ..... 202,332  
 因縁の理 ..... 166,334  
 一手ひとつ ..... 246  
 神にたよれ ..... 480  
 神のおもわく ..... 466  
 神様の思惑 .....  
 神様の御話 ..... 257  
 かりもの ..... 256  
 借物の理の研究 ..... 383  
 講演と教話の資料 ..... 235  
 故管長様の御逸事 ..... 196  
 (天理教)教義及信仰 ..... 404  
 教祖生活 ..... 405  
 教理のあらまし ..... 194  
 (御教祖時代の)教理の臺本 ..... 624  
 教理のはやわかり、御筆先譯文 ..... 470  
 教理の眞髓 ..... 712  
 (天理)教祖 ..... 155  
 教祖離型の道 ..... 420  
 教祖のおさとし ..... 942  
 教祖出現の眞義 ..... 513  
 教祖と其の教理 ..... 467  
 (天理教)教話集 ..... 253,574,654  
 道の御話 ..... 295,405  
 (天理教)道しるべ ..... 248  
 身上かりもの ..... 570  
 元一つの理 ..... 495  
 にほひがけ ..... 269  
 日々のたから ..... 175  
 御筆先分類研究(上編) ..... 270  
 御筆先分類研究(二卷上下) ..... 358  
 御地場 ..... 214  
 御地場の現況 ..... 914  
 おさしづ(自明治十九年十二月  
 至明治廿一年十二月) ..... 249  
 おさしづ(自明治十九年十二月  
 至明治廿一年十一月) ..... 338,580

おさしづ(自明治廿二年一月至  
 明治同年九月) ..... 271  
 おさしづ(自明治二十二年九月  
 至同年十二月) ..... 339  
 おさしづ(自明治廿四年至明治  
 廿五年) ..... 812  
 おさしづ(明治卅三年) ..... 804  
 おさしづ全集(自明治卅四年至  
 明治卅七年) ..... 829  
 おさしづ(自明治四十年三月十  
 三日至同年六月九日) ..... 234  
 (奈良系様のいたゞかれたる)お  
 さしづ解釋 ..... 828  
 おさしづ全集(明,19,20,21,22) ..... 835  
 # (明,23) ..... 872  
 # (明,24,25) ..... 812  
 # (明,25,26) ..... 838  
 # (明,27,28) ..... 845  
 # (明,29,30) ..... 849  
 # (明,31) ..... 856  
 # (明,32) ..... 808  
 # (明,33) ..... 804  
 # (明,34,35,36,37) ..... 829  
 # (明,38,39,40) ..... 799  
 おさづけの理 ..... 260  
 おさづけの眞意及其由来 ..... 516  
 おやさま ..... 717  
 理の御話(本席部員別席講話) ..... 425  
 聖本席 ..... 571  
 宣教資料 ..... 550  
 神言解釋(卷一) ..... 387  
 神言解釋(卷二) ..... 382  
 神言解釋(卷三) ..... 421  
 神意と四十年祭 ..... 431  
 しんじつ ..... 247,512  
 (是丈は心得おくべし天理教)  
 信徒の巻 ..... 251

神託實録…………… 718  
 神前御助けとおさづけの理…………… 843  
 たんのふ…………… 361  
 たんのふの理…………… 189  
 たんのふと因縁…………… 407  
 たのしみの道…………… 589  
 たすけ一條…………… 268  
 助けの臺(おことば分類)…………… 447  
 たてあひ助け合ひ…………… 200,203,324  
 たてかへの理(新教理集第一編)…………… 523  
 天啓…………… 632  
 天理教大觀…………… 866  
 (一問一答)天理教の實際…………… 764  
 天理教要義…………… 157  
 十柱神と御守護…………… 547,763  
 病の元とほこり(病の因と埃)…………… 309  
 病の元は心から…………… 341  
 病のおさしづ…………… 242,636  
 八つのほこり…………… 721  
 同窓會々報(第一號) 牧野榮一…………… 832  
 どうすればお助けをいただけるか  
 同志會(編)…………… 494  
 童話 文學を見よ…………… (72頁)  
 \* 道友社(編)  
 戊申詔書衍義…………… 100  
 (天理教)雅樂譜…………… 553  
 御大典と天理教…………… 968  
 本部員講話集(上)…………… 319  
 本部員講話集(中)…………… 333  
 本部員講話集(下)…………… 377  
 勇んで勇げ…………… 985  
 醫者の手あまリ…………… 940  
 (天理教)地場案内(12頁+118  
 頁+1頁)…………… 176  
 (天理教)地場案内(7頁+106)…………… 396  
 (天理教)地場案内(2頁+50頁  
 +1頁)…………… 771

時局講話資料…………… 182  
 (削訂)神代史要…………… 119  
 實踐倫理綱要…………… 97  
 巡回講師講演資料…………… 241  
 (昭和三年度)夏期講習會録…………… 923  
 神の名代(上)(道友講話集)…………… 998  
 神の名代(下)(道友講話集)…………… 981  
 (別席の榮)神様の御守護…………… 910  
 國民思想と天理教…………… 321  
 (宣教員講習會)講師演集…………… 141  
 (松村教正)講話集(道友叢書第  
 一編)…………… 274  
 (天理教)教義要領…………… 259,329,994  
 教育勅語衍義…………… 104  
 教育勅語,戊申詔書衍義…………… 1021  
 教育勅語と天理教…………… 160  
 教會名稱錄 (明,43)…………… 113  
 (天理)教會名稱錄 (大,2)…………… 163  
 〃 (大,3)…………… 184  
 〃 (大,5)…………… 237  
 〃 (大,7)…………… 283  
 〃 (大,9)…………… 354  
 〃 (大,10)…………… 412  
 天理教會名稱錄,附職員錄  
 〃 (大,11)…………… 448  
 〃 (大,13)…………… 597  
 〃 (大,14)…………… 640  
 〃 (大,15)…………… 765  
 〃 (昭,3)…………… 840  
 〃 (昭,4)…………… 918  
 〃 (昭,5)…………… 995  
 (天理教)教師講演集…………… 144  
 教祖の理想…………… 865  
 (天理教)教典釋義…………… 134  
 民力涵養と天理教…………… 305  
 (改訂)祝詞作文案…………… 976

祝詞作文便覽全…………… 99  
 祝詞作文教案…………… 1023  
 (天理教)祝詞集…………… 133  
 (改訂天理教)祝詞集…………… 419  
 お道の日記(立教九十三年)…………… 980  
 (天理教)祭儀式…………… 118  
 (天理教)祭儀式講述…………… 458  
 三教會同と天理教…………… 135  
 (宣教員講習會)講師講演集…………… 141  
 四十年祭時報…………… 746  
 (天理教)職員錄(大正九年五月  
 調査)…………… 344  
 〃 (大正十三年一月調査)…………… 579  
 祝祭日講話…………… 106  
 宗教法規概要…………… 502  
 宗教法令摘要…………… 98  
 (改訂増補)宗教法令摘要…………… 98  
 大典の根本義並講話資料…………… 208  
 達及則(大,6)…………… 254  
 達及則(大,10)…………… 386  
 天理教綱要(昭,4)…………… 949  
 天理教綱要(昭,5)…………… 994  
 (譯文)天理教の歴史,教義及其  
 實際…………… 168  
 天理教と現代思想…………… 307  
 病の理(上)…………… 464  
 病の理(中)…………… 483  
 病の理(下)…………… 415

E

英和天理教カテキズム 唯根泰次

郎…………… 197

F

筆先私想 増野道興…………… 802  
 夫婦揃ふてひのきしん 諸井慶五  
 郎…………… 430  
 富豪,資本家,會社商店の經營者,重  
 役高級職員各位並に官憲に稟告 廣池  
 千九郎…………… 286  
 \* 藤江律太郎 憧れの世界へ…………… 971  
 \* 藤井天海 (思想善導梅花魁淨瑠  
 璃) 天理教祖傳…………… 967  
 \* 藤原美彦 (天理教)祝詞集解義附  
 枕詞集…………… 594  
 \* 藤井春雄 御神樂歌評解…………… 604  
 婦人會  
 (天理教)婦人會の榮  
 (第三回總會記念)…………… 164  
 〃 第二(第四回)…………… 186  
 〃 第三(第五回)…………… 236  
 お話の榮(第六回)…………… 262  
 (天理教)婦人會の榮  
 〃 第四(第七回)…………… 299  
 〃 (第八回)…………… 231  
 〃 (第九回)…………… 378  
 〃 (第十回)…………… 436  
 〃 (第十一回)…………… 518  
 〃 (第十二回)…………… 593  
 〃 (第十三回)…………… 661  
 〃 (第十四回)…………… 745  
 〃 (第十五回)…………… 796

♪ (第十六回 ♪)..... 868  
 ♪ (第十七回 ♪)..... 943  
 ♪ (第十八回 ♪).....1007  
 婦人會の友..... 262  
 發會式彙報(婦人會高知支部)..... 631  
 心のひらき(婦人會北支部)..... 376  
 しのびぐさ(婦人會河原町支部).....1003  
 總會のしをり(婦人會本部滿洲出張所).....1002  
 (天理教青年會高安分會)婦人會高安支部聯合會記念錄..... 468  
 \* 婦人會東支部漢草委員會(天理教)(編) 生きる..... 600  
 \* 婦人會中和支部(天理教)(編) 婦人會の葉 壹..... 457  
 ♪ 貳..... 519  
 ♪ 參..... 592  
 \* 婦人會本部(天理教)(編) 天理教婦人會の葉 (第三回總會記念)..... 164  
 ♪ 第二(第四回 ♪)..... 186  
 ♪ 第三(第五回 ♪)..... 236  
 お話の葉(第六回 ♪)..... 262  
 天理教婦人會の葉 ♪ 第四(第七回 ♪)..... 299  
 ♪ (第八回 ♪)..... 331  
 ♪ (第九回 ♪)..... 378  
 ♪ (第十回 ♪)..... 436  
 ♪ (第十一回 ♪)..... 518  
 ♪ (第十二回 ♪)..... 593  
 ♪ (第十三回 ♪)..... 661  
 ♪ (第十四回 ♪)..... 745  
 ♪ (第十五回 ♪)..... 796  
 ♪ (第十六回 ♪)..... 868  
 ♪ (第十七回 ♪)..... 943  
 ♪ (第十八回 ♪).....1007  
 \* 婦人會河原町支部(天理教)(編)

道の中の道..... 521  
 お地場はどう云ふところ..... 417  
 \* 福井淳(編) 教育勸語成申證書之教..... 612  
 \* 福井駿郎 (創立三十年記念)東濃支教會史..... 850  
 \* 福島敬務支廳(天理教)(編) (管内)名稱錄..... 744  
 \* 福岡敬務支廳(天理教)(編) (福岡管内)名稱錄..... 830  
 布 教 (天理教問答)布教の柱石..... 50  
 布教の研究(教師教徒心携)..... 471  
 布教の友..... 84  
 布教論(第二回講習會講義錄)..... 348  
 小寒子様の御苦勞と布教師の心得(天理教)布教者之卷(是丈は心得おくべし)..... 252  
 布教とおたすけ..... 379  
 (布教寶典)神様への手引(第一卷)..... 625  
 (布教手引)にをいかけ..... 248  
 にほいがけ..... 269  
 お助けの手引..... 360,741  
 (教祖四十年祭記念)高安大教會布教方針..... 391  
 布教之柱石(天理教問答) 武田福藏.....50  
 布教の研究(教師教徒心携) 山脇明堂..... 471  
 布教の友 木下松太郎.....84  
 布教論(第二回講習會講義錄) 青年會(編)..... 348  
 布教とおたすけ 同志會(編)..... 379  
 節ある頂 増野道興..... 273  
 不思議な助け全 能勢健治(編)..... 221  
 ふしん 堺分教會(編)..... 139

節に働く心(湖東叢書第二輯) 武谷兼信..... 780

G

雅 樂 音楽を見よ..... (107頁)  
 \* 雅樂部(天理教會本部)(編) 御か(ら歌鳴物語(上下)..... 956,963  
 雅樂譜(天理教) 道友社(編)..... 553  
 雅樂譜全(天理教) (本部)雅樂部(編)..... 553  
 雅樂譜附大鼓羯鼓(龍笛箏樂鳳笙)修遠會(編)..... 540  
 雅樂箏鳳笙譜(改訂) 東儀文禮..... 9  
 外國語學校 天理外國語學校第一回海外旅行記..... 853  
 天理外國語學校一覽附天理女子學院(昭和二年)..... 851  
 天理外國語學校一覽、附天理女子學院(昭和三年)..... 929  
 崑崙(創刊號)..... 991  
 心光(創刊號).....1000  
 \* 外國語學校(天理)(編)第一回海外旅行記(天理外國語學校)..... 853  
 外國語學校一覽附天理女子學院(天理)(昭和二年)(天理)外國語學校(編)..... 851  
 外國語學校一覽附天理女子學院(天理)(昭和三年)(天理)外國語學校(編)..... 929  
 (昭和五年).....1017  
 願訴 中島忠太郎..... 911

御普請の由来 奥谷文智……………

御本席行傳 心の友新聞社…………… 364

御本席飯降伊蔵先生略傳歌(天理教) 中尾長作……………81

五十年後の天理教 木下松太郎…………… 332

御教祖眞實之御話(天理教) 木下松太郎……………56

御教祖御一代記(天理教) 山中重太郎……………46

御開祖御實傳附本席飯降伊蔵先生略傳(天理教) 晚翠(編)……………64

御教祖眞實傳(天理教) 岑水…………… 130

御教祖時代の教理の臺本 同志會(編)…………… 624

御教祖年譜(年表對照) 同志會(編)…………… 223

御教祖のおすがた(天理教宣傳小集第六編) 榊井孝四郎…………… 503

御教祖四十年祭 天理教々會本部…………… 403

御聖言一日一問 廣岡富藏…………… 397

御大典と天理教 道友社(編)…………… 969

H

八 埃

神も見よ……………(86頁)

病理研究(病のさとし)…………… 401

病理及其教理の研究……………

御教祖時代の病のさとし……………

八埃の研究…………… 613

八埃鮮譯文…………… 738

八埃の新研究…………… 380

ほこりばらい(一名八埃祓除)…………… 195

ほこりばらい(宇田川文海)……………

埃は病…………… 180

奇蹟的枉病法…………… 977

道のいしづへ…………… 684

身上事情論しの仕方…………… 644

(自然の眞理と)身の内のおさとし…………… 766

御道の實(心の改其病の根治)…………… 213

四百四病の理…………… 479

天理教信仰治療論…………… 190

天理教初階…………… 896

天理の大神の御守護と八つのほこり……………1037

うめの力…………… 806

うめの友…………… 453,486

(布教資料病者の杖)病の元の新研究…………… 216

病の因と埃/病の元とほこり…………… 369

病の元は心から(同志會)…………… 341

病の元は心から(室佐市)…………… 229

病の元は心から(奥谷文智)…………… 144

病のおさしづ…………… 636

病の理(上)…………… 464

♫ (中)…………… 483

♫ (下)…………… 515

(親様の御守護と) 病の理のと きわけ…………… 675

(御教祖時代の)病のさとし…………… 641

八つのほこり…………… 342

(漫畫繪本)八つのほこり…………… 721

(天理教)八の埃話…………… 161

八埃の研究 谷口政秀…………… 613

八埃の新研究 同志會(編)…………… 380

八埃(鮮譯文) 城岡幸吾、姜喬共譯…………… 738

\* 八月一日宮三千年 (天理教)おかげ歌はやわかり本…………… 150

• 肺病の信仰的療法 佐藤乙二郎 439

發會式彙報 (天理教)婦人會高知支部(編)…………… 631

白々撰論文集 吉川萬次郎…………… 282

\* 羽根田文明 天輪王辨妄…………… 5

\* 春野貞造

神のはたらき(道友叢話第二輯)…………… 500

梅谷四郎兵衛…………… 596

\* 長谷川理一 末代の理…………… 297

長谷川理一遺稿 長谷川繁藏(編)…………… 424

\* 長谷川繁藏(編) 長谷川理一遺稿…………… 424

\* 橋本清 天理教會の内幕…………… 43

\* 橋本正治 總會のしをり(天理教婦人會本部滿州出張所)……………1002

\* 橋本正治(編)川島健一(譯)

天理教初階……………896

靈文天理教……………897

はたらく 清水寅俊(編)…………… 667

初席心得(十柱神様御守護及八埃の理) 木下眞道堂…………… 432

別席滿席 別席を見よ……………(72頁)

初席の祭 道乃子供社…………… 710

初試験(鮮譯)…………… 340

初試験 天理教朝鮮布教管理所(編)…………… 659

初試験の御話と別席の理 同志會(編)…………… 569

初試験の祭 しきしま社編…………… 650

天龍社(編)…………… 649

\* 林甚太郎 道の女…………… 514

\* 林清次 信仰と生活…………… 702

平壤の腸チブスと天理教 國井泉(編)…………… 487

\* 碧瑠璃園 \* 渡邊雪亭を見よ……………

\* 兵神大教會(編)

(天理教)兵神大教會由来…………… 851

おさしづ(上)…………… 853

♫ (下)…………… 582

清水與之助傳へ……………1012

兵神大教會由来(天理教) (天理教) 兵神大教會(編)…………… 851

ひまはり 丹野新太郎…………… 783

御ひながた(天理教祖) 中世古陸夫…………… 564

ひながたの道 同志會(編)…………… 320

ひながたの歌 今西國三郎…………… 711

ひながたの歌 (天理教祖) 中世古陸夫…………… 564

ひのきしん 同志會…………… 202

ひのきしん

夫婦揃うてひのきしん(天理教宣傳小集)…………… 430

ひのきしん…………… 202

ひのきしん唱歌(世界無比) 今田善逸…………… 107

\* 平野親知雄 理を辿りて…………… 586

平野樹藏(前編)(高弟列傳第三編) 榊井孝四郎…………… 566

(後編) (高弟列傳第四編) 榊井孝四郎…………… 567

廣池博士の著書によつて天理教に入信せる者の狀かざる告白 255

富岡秀耀(編)……………

\* 廣池長吉

天理教概論…………… 677

天理教理通解…………… 522

道一條…………… 289

御筆先分類註解…………… 687

(註解分類)神言集…………… 463

病より健康へ(心の友パンフレット第二輯)…………… 484

廣池博士教理講習會筆記 山本千代藏…………… 293

廣池博士の天理教講演筆記(歸一



協会に於ける) 廣池千九郎…………… 346

**\* 廣池千九郎**

天理中學教育の主義…………… 153

十九世紀に於ける最も偉大なる  
婦人の事業…………… 185

富豪、資本家、會社、商店經營者、重役  
高級職員各位並に官憲に稟告… 286

(歸一協合に於ケル) 廣池傳……………

士の天理教講演筆記…………… 346

近世思想近世文明の由來と將來… 212

講話の概要…………… 206

教徒として見たる天理教(宗教  
叢書)…………… 187

里の仙人…………… 167

助け一條乃御話…………… 477

天理教にほひがけの文…………… 294

天理教信仰の本旨…………… 227

天理教信仰の眞義…………… 165

余の天理教々育部に入りし理由 154

**\* 廣岡富藏**

(比較宗教) 坊さんと天理さんと  
の内証話…………… 390

御聖言一日一訓…………… 397

(疑難解決) 教師と未信徒の膝つ  
き話…………… 433

身上事情論しの仕方…………… 444

未信徒に與ふる書…………… 705

おびや許の理附録共…………… 724

お道五分間教話集…………… 767

お道専用書翰文集…………… 628

お道とお産附録附…………… 440

神佛力くらべ…………… 760

信仰の花…………… 170

(比較宗教) 天理教と基督教の打  
明け話…………… 444

内より外へ…………… 700

読みやすい教祖傳…………… 400

History, Doctrine and Practice ……

of Tenrikyo, 赤木徳之助…………… 126

**人を助けたいなら(道友叢話第一  
輯) 深谷徳郎…………… 559**

**一條心 天理教教會本部(編)…………… 733**

**注 規**

神樂執行規則…………… 1020

改正諭告…………… 1

教會所取締録規…………… 57

教規講義(第一回講習會講義録)… 310

神道教導軌範…………… 26

神道天理教會規約…………… 1030

神道天理教會規則及規程…………… 1029

宗教法案…………… 1033

宗教法規概論附財團法人=付テ  
(第二回講習會講義録)…………… 350

宗教法令摘要…………… 98

宗教法規概要…………… 502

(改訂増補) 宗教法令摘要附宗教  
法案…………… 98

宗教法令摘要講義…………… 479

達及書式…………… 147

達及則(道友社)…………… 254, 386

達及則(天理教々廳)……………

156, 253, 300, 582, 648, 1035

天龍講基道會々則…………… 62

天理教會教務取扱規則…………… 49

天理教々規及規程…………… 87

**北海道神本地方大會議(御大典記  
念) 藤田好助…………… 895**

**\* 北海道教務支廳(編) 北海道教務  
支廳管内教會各冊録(昭2)…………… 807**

(昭4)…………… 987

北海道教勢一覽表…………… 893

**北海道教勢一覽表 北海道教務支  
廳(編)…………… 893**

**ほこりばらひ一名八埃祓除 宇田**

川文梅(述)…………… 195

埃は病 大浦幸秋…………… 180

**本 部**

(天理教) 獨立史…………… 92

教會發達史(第一回講習會講義  
録)…………… 312

**本部員別席講話の御話 同志會 425**

**本部員講習録(講習會叢書第八輯)**

増野道興、深谷徳郎、中山爲信、  
諸井慶五郎共著…………… 824

**本部員講話集(上) 道友社(編)…………… 316**

〃 (中)…………… 333

〃 (下)…………… 377

**本教内の現勢と内容の充實助け一  
條と理の體験教師の使命と感激  
の生活 全 天理教教會本部…………… 583**

**本教と子供(みちのこども附録)**

松本秀樹(編)…………… 658

**本席の道すがら(道友叢書第十三  
輯) 増野石次郎…………… 576**

**本席の生涯と信仰 岡島善次…………… 752**

**\* 寶曆館(天理教)(編) 天理教大正  
十六年御覽…………… 740**

**\* 堀邊昌雄(敬神調蒙) 説教道の話…………… 8**

**\* 堀越儀郎 甘露臺と因縁の理…………… 668**

**\* 堀越儀郎、深谷徳郎共著 國民一  
致の精神教化總動員に就て…………… 984**

おかげの理(天理教宣傳小集  
第五編)…………… 491

理は神…………… 306

天理教とは如何なる宗教か…………… 606

**奉仕と活動(教祖四十年祭)(大12,  
13) 天理教々會本部(編)…………… 529, 601**

**百日のおさしづ解釋**

第一卷(奈良系様の巻) 天理教  
おさしづ解釋行會…………… 862

第二卷(三軒三棟の巻)…………… 880

第三卷(匂ひ掛けの巻)…………… 898

第四卷(本部假神殿普請の巻)…………… 917

第五卷(繪畫面引かけの巻)…………… 951

I

**\* 飯降政甚(述) (御本席最後の天  
啓) 刻限の解釋第一編…………… 620**

**\* 一條源治郎 肺病患者の福音神の  
めぐみ…………… 192**

**\* 一條秀美**

天理教と大本教…………… 413

天理教のすすめ…………… 372

**一條の信仰 増野道興…………… 796**

**\* 市川瀧太郎 おみち歌物語心の錦… 992**

**醫學博士から見た天理教 音尾正  
衛…………… 703**

**\* 池田夏吉 天理教處分論…………… 31**

**生きる 天理教婦人會東支部後草  
委員部(編)…………… 600**

**\* 今田善逸**

病氣知らず…………… 110

(世界無比) ひのきしん唱歌…………… 107

教祖一代記いろは順…………… 116

教祖様一代記いろは歌…………… 115

人心洗濯水(最小輕便參拜みゃ  
げ)…………… 123

毎日一度は讀むべし…………… 132

(内務省御風濟) 天理都々逸歌…………… 403

(内務省御風濟) 天理結構話…………… 124

天理教勤め歌勸善いろは歌合本… 105

(内務省御風濟) 十柱神及八埃…………… 109

養徳院いろは歌(おみやげ本)..... 111

\* 今井政太郎 みかぐらお手振足型  
全巻..... 902

\* 今永英足  
(天理教)講演教話組織法試案..... 499  
謠曲天理教祖みかげの命御蔭の  
あめ..... 156  
(天理教)祝詞作文集上,下,(合  
本)..... 264  
♪ 附巻葬祭一式職業別..... 327  
朗讀法..... 669

\* 今村英太郎  
教祖の御苦勞(道友叢話第一輯)..... 497  
増野鼓雪全集別冊..... 959  
扉びらいて..... 720

\* 今村熊太郎  
天理教會各教會所在地人名録..... 37

\* 今村松聖堂(編) 神道天理教會各  
教會所在地明細簿..... 34

\* 今村國三郎 ひながたの道..... 711

\* 田舎道人(編) 生涯の理..... 398

**因 縁**  
悪因縁を切つて頂くには(天理  
教宣傳小集第一編)..... 408  
因縁切りの道..... 388  
(布教手引)因縁の研究..... 201  
因縁の理..... 166  
(増補改訂布教手引)因縁の最新  
研究..... 201  
因縁の新研究..... 201  
因縁の立替..... 563  
甘露臺と因縁の理..... 668

因縁切りの道 木下眞進堂(編)..... 388

因縁の研究(布教手引) 山脇成幸..... 201

因縁の理 同志會..... 166

因縁の最新研究(増補改訂布教手  
引) 山脇成幸..... 201

因縁の立替 高井義一..... 563

因縁唱歌(天理教) 北野元治郎..... 374

因縁とはどういふことか 小野靖  
彦..... 517

命のいづみ 岡田碩象..... 478

\* 井上華仙 おたすけの臺御神樂勸  
の手ほどき..... 584

\* 井上精軒  
布教者必携御道の話上巻..... 60  
♪ 中巻..... 79  
(通俗)お道の話..... 171

\* 乾鑿(編) 理の眞髓..... 837

**一般教義**  
新しい教理..... 685  
御教祖時代の教理の臺本..... 624  
(天理教)教義及信仰..... 404  
教義大要(第一回講習會講義録)..... 307  
教義と信仰..... 709  
(天理教)教義要領..... 665  
教理のあらまし..... 194  
(天理教)教理通解..... 522  
尊神家必携三條大教憲解..... 16  
鮮譯天理教々義要領..... 665  
天理教根本實義..... 47  
天理教々義..... 80  
天理教々理問答..... 389

**一般教會**  
あしあと..... 646  
東大教會名稱録..... 770  
兵神大教會由來..... 851  
河原町大教會維持財團..... 614  
決意の話..... 584  
甲府分教會沿革史..... 489  
甲賀大會名稱録..... 740  
麴町中教會名稱録..... 929  
北大教會講習會講義録..... 817  
教會略史..... 456

天理教會各教會所在地人名録二  
冊(明35,4版及36,5版)..... 37  
♪ ..... 71

神道天理教會各教會所在地人名  
録..... 77

天理教々應各教會所在地人名録..... 103

神道天理教會各教會所在地明細  
簿..... 34

天理教會名稱録..... (100頁)  
道すがら(中和大教會)..... 367  
道すがら(郡山大教會)..... 330  
道すがら(松村榮治郎大人三十  
年祭記念)..... 285  
南海大教會の由來..... 394  
おのれをすて△(淺草分教會教  
堂再建二十五周年記念)..... 507  
敷島大教會發達史概要..... 585  
敷島大教會名稱録附職員録..... 739  
敷島大教會の建築..... 778  
高安大教會史(初代會長松村教  
正六十年史料)上下..... 794  
天理教青年會高安分會,婦人會高  
安支部聯合記念録..... 468  
天理教豊生宣教所..... 993  
東濃教會史(創立三十年記念)..... 850  
よるこび..... 1008

いろは文庫(教祖遺訓) 筒川すゑ  
子..... 12

勇んで働け 道友社(編)..... 985

\* 石井清 天理教々義..... 80

\* 石川謙道人 尊神家必携三條大教  
憲義..... 16

\* 石塚正治 國を教ふ道..... 700  
道の芽生..... 701

醫者の手あまり 道友社..... 940

\* 板倉健三郎 天理教場案内..... 544

\* 伊藤喜代松,高須 鹿藏(編) 天理

のおとしへ,種蒔鏡..... 20

\* 伊藤喜代松 (天理のおしえ)種  
蒔鏡..... 20

五つの教,最新道の話 東芳松..... 59

一手ひとつ 同志會(編)..... 246

\* 岩井孝一郎 このみちならでは..... 975

\* 岩井輝人  
天理教祖の哲學..... 210  
松村氏事件第一審裁判覺書..... 239  
神一條(道友叢書第三編)..... 278  
身上たすけ..... 899  
泥海古記..... 906

\* 岩永菊次郎 天理人道..... 17

J

ぢ ば

地場案内..... 716,396,514,771

地場一つの理..... 490

地場の現況..... 914

地場の意義..... 1019

御地場..... 210

お地場へ..... 964

お地場はどう云ふ所(天理宣傳  
小集第二編)..... 416

親里へ詣でて(第二回團參記念)..... 775

御教祖四十年祭歸參團體,輪送の  
しるべ..... 699

天理教地場案内(大3) 道友社..... 176

御地場案内(大10)..... 396  
♪ 板倉健三郎..... 544  
♪ (大15) 道友社..... 771

地場一つの理 武谷兼信…………… 490  
 地場の意義 増野道興…………… 1019  
 地場の真義四十年祭と其活動教恩  
 と奉謝 天理教會本部…………… 438  
 \* 兒童教養部(天理教よのなか社)(編)  
 よのなか童話…………… 482  
 時局講話資料 道友社…………… 182  
 人生に於ける宗教の位置 姉崎正  
 治…………… 810  
 人生の改造 天理教々理研究会編… 399  
 人生の理想 小林久治…………… 605  
 人心洗濯水(最小輕便參拜みゃげ)  
 今田善逸…………… 123  
 實踐倫理綱要 道友社…………… 97  
 實踐信仰のたまもの 山脇成幸… 575  
 十九世紀に於ける最も偉大なる婦  
 人の事業 廣池千九郎(述)………… 185  
 巡回講師講演資料 道友社(編)… 241

K

神樂執行規則…………… 1020  
 \* 河北支教會婦人會青年會東京支部  
 たんのふ(天理教祖四十年祭紀  
 念)…………… 708  
 海外傳道部 教廳を見よ…………… 90  
 會報(天理教青年會)青年會(編)  
 ♪ 第一號…………… 283,323  
 ♪ 第二號…………… 356  
 ♪ 第三號…………… 409,411  
 ♪ 第四號…………… 475

♪ 第五號…………… 552  
 ♪ 第六號…………… 629  
 ♪ 第七號…………… 691  
 ♪ 第八號…………… 769  
 ♪ 第九號…………… 827  
 ♪ 第十號…………… 904  
 ♪ 第十一號…………… 979  
 ♪ 第十二號 以下(132頁)

改正諭告 神道天理教會創立事務  
 所(編)…………… 1  
 改心の緒並に御依頼(奈良油勝事)  
 狀 直接天理教會本部…………… 79  
 夏期講習會錄(昭和三年) 度道友  
 (編)…………… 923  
 各教會所在地人名錄(天理教會)  
 今村兼太郎…………… 37  
 各教會所在地人名錄(天理教會)………… 71  
 各教會所在地人名錄(神道天理教會)  
 木下松太郎…………… 77  
 各教會所在地人名錄(天理教々廳)… 103  
 神  
 編神教聞傳施書…………… 1032  
 天輪王尊(由來神の古事記)………… 676  
 天理の大神の御守護と八つのほ  
 こり…………… 1037  
 十柱神の御守護…………… 245  
 十柱神及八埃…………… 109  
 十柱神と御守護…………… 547,763

神一條(道友叢書第三篇) 岩井尊  
 人…………… 278  
 神にちかよれ 同志會(編)…………… 480  
 神にもたれて(にほひがけ叢書第  
 一輯) 遠田亮…………… 465  
 神の道具 増野道興…………… 595  
 神の御恩 木下真進堂(編)………… 117  
 神のはたらき(道友叢話第二輯)  
 春野貞造…………… 500

神の實現としての天理教 中西牛  
 郎…………… 986  
 神の心は観心(道友叢話第六輯)  
 上原義彦…………… 528  
 神の言葉 上 増野道興…………… 533  
 下…………… 537  
 神のめぐみ(肺病病患者の福音)  
 一條源治郎…………… 192  
 神の御國 舞臺を見よ…………… (72頁)  
 神の御國歌(天理教舞曲)…………… 74  
 神の名代(道友叢話集)上 道友社  
 (編)…………… 978  
 ♪ 下…………… 981  
 神ののぞみ(道友叢話第十輯)小野  
 靖彦…………… 556  
 神の恩恵 同志會(編)…………… 466  
 神の理想たる人間完成の道 柏木  
 康治(述)…………… 1013  
 神様の御守護(別席の梨)…………… 909  
 神様の御話 同志會(編)…………… 357  
 神様への手引(布教寶典)卷一第 小  
 倉曉風…………… 625  
 \* 神上鶴涯  
 神道天理教の光…………… 22  
 神道天理教哲學…………… 23  
 \* 兼子道仙 眞理之裁判…………… 4  
 甘露臺(御道小説) 霞堤道人………… 333  
 甘露臺 姉屋敷 ちばを見よ………… (85頁)  
 甘露臺と因縁の理 堀越儀郎………… 668  
 甘露の降る日 東條補一…………… 657  
 \* 神崎屋光  
 (自然の眞理と)よの内のおさとし 766  
 お話の梨…………… 792  
 靈の糧(靈光叢書)第一卷…………… 809  
 \* 神崎東藏・高橋蘭花(共著) 天理教  
 創世紀眞髓(附泥海古記正文)…… 732  
 からだの組立(第一輯) 永關嘉四

郎…………… 683  
 かりもの 同志會(編)…………… 256  
 かりもの(道友叢話第二十輯) 白  
 鳥鑑一…………… 803  
 借物の理の研究 同志會(編)………… 383  
 借物借物  
 かりもの…………… 256  
 かりもの(道友叢話第二十輯)…… 803  
 借物の理の研究…………… 883  
 身上かりもの…………… 570  
 \* 柏木康治  
 無頼漢より教會長へ…………… 1007  
 第一線に立ちて…………… 617  
 神の理想たる人間完成の道………… 1013  
 人間苦より人間樂へ…………… 670  
 おきみさんの存在…………… 1010  
 \* 霞堤道人 (御道小説)甘露臺………… 233  
 \* 河原寛 奇蹟的征病法…………… 977  
 \* 河原町大教會 (財團法人天理教)  
 河原町大教會維持財團…………… 614  
 河原町大教會維持財團(財團法人  
 天理教) 河原町大教會(編)…… 614  
 經理部 教廳を見よ…………… (90頁)  
 敬神の章(通俗天理教典十章の話、第  
 一) 奥谷文智…………… 145  
 憲政の常道(講習會叢書第三輯)  
 高石眞五郎…………… 818  
 決意の話 大東支教會(編)…………… 584  
 近代思潮及批判(第一回講習會講  
 義録) 青年會(編)…………… 314  
 \* 峇水 天理御教祖眞實傳…………… 130  
 木下松太郎(編)  
 五十年後の天理教…………… 832  
 (天理教)御開祖眞實の御話………… 56  
 布教の友…………… 84  
 (天理)いろは歌…………… 33  
 (天理教會)各教會所在地人名錄… 71

(神道天理教會 各教會所在地人名録) 77  
 (天理教)各教會所在地人名録 103  
 (天理教創世説)古記話研究 301  
 (神の御言葉)心の道 260  
 御筆先 附甘露臺三下り、甘露臺  
 圖解、みかぐら歌、天理教々典 610  
 御話題 558  
 おはなしの友 423

\* 木下眞進堂(編)  
 初席心得(十柱神様の御守護及  
 八埃の理) 432  
 因縁切りの道 388  
 神の御恩 177  
 (天理教)教理問答 389  
 (天理教)教祖御言葉集 325  
 誠一の道 242  
 (布教手引)にをいかけ 243  
 お筆先 611  
 お道専用書翰文集 628  
 お助けの手引 741  
 天理一席話 244  
 十柱神の御守護 245

近世思想近世文明の由來と將來  
 廣池千九郎 212  
 きりなしがしん(新築落成祭典記  
 念) 宇田川文海 174

\* きりなし會(天理教東京)(編)を  
 しへの理 509  
 奇蹟的征病法 河原寛 977

\* きしん學會(編)  
 きしん學會紀要 第二號 303  
 第三號 351

きしん學會紀要 きしん學會(編)  
 第一號 308  
 第二號 351

\* 北大教會(天理教)(編)

天理教北大教會講習會講演録 817  
 おさしづ 639

北大教會講習會講演録  
 (天理教)北大教會(編) 817

\* 喜多富松  
 天理研究會罪惡史 900  
 (宣傳唱歌天理教)因縁唱歌 374

\* 北野元治郎  
 御神樂歌之理 555  
 おはなしの題 554  
 氣腫氣儘 能勢建治 296  
 きづいきま 能勢天祐 151

\* 小林久治 人生の理想 605

\* 高知大教會(天理教)(編)御教祖四  
 十年祭歸參團體禮送のしるべ 699

鴻田忠三郎先生傳(高弟列傳第五  
 篇) 辻豊彦 573

講壇より第一 増野道興 472  
 第二 473  
 第三 474  
 第四 532  
 第五 568

\* 鴻田利吉 さとり(りをふく叢書  
 第二輯) 805

講演  
 アジアに於ける重なる言語 822  
 米國文化の基礎、米國に於ける  
 宗教の社會的傾向 823  
 文化主義批判(第二回講習會講  
 義録) 347  
 歸一協會に於ける廣池博士の天  
 理教講演筆記 346  
 時局講話資料 182  
 人生に於ける宗教の位置(講習  
 會叢書) 810  
 憲政の常道(講習會叢書) 819  
 近代思潮及批判(第一回講習會

講義録) 314  
 國民教育の新見 818  
 日本國民に關する考察、日本の  
 國體に關する觀念 820  
 日本の財政と經濟 821  
 労働問題十講 347  
 宗教學概論(第一回講習會講義  
 録) 315  
 大典の根本義並に講話資料  
 講演教話組纂法試案(天理教) 今永  
 英足 499  
 講演録(新選天理教) 香尾正衛 703  
 講演資料(第一) 宇田川文海 158  
 講演と教話の資料 同志會(編) 335  
 甲府分教會沿革史(天理教) 三枝  
 榮太郎 489  
 甲賀大教會名稱録(天理教) 甲賀  
 社(編) 740  
 甲賀の礎(甲賀大教會略史)(天  
 理教)青年會甲賀分會(編) 623

\* 甲賀社(天理教)(編)(天理教)甲  
 賀大教會名稱録 740  
 第三回講習會講義録 青年會(編) 410

\* 麹町分教會(天理教)(編) 親里へ  
 詣で(第二回團參記念) 775

\* 麹町中教會(編) 麹町中教會名稱  
 録(昭和四年二月現在) 939  
 麹町中教會名稱録(昭和四年二月  
 現在) 麹町中教會(編) 939  
 故管長様の御遺事 同志會(編) 196  
 小寒子様の御苦勞と布教師の心得  
 奥谷文智 726  
 小寒子様を偲びて(道女叢話第十  
 二輯) 小西利臣 565  
 古記話研究(天理教創世説) 木下  
 松太郎 301  
 心ひとつの理(道女叢話第七輯)

滑川義彦 534  
 こゝろの跡(香志朗著作集第二輯)  
 榊井孝四郎 418  
 心のひらき(天理教)婦人會北支  
 部(編) 376  
 こゝろのかどみ(天の理、けふのを  
 しへ) 太田敏義 458  
 心の道(神の御言葉) 天來美人 260  
 心の鐘(おみち歌物語) 市川滿州  
 夫 992  
 心の行へ教草(尊神示蒙) 山下恵  
 35  
 心の仕込(道友話書第十八輯) 高  
 井義一 610  
 こゝろの礎 太田敏義 452  
 心のたから 仙田久サ助 560

\* 心の友新聞社(編) 御本席行傳 963  
 こゝろのつゑ 亘一三郎 504  
 刻限の解響(御本席最後の天啓)  
 飯降政基 620  
 刻限の中より 名京社(編) 633  
 國民一致の精神、教化補助員に就  
 て 堀越儀郎、深谷徳郎(共著) 984  
 國民教育の新見(講習會叢書第二  
 輯) 谷本富 818  
 國民精神作興に關する講習會筆記(天  
 理教理生會講習會講義録) 理生  
 會(編) 601  
 國民思想と天理教 道友社(編) 321  
 國被天理教(徹底解剖) 米村嘉一  
 郎 879

\* 小松原義則、竹村菊太郎(共編) 天  
 理中學校三十年史 1004  
 崑崙(創刊號) 村田雄三(編) 991  
 小西秀吉、小西利臣(共著) 天理  
 童話 355

\* 小西利臣 小寒子様を偲びて(道

女叢話第十二輯)..... 365

\* 此花分教會役員(天理教)(編) 前  
會長追想録..... 962

この道(天理教祖の言葉) 世界文  
庫刊行會(編)..... 815

このみちならでは 岩井孝一郎..... 975

是だけは心得置くべし(布教者の  
巻) 同志會(編)..... 252  
(信者の巻)..... 251

これからの天理教 並河與三郎  
(編)..... 451

\* 郡山大教會(天理教)(編)  
道すがら..... 370  
御筆先..... 861  
御指圖.....

更生 水口青年會(編)..... 275

鼓響講義集 増野道興..... 816

講師講演集(宣教師講習會) 道友  
社(編)..... 141

講師講演集(天理教)..... 144

高等女學校  
天理高等女學校一覽表.....

教話の概要 廣池千九郎..... 206

組各係の心得 教校(編)..... 543

\* 國井泉(編) 平壤の賜ナブスと天  
理教..... 487

國を教ふ道 石塚正治..... 700

\* 國置宣教所(編)(天理教) 助かる  
道..... 1024

調話集 松村吉太郎..... 393

苦しみから楽しみへ(現代布教叢  
書第一輯) 教理研究會(編)..... 520

教 庫  
天理教職員録(大正九年五月調査) 573

\* 教庫(編)(天理) 本部員講習録  
(講習會叢書第八輯)..... 824  
(天理教)教勢統計表..... 609

民風作興に關する詔書の内容一  
斑..... 577

民風作興の詔書衍義..... 561

聲名書..... 858

達及書式..... 147

達及則..... 156,253,582,648

教團の力  
(第三回總會記念) 青年會(編)..... 411  
(第四回 )..... 475  
(第五回 )..... 551  
(第六回 )..... 627  
(第七回 )..... 689  
(第八回 )..... 768  
(第九回 )..... 825

教團の力附會報  
(第十回總會記念)..... 904  
(第十一回總會記念)..... 979

\* 教道會(編) (鮮譯)天理教の信仰... 302

教 墨 部 春庭を見よ.....(90頁)

教義講習會録(第二回) 集成部  
(編)..... 964

教義講習所第十七期卒業(天理教)  
生名簿(昭和三年九月) 教義講  
習所(編)..... 892

\* 教義講習所 (天理教)教義講習所  
第十七期卒業生名簿(昭和三年  
九月)..... 892

教義及信仰(天理教) 同志會(編) 404

\* 教義及史料集成部(天理教)(編)  
教義講習會録(第二回)..... 649  
おふでさき..... 308  
第一,第二號..... 867  
第三,第四,第五號..... 738  
第六,第七,第八,第九號..... 876  
第十,第十一,第十二,第十三號..... 881  
第十四,第十五,第十六,第十七號..... 886  
おふでさき(全一冊)..... 912

おふでさき講義..... 927

おふでさき索引..... 908

おさしづ 一..... 826

おさしづ 二..... 833

おさしづ 三..... 845

おさしづ 四..... 855

おさしづ 五..... 874

おさしづ 六..... 877

おさしづ 七..... 882

おさしづ 八..... 883

おさしづ 九..... 887

おさしづ 十..... 805

おさしづ 十一..... 909

おさしづ 十二..... 919

おさしづ 十三..... 924

おさしづ 十四..... 931

おさしづ 十五..... 950

おさしづ 十六..... 951

おさしづ 十七..... 864

おさしづ 十八..... 965

おさしづ 十九..... 969

おさしづ 二十..... 973

おさしづ 二十一..... 982

おさしづ 二十二..... 987

おさしづ 二十三..... 996

おさしづ 二十四..... 997

おさしづ 二十五..... 1001

おさしづ 二十六..... 1005

おさしづ 二十七..... 1009

教義大要(第一回講習會講義録)  
青年會(編)..... 307

教義と信仰 小野清彦..... 709

教義要領(天理教) 道友社(編) 259,329

教義要領(鮮譯天理教) 城岡幸吉  
(譯)..... 665

教育勅語成申詔書衍義 道友社  
(編)..... 1021

教育勅語衍義..... 104

教育勅語成申詔書の教 教理研究  
會 福井涼(編)..... 612

教育勅語と天理教 道友社(編)..... 160

教會發達史 一般教會を見よ.....(84頁)

教會發達史(第一回講習會講義録)  
青年會(編)..... 231

教會本部  
御普請の由來..... 178  
ふしん..... 139

\* 教會本部(天理教)(編) 本教の現  
勢と内容の充實。助け一條と地  
の體驗、教師の使命と感激の生  
活..... 583  
(教祖四十年祭)奉仕と活動 (大12,13)  
13)..... 529,601  
一條心..... 733  
地場の演義。四十年祭と其の活  
動。報恩と奉謝..... 438  
(天理教)教規及び規程..... 87  
教祖四十年祭..... 403  
神道天理教會規程及び規程..... 1029  
神道天理教會規約..... 1030  
達及則..... 1035  
世の立替と教祖の出現。因縁の  
轉換と教恩の奉謝教會の意義  
と教師の自覺..... 511

\* 教會本部雅樂部(天理教)(編)  
御かぐら歌鳴物譜上(琴,琵琶,八  
雲)..... 956  
御かぐら歌鳴物譜下(打物及管  
太鼓,拍子木,笛)..... 963

教會略史 増野道興..... 456

教會所取極儀規..... 57

教館の日 増野道興..... 638

教規講義(第一回講習會講義録)  
青年會(編)..... 310

教規及規程(天理教)(明11) 教會本部(編)..... 87

教規及規程(天理教)(昭2) 教會本部(編).....

**教 校**

(別科第二十八期)學生名簿..... 428

(第二十九期) # ..... 164

(第三十期) # ..... 501

(第三十一期) # ..... 541

( # # ) 在學中の心得..... 542

(第三十二期) 學生名簿..... 581

(第三十三期) # ..... 615

(第三十四期) # ..... 647

(第三十五期) # ..... 681

(第三十六期) # ..... 735

(第三十七期) # ..... 759

(第三十八期) # ..... 788

(第三十九期) # ..... 811

(第四十期) # ..... 848

(第四十一期) # ..... 891

( # # ) 一覽表..... 890

(第四十二期) 學生名簿..... 926

(第四十三期) # ..... 974

(第四十四期) # ..... 999

( # # ) 一覽表..... 998

(天理教校別科第六期生) 住所人名録..... 117

(第七期)住所人名録..... 127

(第八期) # ..... 131

(第九期) # ..... 140

(第十二期) # ..... 168

(第二十期) # ..... 272

(第二十一期) # ..... 281

(第二十三期) # ..... 317

(第二十四期) # ..... 328

(第二十五期) # ..... 352

(第二十六期) # ..... 370

(第二十七期)..... 395

(別科第四十四期) 會員名簿..... 999

組各係の心得..... 543

(天理)教校學則..... 58

(天理)教校規程..... 84

教校生活..... 405

(天理)教校宣教實習題目..... 353

道の光(天理教校同窓會滿三周年記念號)..... 510

聖地の曙(別科第三十八期卒業記念)..... 800

\* 教校六踏會(天理教)(編)(教校みやげ)助け一條の此の所... 489

よのもと(創刊號).....1011

\* 教校(天理)(編) 教校といふ件名の部に同じ.....(92頁)

\* 教校同窓會(天理)(編) 道の光(同窓會滿三周年記念號)..... 510

教校學則(天理) 天理教校(編)..... 85

教校生活(天理)教校同窓會(編)..... 405

**教務支廳**

福岡管内教會名稱録..... 830

福島管内教會名稱録..... 744

北海道管内教會名稱録(昭2).....807,987

北海道教務一覽表(昭4)..... 893

(御大典記念天理教)北海道權太地方大會號..... 895

(天理教)教理講習會筆記..... 415

前橋管内教會名稱録..... 785

名古屋管内教會名稱録..... 693

奈良管内教會名稱録..... 774

(天理教)奈良教務支廳沿革..... 704

岡山管内教會名稱録..... 87

(天理教)大阪地方大會係表(御大典記念).....

大阪管内教會名稱録..... 936

東京管内教會名稱録..... 662

\* 教務支廳(愛知,岐阜,静岡,山梨)(編) 愛知,岐阜,静岡,山梨管内教會名稱録..... 922

\* 教務支廳(群馬,栃木,長野,新潟)群馬,栃木,長野,新潟管内教會名稱録..... 937

\* 教務支廳(前橋) 前橋管内教會名稱録..... 785

\* 教務支廳(名古屋) 名古屋管内教會名稱録(大14)..... 693

(昭2)..... 798

\* 教務支廳(奈良) 奈良管内教會名稱録 奈良教務支廳沿革..... 707

\* 教務支廳(岡山)..... 415

(天理教)教理講習會筆記..... 415

岡山管内教會名稱録..... 748

\* 教務支廳(岡山,山口,鳥取,廣島,島根)(岡山,山口,鳥取,廣島,島根管内教會名稱録..... 870

\* 教務支廳(東京) 東京管内教會名稱録.....508,736

\* 教理研究會(編)(天理教)

人生の改造..... 399

苦しみから楽しみへ(現代布教叢書第一輯)..... 520

教育勅語成申詔書之教..... 612

(天理教)教典講演..... 459

(改訂天理教)祝詞集..... 419

おみち五分間教話集..... 767

お道一口教話集..... 929

お助けの手引..... 360

(天理教)祭神古典鑑證.....1028

世界最後の宗教..... 209

天理教の教義及理想..... 225

通俗教典講話..... 460

教理講習會筆記(天理教) 岡山教務支廳(編)..... 415

教理問答(天理教) 木下眞通堂(編)..... 389

教理のあらまし 同志會(編)..... 194

教理の泉(理の語叢書第一輯)岡島善次(藤人)..... 642

教理の眞髓 同志會(編)..... 712

教理通解(天理教) 廣池長吉..... 522

教師の使命と感激の生活 教會本部(編)..... 583

教師と未信徒の睦つき話(疑問解決) 高岡青原..... 433

**教 祖**

嗚呼教祖(天理教書第一)..... 120

(天理教) 獨立史,附天理教祖一代記..... 96

(天理教)御開祖眞實之御話..... 56

(天理教)御教祖御一代記..... 46

(天理教)御教祖御實傳,附本席飯降伊藏先生略傳..... 64

(年表對照)御教祖年譜..... 223

御教祖のおすがた(天理教宣傳小集第一編)..... 503

十九世紀に於ける最も偉大なる婦人の事業..... 185

(天理教)開祖の傳記..... 25

心の架(天理教祖の御苦勞の歌)..... 452

教祖傳講話..... 863

教祖聖型の道..... 402,420

教祖一代記いろは順..... 116

教祖の御苦勞..... 499

教祖のおさとし..... 942

(神道天道)教祖のおしへ..... 29

教祖の理想..... 865

教祖略傳..... 539

教祖様一代記いろは歌..... 115

教祖出現の意義..... 513

教祖と其の教理..... 467

美伎子教祖の片影…………… 381  
 (天理教祖)中山美伎の歌…………… 199  
 幼かりし時の御教祖…………… 634  
 おやさま…………… 717  
 天理教御教祖眞實傳…………… 130  
 天理教祖…………… 155  
 天理教祖(鮮譯)…………… 777  
 天理教祖傳(脚本)…………… 112  
 天理教祖傳講話…………… 231  
 天理教祖實傳…………… 173  
 天理教祖觀…………… 204  
 天理教祖の面影…………… 445  
 天理教祖眞實傳(前編)…………… 142  
 天理教祖と親覺上人…………… 728  
 讀みやすい教祖傳…………… 400  
 教祖傳講話 武谷兼信…………… 863  
 教祖御歸幽前後のおさしづ解釋  
 おさしづ解釋刊行會(編)…………… 842  
 教祖御遺言…………… 101  
 教祖雛型の道 同志會(編)…………… 420  
 ♪ 武谷兼信…………… 402  
 教祖一代記いろは履 今田善逸…………… 116  
 教祖觀(天理) 奥谷文智…………… 204  
 教祖の御苦勞(道友叢話第一輯)  
 今村英太郎…………… 499  
 教祖のおさとし 同志會(編)…………… 942  
 教祖の理想 増野道興…………… 865  
 教祖の謠言と國際關係(第一回講  
 習會講義錄) 青年會(編)…………… 316  
 教祖を慕ひて 奥谷文智…………… 304  
 教祖略傳 増野道興…………… 539  
 教祖様一代記いろは歌 今田善逸…………… 115  
 教祖出現の眞義 同志會(編)…………… 513  
 教祖と其の高弟逸話集 赤心社  
 (編)…………… 857  
 教祖と其の教理 同志會(編)…………… 467  
 教祖遺言集(天理教) 木下松太郎

(編)…………… 325  
 教祖四十年祭 増野道興…………… 416  
 教典(天理教) 中山新治郎…………… 65,73,88  
 教典(天理教)(鮮譯) 中山新治郎…………… 125  
**教典**  
 敬神の章(通俗天理教典拾章の  
 話)…………… 145  
 (天理教)教典…………… 65,73,88  
 (鮮譯天理教)教典…………… 125  
 (宣教參考天理教)教典演義…………… 129  
 (天理教)教典演義資料……………  
 (天理教)教典講演…………… 459  
 (天理教)教典釋義…………… 134  
 教典要義…………… 621  
 (天理教)教典よみかた…………… 82  
 尊王章(通俗天理教典拾章の話)…………… 149  
 通俗教典講話…………… 460  
 教典衍義(天理教)(著者不明)…………… 1022  
 教典演義(宣教參考天理教) 關時  
 發,武谷兼信(共著)…………… 129  
 教典演義資料(宣教參考天理教)……………  
 教典講演(天理教) 教理研究會  
 (編)…………… 459  
 教典釋義(天理教) 道友社(編)…………… 134  
 教典要義 増野道興…………… 621  
 教典よみかた(天理教) 中山新治  
 郎…………… 82  
 通俗教典講話 教理研究會(編)…………… 460  
 教徒として見たる天理教(現代百  
 科文庫宗教叢書三十六篇) 廣池  
 千九郎…………… 187  
**教話**  
 青年會,婦人會も見よ……………(77頁)  
 明るい道…………… 454  
 病氣知らず…………… 110  
 病床のなぐさめ…………… 572

チビ金の悔悟(天理教新講談)…………… 1018  
 獨立の教理的考察…………… 616  
 どうすればお助けを頂ける…………… 494  
 (天理教)道話…………… 44  
 (天理教)英語大講演會…………… 181  
 (天理教)婦人會の葉第一號…………… 164  
 ♪ (第二號 ♪)…………… 186  
 ♪ (第三號 ♪)…………… 236  
 ♪ (第四號 ♪)…………… 299  
 ♪ (第五號 ♪)…………… 231  
 お話の葉…………… 262  
 (天理教)婦人會の葉第七回總會  
 記念…………… 299  
 ♪ (第八回總會記念)…………… 331  
 ♪ (第九 ♪)…………… 378  
 ♪ (第十 ♪)…………… 436  
 ♪ (第十一 ♪)…………… 518  
 ♪ (第十二 ♪)…………… 593  
 ♪ (第十三 ♪)…………… 661  
 ♪ (第十四 ♪)…………… 745  
 ♪ (第十五 ♪)…………… 797  
 ♪ (第十六 ♪)…………… 869  
 ♪ (第十七 ♪)…………… 944  
 ♪ (第十八 ♪)…………… 1006  
 婦人會の葉(中和)壹…………… 437  
 ♪ 貳…………… 519  
 ♪ 參…………… 592  
 ふしん…………… 139  
 節に働くこ(湖東叢書第二輯)…………… 780  
 肺病の信仰的療法…………… 439  
 はたらく…………… 667  
 (天理教祖)御ひながた…………… 564  
 ひながたの道…………… 711  
 ひながたの道(同志會)…………… 320  
 人を助けたいなら(道友叢書第  
 十一輯)…………… 559  
 一條心…………… 733

一條の信仰…………… 795  
 本部長講話集 理の話…………… 425  
 本部長講話集(講習會叢書第八  
 輯)…………… 824  
 本部長講話集 上…………… 319  
 ♪ 中…………… 333  
 ♪ 下…………… 377  
 本教の現勢と内容の充實。助け  
 一條と理の體驗。教師の使命  
 と感激の生活…………… 583  
 生きる…………… 600  
 因縁とはどういふことか…………… 517  
 勇んで働け…………… 985  
 一手ひとつ…………… 246  
 五つの教,最新道の話…………… 59  
 人心洗濯水(最小輕便參拜みゃ  
 げ)…………… 123  
 實證信仰のたまもの…………… 575  
 巡回講師講演資料…………… 241  
 神一條…………… 278  
 神にちかよれ…………… 480  
 神にもたれて(にほひがけ叢書  
 第一輯)…………… 465  
 神のあらはれ(新しい信仰實  
 話)…………… 692  
 神の道具(道友叢話第十五輯)…………… 595  
 神の御恩……………  
 神のはたらき(道友叢書第二輯)…………… 500  
 神の心は親ごゝろ(道友叢書第  
 六輯)…………… 528  
 神の名代(道友叢話集)上…………… 978  
 ♪ 下…………… 981  
 神ののぞみ(道友叢話第十輯)…………… 556  
 神のお話…………… 357  
 神のおもわく…………… 466  
 神の理想たる人間完成への道…………… 1013  
 神様への手引(布教寶典)…………… 625

神様の御恩……………

神様の御話…………… 357

甘露の降る日(道友叢話第十九  
輯)…………… 657

決意の話…………… 584

きりなしぶしん(新築落成祭典  
記念)…………… 174

北大教會講習會講演録…………… 187

きずいきまゝ…………… 151

講壇より(一)…………… 472

    (二)…………… 473

    (三)…………… 474

    (四)…………… 532

    (五)…………… 568

(天理教)講演文集…………… 222

(新撰天理教)講演録…………… 703

講演資料第一…………… 158

講演集第一輯(天理教青年會)…………… 323

講演と教話の資料…………… 335

小寒子様の御苦勞と布教師の心  
得…………… 726

心ひとつの理(道友叢話第七輯)…………… 534

こゝろのかゝみ(天の理けふの  
をしへ)…………… 458

心の道(神の御言葉)…………… 260

心の仕込(道友叢話第十八輯)…………… 610

心のたから…………… 560

こゝろのつゑ…………… 504

このみちならでは…………… 975

是だけは心得をくべし(天理教  
信者の巻)…………… 252

鼓雪講演集…………… 816

(天理教)講師講演集…………… 144

講話の概要…………… 206

(松村教正)講話集(道友叢書第  
一編)…………… 274

講話集…………… 393

苦しみから楽しみへ(現代布教  
叢書第一輯)…………… 520

教義及信仰…………… 402

教義と信仰…………… 709

教館の日…………… 638

(天理教)教理講習會筆記…………… 415

教理の泉…………… 642

(天理教)教師講演集……………

(疑問解決)教師と未信徒の膝つ  
き話…………… 433

教祖の理想…………… 865

教祖の豫言と國際關係(第一回  
講習會講義録)…………… 316

教祖を慕ひて…………… 304

教祖出現の意義…………… 518

教話の泉…………… 108

教話集(天龍叢書第一輯)…………… 713

(天理教)教話集…………… 253,574,654

誠一の道…………… 242

末代の理…………… 297

めづらし助け…………… 506

道一筋(増野)…………… 366

道一條(廣池)…………… 289

道の花…………… 607

道の光(鮮譯)…………… 510

道の要…………… 643

道の中の道…………… 521

道のお話(教理叢書第一編)…………… 295,405

道の女(道友叢話第四輯)…………… 514

道の杖(教話叢書第一編)…………… 756

身上たすけ…………… 899

見ぬき見とほし(道友叢話第十  
七輯)…………… 608

未信者に與ふる書(教祖四十年  
祭記念傳道)…………… 765

(天理教)未信の方へ…………… 723

元一つの理…………… 495

勿體ない…………… 162

胸の道…………… 191

なぐさめぐさ…………… 72

人間苦より人間樂へ…………… 678

(天理教)にほいがけの文…………… 294

御話題(木下)…………… 558

おはなしの題(北野)…………… 554

お話の栗(神崎)…………… 793

(改訂増補)おはなしの友(上)…………… 422

おはなしの友(木下)…………… 423

お道五分間教話集(教理)…………… 769

お道一口教話集…………… 928

(布教者必携)御道の御話 上…………… 60

    中…………… 79

お道の理…………… 359

お道とお産…………… 440

教の臺…………… 371

    (點字)…………… 1016

をしへの理…………… 509

靈の糧(靈光叢書第一卷)…………… 809

理の話(本部員席講話)…………… 425

理の泉…………… 787

理の道…………… 298

理のさとり…………… 441

理の眞髓…………… 836

理の勤め…………… 609

りをふく…………… 496

理を辿りて…………… 586

(天理教)理生會講習會講義録…………… 602

理は神…………… 306

理ぜめの世界(天理教小集)…………… 469

里の仙人…………… 167

さとり(りをふく叢書第二輯)…………… 805

(身上事情)諭しの仕方…………… 644

宣教講話の栗(天理叢書第二)…………… 172

宣教資料…………… 550

説教道の話…………… 8

戦時における帝國國民の心得書…………… 70

晴天の心(道友叢書第八編)…………… 292

    (りをふく叢書第三編)…………… 990

謝恩録…………… 240

しきりのみち…………… 363

神道説教大意……………

神學道話(教導職必携勸善調蒙)…………… 36

しんじつ…………… 247,512

しんじつの道(にほいがけ叢書  
第二輯)…………… 481

眞實の信仰…………… 782

信順の道…………… 277

信仰の花…………… 170

信仰の喜悅…………… 885

信仰の告白…………… 217

(實證)信仰のたまもの…………… 575

眞に助かる道…………… 722

眞の信仰…………… 527

神靈への歩み…………… 914

至誠懺悔録…………… 228

生涯の理…………… 398

祝祭日講話…………… 106

そろばんふせて(道友叢話第九  
輯)…………… 545

(天理教講演教話)組織法試案…………… 499

救はれの道…………… 617

體験の力…………… 813

(天理のおしえ)種蒔鏡…………… 20

たのしみの道(武谷兼信著)…………… 589

助かる道…………… 1034

たすけ一條…………… 268

助け一條…………… 303

助け一條の御話…………… 477

たすけの臺…………… 983

助けたきにこの御話…………… 385

たてあい助け合…………… 200,203,324



たてかへ…………… 492  
 たてかへの理…………… 523  
 通俗御道の話…………… 171  
 天 啓…………… 623  
 (天理教義)天の光…………… 41  
 天啓の聲(道友叢書第四編)…………… 279  
 天 譚…………… 526  
 てんの理…………… 762  
 天理一席話…………… 244  
 天理人道…………… 17  
 天理結構話…………… 123  
 天理教の信仰…………… 302  
 天理教のすゝめ…………… 372  
 天理教信仰の本旨…………… 227  
 (調蒙)天理二夕話…………… 13  
 (國利民福)天理乃光…………… 15  
 (一問一答)天理教の實際…………… 764  
 天理教の教理と實際…………… 318  
 天輪王辨妄…………… 5  
 (調蒙)天理三夕話…………… 18  
 (調蒙)天理四夕話…………… 28  
 扉ひらいて…………… 720  
 上原先生の人格と後進の覺悟…………… 152  
 躍進の時…………… 688  
 病の理の研究と其論し 上巻…………… 656  
 病より健康へ(心の友パンフレ  
 ット 第二輯)…………… 484  
 陽氣ぐらし…………… 538  
 よなほり…………… 455  
 座談録(田邊要蔵編)…………… 224  
 座談録(増野道興著)…………… 224  
 續講演資料…………… 261  
 續教館の日…………… 659  
 教話の聲 出水彌太郎…………… 108  
 教話集(天龍叢書第一輯) 天龍社  
 (編)…………… 713

(天理教)教話集 同志會(編)253,574,654

M

毎日一度は讀むべし 今田善逸…………… 132  
 \* 牧野榮一 同窓會々報第一號…………… 831  
 \* 眞木天涯 神道儒佛天理教討論演  
 説…………… 52  
 誠一の道 木下眞進堂(編)…………… 242  
 眞の寶(上巻) 安江明(編)…………… 530,579  
 (下巻)…………… 531  
 \* 丸橋吉三郎 天理教開祖之傳記…………… 25  
 \* 丸部虎作 天理教會秘密談…………… 27  
 \* 樹井孝四郎  
 御教祖のおすがた(天理教宣傳  
 小集第六編)…………… 503  
 平野裕藏(前篇後篇二冊)…………… 566,567  
 こゝろの跡(香志郎著作集第二  
 輯)…………… 412  
 お道の始め(同第一輯)…………… 365  
 \* 増野石次郎  
 悪因縁を切つて頂くには…………… 408  
 本席の道すがら(道友叢話第三  
 輯)…………… 576  
 天理教年譜表…………… 781  
 増野鼓雪全集 1 増野道興…………… 933  
 ♪ 2…………… 884  
 ♪ 3…………… 889  
 ♪ 4…………… 901  
 ♪ 5…………… 934  
 ♪ 6…………… 920  
 ♪ 7…………… 921  
 ♪ 8…………… 952  
 ♪ 9…………… 953

増野鼓雪全集10 増野道興…………… 935  
 ♪ 11…………… 907  
 ♪ 12…………… 954  
 ♪ 13…………… 916  
 ♪ 14…………… 944  
 ♪ 15…………… 905  
 ♪ 16…………… 936  
 ♪ 17…………… 925  
 ♪ 18…………… 945  
 ♪ 19…………… 946  
 ♪ 20…………… 947  
 ♪ 21…………… 957  
 ♪ 22…………… 958  
 ♪ 別冊 今村英太郎…………… 959  
 \* 増野道興  
 明るい道…………… 454  
 或る對話…………… 814  
 番茶の夜…………… 778  
 獨立の教理的考察…………… 616  
 筆先私想…………… 802  
 節ある頃…………… 273  
 本部員講習録…………… 824  
 一條の信仰…………… 796  
 地場の意義…………… 1019  
 神の道具(道友叢書第十五輯)…………… 595  
 神の言葉 上下…………… 533,537  
 講壇より第一…………… 472  
 ♪ 第二…………… 473  
 ♪ 第三…………… 474  
 ♪ 第四…………… 532  
 ♪ 第五…………… 568  
 鼓雪講演集…………… 816  
 鼓雪全集(1--22別冊)…………… (98,99頁)  
 教會略史…………… 456  
 教館の日…………… 638  
 教祖の理想…………… 865  
 教祖の豫言と日本の將來…………… 1036

教祖略傳…………… 539  
 教祖四十年祭…………… 416  
 教典要義…………… 621  
 増野正兵衛傳…………… 546  
 芽生…………… 844  
 道草…………… 326  
 道一筋…………… 289  
 道の跡…………… 336  
 道行く心…………… 337  
 未信の友へ…………… 888  
 胸の道…………… 191  
 おさしづ…………… 392  
 御指圖私解…………… 637  
 教の臺…………… 371  
 ♪ (點字)…………… 1016  
 理の勤め…………… 609  
 リをふく…………… 496  
 謝恩録…………… 240  
 神祕と眞理…………… 578  
 神言講義…………… 311  
 眞實の信仰…………… 782  
 信仰の喜悅…………… 885  
 靜かな心…………… 797  
 過ぎし日…………… 801  
 天啓の聲…………… 279  
 \* 増野道興述小泉卓藏譯 Tenrikyo… 630  
 天理教祖の豫言と日本の將來…………… 1038  
 \* 増野道興 若かりし日…………… 844  
 躍進の時…………… 688  
 よなほり(鼓雪集第一輯)…………… 455  
 座談録…………… 224  
 續教館の日…………… 659  
 \* 増野道興、深谷徳郎、中山爲信、諸  
 井慶五郎共著 本部員講習録…………… 824  
 増野正兵衛傳 増野道興…………… 546  
 またいつ歸る 山口宏譯…………… 362  
 \* 的場金之助 大教宣布詔書義解全… 19

末代の理 長谷川理一……………	297	ノ	(大10)……………	412
末代治る理 (湖東叢書第一輯) 武		ノ	(大11)……………	448
谷兼信……………	660	ノ	(大13)……………	597
* 松井忠義 (道女叢話第八輯) 陽氣		ノ	(大14)……………	640
ぐらし……………	538	ノ	(大14)……………	686
* 松本秀樹(編)		ノ	(大15)……………	765
本教と子供(みちのこども附録)…	658	ノ	(昭 3)……………	840
おみち童話第一輯……………	716	ノ	(昭 4)……………	918
八つのほこり(漫画繪本)……………	712	ノ	(昭 5)……………	995
* 松村吉太郎……………	272	名稱錄(管内) 愛知、岐阜、静岡、		
講話集(松村教正)……………	393	山梨教務支廳(編)……………	922	
訓話集……………	393	福岡教務支廳……………	830	
(天理教)祝詞集 増野正兵衛		福島ノ……………	744	
(合編)全……………	55	群馬、栃木、長野、新潟 教務支廳…	937	
御指圖……………	235	北海道教務支廳(昭和二年)(昭		
謝恩錄……………	240	和四年)……………	807,988	
神靈への歩み……………	841,914	前橋教務支廳……………	785	
至心錄……………	622	名古屋教務支廳(編)(大14)……………	693	
天理教道しるべ……………		ノ……………	(昭 2)……………	798
松村教正講話集(道女叢書第一編)		奈良教務支廳……………	774	
道友社(編)……………	272	岡山教務支廳……………	748	
松村氏事件第一審裁判録書 岩井		岡山、山口、鳥取、廣島、島根教務		
尊人……………	239	支廳……………	870	
* 松村義孝 高安大教會布教方針		大阪教務支廳……………	936	
(教祖四十年祭記念)……………	391	東京教務支廳(大12)……………	508	
* 松浦幸葦 天理教道しるべ……………	148	ノ……………	(大14)……………	662
芽生 増野道興……………	864	ノ……………	(大15)……………	736
* 名京大教會(編)		名稱錄(天理教會) 今村熊太郎……………	37	
あしあと……………	646	めづらし助け(道女叢話第三輯)田		
別席初試験助け一條の話……………	670	代澤治……………	506	
制限の中より……………	633	道一條 廣池長吉……………	289	
名稱錄(教會)(明43) 道友社(編)…	113	道一條 増野道興……………	366	
ノ……………	(大 2)……………	道草……………	326	
ノ……………	(大 3)……………	道の跡……………	336	
ノ……………	(大 5)……………	道の花 (道女叢話第十六輯) 武谷		
ノ……………	(大 7)……………	兼信……………	607	
ノ……………	(大 9)……………	道の光 (天理教校同窓會滿三週年		

記念號) 天理教校同窓會(編)……………	510
道の光(鮮譯) 澤田善次郎著、城岡	
幸吾(譯)……………	672
道のいしづへ 亘章五……………	684
道の要 武谷兼信……………	643
* 道の子供社 初席の梨……………	710
道の芽生 石塚正治……………	701
道の中の道 深谷徳郎……………	521
道の御話(一)(教理叢書第一編)同	
志會(編)……………	295,406
道の女 林甚太郎……………	514
道の杖(教話叢書第一編) 天理教	
青年會東分會出版部(編)……………	756
みちしるべ 内海弘藏……………	257
道すがら (天理教) 中和教會史料	
編纂部(編)……………	367
道すがら(第一期…第四期、弘化二	
年…大正八年) 郡山大教會史料	
編纂部(編)……………	330
道すがら (松村榮治郎大人三十年	
祭記念) 西岡善造(編)……………	285
道は續く(藤人叢書第二) 岡島善	
次……………	846
道行く心 増野道興……………	331
身上事情論の仕方 廣岡富藏……………	644
身上かりもの 同志會(編)……………	570
身上たすけ 岩井尊人……………	809
御神樂之眞髓 新世社(編)……………	220
みかぐらお手振足型 今井政太郎…	902
御神樂御手振型 小田彦太郎……………	786
みかぐら振圖解 數日月光……………	729
御神樂眞髓 安江明(編)……………	694
みかぐら手さばき 岡林猪三治……………	690
御かぐら歌 中山美伎……………	3
御神樂歌 荻原勝次郎……………	93
御かぐら歌 全……………	3
御神樂歌……………	93

みかぐらうた

(天下一品)美嘉皇羅歌……………	24
御かぐら歌註解……………	343
御神樂歌述義 全……………	78
御かぐら歌解義……………	42
御かぐら歌解義……………	903
(新刊)御かぐら歌鳴物譜(上下	
二冊)……………	956,963
(天下一品)みかぐら歌の話……………	24
御神樂歌の理晰……………	555
(御道根本)御神樂歌の眞意……………	230
御神樂歌の眞髓……………	220
御神樂歌釋義……………	58
御神樂歌眞意(一名末代の寶)……………	697
御神樂歌詳解……………	604
おかぐらの理(天理教宣傳小集)…	491
御神樂眞髓……………	694
おかぐら歌講義はやわかり本……………	150
御かぐら歌註解 奥谷文智……………	343
御神樂歌述義 全 中山新治郎(編)…	78
御かぐら歌解義 山中重太郎……………	42
御かぐら歌解義 武谷兼信……………	903
御神樂歌講義……………	45
御かぐら歌鳴物譜上(お琴、琵琶、	
八雲) 天理教々會本部雅樂部	
(編)……………	956
ノ 下(太鼓、拍子木、笛)……………	963
みかぐら歌の話(天下一品) 筒川	
オミ子……………	24
御神樂歌之理晰 北野元治郎……………	555
御神樂歌の眞意(御道根本) 小倉	
曉風……………	230
御神樂歌の眞髓 新世社(編)……………	220
御神樂歌釋義 名波數衛……………	58
御神樂歌眞意 全(一名末代の寶)	
安江明……………	697
御神樂歌詳解 藤川泰雄……………	604

御神樂歌手振り稽古の道づれ 杉  
本萬次……………666

みかぐらづとめ  
御神樂御手振型……………786  
みかぐら手さばき……………690  
御神樂歌手振の稽古の道づれ……………666  
(おたすけの臺)御神樂勤の手ほ  
どき……………584  
みかぐら御手振足型……………902  
みかぐら御手振圖解……………729

御神樂勤の手ほどき(おたすけの  
臺)井上華仙……………584

美伎子教祖の片影 奥谷文智……………381

民風作興の詔書衍義 天理教々廳  
(編)……………561

民風作興に関する詔書の精神一斑…577

\* 水口青年會(編) 更生……………275  
身の内のおさとし(自然の眞理と)  
神崎實光……………766

民力涵養と天理教 道友社……………305

見ゆき見とほし(道友叢書第十七  
編)藤森匡信……………608

\* 民族宗教研究會(編) 天理教全書…476

未信者に與ふる書(天理教祖四十  
年祭記念傳奉)廣岡富藏……………765

未信の友へ 増野道興……………888

\* 三橋倉吉 武蔵野便り……………884

三つの心 山澤爲次……………618

\* 三浦兼助(實際討論)言辨斥天理教…7

\* 三浦關造 黎明の聖女……………915

\* 宮崎三郎 天理教獨立史附天理教  
祖一代記……………96

\* 森露華 天理教祖眞實傳前編……………142

\* 森井熊吉 張島大教會發達史……………585

\* 森田五一(編) 天理教獨立史……………92

\* 諸井慶五郎 夫婦揃ふてひのきし  
ん(天理宣傳小集第二編)……………430

\* 諸井國三郎 山名大教會初代會長  
夫婦自傳……………218

元一つの理 同志會(編)……………495

勿體ない 奥谷文智(編)……………162

\* 向所忠夫 天誼……………526

胸の道 増野道興……………191

\* 村瀬道三 たすけたきにこの御話…385

\* 村田勇吉 天理教祖實傳……………173

\* 村田實太郎 天理教道しるべ…122

\* 村田雄三(編) 眞崙……………991

\* 室佐市 病の元は心から……………229

武蔵野便り 三橋倉吉……………885

N

\* 永江潤、錫木京、(共著) 病の理の  
研究と共論し 上巻……………656

\* 永井順一郎 たんのうは眞の誠  
(道友叢話第五輯)……………524

\* 永井藤平 追悼……………280

\* 永井亨 日本の國民に関する考察  
日本國體に関する觀念(講習會  
叢書第四輯)……………820

\* 永關嘉四郎  
からだの組立(第一輯)……………683  
日本は頭の國となる(第二輯)……………663

\* 名古屋教務支廳(編) 名古屋管内  
教會名稱錄(大14年)……………693  
(昭2年)……………789

なぐさめぐさ 篠森乘人(編)……………72

泣いて果すか(宗教映画) 有富春  
六……………791

中川よし子(模範布教師) 奥谷文  
智……………198

\* 仲禮吉 信仰なき人生は空虚なり…948

\* 中西晋次郎 幼かりしときの御教  
祖……………634

\* 中西牛郎 神の實現としての天理  
教……………986  
宗教談(一名天理教の研究)……………61  
天理教眞實論……………68  
天理教の研究(發端)……………773

\* 中目覺、松本重彦 アジアに於け  
る重なる言語……………822

\* 中尾長作 御本席飯降伊藏先生略  
傳歌……………81

\* 中世古隨夫 天理教祖ひながたの  
教……………564  
天理教祖御ひながた……………564  
天理教未信の方へ……………723

\* 中島忠太郎 願訴……………911

\* 仲谷長一郎(編) 神徳記……………53

\* 中山美伎 御かぐら歌……………3  
中山美伎子(天理教祖) 渡邊霞亭  
(碧瑠璃園)……………414

中山みき子の歌(天理教祖) 佐藤  
幹彌……………199

神の御國歌(天理教舞曲)……………74

\* 中山新治郎  
天理教々典……………65,73,88  
天理教々典(鮮譯)……………125  
天理教々典よみかた……………82  
御神樂歌述義 全……………78  
戦時における帝國臣民の心得書…70  
天理唱歌……………66

\* 中 正善  
朝夕參拜祝詞……………75  
鮮滿支素見……………834  
天理教傳道者に関する調査(稿  
本)……………972  
F……………1014

F (2版)……………1015

\* 中澤草人 教の力(天理教劇)……………1027  
谷底(おみち戯曲集第一編)……………719

\* 南波天涯 神道の腐敗天理教會の  
害毒……………30

\* 滑川義彦 心ひとつの理(道友叢  
話第七輯)……………534

\* 並河與三郎 これからの天理教…451  
南海大教會の由來 南海大教會役  
員(編)……………394

\* 南海大教會役員(編) 南海大教會  
の由來……………394

奈良系様のいたゞかれたるおさし  
づ解譯 同志會(篇)……………828

奈良教務支廳沿革(天理教) 奈良  
教務支廳(編)……………707

\* 名波教衛  
神道天理教教助話參考書……………38  
御樂歌釋義……………58

\* 苗代清太郎 豊生宣教所……………993

年譜表(天理教) 増野石次郎(編)…781  
天理教年譜表……………781

年表  
天理教大正十六年御家寶……………749

年祭  
地場の眞義、四十年祭と其活動、教  
恩と奉還教師の使命と感恩の生活 438  
御教祖四十年祭……………416  
教祖四十年祭、奉仕と活動……………403  
四十年祭時報……………746  
神意と四十年祭……………431

日獨戦争と天理教徒の覺悟 奥谷  
文智……………183

\* 日本海員救済會(編) 天理教信者  
會員芳名錄……………256

\* 日本海員救済會三島駐在幹事(編)

天理教篤志会員芳名録…………… 291  
 日本建國の精神 山口宏澤…………… 536  
 日本建國史綱 大宮兵馬…………… 345  
 日本の國民に関する考察 日本の  
 國體に関する觀念 永井亨(講習會  
 叢書第四輯)…………… 820  
 日本の財政と經濟(講習會叢書第  
 五輯)下村宏…………… 821  
 日本を思ふ…………… 913  
 日本は頭の國となる 永關嘉四郎…………… 663  
 \* 新潟分教會(編) よろこび…………… 1008  
 人間苦より人間樂へ 柏木康治…………… 678  
 にほひがけ 同志會(編)…………… 269  
 日々のたから 同志會(編)…………… 175  
 にまひかけ(布教手引) 木下眞進  
 堂(編)…………… 243  
 \* 西岡善造(編)(松村榮治郎大人三  
 十年記念) 道すがら…………… 285  
 祝詞(冠婚葬祭) 式祭を見よ… (111頁)  
 天理教祝詞文集(教師必携) 武田  
 交盛館(編)…………… 51  
 祝詞作文集(改訂) 道友社(編)…………… 976  
 祝詞作文便覽 全…………… 99  
 祝詞作文教案…………… 1023  
 祝詞作文彙(天理教)上 今永英兄…………… 264  
 下…………… 267  
 祝詞作文彙附卷葬祭一式職業別  
 (天理教)…………… 327  
 祝詞集(天理教) 道友社(編)…………… 133  
 祝詞集(改訂天理教)天理教々廳(編)  
 研究會(編)…………… 419  
 祝詞集(天理教) 松村吉太郎、増  
 野正兵衛(合編)…………… 55  
 祝詞集 大川眞澄…………… 121  
 祝詞集祝詞集解義附枕詞集(天理  
 教) 藤原英彦…………… 594

祝詞集附葬儀 大川眞澄…………… 128  
 祝詞用語作成集成…………… 1024  
 祝詞全集(天理教) 小野靖彦…………… 959  
 \* 能勢健治  
 不思議な助け…………… 221  
 氣隨氣儘…………… 296  
 \* 能勢天祐  
 きづいきまゝ…………… 151

O

おびやゆるし おびや許の理…………… 724  
 おびや許の理 廣岡富藏…………… 724  
 \* 小田彦太郎 御神樂御手振型…………… 786  
 大江分教會初代會長略傳 大江分  
 教會史料集成部(編)…………… 970  
 \* 大江分教會史料集成部 大江分教  
 會初代會長略傳…………… 970  
 御筆先(附甘露臺三下り甘露臺圖  
 解みかぐらうた、教典)木下松太  
 郎(編)…………… 611  
 御筆先 郡山大教會…………… 861  
 評註 御筆先 大平隆平…………… 219  
 おふてさき 集成部(編)…………… 930  
 おふてさき 第一、第二號…………… 867  
 第三、第四、第五號…………… 873  
 第六、第七、第八、第  
 九號…………… 876  
 第十、第十一、十二、  
 十三號…………… 881  
 第十四、第十五、第十  
 六、第十七號…………… 886  
 (第一號…第十七號)…………… 912  
 御筆先 安江明(編)…………… 784

おふてさき  
 筆先私想…………… 803  
 願訴…………… 911  
 御教祖御筆さき圖解 上卷…………… 714  
 下卷…………… 714  
 (昭和三年度)夏期講習會録…………… 923  
 教理のはやわかり御筆先譯文…………… 470  
 おふてさき…………… 931  
 おふてさき  
 第一、第二號…………… 867  
 第三、第四、第五號…………… 873  
 第六、第七、第八、第九號…………… 875  
 第十、第十一、第十二、第十三  
 號…………… 881  
 第十四、第十五、第十六、第十  
 七號…………… 886  
 御筆先(附甘露臺三下り、甘  
 露臺圖解、みかぐらうた天理  
 教典)…………… 611  
 御筆先…………… 861  
 御筆先 評註…………… 219  
 神言通義 御筆先 第一輯…………… 704  
 第二輯…………… 734  
 第三輯…………… 737  
 第四輯…………… 743  
 第五輯…………… 750  
 第六輯…………… 754  
 第七輯…………… 755  
 第八輯…………… 757  
 第九輯…………… 758  
 第十輯…………… 761  
 第十一輯…………… 772  
 第十二輯…………… 776  
 御筆先分類註解…………… 687  
 御筆先分類研究 上卷…………… 270  
 上下二卷…………… 358  
 御筆先辭傳草案 二册…………… 635

おふてさき講義…………… 927  
 おふてさき講習會録……………  
 天理教御筆先に關する意見…………… 871  
 おふてさき索引…………… 906  
 御筆先抄録…………… 1023  
 御筆先と其研究…………… 725  
 (教理のはやわかり)御筆先譯文…………… 470  
 御筆先圖解 上…………… 714  
 下…………… 714  
 御筆先分類註解 廣池長吉…………… 687  
 御筆先分類研究(上卷) 同志會  
 (編)…………… 270  
 (二卷上下)…………… 358  
 御筆先辭傳草案 山口廣澤…………… 635  
 おふてさき講義 集成部(編)…………… 927  
 御筆先に關する意見(天理教) 竹  
 村菊太郎…………… 871  
 おふてさき索引 集成部(編)…………… 906  
 御筆先抄録 編者不明…………… 1024  
 御筆先と其研究 山本榮太郎…………… 752  
 御筆先譯文(教理のはやわかり)  
 同志會(編)…………… 470  
 御筆先圖解 上 杉本哲次(編)…………… 714  
 下…………… 712  
 御筆とめ(一名泥海古記) 安江明…………… 698  
 \* 小笠原常樹(神道天道) 教祖のを  
 しへ…………… 29  
 \* 萩原勝次郎 御神樂歌…………… 93  
 \* 小倉曉風(布教寶典) 神祿への手  
 引 第一卷…………… 625  
 制限の解釋…………… 620  
 (御道根本)御神樂歌の眞意…………… 230  
 (心の改良病の根治)御道の寶…………… 213  
 (天理教)祭典儀式作法…………… 626  
 御話題 木下眞進堂(編)…………… 558  
 おはなしの題 北野元治郎…………… 554  
 お話の彙(天理教婦人會第六回誌)

會記念) 婦人會本部(編)..... 262

**お話を採** 神崎光藏..... 792

**お話を種** (高弟逸話) 杉本哲次  
(編)..... 797

**おはなしの友** 木下松太郎..... 423

**おはなしの友** 上 亘草五..... 422

\* **大橋丞三郎** 私立美徳文庫要覽..... 159

\* **大平長平** (天理教理より觀たる人  
生の意義及價値)..... 211

第二天理教界革命之聲..... 232

(評註)御筆先..... 219

(天理教)新創世説の解説並に批  
判..... 205

天理教界革命之聲..... 215

**御地場** 同志會(編)..... 214

**御地場へ** 佐津川道一(編)..... 960

**御地場の現況** 同志會(編)..... 715

**お地場はどう云ふところ** (天理教  
宣傳小集第二篇) 深谷徳郎..... 416

\* **岡林猪三治** みかぐら手さばき..... 690

\* **岡田碩家** 命のいづみ..... 478

**おかくらの理** (天理教宣傳小集第  
五篇) 堀越儀郎..... 491

**おかくらうた講義はやわかり本**  
(天理教) 月一日宮三千年..... 150

**おかけばなし**(天理教) 天祐道人  
(編)..... 265

\* **岡島善次**(藤人)  
本席の生涯と信仰..... 752

教理の泉(理の語叢書第一篇)..... 642

道は續く(藤人叢書第二)..... 846

そろばんふせて(道友叢話第六  
編)..... 515

打ちあげた心..... 837

若き求道者のさゝやき..... 941

\* **大川眞澄** 祝詞集..... 121

祝詞集附葬儀..... 128

**おきみさんの存在** 柏木庫治.....1010

**おことば**

御聖言一日一訓..... 397

神の言葉 上..... 533

下..... 537

期限の中より..... 633

この道(天理教組の言葉)..... 815

教祖御豫言..... 101

教祖遺訓..... 12

(天理教)教祖豫言集..... 325

毎日一度は讀むべし..... 132

神言.....1031

神言解釋 卷一..... 387

卷二..... 382

卷三..... 421

神言講義(第一回講習會講義録)..... 311

神言の節々..... 606

(註解分類)神言集..... 463

神言通義 第一編..... 704

第二編..... 734

第三編..... 737

第四編..... 743

第五編..... 750

第六編..... 754

第七編..... 755

第八編..... 757

第九編..... 758

第十編..... 761

第十一編..... 772

第十二編..... 776

助の臺(おことば分類)..... 337

天理王神様の御辭..... 562

**大熊こま子刀自略傳** (天理教京城  
支教會開祖) 高垣光藏..... 276

\* **大倉大八** 宇宙間の大眞理..... 651

\* **奥谷文智** チビ金の改悟 (天理教  
新講談).....1018

御普請の由來..... 178

小寒様の御苦勞と布教師の心得..... 726

天理教講演文集..... 222

天理教講義録 第一號..... 426

第二號..... 429

第三號..... 434

第四號..... 442

第五號..... 443

第六號..... 446

第七號..... 450

第八號..... 462

第九號..... 488

第十號..... 505

第十一號..... 525

第十二號..... 598

天理教祖傳講話..... 231

天理教祖觀..... 204

天理教祖の面影..... 445

教祖を慕ひて(道友叢書第十一  
篇)..... 304

天理教祖と親鸞上人..... 728

(通俗)天理教典拾章の話...142,145,149

御かぐら歌註解..... 343

教祖美茂子の片影..... 381

勿體ない..... 162

(模範布教師)中川よし子..... 198

日獨戦争と天理教徒の覺悟..... 183

世界最後の天啓教(天理教祖三  
十年祭記念傳道)..... 207

至誠懺悔録..... 428

天理教信仰治療論..... 190

天理教信仰要義..... 238

天理教解疑..... 188

天理教の沿革..... 138

天理教と日本の前途..... 427

天理道しるべ..... 146

(文集)つちもち..... 137

上原先生の人格と後進の覺悟..... 152

病の元は心から..... 144

**おまもり**.....

**おみち童話集** 松本秀樹(編)..... 716

**お道五分間教話集** 天理教々理研  
究會(編)(廣岡富藏著)..... 767

**お道一口教話集**..... 928

**お道始め**  
(香志朗著作第一輯) 樹井孝四  
郎..... 365

**御道の御話**(布教者必捉) 上 井  
上精軒..... 60

中..... 79

**お道の話**(通俗)..... 171

(立教九十三年)おみちの日記 道  
友社(編)..... 980

**お道の理** 武谷兼信..... 359

(心の改其病の根治)御道の寶 小  
倉曉風..... 213

**お道専用書翰文集** 廣岡富藏..... 628

**お道とお産** 附録付..... 440

**おみき婆さんの戸籍しらべ** (天理  
教の秘密と戀の甘露臺) 山田豊  
彦..... 288

\* **大宮兵馬** 日本建國史綱..... 345

**思ひの儘** 園田隆章..... 753

\* **大村菊太郎** 天理教御筆先に關す  
る意見..... 871

**音 樂**

天理教雅樂譜..... 553

天理教雅樂譜 全..... 956,964

(改訂)雅樂集風笛譜..... 9

(龍笛、箏、笙、尺八)雅樂附、大鼓  
羯鼓..... 540

ひのきしん唱歌..... 107

(天理教舞曲)神の御國歌..... 74

天理いろは歌..... 33

天理教因縁唱歌…………… 374  
 天理教歌…………… 11  
 天理教教育唱歌…………… 54  
 天理教讃歌…………… 90  
 (世界の母)天理教祖中山みき子  
 御一代の唱歌…………… 548  
 天理教勤め歌勸善いろは歌…………… 105  
 天理唱歌…………… 66  
 養徳院いろは歌…………… 111  
**おのれをすて** (浅草分教会教堂  
 再建二十五周年記念) 浅草分教  
 会(編)…………… 507  
 \* 小野靖彦  
 新しい文化と眞實のたすけ…………… 696  
 因縁とはどういふことか…………… 617  
 神ののぞみ(道友叢話第十輯)…………… 556  
 (天理教祝詞全集)恒例祝祭臨時…………… 599  
 教義と信仰…………… 709  
 教会発達史…………… 312  
 (天理教)祝詞全集…………… 599  
 信順の道(道友叢書第二篇)…………… 277  
 \* 大阪教務支廳(編) 管内教会名稱  
 録…………… 938  
**幼かりしときの御教祖** 中西晋次  
 郎…………… 634  
**おさしづ** 芦津大教会(編)…………… 290  
**おさしづ** 中河大教会(編)…………… 742  
**おさしづ**(自明.19.12—至明.21.12)  
 同志會(編)…………… 249  
 (自明.19.12—至明.21.11)… 338  
 (自明.22.1—至明.22.9)… 271  
 (自明.22.9—至明.22.12)… 339  
 (自明.40.3—至明.40.6)… 234  
**おさしづ** 兵神大教会史料集成部  
 (編) 上…………… 852  
 下…………… 852  
**おさしづ** 北大教会(編)…………… 639

**おさしづ** 増野道興…………… 392  
**おさしづ** 一 [明.20] 天理教々  
 義及史料集成部(編)…………… 826  
 二 [明.21]…………… 833  
 三 [明.22]…………… 845  
 四 [明.23]…………… 855  
 五 [明.24.I—VI]…………… 874  
 六 [明.24.VII—XII]…………… 877  
 七 [明.25.I—VI]…………… 882  
 八 [明.25.VII—XII]…………… 883  
 九 [明.26.I—VI]…………… 887  
 十 [明.26.VII—XII]…………… 905  
 十一 [明.27.I—VI]…………… 909  
 十二 [明.27.VII—XII]…………… 919  
 十三 [明.28.I—VI]…………… 924  
 十四 [明.28.VII—XII]…………… 931  
 十五 [明.29.I—VI]…………… 950  
 十六 [明.29.VII—XII]…………… 951  
 十七 [明.30.I—VI]…………… 964  
 十八 [明.30.VII—XII]…………… 965  
 十九 [明.31.I—VI]…………… 969  
 二十 [明.31.VII—XII]…………… 973  
 廿一 [明.32.I—VI]…………… 982  
 廿二 [明.32.VII—XII]…………… 987  
 廿三 [明.33.I—VI]…………… 996  
 廿四 [明.33.VII—XII]…………… 997  
 廿五 [明.34.I—VI]…………… 1001  
 廿六 [明.34.VII—XII]…………… 1005  
 廿七 [明.35.]…………… 1009  
**おさしづ** 四册 編者不明……………  
**御指圖**……………  
**御指圖**(郡山大教会) 郡山大教会  
 (編)……………  
**御指圖**(敷島大教会) 敷島大教会  
 (編)…………… 485  
**御指圖摘要**…………… 1026  
**おさしづ**

百日のおさしづ解釋(一)…………… 862  
 (二)…………… 880  
 (三)…………… 898  
 (四)…………… 917  
 (五)…………… 911  
 制限の解釋…………… 620  
 教義講習會録(第二回)…………… 964  
 教祖御歸國前後のおさしづ解釋… 842  
**おさしづ**(芦津大教会)…………… 290  
**おさしづ**(中河大教会)…………… 742  
**おさしづ** [自明.21—至明.22,XII]  
 (同志會編)…………… 249  
**おさしづ**[自.明.19.XII—至明.21,  
 XI]…………… 338  
**おさしづ**  
 [自.明.22.I—至明.22.IX]…………… 271  
 [自.明.22.IX—至明.22.XII]…………… 339  
 [自.明.40.III—至明.40.VI]…………… 234  
**おさしづ** 上 (兵神大教会)…………… 852  
 下…………… 852  
**おさしづ** (北大教会)…………… 639  
**御指圖** (郡山大教会)……………  
**おさしづ** (増野道興)…………… 392  
**御指圖** (敷島大教会)…………… 485  
**おさしづ** 一…………… 826  
 二…………… 833  
 三…………… 845  
 四…………… 855  
 五…………… 874  
 六…………… 877  
 七…………… 882  
 八…………… 883  
 九…………… 887  
 十…………… 905  
 十一…………… 909  
 十二…………… 919  
 十三…………… 924

**おさしづ** 十四…………… 931  
 十五…………… 950  
 十六…………… 951  
 十七…………… 964  
 十八…………… 965  
 十九…………… 969  
 二十…………… 973  
 廿一…………… 982  
 廿二…………… 987  
 廿三…………… 996  
 廿四…………… 997  
 廿五…………… 1001  
 廿六…………… 305  
 廿七…………… 109  
**御指圖**……………  
**おさしづ**解釋…………… 841  
 (奈良系様のいたゞかれた)おさ  
 しづ解釋…………… 829  
**御指圖私解**…………… 637  
**御指圖摘要**…………… 1026  
**おさしづ**全集  
 [自明.19—至明.22]…………… 835  
 [明.23]…………… 872  
 [明.24,25]…………… 812  
 [明.25,26]…………… 838  
 [明.27,28]…………… 847  
 [明.29,30]…………… 849  
 [明.31]…………… 856  
 [明.32]…………… 809  
 [明.33]…………… 804  
 [明.34,35,36,37]…………… 829  
 [明.38,39,40]…………… 799  
 \* 天理教おさしづ解釋刊行會(編)  
 教祖御歸國前後のおさしづ解釋… 840  
 百日のおさしづ解釋(一)…………… 862  
 (二)…………… 990  
 (三)…………… 898

百日のおさしづ解釋(四)..... 917  
 ♪ (五)..... 911  
**御指圖私解** 増野道興..... 637  
**おさしづ全集**  
 [明,19,20,21,22] 同志會(編)..... 835  
 [明,23] ..... 872  
 [明,24,25] ..... 812  
 [明,25,26] ..... 838  
 [明,27,28] ..... 847  
 [明,29,30] ..... 849  
 [明,31] ..... 856  
 [明,32] ..... 809  
 [明,33] ..... 804  
 [明,34,35,36,37]..... 829  
 [明,38,39,40] ..... 799  
**おさづけ**  
 初試験の梨..... 649,650  
 (別席之梨)神様の御守護..... 909  
 おさづけの理..... 250  
 おさづけの眞意及其由来..... 516  
 神前御助けとおさづけの理..... 843  
**おさづけの理** 同志會(編)..... 250  
**おさづけの眞意及其由来**..... 516  
**教の力** 中澤隼人..... 1027  
**教の臺** 増野道興..... 371  
 ♪ (點字)..... 1016  
**おしへの理** 東京きりなし會(編)..... 509  
**お助けの手引** 木下眞通堂(編)..... 741  
 ♪ 天理教々理研究會(編)..... 360  
**\* 太田敏義**  
 心の梨(天理教祖御苦勞の歌)..... 452  
 世界の母(天理教祖御一代の歌)..... 448  
 世界の母(橋流筑前琵琶)..... 590,591  
 天理教信仰の階梯..... 384  
 天の理けふのをしへこゝろのか  
 びみ..... 458

**御手振足型(みかぐら)** 今井政太郎..... 902  
**御手振圖解(みかぐら)** 嘉敷明光..... 729  
**\* 香尾正衛** 新撰天理教講義録一卷..... 703  
**\* 大浦幸秋** 埃は病..... 180  
**おやさま** 同志會(編)..... 717  
**觀里へ詣てて(第二回團參記念)**  
 駒町分教會(編)..... (775頁)

R

**靈 教** 神祕録を見よ..... (115頁)  
**黎明の聖女** 三浦關造..... 915  
**黎明の歌** 米澤梅吉..... 449  
**靈の禮(靈光叢書第一卷)** 神崎廣藏..... 809  
**歴 史**  
 神代史要..... 119  
 日本建國の精神..... 536  
 日本建國史綱..... 345  
 天理教研究會罪惡史..... 900  
 天理教罪惡史..... 730  
**理の泉** 和歌山思潮社(編)..... 787  
**理の道** 武谷兼信..... 298  
**理のさと** 上原義彦..... 441  
**理の眞髓** 乾華(編)..... 836  
**理の勤め** 増野道興..... 609  
**りをふく** 増野道興..... 496  
**理を辿りて** 平野規知雄..... 586  
**\* 理生會(天理教)(編)**  
 (天理教)理生會講習會講義録..... 602  
 さとり(りをふく叢書第二輯)..... 805

晴天の心(りをふく叢書第三輯)..... 990  
**理生會講習會講義録(天理教)天**  
 理教理生會(編)..... 602  
**理想之世界へ** 渡邊彌..... 37  
**理は神** 堀越儀郎..... 306  
**理せめの世界(天理教宣傳小集第**  
 四編) 苜田義宣..... 469  
**朗讀法** 今永英足..... 669  
**勞働問題十講(二回講習會講義**  
 録)天理教青年會(編)..... 349  
**\* 天理教校六踏會(編)** 助け一條の  
 此所..... 498  
**露文天理教** 橋本正治..... 897  
**論 文**  
 新しき文化と眞實のたすけ..... 696  
 富豪、資本家、會社商店の經營者、  
 重役、高級職員、各位並に官憲、  
 に稟告..... 286  
 御大典と天理教..... 968  
 天理教教理より見たる人生の意  
 義及價值..... 211  
 人生の改造..... 399  
 實踐倫理綱要..... 97  
 近代思潮及批判..... 314  
 近世思想近世文明の由来と將來..... 212  
 國民一致の精神、教化總動員に  
 就て..... 984  
 國民思想と天理教..... 321  
 國を救ふの道..... 700  
 天理教祖の豫告と日本の將來..... 1036  
 民力涵養及現代思想と天理教..... 305  
 日獨戦争と天理教徒の覺悟..... 183  
 神佛力くらべ..... 760  
 信仰と生活..... 702  
 新日本主義..... 932  
 天理教傳道者に関する調査(稿  
 本)..... 972

天理教傳道者に関する調査..... 1014  
 天理教傳道に関する調査(2版)..... 1015  
 天理教顯眞論..... 68  
 天理教の最高眞理..... 114  
 天理教の特色 上..... 102  
 ♪ 下..... 102  
 天理教と現代思想..... 307  
 天理教と基督教打明話..... 444  
 天理教と日本の前途..... 427  
 天理教と大本教..... 413  
 宇宙間の大眞理..... 651  
 大和民族の將來..... 664  
 融和問題と天理教..... 875

S

**\* 三枝榮太郎** 甲府分教會沿革史..... 489  
**祭儀式(天理教)** 道友社(編)..... 118  
**祭儀式講述(天理教)** 道友社..... 458  
**祭 式**  
 朝夕神拜祝詞..... 75  
 (教師必携)天理教祝詞文集..... 51  
 (改訂)祝詞作文案..... 976  
 天理教祝詞作文教案..... 1023  
 祝詞作文便覽..... 99  
 (天理教)祝詞作文案 上..... 264  
 ♪ 下..... 267  
 (天理教)祝詞作文案 附卷 葬祭  
 一式一職業別..... 327  
 (改訂)天理教祝詞集(道友社)..... 133  
 (改訂)天理教祝詞集(教理研究  
 會)..... 419  
 天理教祝詞集全(松村、増野(編)..... 55

祝詞集(大川眞澄)…………… 121  
 祝詞集附葬儀(大川眞澄)…………… 128  
 (天理教)祝詞集解義枕詞集…………… 594  
 祝詞用語作成集成……………1024  
 天理教祝詞全集(恒例祝祭臨時)… 599  
 朗讀法…………… 669  
 天理教祭神古典叢書……………1028  
 天理教祭儀式(道女社)…………… 118  
 天理教祭儀式講述…………… 458  
 天理教祭典祭儀式作法…………… 626  
**祭神古典叢書(天理教) 天理研究**  
 會(編)……………1028  
**祭典儀式作法(天理教) 小倉曉風**… 626  
 \* 齋藤修 聖地の曙…………… 800  
 \* 堺分教會事務所(編) ふしん…………… 139  
 さめよ同胞 山脇成幸…………… 682  
 三條大教憲義解 石川歌道人…………… 16  
 三教會同と天理教 道女社(編)…………… 135  
 \* 佐藤幹弼 (天理教祖)中山(伎子)乃歌…………… 199  
 里の仙人 廣池千九郎…………… 167  
 \* 佐藤乙二郎 肺病の信仰的療法…………… 439  
 \* さとり(りをふく叢書第二輯)理生會(編)…………… 805  
 (身上事情)諭しの仕方 富岡廣藏… 644  
 \* 佐津川道一(編) お地場へ…………… 960  
 \* 澤田善次郎 道の光…………… 672  
 天理教の梗概…………… 674  
 聖地の曙 齋藤修…………… 800  
 聖本席 同志會(編)…………… 576  
 聖名書 天理教教廳(編)…………… 858  
**青年會**  
 アジアに於ける重なる言語…………… 822  
 (第二回講習會講義錄)文化主義批判…………… 347  
 (第二回講習會講義錄)布教論…………… 340  
 人生に於ける宗教の位置…………… 810

(天理教青年會)會報 第一號 ……283,323  
 〃 第二號 …… 356  
 〃 第三號 ……409,411  
 〃 第四號 …… 475  
 〃 第五輯 …… 552  
 〃 第六輯 …… 629  
 〃 第七輯 …… 691  
 〃 第八輯 …… 769  
 〃 第九輯 …… 827  
 〃 第十輯 …… 904  
 〃 第十一輯 …… 979  
 (講習會叢書)憲政の常道…………… 819  
 (第一回講習會講義錄)近代思潮及批判…………… 313  
 (第三回講習會)講義錄…………… 410  
 甲賀の架…………… 623  
 國民教育の新見…………… 818  
 更生…………… 275  
 (第一回講習會講義錄)教會發達史…………… 312  
 教團の力第一(第三回總會記念)… 411  
 〃 第二(第四回 〃 )… 475  
 〃 第三(第五回 〃 )… 551  
 〃 第四(第六回 〃 )… 627  
 〃 第五(第七回 〃 )… 689  
 〃 第六(第八回 〃 )… 768  
 〃 第七(第九回 〃 )… 825  
 〃 第八(第十回 〃 )… 904  
 〃 第九(第十一回 〃 )… 979  
 (第一回講習會講義錄)教義大要… 309  
 (第一回講習會講義錄)教規講義… 310  
 (第一回講習會講義錄)教祖の豫言と國際關係…………… 316  
 日本の國民に關する考察、日本の國體に關する觀念…………… 820  
 日本の財政と經濟…………… 821  
 勞働問題十講…………… 349

(第一回講習會講義錄)宗教學概論…………… 315  
 體驗の力…………… 813  
 天理教青年會高安分會第二回總會記念…………… 373  
 天理教青年會高安分會婦人會高安支部聯合會記念錄…………… 468  
 \* 青年會(天理教)(編)  
 (第二回講習會講義錄)文化主義批判…………… 347  
 〃 布教論…………… 348  
 天理教青年會會報 一 …… 283,323  
 〃 二 …… 356  
 〃 三 …… 409,411  
 (天理教青年會)會報 四 (附教團の力)…………… 475  
 〃 五 …… 552  
 〃 六 …… 529  
 〃 七 …… 691  
 〃 八 …… 769  
 〃 九 …… 827  
 〃 十 …… 979  
 〃 十一…………… 904  
 (第一回講習會講義錄)近代思潮及批判…………… 313  
 (第三回講習會)講義錄…………… 410  
 教團の力  
 第三回總會記念…………… 411  
 第四回 〃(會報の附録)… 475  
 第五回 〃 …… 551  
 第六回 〃 …… 627  
 第七回 〃 …… 689  
 第八回 〃 …… 768  
 第九回 〃 …… 825  
 第十回 (附會報)…………… 904  
 第十一回 (附會報)…………… 979  
 (第一回講習會講義錄)教義大要… 309

(第一回講習會講義錄)教會發達史…………… 312  
 (第一回講習會講義錄)教規講義… 310  
 (第一回講習會講義錄)教祖の豫言と國際關係…………… 316  
 (第二回講習會講義錄)勞働問題十講…………… 349  
 (天理教)青年會講演集第一輯…………… 323  
 (第一回講習會講義錄)神言講義… 311  
 (第一回講習會講義錄)宗教學概論…………… 315  
 (第一回講習會講義錄)宗教心理學概論…………… 313  
 (第二回講習會講義錄)宗教法規概論附財團法人に就て…………… 350  
 天理教祭儀式…………… 118  
 \* 青年會東分會(編) 道の杖(教話叢書第一輯)…………… 756  
 體驗の力…………… 813  
**青年會講演集第一輯(天理教)**  
 (天理教)青年會…………… 322  
 \* 青年會甲賀分會(編) 甲賀の架(甲賀大教會略史)…………… 623  
 \* 青年會高安分會(編)(天理教) 高安分會第二回總會記念…………… 373  
 (天理教)青年會高安分會第二回總會記念 青年會高安分會…………… 373  
**青年會高安分會婦人會高安支部聯合會記念錄 高安大教會(編)**… 468  
**晴天の心(道女叢書第八編) 上原義彦**…………… 292  
 〃 (理をふく叢書第三編)理生會(編)…………… 990  
 \* 世界文庫刊行會(編) (天理教祖の言葉) この道…………… 815  
**世界の母 (御一代の唱歌)太田敏義**…………… 548



世界の母 (橋流筑前琵琶)太田敏  
義…………… 590,591

世界最後の宗教 教理研究会(編)… 209

世界最後の天啓教 奥谷文智…………… 207

\* 關子軒 天理教の最高眞理…………… 114

\* 關時發 天理教の特色 上…………… 102  
天理教の特色 下…………… 102

(天理教) 教典簡義 (武谷兼信  
共著)…………… 129

(天理教) 教典演義資料……………  
天理教泥海古記釋義…………… 747

\* 赤心社(天理教)(編) 天理讀本…………… 793  
教祖とその高弟 逸話集…………… 857

説教道の話(敬神訓蒙) 堀邊昌雄… 8

\* 洗埃道人 \* 廣岡富藏を見よ……………(82頁)

\* 仙田久サ助 心のたから…………… 500  
戦時に於ける帝國臣民の心得書  
中山新治郎…………… 70

天理教宣教講習題目 天理教校  
(編)…………… 353

宣教講話の葉(天理教叢書第二)  
宇田川文海…………… 172

宣教資料 同志會(編)…………… 550

鮮瀬支素見 中山正善…………… 834

謝恩錄 増野道興(編)…………… 240

\* 柴崎翠山 神道教導軌範…………… 26

四百四病の理 田淵博(編)…………… 479

四十年祭時報 道友社(編)…………… 746

しきりのみち 上原義彦…………… 363

\* 敷島大教會(編) 御指圖…………… 485  
敷島大教會の建築…………… 778

敷島大教會發達史概要 森井熊吉… 585

敷島大教會名稱錄 附職員錄 しき  
しま社(編)…………… 739

敷島大教會の建築 敷島大教會…………… 778

\* しきしま社(編) 初試験の葉…………… 650

敷島大教會名稱錄 附職員錄 …… 739

\* 清水實俊(編) はたらく…………… 667  
たんのう (天理教祖四十年祭記  
念)…………… 708

清水與之助傳 兵神大教會(編)……………1012

\* 清水芳雄 御本席行傳…………… 364

\* 下村宏 日本の財政と經濟 (講習  
會叢書第五輯)…………… 821

神佛力くらべ 廣岡富藏…………… 760

神祕と眞理 増野道興…………… 578

神符 おまもりを見よ……………(107頁)

\* 神代古記出版部(編) 天理教創生  
紀教理淵源神代古記…………… 63  
(削訂)神代史要 道友社(編)…………… 119

神 殿 教會本部を見よ……………(91頁)

\* 神道本局(編) 神道教規…………… 2  
神道教導軌範 柴山翠山…………… 26  
神道教規 神道本局(編)…………… 2  
神道教師講習會(編) 祭式作法卷  
一 (講習會講義錄)……………  
二 ( )……………

神道天理教會各教會所在地明細簿  
今村松聲堂(編)…………… 34

神道天理教會規則及規程 教會本  
部(編)……………1029

神道天理教會規約……………1030

\* 道神天理教會創立事務所 改正論  
告…………… 7

神道天理教救助話参考書 名波敦  
備…………… 38

神道天理教の光 神上鴨涯…………… 22

神道天理教祖のをしへ 小笠原常  
樹…………… 29

神道天理教哲學 神土鴨涯…………… 23

神學講話(教導職必携勸善訓蒙)  
山下惠一…………… 36

神 言 編者不明……………1031

神 言 おことばを見よ……………(115頁)

神言解釋 卷一 同志會(編)…………… 387  
〃 卷二…………… 382  
〃 卷三…………… 421

神言講義(第一回講習會講義錄)  
天理教青年會…………… 311

神言の節々 田淵麻藏…………… 603  
(註解分類)神言集 廣池長吉…………… 463

神言通義 第一輯 山口宏澤…………… 704  
〃 第二輯…………… 734  
〃 第三輯…………… 737  
〃 第四輯…………… 743  
〃 第五輯…………… 750  
〃 第六輯…………… 754  
〃 第七輯…………… 755  
〃 第八輯…………… 757  
〃 第九輯…………… 758  
〃 第十輯…………… 761  
〃 第十一輯…………… 772  
〃 第十二輯…………… 776

神言通義御筆先 上卷 山口宏澤… 789  
下卷…………… 790

神意と四十年祭 同志會(編)…………… 431

しんじつ 〃 …… 247,512

しんじつの道 上原義彦…………… 481

眞實の信仰 増野道興…………… 782

信順の道 小野靖彦…………… 277

心 光 高橋親(編)……………1000

信仰なき人生は空虚なり 仲龜吉… 948  
(天理教)信仰の階梯 太田敏義…………… 384

信仰の光 廣岡富藏…………… 170

信仰の喜悅 増野道興…………… 887

信仰の告白 田村彌三郎…………… 217

信仰と生活 林清次…………… 702

信仰要義(天理教) 奥谷文智…………… 238

神教開傳傳書 安原瀨京……………1032

新日本主義 寺井一男…………… 932

眞に助かる道 安江明…………… 722

眞の信仰 修徳會(編)…………… 527

しのびぐさ 婦人會河原町支部(編)1003

\* 篠森乗人(編) なぐさめぐさ…………… 74

\* 篠森臣道 見ぬき見とほし(道友  
叢書第十七輯)…………… 608

親鸞聖人袖下之文 安江明…………… 878

神靈への歩み (松村教正講話集)  
高安大教會(編)…………… 841

神靈への歩み 松村吉太郎…………… 914

眞理之裁判 兼子道仙…………… 4

\* 新世社(編) 御神樂歌之眞髓…………… 220  
(天理教)新創世説の解説並に批判  
大平其平…………… 205

神 徳 記 仲谷長一郎…………… 53

神徳大觀 上 赤木惣太郎…………… 226  
〃 下 〃 …… 226

神祐實錄 同志會(編)…………… 718

神 祐 録 大震災靈驗談…………… 549  
不思議な助け…………… 221  
肺病患者の福音……………  
平塚の腸チブスと天理教…………… 487  
醫者の手あまり…………… 741  
實證信仰のたまもの…………… 575  
新しい信仰實話 神のあらはれ… 692  
奇蹟的征病法…………… 977  
神道天理教救助話参考書…………… 38  
神徳大觀…………… 226  
神祐實錄…………… 718  
天理教おかげ話…………… 265

神前御助けとおさづけの理 同志  
會(編)…………… 843

\* 白鳥蝶一 かりもの (道友叢話第  
二十輯)…………… 803

\* 坂岡幸吾(譯)  
(鮮譯)天理教教義要領…………… 665  
道の光…………… 672

\* 坂岡幸吾、姜喬(共譯) 八埃(鮮譯文)……………738  
 (鮮譯)天理教の信仰……………751  
 (鮮譯)天理教祖……………777  
 至誠懺悔錄 奥谷文智……………228  
 至心錄 松村吉太郎……………622  
 \* 思想會(天理教)(編) おさづけの理……………  
 解かな心 増野道興……………797  
 勅 勅  
 戊申詔書衍義……………100  
 教育勅語戊申詔書衍義……………1021  
 教育勅語戊申詔書之教(神井淳)……………612  
 ♪ (教理研究會)……………612  
 教育勅語衍義……………104  
 教育勅語と天理教……………160  
 民風作興に關する詔書の精神一斑……………577  
 大教宣布詔書義解……………19  
 諸 團 體 きしん學會紀要第二號……………308  
 第三號……………351  
 (天理教)信者會員芳名錄……………258  
 第五回天理教篤志會員芳名錄……………291  
 生涯の理 田舎道人(編)……………398  
 庶 務 (會計部) 教廳を見よ(90頁)  
 小 説 文學を見よ……………(72頁)  
 \* 從容堂主人 天理公論 第一編……………32  
 祝祭日講話 道友社(編)……………106  
 宗教談(一名天理教の研究) 中西  
 牛 郎……………61  
 宗教學概論(第一回講習會講義錄)  
 青年會(編)……………315  
 宗教早分り 梶水道人……………94  
 宗教法案 編者不明……………1033  
 宗教法規概論(第二回講習會講義錄)  
 青年會(編)……………350  
 宗教法規概要 道友社(編)……………502

宗教法令 法規を見よ……………(82頁)  
 宗教法令摘要 (訂正二版) 道友  
 社(編)……………98  
 宗教法令摘要 附錄宗教法案  
 (改訂増補) ♪……………98  
 宗教法令摘要講義 田淵麻藏……………479  
 宗教心理學概論(第一回講習會講  
 義錄) 青年會(編)……………313  
 \* 修 德 會(編) (龍笛、華篋、風箏  
 附大鼓鞀鼓) 雅樂譜……………540  
 眞の信仰……………527  
 總會のしをり 橋本正治……………1002  
 總 務 部 教廳を見よ……………(90頁)  
 通俗天理教典拾章の話 藤皇章  
 奥谷文智……………149  
 \* 園田隆章 思ひの儘……………753  
 そろばんふせて(道友談話第九輯)  
 岡島善次……………545  
 創 世 記 泥濘古記を見よ……………(74頁)  
 創生記異議(天理教) 神崎東藏、  
 高橋蘭花共著(眠獅子窟)……………732  
 叢 書  
 道友教話集 全四編……………  
 道友叢書 全十二編……………  
 道友談話 全二十輯……………  
 現代布教叢書……………  
 汎天理教叢書……………  
 香志朗著作集 全二輯……………  
 心の友バンフレット 全三輯……………  
 高弟列傳 全六編……………  
 講習會叢書 全八輯……………  
 湖東叢書 全二輯……………  
 教理叢書……………  
 教話叢書……………  
 増野放雪全集 全廿二卷  
 ♪ 別冊……………  
 にほひがけ叢書……………

おさしづ解釋叢書……………  
 靈光叢書……………  
 理の話叢書……………  
 理をふく叢書……………  
 誠泉社宣傳小集……………  
 新教理集……………  
 天理教宣傳小集 全六編……………  
 天理教小集 全四輯……………  
 天理叢書……………  
 天龍叢書……………  
 藤人叢書……………  
 よのなか童話集……………  
 御筆先圖解 上下……………714  
 \* 杉本哲次 お話の種……………727  
 御かぐら歌手振り稽古の道づれ……………666  
 過ぎし日 増野道興……………801  
 救はれの道 田淵麻藏……………619  
 \* 錫木京 病の理の研究とその論し……………656  
 T  
 \* 田淵博(編) 四百四病の理……………679  
 病のさとし(御教祖時代の)……………641  
 \* 田淵麻藏 神言の節々……………603  
 宗教法規概論(第二回講習會講  
 義錄)……………350  
 宗教法令摘要講義……………479  
 救はれの道……………619  
 \* 唯根泰次郎(秋峰) 英和天理教カ  
 テキズム……………197  
 體驗の力 天理教青年會東分會(編)……………813  
 大正十六年御家寶(天理教) 天理  
 教寶曆館(編)……………749

大典之根本義並講話資料 道友社  
 (編)……………208  
 \* 高垣曙光 (海外布教の先驅者)  
 嗚呼大熊こま子刀白……………869  
 \* 高垣光藏 (天理教京城支教會開祖)  
 大熊こま子刀白畧傳……………276  
 \* 高橋親(編) 心光(創刊號)……………1000  
 \* 高橋友太郎(編) 天理教寶典……………266  
 \* 高井善一 因縁の立誓……………563  
 \* 高石眞五郎 心の仕込(道友談話  
 第十八輯)……………610  
 憲政の常道(講習會叢書第三輯)……………819  
 \* 高岡青原 唐園堂藏を見よ……………(82頁)  
 \* 天理教高安大教會(編) 松村敦正  
 講話集 神靈への歩み……………841  
 天理教青年會高安分會、婦人會  
 高安支部聯合記念錄……………468  
 教祖四十年祭記念高安大教會布教  
 方針 松村義孝……………391  
 高安大教會史(初代會長松村權大  
 教正六十年史) 若田義宣……………794  
 \* 武田福藏 (天理教問答) 布教之  
 柱石……………50  
 \* 武田交盛館(編) (教師必携)天理  
 教經詞文集……………51  
 \* 武田鶴子 脚本天理教祖傳……………112  
 \* 武田富彌久 天理教英語大講演會……………181  
 \* 武谷兼信 節に働く心(湖東叢書  
 第二輯)……………780  
 地場一つの理……………490  
 教祖傳講話……………863  
 教祖雛型の理……………402  
 末代治る理(湖東叢書第一輯)……………660  
 道の花(道友談話第十六輯)……………607  
 道の要……………643  
 御かぐら歌解義……………903  
 お道の理……………359

理の道……………298  
 たのしみの道……………589  
 たてかへ……………493  
 \* 田村彌三郎 信仰の告白……………217  
 \* 田邊要蔵 座談録……………224  
 \* 田中豊洲 天理教罪惡史……………730  
 \* 田中三十郎 (新しい信仰實話)神  
 のあらはれ……………692  
 \* 谷口政秀 八坂の研究……………613  
 \* 谷本富 國民教育の新見(講習會  
 叢書第二輯)……………818  
 谷底(おみち戯曲集第一編) 中澤  
 隼人……………719  
 \* 丹野新太郎 ひまはり……………783  
 たんのふ 同志會(編)……………361  
 たんのう(天理教祖四十年祭記念)  
 清水實俊……………708  
 たんのう たんのうの理……………189  
 たんのふと因縁……………407  
 たんのふは眞の誠(道友叢書第  
 五輯)……………525  
 たんのうの理 同志會(編)……………189  
 たんのふと因縁 同志會(編)……………407  
 たんのうは眞の誠(道友叢書第五輯)  
 永井順一郎……………525  
 たのしみの道 武谷兼信(述)……………589  
 \* 田代澤治 めづらし助け(道友叢  
 話第三輯)……………506  
 助かる道 國豐宣教所(編)……………1034  
 たすけ一助 同志會(編)……………268  
 助一條 宇田川文海……………303  
 助一條の此の所(教校みまげ)(天  
 理教六踏會(編)……………498  
 助一條の御話 全 廣池千九郎……………477  
 たすけの臺 柳井徳治郎……………983  
 助の臺(おことば分類) 同志會(編)……………447  
 助けたさにこの御話 村瀬道三……………385

たてあひ助け合 同志會(編)……………  
 200,203,324  
 たてかへ 武谷兼信……………492  
 たてかへの理(新教理集第一編)  
 同志會(編)……………523  
 遠及書式(大.1.X) 天理教々々  
 廳(編)……………147  
 遠及則(大.2.V) 天理教々々廳(編)……………156  
 ♪(大.6.IV) 道友社(編)……………254  
 ♪(大.8.IV) 天理教々々廳(編)……………300  
 ♪(大.10.V) 道友社(編)……………386  
 ♪(大.11.VIII) 天理教々々  
 廳(編)……………253  
 ♪(大.13.II) 天理教々々  
 廳(編)……………582  
 ♪(大.14.II) ♪……………648  
 ♪ 教會本部……………1035  
 天 啓 同志會(編)……………632  
 天啓の壁(道友△書第四篇) 増野  
 道興……………279  
 天 國 向所忠夫(哲註)……………526  
 天理教義天の光 山中重太郎……………41  
 \* 天來美人 心の道……………260  
 天之理(てんの理) 安本彦造……………762  
 \* 天理中學校(編) 私立天理中學校  
 學則……………86  
 \* 天理中學校(私立)(編) 天理教々々  
 育主義……………179  
 天理中學校學則(私立) 天理中學  
 校(編)……………86  
 天理中學校三十年史 小松原義則  
 竹村菊太郎(編)……………1004  
 天理中學校教育の主眼 廣池千九郎……………153  
 天理童話 小西秀吉、小西利臣  
 (共著)……………355  
 天理いろは歌 木下松太郎……………33

天理一席話 木下眞進堂(編)……………244  
 天理人道 岩永菊治郎……………17  
 天理結構話(内務省御届濟) 今田  
 善逸……………124  
 天理研究會罪惡史 喜多富松……………900  
 天理公論 第一編 從容堂主人……………32  
 \* 天理高等女學校(編) 天理高等女  
 學校一覽表……………  
 天理高等女學校一覽表 天理高等  
 女學校(編)……………  
 天理歌 出水彌太郎(編)……………91  
 Tenrikyo 増野道興述、小泉卓藏譯……………630  
 天 理 教  
 噓天理教……………193  
 (實際討論)辯斥天理教……………7  
 坊さんと天理さんとの内證話  
 (比較宗教)……………390  
 佛教最近の敵(一名天理教の害毒)……………14  
 英和天理教カテキズム……………197  
 五十年後の天理教……………832  
 御大典と天理教……………968  
 History, Doctrine and Practice  
 of Tenrikyo……………126  
 本教と子供(みちのこども附録)……………658  
 醫學博士から見た天理教……………703  
 神の實現としての天理教……………986  
 奇蹟的征病法……………977  
 これからの天理教(心の友バン  
 フレット第二輯)……………451  
 講師講演集(宣教員講習會)……………141  
 教理の眞髓……………712  
 教徒として見たる天理教(現代  
 百科文庫宗教叢書三十六篇)……………187  
 眞の實上……………530  
 下……………531  
 みちしるべ……………257  
 黎明の歌……………499

三教會同と天理教……………135  
 解名書……………856  
 世界最後の宗教……………209  
 世界最後の天啓教(天理教祖三  
 十年祭記念傳道)……………207  
 神佛くらべ……………760  
 神道天理教の光……………22  
 神教問傳施書……………1032  
 新嘗聖人袖下之文……………678  
 神徳記……………53  
 宗教談(一名天理教の研究)……………61  
 天理公論 第一篇……………32  
 天理教……………91  
 Tenrikyo……………(30)  
 天理教概論……………677  
 天理教早わかり……………672  
 天理教寶典(高橋)……………266  
 天理教寶典(富岡)……………731  
 天理教樹下問答……………10  
 天理教解疑……………138  
 天理教講義錄 第一……………426  
 ♪ 第二……………429  
 ♪ 第三……………434  
 ♪ 第四……………442  
 ♪ 第五……………443  
 ♪ 第六……………446  
 ♪ 第七……………450  
 ♪ 第八……………462  
 ♪ 第九……………488  
 ♪ 第十……………505  
 ♪ 第十一……………525  
 ♪ 第十二……………598  
 天理教根本實義……………47  
 天理教綱要(昭4.5)……………949,904  
 天理教教理より見たる人生の意  
 義及價值……………211  
 天理教道しるべ(同志會)……………248

天理教道しるべ(松浦)..... 148  
 天理教道しるべ(村田)..... 122  
 天理教道しるべ(奥谷)..... 146  
 天理教の沿革..... 138  
 天理教の本領..... 39  
 天理教の本質..... 40  
 (一問一答)天理教の實際..... 764  
 天理教の概観..... 672  
 天理教の研究(發端)..... 773  
 天理教の教義及理想(教理研究會)..... 225  
 天理教の教義及理想(大平)  
 (宗教叢書 自第六十五號  
 至第六十八號).....  
 天理教の教理と實際..... 318  
 (譯文)天理教の歴史、教義及其實際168  
 天理教の三大眞理(一名天理教  
 祖の人生觀).....95  
 天理教の信仰(鮮譯).....302,751  
 天理教最高眞理..... 114  
 (改訂増補)天理教信仰の階梯  
 (一名初席受驗者の心得附註新  
 言葉御神樂歌)..... 384  
 天理教信仰の本旨..... 227  
 天理教信仰の眞義..... 165  
 天理教信仰要義..... 238  
 天理教側面觀..... 89  
 天理教祖の哲學..... 210  
 天理教大觀..... 866  
 神道天理教哲學..... 23  
 天理教とは如何なる宗教か..... 606  
 天理教要義..... 157  
 天理教全書教祖の生涯、教義提  
 要御神樂解釋..... 476  
 天理讀本..... 793  
 内より外へ..... 706  
 余が見たる天理教(一名天理教

大體觀)..... 83  
 世の立替と教祖の出現、因縁の  
 轉換と教恩の奉謝教會の意義と  
 教師の自覺..... 511  
 天理教傳道者に関する調査 中山  
 正善(稿本)..... { 973  
 1014  
 (2版).....1015  
 天理教獨立史 森田五一..... 92  
 天理教獨立史(附天理教祖一代記)  
 宮崎三郎..... 96  
 天理教道話 山中重太郎..... 44  
 天理教英語講演會 武田彌富久..... 181  
 天理教概論 廣池長吉..... 677  
 天理教早わかり(朝芳叟)富森芳太郎 672  
 天理教寶典 高橋友太郎(編)..... 266  
 天理教寶典 富岡秀輝..... 731  
 天理教樹下問答(通俗) 筒川すゑ子 10  
 天理教歌 辻藤次..... 11  
 天理教解疑 全 奥谷文智..... 138  
 天理教會秘密談 丸都虎作..... 27  
 天理教世界革命之聲 大平陸平..... 215  
 天理教會教務取扱規則..... 49  
 天理教の泣害 雨波天涯..... 30  
 天理教の内幕 橋本清..... 43  
 天理教祖の傳記 丸橋吉三郎..... 25  
 天理教祖の眞義論 中西牛郎..... 68  
 天理教祖の眞義論 奥谷文智..... 222  
 天理教祖の眞義論 第一..... 426  
 天理教祖の眞義論 第二..... 429  
 天理教祖の眞義論 第三..... 434  
 天理教祖の眞義論 第四..... 442  
 天理教祖の眞義論 第五..... 443  
 天理教祖の眞義論 第六..... 446  
 天理教祖の眞義論 第七..... 450  
 天理教祖の眞義論 第八..... 462  
 天理教祖の眞義論 第九..... 488  
 天理教祖の眞義論 第十..... 505

天理教講義録 奥谷文智 十一..... 525  
 天理教講義録 奥谷文智 十二..... 598  
 天理教校規則 天理教校(編)..... 48  
 天理教根本實義 山中重太郎..... 47  
 天理教講習會學則..... 69  
 天理教講習會學則(昭和四年版)道友社(編) 949  
 天理教講習會學則(昭和五年版)道友社(編) 994  
 天理教の教義 石井清..... 80  
 天理教の教育 山中竹史..... 54  
 天理教の教育主義 天理中學校(編)..... 179  
 天理教々々 法理を見よ..... 82  
 天理教々々より見たる人生の意義  
 及價值 大平長平..... 211  
 天理教々々統計表 天教教々々..... 989  
 天理教祖の豫言と日本の將來 増  
 野道興(編).....1036  
 天理教道しるべ 同志會(編)..... 248  
 天理教道しるべ 松村吉太郎.....  
 天理教道しるべ 松浦幸藏..... 148  
 天理教道しるべ 村田寅太郎..... 122  
 天理教道しるべ 奥谷文智..... 146  
 天理教未信の方へ 中世古陸夫..... 722  
 天理教にほひがけの文 廣池千九  
 郎..... 294  
 天理教の沿革 奥谷文智..... 138  
 天理教の本領..... 39  
 天理教の本質 山中重太郎..... 40  
 天理教の實際(一問一答) 同志會  
 (編)..... 764  
 天理教の研究(發端) 中西牛郎..... 773  
 天理教の概観 澤田善次郎(編)..... 672  
 天理教の教義及理想 天理教々々  
 研究會..... 225  
 天理教の教理と實際 富森芳太郎  
 (朝芳叟)..... 318  
 天理教の最高眞理 關子軒..... 114  
 天理教の三大眞理(一名天理教祖の

人生觀 宇田川文海..... 95  
 天理教の信仰(鮮譯) 教道會(編)..... 302  
 天理教の信仰(鮮譯) 城岡幸吉..... 751  
 天理教のすゝめ 一條秀美(編)..... 372  
 天理教の特色(上下合本) 關時發..... 102  
 天理教讃歌 出水彌太郎..... 90  
 天理教信者會員芳名錄 日本海員  
 協會三島駐在幹事部..... 258  
 天理教信仰治療論 奥谷文智..... 190  
 天理教の本旨 廣池千九郎..... 227  
 天理教の眞義 廣池千九郎..... 165  
 天理教に信ずるに足らず 足立善明..... 6  
 天理教の處分論 池田長吉..... 31  
 天理教の唱歌 中山新治郎..... 66  
 天理教初階 橋本正治(編)..... 896  
 天理教職員錄(大正九年五月調査)  
 道友社(編)..... 244  
 天理教職員錄(大正十三年一月調  
 査)..... 579  
 天理教祖 同志會(編)..... 155  
 天理教祖(鮮譯) 城岡幸吉、姜喬  
 (共譯)..... 777  
 天理教祖傳(思想善導梅花魁)(淨  
 瑠璃) 藤井天海..... 967  
 天理教祖傳(脚本) 武田鶴子..... 112  
 天理教祖傳講話 奥谷文智..... 231  
 天理教祖傳講話 實傳 村田勇(編)..... 173  
 天理教祖傳講話 眞義 奥谷文智..... 204  
 天理教祖傳講話 眞義の面影..... 445  
 天理教側面觀 渡邊霞亭(勝)..... 89  
 天理教祖の豫言と日本の將來 .....1036  
 教祖みかけの命、御座のあめ(謠曲)  
 今永英足..... 136  
 通俗理學講話天理教祖の御一代  
 有富春六 第一卷..... 645  
 天理教祖の御一代 第二卷..... 652  
 天理教祖の御一代 第三卷..... 655



中山美伎子…………… 414  
 天理教側面觀…………… 89  
 \* 渡邊瀧 どん底まで…………… 368  
 理想の世界へ…………… 375  
 \* 亙一三郎 こゝろのつと…………… 504  
 \* 亙重五 道のいしづへ…………… 684  
 (改訂増補)おはなしの友 上…………… 422  
 うめの力…………… 806  
 うめの友…………… 435,486

Y

譯文天理教の歴史教義及其實際  
 道友社(編)…………… 169  
 躍進の時 増野道興(鼓雪)…………… 688  
 \* 山田貴彦 (天理教の科學と戀の  
 甘露寮)おみきお婆さんの戸籍  
 しらべ…………… 288  
 \* 山口宏澤  
 またいつ歸る…………… 362  
 日本建國の精神…………… 537  
 (神言通義)御筆先 上…………… 789  
 下…………… 790  
 御筆先辭傳草案(1—9)(10—17)  
 二冊…………… 635  
 神言通義 第一輯…………… 704  
 第二輯…………… 734  
 第三輯…………… 737  
 第四輯…………… 743  
 第五輯…………… 750  
 第六輯…………… 754  
 第七輯…………… 755  
 第八輯…………… 757

第九輯…………… 758  
 第十輯…………… 761  
 第十一輯…………… 772  
 第十二輯…………… 776  
 病の元の新研究(布教資料病者の  
 杖) 山脇成幸…………… 216  
 病の元とほこり(病の因と埃) 同  
 志會(編)…………… 369  
 病の元は心から 同志會(編)…………… 341  
 病の元は心から 室佐市…………… 229  
 病の元は心から 奥谷文智…………… 144  
 病のおさしづ 同志會(編)…………… 636  
 病の理 八埃を見よ……………(80頁)  
 病の理 上 道友社(編)…………… 464  
 中…………… 483  
 下…………… 515  
 病の理の研究と其の論し (第一  
 編消化器の卷) 永江潤 錫木京  
 共著 上巻…………… 656  
 病の理のとさわけ(親縁の御守護  
 と) 萬世社(編)…………… 675  
 病のさとし(御教祖時代の) 田淵博 641  
 病より健康へ「心の友」パンフレツ  
 ト第二輯) 廣池長吉…………… 484  
 \* 山本千代蔵(編) 廣池博士教理講  
 習會筆記…………… 293  
 \* 山本榮太郎(編) 御筆先と其研究… 725  
 \* 山名大教會 あしあと…………… 646  
 山名大教會初代會長夫婦自傳  
 諸井國三郎(御教祖と其の門人)… 218  
 山中忠七翁(高弟列傳第一編)  
 山中忠正(編)…………… 535  
 \* 山中重太郎  
 天理教御教祖御一代記…………… 46  
 御かぐら歌解辨…………… 42  
 (天理教義)天の光…………… 41  
 天理教遺話…………… 44

天理教根本實義…………… 47  
 天理教の本領…………… 39  
 天理教の本質…………… 40  
 \* 山中忠正(編) (御教祖と其の門  
 人)山中忠七翁(高弟列傳第一編)… 535  
 \* 山中竹史 天理教々育唱歌…………… 54  
 \* 山下恵一  
 心の行へ教草…………… 35  
 教專職必携歡善調蒙神學遺話…………… 36  
 大和民族の將來(誠泉社宣傳小集  
 第一集) 吉田一雄…………… 664  
 天理大和歌の講義 筒川すみ子…………… 21  
 \* 山脇成幸  
 (病のさとし)病理研究…………… 401  
 病床のなぐさめ…………… 572  
 (教師教徒必携)布教の研究…………… 471  
 (布教手引)因縁の研究…………… 201  
 因縁の最新研究…………… 201  
 因縁の新研究…………… 201  
 さめよ同胞…………… 682  
 (實證)信仰のたまもの…………… 575  
 (布教資料病者の杖)病の元の研究 216  
 病の元の新研究 216  
 \* 山澤爲次 三つの心…………… 618  
 \* 柳井徳治郎 たすけの憂…………… 983  
 \* 安江明 泥海古記…………… 695  
 眞の寶(上下二卷)…………… 530,531,800  
 御神樂教眞意 一名末代の寶 全… 697  
 御神樂眞髓…………… 694  
 御筆先…………… 784  
 御筆とめ(一名泥海古記)…………… 698  
 眞に助かる遺…………… 722  
 親覽衆人袖下之文…………… 888  
 \* 安原瀨京 神教開傳施書…………… 1032  
 \* 安本房造 天之理…………… 762  
 八つのほこり 同志會(編)…………… 342  
 (漫畫繪本) 松本秀樹 721

八の埃話(天理教) 岡芳生……………  
 余が見たる天理教 一名天理教大  
 體圖 宇田川文海…………… 83  
 陽氣ぐらし(道友遺話第八輯)  
 松井忠義…………… 538  
 讀みやすい教祖傳 廣岡富藏(教  
 埃遺人)…………… 400  
 よなほり(鼓雪集第一輯)増野道興… 455  
 米村嘉一郎 國賊天理教(徹底解剖) 879  
 \* 米澤梅吉 黎明の歌…………… 449  
 よのもと 創刊號 赤木徳三郎、  
 小東正雄(編)…………… 1011  
 よのもと會(編)\* (天理教) 別科四  
 十四期會員名簿…………… 999  
 よのなか童話集第一輯 兒童教養  
 社(編)…………… 482  
 \* 天理教よのなか社(編) 大震火災  
 靈驗談 第一輯…………… 549  
 よのなか社(東京教務支廳)(編)  
 東京教務支廳管内教會名稱錄… 508  
 世の立替と教祖の出現 因縁の轉  
 換と教恩の報謝 教會の意義と教  
 師の自覺 天理教會本部(編)…………… 511  
 余が天理教々育部に入りし理由  
 廣池千九郎…………… 154  
 よろこび 天理教新潟分教會(編)… 1008  
 \* 萬世社  
 御教祖御筆先圖解 上巻…………… 714  
 下巻…………… 714  
 (親縁の御守護と)病の理のとき  
 わけ…………… 675  
 \* 吉田一雄  
 (誠泉社宣傳小集第一輯) 大和  
 民族の將來…………… 664  
 融和問題と天理教…………… 875  
 \* 吉川高次郎 白々樓論文集…………… 282

\* 嘉敷明光 (みかぐら) 御手振圖解... 729  
 養徳文庫(編) 養徳文庫一覽(第  
 十三年報)..... 680  
 養徳文庫一覽(第十三年報、自大正  
 十三年四月 至十四年三月)  
 養徳文庫 (大橋永三郎)..... 680  
 報養徳文庫要覽(私立) 大橋永三郎 159  
 養徳院いろは歌(おみやげ本)  
 今田善逸..... 111  
 \* 幽芳生 天理教八の埃話..... 161  
 輪送のしるべ(御教祖四十年祭歸  
 参團體)天理教高知大教會(編)..... 699  
 融和問題と天理教 吉田 雄..... 875

Z

座談録 増野鼓雪..... 224  
 財團管理部 教團を見よ.....(90頁)  
 前會長殿追想録 天理教此花分教  
 會役員(編)..... 962  
 續講演資料 宇田川文海..... 261  
 續教館の日 増野道興..... 659  
 隨筆  
 或る對話..... 814  
 あしあと..... 646  
 番茶の夜..... 779  
 第一線に立ちて..... 617  
 第二天理教界革命之聲..... 232  
 どん底まで..... 368  
 節ある頃..... 273  
 ひまはり..... 783  
 命のいづみ..... 478

人世の理想..... 605  
 (香志郎著作集第二輯)こゝろの跡 418  
 國賊天理教..... 879  
 このみちならでは..... 975  
 芽生..... 844  
 道草..... 326  
 道の跡..... 336  
 (藤人書第二)道は續く..... 847  
 道ゆく心..... 337  
 未信の友へ..... 888  
 三つの心..... 618  
 日本を思ふ..... 913  
 日本は頭の國となる第二輯..... 163  
 天理教の秘密と戀の甘露臺おみ  
 き婆さんの戸籍しらべ..... 288  
 思ひの儘..... 753  
 理想の世界へ..... 375  
 さめよ同胞..... 682  
 鮮満支素見..... 834  
 神秘と眞理..... 578  
 信仰なき人生は空虚なり..... 948  
 信仰の喜悅..... 885  
 信仰の告白..... 217  
 眞理の裁判..... 4  
 静かな心..... 797  
 宗教早分り..... 94  
 過ぎし日..... 801  
 天理教會秘密談..... 27  
 天理教界革命之聲..... 215  
 天理教會の害毒..... 30  
 天理教會の内幕..... 43  
 (廣池博士の著書に依て)天理教  
 に入信せる者の欺かざる告白..... 255  
 天理教信ずるに足らず..... 6  
 天理教處分論..... 31  
 (神道儒佛)天理教討論演説..... 52  
 文集つちもち..... 137

打ちあけた心..... 837  
 上原先生の人格と後進の覺悟..... 152  
 若かりし日..... 844  
 若き求道者のさゝやき..... 941  
 余の天理教々育部に入りし理由... 154

### 教内雑誌歴年體目錄

#### 明治二十四年

1 道之友 道友社 明24.XII 月刊

#### 明治三十七年

2 興徳時報 京都興徳時報社 明37.IV  
明 37.IVヨリ同39.VII迄月二回、新聞紙體ナリ  
シモノヲ明39.VIIIヨリ雜誌體月刊ニ改メタ  
リ、明42.III.5. 以後絶版

#### 大正二年

3 天理教青年 天理教同志會東京支部  
大2.VI 月刊

#### 大正四年

4 新宗教 東京新宗教社 大4.VI 月刊  
大5.IX以後休刊

#### 大正六年

5 三才 東京支廳内三才寮 大6.I 年四  
回發行  
大12.I以後休刊 昭4.IX再刊サル  
6 正道 山名大教會 大6.I 月刊

#### 大正七年

7 へいしん 神戸へいしん社 大7.V  
月刊  
大15.XI以後休刊

#### 大正九年

8 あけほの 本保支教會(高安) 大9.II  
月刊  
9 天理中學校同窓會誌 天理中學校 大  
9.XII 年一回發行

#### 大正十年

10 よのなか 東京天理教よのなか社 大



10.IV  
大10.IV第一號ヨリ大10.X第七號迄月刊、大  
10.X第八號ヨリ毎月二回發行  
大11.IX以後廢刊

11 敷島 敷島大教會 大10.X 月刊

大正十一年

12 道のはらから 本保支教會(高安) 大  
11.V 月刊

大正十二年

- 13 うちわけ 高安大教會 大12.I 月刊
- 14 道の世界 吉野分教會(津津) 大12.IV  
月刊
- 15 新興宗教 新興宗教社(敷島) 大12.IV  
月刊
- 16 慧星 天理中學校文藝部 大12.VII
- 17 聖地に咲く 天理高等女學校 大12.IX  
年一回發行
- 18 よなほり 進養大教會 大12.XII 月刊

大正十三年

- 19 地場思潮 地場思潮社 大13.V 月刊
- 20 甲賀 甲賀大教會 大13.IX 月刊

21 正明 南海大教會 大13.XI 月刊

大正十四年

- 22 道の子供 道の子供社 大14.I 月刊  
大正15.1以後廢刊
- 23 天龍 郡山大教會 大14.I 月刊
- 24 築紫 筑紫分教會 大14.III 年二回  
發行
- 25 教友會報 東京教務支廳 大14.IV  
大15.IV教之友に改題
- 26 日本橋 日本橋大教會 大14.V 月刊
- 27 道潮 道潮社 大14.VI 月刊  
大15.1道東に改題サル
- 28 名京 名京大教會 大14.VII 月刊
- 29 やうき 大阪やうき社 大14.VII 月刊  
昭2.1廢刊
- 30 治心 奈良治心社 大14.VII 年四回發行
- 31 天理子供新聞 道の子供社 大14.VIII  
月二回發行
- 32 赤心 大阪教務支廳 大14.X 月刊

大正十五年

- 33 湖東(道潮改題) 湖東大教會 大15.I 月  
刊
- 34 一心 愛知、静岡、岐阜、山梨、教務支廳  
大15.III 月刊
- 35 教之友(教友會報改題) 教之友社 大15  
IV 月刊

- 36 中河 中河大教會 大15.IV 月刊
- 37 人生 京城支教會 大15.V
- 38 東愛 東愛分教會(爾海) 大15.VI 年  
四回發行
- 39 奥羽 福島、山形、秋田、青森、岩手、宮  
城教務支廳 大15.VI 年四回
- 40 昭圖 和歌山教務支廳 大15.VII 月  
刊  
昭2.1和歌山思潮に改題
- 41 洗心 京都、滋賀、福井、石川、富山教務  
支廳 大15.VII 年四回發行
- 42 このみち 東大教會 大15.VIII 月刊
- 43 天理と社會 天理教青年會岡山分會  
大15.XI 月刊

昭和二年

- 44 三才心 名古屋市子供會 昭2.I 月刊
- 45 和歌山思潮(昭圖改題) 和歌山教務支廳  
昭2.I 月刊  
昭2.V以後廢刊
- 46 滿洲 滿洲傳道廳 昭2.I 月刊
- 47 治道 治道中教會 昭2.IV 年二回發  
行
- 48 誠心 福岡、佐賀、大分、臺灣、教務支廳  
昭2.IV 年四回發行
- 49 理をふく 群馬、長野、栃木、新潟、教務  
支廳 昭2.IV 年二回發行
- 50 心實 城法教會 昭2.IV 年四回發行
- 51 大縣 大縣教會 昭2.IV 月刊 昭  
3.X 以後休刊
- 52 本愛 本愛分教會(高安) 昭2.VI 月刊
- 53 水鏡 天理高等女學校同窓會 昭2.VII  
年一回發行

54 一列 奈良、三重教務支廳 昭2.IX 月  
刊

昭和三年

- 55 國のはしら 笹岡分教會(津津) 昭3.IV  
月刊
- 56 草路 天理高等女學校 昭3.IV 年二  
回發行
- 57 昭徳 天理中等學校 昭3.V 月刊
- 58 一條 北海道教務支廳 昭3.X 年四  
回發行
- 59 本島通信 河原町大教會附屬本島 昭  
3.X 月刊
- 60 忠孝一本 兵神福川 昭3.XII 年六回  
發行  
昭4.Xヨリ休刊
- 61 兵庫赤心 兵庫教務支廳 昭3.XII 年  
三回發行

昭和四年

- 62 朝鮮天理教報 朝鮮管理所 昭4.I 月  
刊
- 63 十日 平安西支教會 昭4.II 月刊
- 64 麴町月報 麴町中教會 昭4.IV 月刊
- 65 素人 岡島善次 昭4.V 月刊
- 66 まごころ 益田誠心會 昭4.V 年六  
回發行
- 67 陽氣 熊本、長崎、宮崎、鹿兒島、沖縄、

- 教務支廳 年四回發行
- 68 養徳 天理中學校 昭4.V 每學期一回發行
- 69 三才 (再刊) 東京三才寮 昭4.IX 月刊
- 70 Comet 常野宣教所 (東京教務支廳内) 昭4.XI 隔月刊

昭和五年

- 71 明るい道 赤心會明石郡支部 昭5.I 月刊
- 72 雅友 本保支教會 昭5.I 月刊
- 73 南和 天理教南和社 昭5.V 月刊
- 74 天地 三重縣天地社 昭5.VIII 月刊
- 75 南陽 南陽支教會 昭5.IX 月刊
- 76 天理教青年會々報 天理教本部 昭5.IX 隔月刊
- 77 みちのだい 天理教婦人會本部 昭5.X
- 78 天理時報 天理圖書館 昭5.X 週刊

件 名 表

總記的のもの

- 1 法規 (宗教法令、天理教々規及規程等を含む。)
- 學則 (其の學校を見よ)
- 會則 (其の會を見よ)
- 2 報告
- 3 年鑑
- 4 年表
- 4 叢書 (全書、全集を含む。)
- 6 天理教

教 典

- 19 どうろみこふき (創世紀を含む。)
- 20 みかぐらつとめ
- 21 みかぐらうた
- 22 おふてさき
- 23 おことば (神言を含む。)
- 24 おさしづ
- 25 天理教々典

教義に関するもの

- 7 八 境 (病の理を含む。)
- 8 ひのきしん
- 9 因 縁
- 10 ぢ ば (甘露臺、鏡屋敷を含む。)
- 11 神 (天理王命、天理大神、十柱神を含む。)
- 12 借物貸物
- 13 教 祖 (教祖傳を含む。)
- 14 理
- 15 たんのふ
- 16 おまもり

- 17 おびやゆるし
- 18 おさづけ

制 度

- 26 別 席 (初席、満席を含む。)
- 27 舞 樂 (神の御國を含む。)
- 28 雅 樂 (音樂を見よ。)
- 29 教會本部 (神殿其他を含む。)
- 30 祭 式 (祝詞、冠婚葬祭を含む。)
- 31 傳道廳
- 32 道友社
- 33 印刷所
- 34 一般教會 (發達史を含む。)
- 35 管理所
- 36 教 廳 (總務、會計、庶務、財團監理經理、教學、海外傳道部を含む。)
- 37 教務支廳
- 38 青年會
- 39 信徒詰所
- 40 諸團體 (學生會其他。)

社 會 重 要

- 41 中學校
- 42 中等學校
- 43 女學校
- 44 奈良官學校
- 45 小學校
- 46 託兒所
- 47 圖書館
- 48 幼稚園
- 49 養徳院

學 校

- 50 朝鮮教義講習所
- 51 外國語學校
- 52 女子學院
- 53 教 校

歴史的のもの

- 54 傳 記 (本席、管長、高弟、書簡等を含む。)
- 55 教會本部發達史 (本部を見よ。)
- 56 教祖傳 (教祖を見よ。)
- 57 年 祭
- 58 歴 史

布 教


- 59 講 演 (教外のもの。)
- 60 教 師
- 61 教 徒
- 62 教 話 (講話を含む、教内のもの。)
- 63 信 徒
- 64 神社縁 (靈教を含む。)

雜 件

- 65 文 學 (創作、小説、歌句、童話を含む。)
- 66 文 集
- 67 音 樂 (雅樂、唱歌を含む。)
- 68 論文、隨筆
- 69 雜 誌 (定期刊行物を含む。)

28.8.11

R178.8  
TE37

R178.8-Te37ㄅ  
  
1200500766286

終